

江戸川区
生活保護・くらしごと相談室利用者
アンケート調査結果

令和7年9月
江戸川区

目次

第1章 アンケート調査の概要	1
第1節 目的	2
第2節 調査方法	2
第3節 調査内容	2
第4節 本書に関する留意点	3
第2章 生活保護利用者アンケート	4
第1節 概要	5
第2節 集計結果	9
第1 回答者の基本属性について	9
（1）性別	9
（2）生活保護利用期間	10
（3）職業	11
第2 生活の状況について	12
（1）日常生活の状況	12
（2）健康状態	13
（3）医療機関への通院状況	14
（4）40歳以上の健康診断受診状況	15
（5）健診を受けていない理由	16
（6）江戸川区への定住意向	20
（7）地域活動・団体の参加状況	25
（8）地域活動・団体へ参加していない理由	33
（9）地域活動・団体への参加意向	40
（10）日常生活の困りごとや悩みの有無	45
（11）困りごとや悩みの内容	50
（12）困りごとや悩みの相談相手	58
第3 福祉事務所(生活援護課)とケースワーカーについて	65
（1）福祉事務所やケースワーカーへの相談しやすさ	65
（2）ケースワーカーの態度や言葉遣いの適切さ	66
（3）ケースワーカーの説明のわかりやすさ	67
（4）ケースワーカーとの関わりで印象に残っていることの有無	68
（5）福祉事務所の窓口の行きやすさ	70
（6）保護決定通知書のわかりやすさ	71
（7）福祉事務所からのお知らせのわかりやすさ	72
（8）生活保護のしおりのわかりやすさ	73
第4 生活保護について	74
（1）生活保護の利用	74
（2）生活保護を利用してよかったと思う理由	75

(3) 生活保護の社会全体での理解	77
第5 仕事について	78
(1) 仕事や転職についての支援希望の有無	78
(2) 働くことへの意欲	79
(3) 働きたいと思わないとした理由	80
第6 福祉事務所、生活援護課、ケースワーカー、生活保護についての自由意見	82
第3章 暮らしごと相談室利用者アンケート	87
第1節 概要	87
第2節 集計結果	91
第1 回答者の基本属性について	91
(1) 性別	91
(2) 職業	92
第2 生活の状況について	93
(1) 日常生活の状況	93
(2) 健康状態	94
(3) 医療機関への通院状況	95
(4) 40歳以上の健康診断受診状況	96
(5) 健診を受けていない理由	97
(6) 江戸川区への定住意向	99
(7) 地域活動・団体の参加状況	104
(8) 地域活動・団体へ参加していない理由	110
(9) 地域活動・団体への参加意向	116
(10) 日常生活の困りごとや悩みの有無	121
(11) 困りごとや悩みの内容	126
(12) 困りごとや悩みの相談相手	132
第3 暮らしごと相談室と相談支援員について	138
(1) 生活の困りごとが発生したきっかけ	138
(2) 暮らしごと相談室を紹介された、または知った場所	141
(3) 暮らしごと相談室での相談内容	144
(4) 暮らしごと相談室で受けた支援内容	147
(5) 相談員の相談のしやすさ	149
(6) 相談員の対応	150
(7) 相談後の生活の変化	151
(8) 暮らしごと相談室利用後の気持ちの状況	154
(9) 暮らしごと相談室の利用	155
(10) 希望する支援の内容	156
第4 暮らしごと相談室についての自由意見	158
参考資料 アンケート調査票	161

第 1 章 アンケート調査の概要

第1章 調査の概要

第1節 目的

江戸川区では、生活保護・くらしごと相談室利用者から生活状況、日頃から感じていることや本区に対する意見を伺うため、アンケート調査を実施しました。

この結果を踏まえて、生活に困窮する方に対する福祉行政の充実、また本区が令和3年6月に施行した「ともに生きるまちを目指す条例」の考えに基づく個別条例の制定に向けた資料として活用します。

第2節 調査方法

本調査は、生活保護利用者に実施した調査、くらしごと相談室の利用者に実施した調査の2件の調査から構成されています。それぞれの調査の概要は以下のとおりです。

(1) 生活保護利用者調査

調査世帯	令和7年3月18日時点で生活保護を利用している全世帯 15,055 世帯
調査期間	令和7年3月24日から同年5月31日まで
調査内容	全28問(うち記述2問) ※令和7年度第38回江戸川区民世論調査と同じ質問7問
回答方法	アンケート調査票の返送又はスマートフォン等による回答
回収結果	有効回収数 5,678件(アンケート調査票 5,326件、スマートフォン等 352件) 有効回収率 37.7%(アンケート調査票 35.4%、スマートフォン等 2.3%)

(2) くらしごと相談室利用者調査

調査対象	令和7年3月18日時点でくらしごと相談室を利用中の全世帯及び令和5年度に利用を終了した全世帯 549 世帯
調査期間	令和7年3月24日から同年5月31日まで
調査内容	全23問(うち記述1問) ※令和7年度第38回江戸川区民世論調査と同じ質問7問
回答方法	アンケート調査票の返送又はスマートフォン等による回答
回収結果	有効回収数 126件(アンケート調査票 105件、スマートフォン等 21件) 有効回収率 22.9%(アンケート調査票 19.1%、スマートフォン等 3.8%)

第3節 調査内容

〈共通〉 (1) 日常生活の自立について (4) 地域活動の参加について (2) 健康状態・健診受診等について (5) 困りごとの相談について (3) 定住意向について ※(3)～(5)は第38回江戸川区民世論調査と共通の質問	
〈生活保護〉 (6) 職員の接遇等について (7) 通知書等の平易さ (8) 生活保護の利用について (9) 就労の意向について (10) 自由意見	〈くらしごと相談室〉 (6) 相談までの経緯 (7) 支援の内容 (8) 相談員の接遇等について (9) 相談の結果について (10) 自由意見

第4節 本書に関する留意点

- ・ 一部未回答のアンケートの処理について

アンケートに一部未回答の項目があった場合においても、回答のあった項目については有効な回答として取り扱っています。そのため、各質問項目によって回答者数が異なっている場合があります。

なお、それぞれの未回答者数は一部記載していません。

- ・ 生活保護利用者とくらしごと相談室利用者の定義について

本書における生活保護利用者は「本区で令和7年3月18日時点、生活保護を利用している世帯」と定義しており、くらしごと相談室利用者は「令和7年3月18日時点でくらしごと相談室を利用中の全世帯及び令和5年度に利用を終了した全世帯」と定義しています。

- ・ 表の単位について

本書に掲載した表の単位のうち、単位の記載のないものは、「件」（回答数）を表しています。

- ・ 図表における選択肢等の記載について

図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化していることがあります。

- ・ 百分率について

百分率(%)は小数点以下第1位を四捨五入している(1%未満及び0.1%未満については、小数点以下第2位及び小数点以下第3位を四捨五入している)ため、合計が100%に満たない、または上回ることがあります。

- ・ 自由記述について

自由記述の文章は原文を基本としていますが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略しています。複数寄せられた意見については、件数をまとめて紹介し記載しています。

- ・ 第38回江戸川区民世論調査との比較に際して

本書では「江戸川区第38回江戸川区民世論調査」と同じ設問がある場合、回答及びグラフの表記については世帯や性別等、回答内容に合わせた形となっています。

- ・ 本書における図表の見方

- 図表の中の「n」とは回答者総数(または該当質問の該当者数)を表しています。
- 回答の比率はnを100%とした百分率で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しました。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- 1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがあります。
- 性別・世帯構成について、その他の回答者と未回答者を合わせて表記をしている場合があります。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、生活保護利用者アンケートではnが90、くらしごと相談室利用者アンケートではnが3を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行いません。

第 2 章 生活保護利用者アンケート

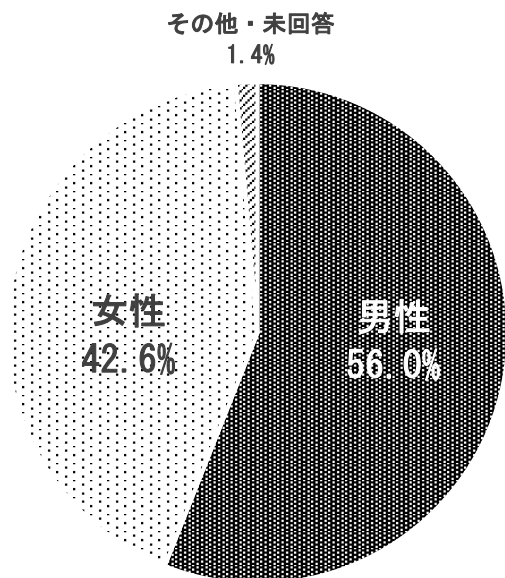
第1節 概要

年代は75歳以上37.4%が最も多く、次に40～64歳が33.2%となっている。世帯構成は「ひとり暮らし」79.6%、世帯人数は「1人」76.9%と単身世帯が多い。利用期間は「5年以上」64.9%、職業は「無職」78.8%が多く、就労者は12.9%となっている。

項目1	項目2	回答数(件数)	割合(%)
性別	男性	3,181	56.0
	女性	2,419	42.6
	その他・未回答	78	1.4
年代	18歳以下	5	0.1
	19～39歳	229	4.0
	40～64歳	1,886	33.2
	65～74歳	1,373	24.2
	75歳以上	2,124	37.4
	未回答	61	1.1
世帯構成	ひとり暮らし	4,517	79.6
	夫婦	400	7.0
	二世帯	492	8.7
	三世帯	17	0.3
	その他・未回答	252	4.4
世帯人数	1人	4,369	76.9
	2人	750	13.2
	3人	164	2.9
	4人	47	0.8
	5人以上	77	1.4
	未回答	271	4.8
生活保護の利用期間	1年未満	407	7.2
	1年～3年未満	692	12.2
	3年～5年未満	705	12.4
	5年以上	3,686	64.9
	未回答	188	3.3
職業	正規職員(社員)	28	0.5
	契約・派遣	83	1.5
	アルバイト・パート	574	10.1
	自営業	45	0.8
	学生	1	0.0
	無職(求職活動中)	375	6.6
	無職	4,475	78.8
	未回答	97	1.7

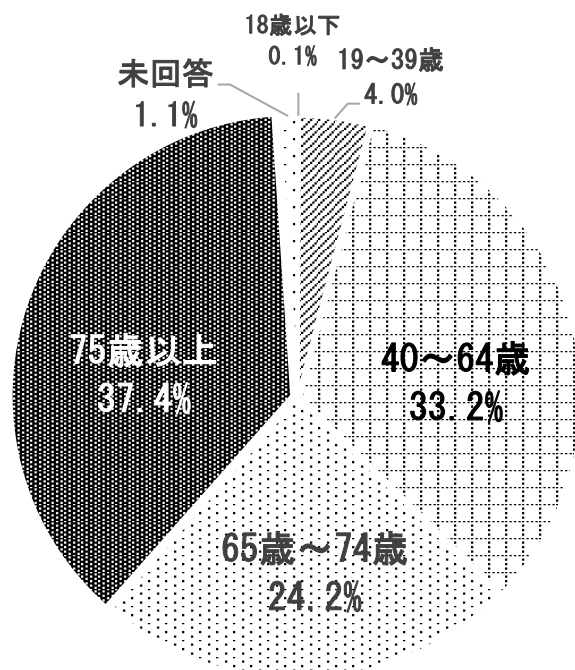
(1) 性別

No	項目	回答数	割合
1	男性	3,181	56.0%
2	女性	2,419	42.6%
3	その他・未回答	78	1.4%
回答数計		5,678	100.0%



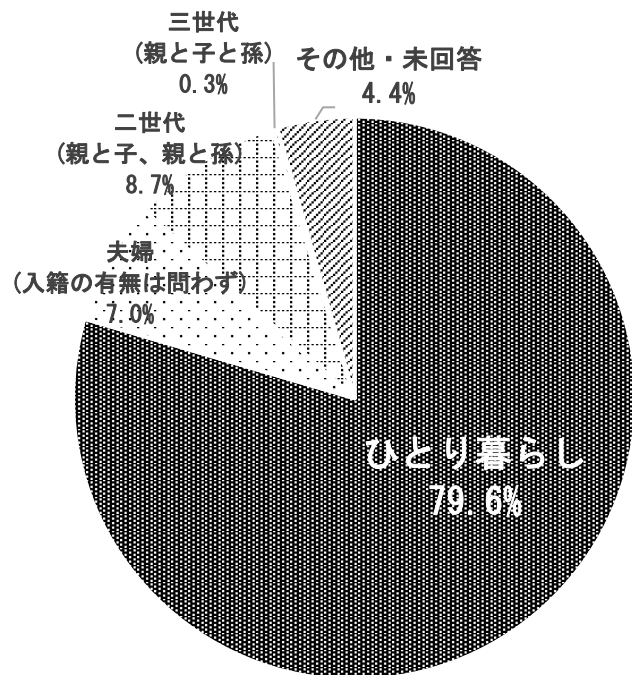
(2) 年代

No	項目	回答数	割合
1	18歳以下	5	0.1%
2	19～39歳	229	4.0%
3	40～64歳	1,886	33.2%
4	65歳～74歳	1,373	24.2%
5	75歳以上	2,124	37.4%
6	未回答	61	1.1%
回答数計		5,678	100.0%



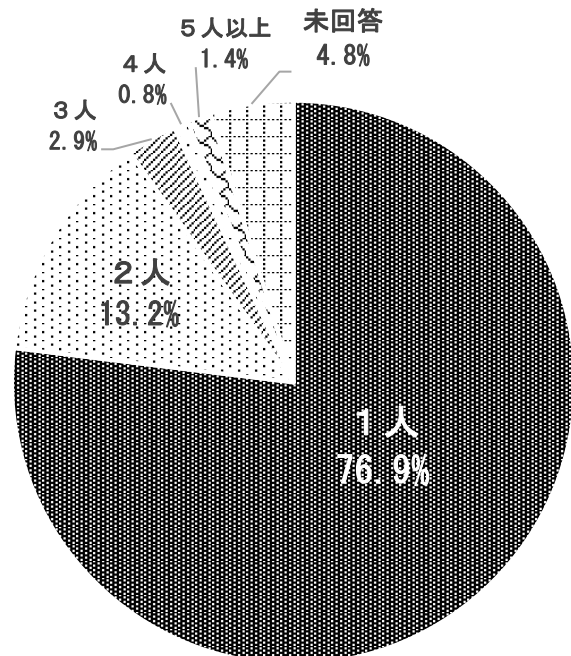
(3) 世帯構成

No	項目	回答数	割合
1	ひとり暮らし	4,517	79.6%
2	夫婦 (入籍の有無は問わず)	400	7.0%
3	二世帯 (親と子、親と孫)	492	8.7%
4	三世帯 (親と子と孫)	17	0.3%
5	その他・未回答	252	4.4%
回答数計		5,678	100.0%



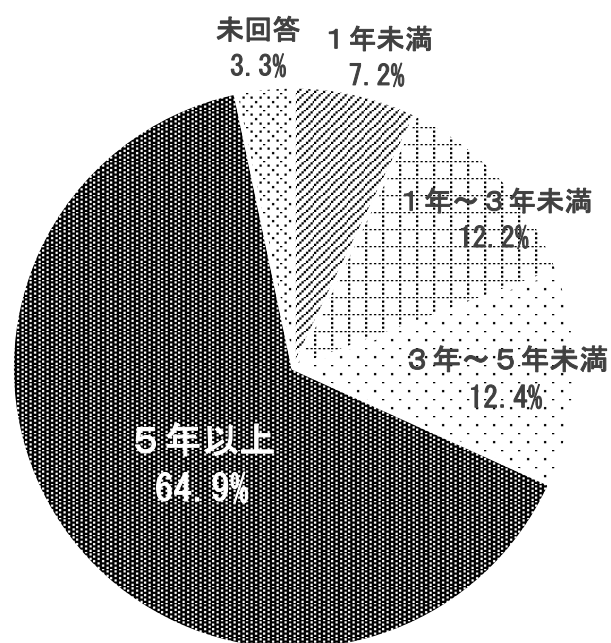
(4) 一緒に暮らしている人数 (世帯人数)

No	項目	回答数	割合
1	1人	4,369	76.9%
2	2人	750	13.2%
3	3人	164	2.9%
4	4人	47	0.8%
5	5人以上	77	1.4%
6	未回答	271	4.8%
回答数計		5,678	100.0%



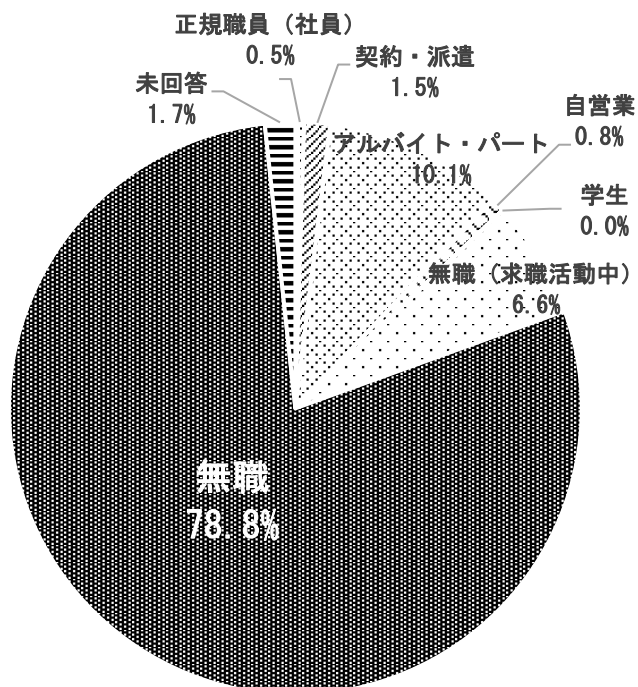
(5) 生活保護の利用期間

No	項目	回答数	割合
1	1年未満	407	7.2%
2	1年～3年未満	692	12.2%
3	3年～5年未満	705	12.4%
4	5年以上	3,686	64.9%
5	未回答	188	3.3%
回答数計		5,678	100.0%



(6) 職業

No	項目	回答数	割合
1	正規職員(社員)	28	0.5%
2	契約・派遣	83	1.5%
3	アルバイト・パート	574	10.1%
4	自営業	45	0.8%
5	学生	1	0.0%
6	無職(求職活動中)	375	6.6%
7	無職	4,475	78.8%
8	未回答	97	1.7%
回答数計		5,678	100.0%



第2節 集計結果

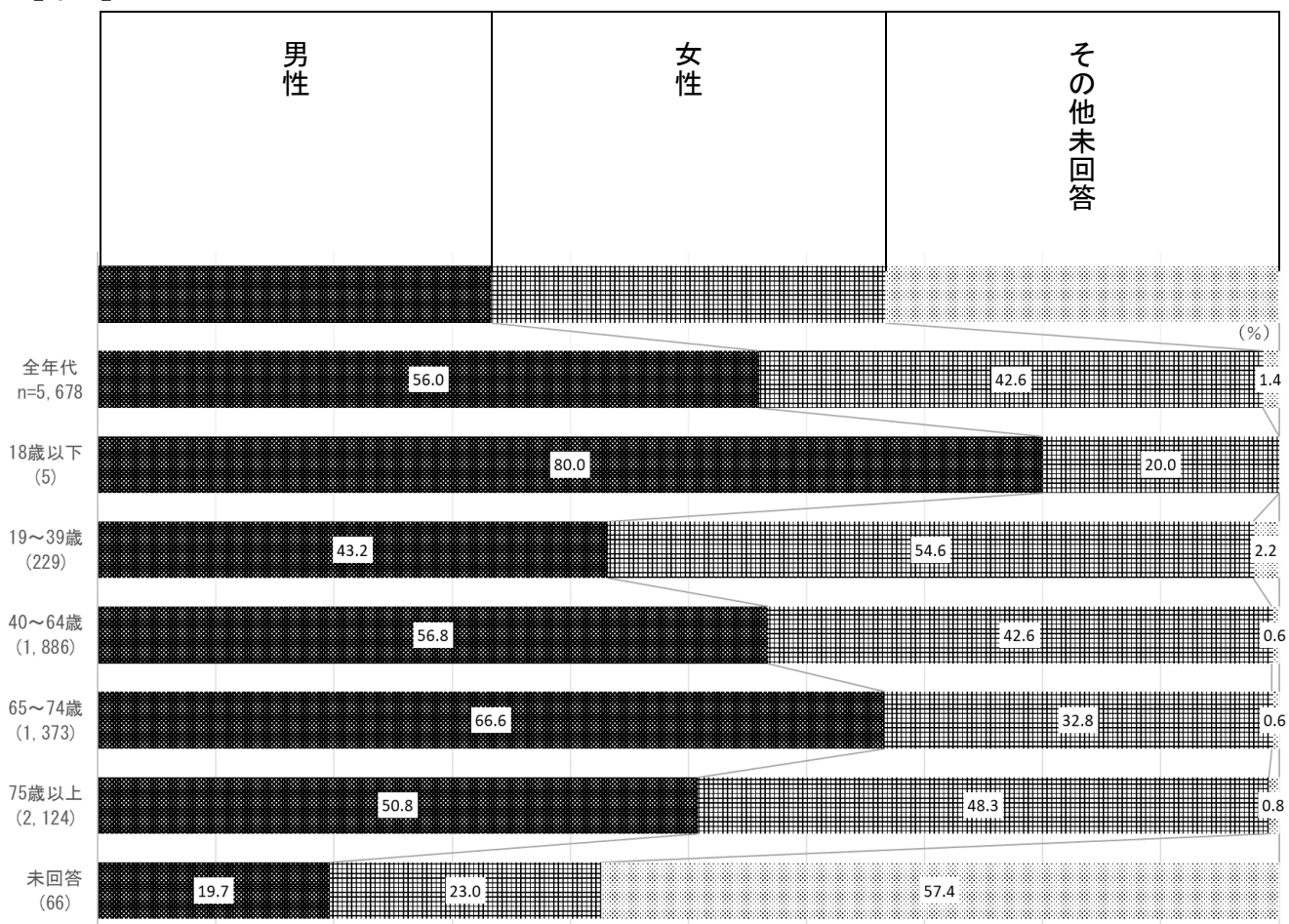
第1 回答者の基本属性について

(1) 「性別」と「年代」による集計

全体では男性が56.0%、女性が42.6%となっている。年代別にみると、19～39歳では女性が54.6%と男性43.2%となっている。40～64歳では男性が56.8%、65～74歳では66.6%となっている。75歳以上では男性50.8%、女性48.3%となっている。

【図表1－(1)】 問：性別をお答えください。

【年代】

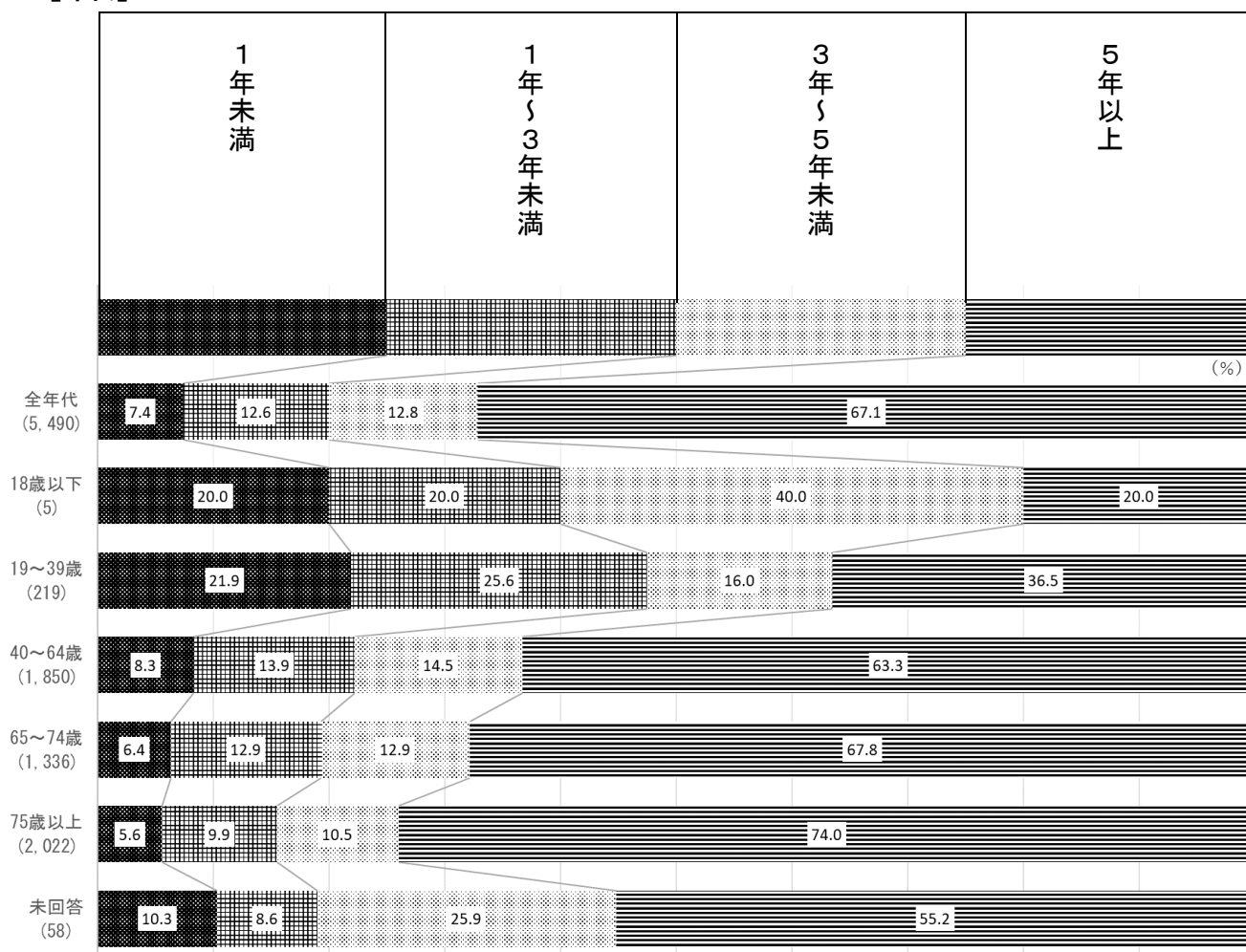


(2) 「生活保護利用期間」と「年代」による集計

全体では「5年以上」が67.1%を占める。年代別にみると、19～39歳では「1年未満」21.9%、「1年～3年未満」25.6%となっている。75歳以上では「5年以上」が74.0%に達する。40～64歳では「5年以上」が63.3%、65～74歳では67.8%となっている。

【図表1－(2)】 問：生活保護の利用期間をお答えください。

【年代】

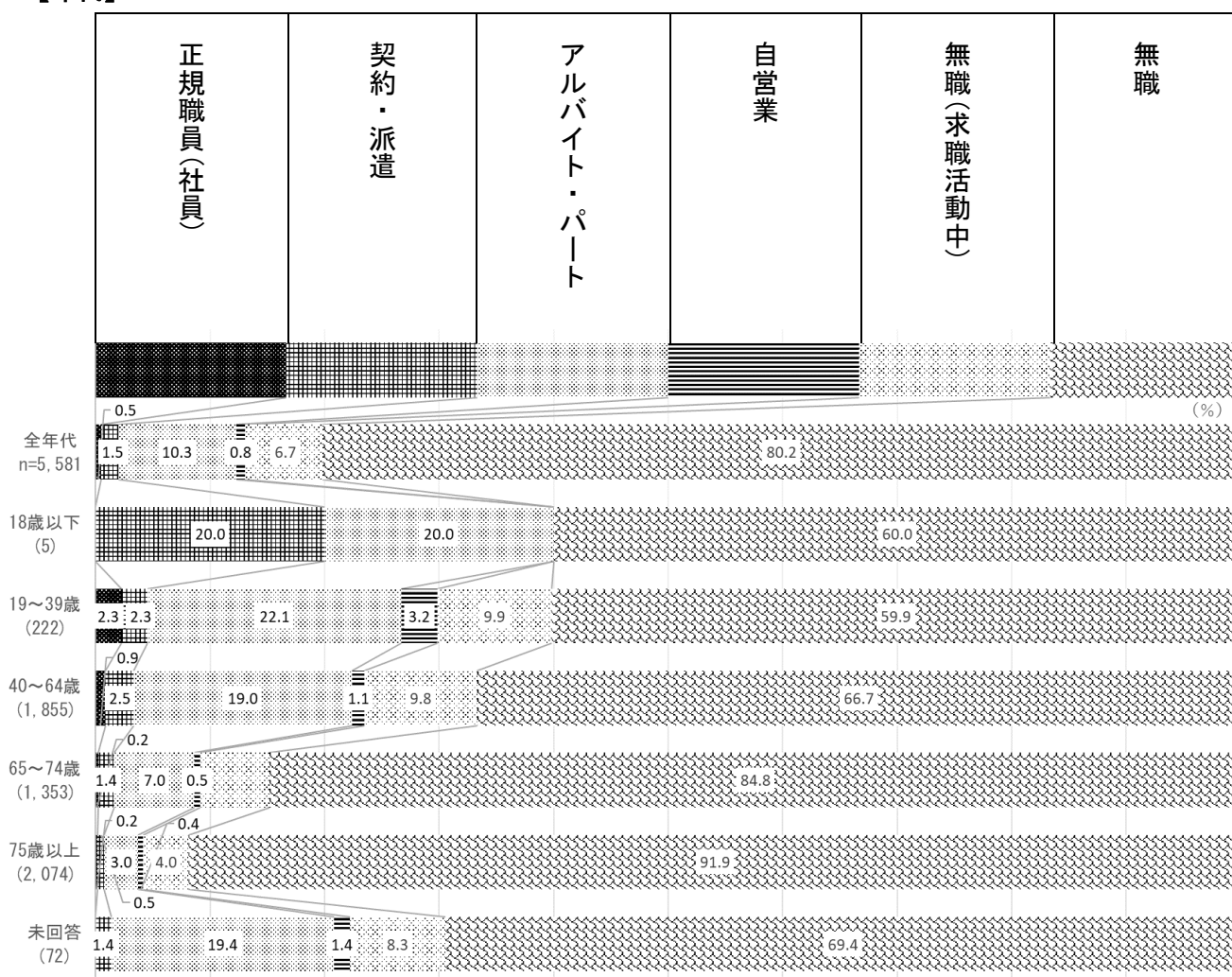


(3) 「職業」と「年代」による集計

全体では「無職」が 80.2%と多い。年代別にみると、19～39 歳では「アルバイト・パート」が 22.1%、「無職(求職活動中)」が 9.9%と比較的高く、「正規職員(社員)」は 2.3%である。40～64 歳では「アルバイト・パート」が 19.0%、「無職(求職活動中)」が 9.8%となっている。65～74 歳では「無職」が 84.8%、75 歳以上では「無職」が 91.9%となっている。

【図表 1－(3)】 問：ご職業をお答えください。

【年代】



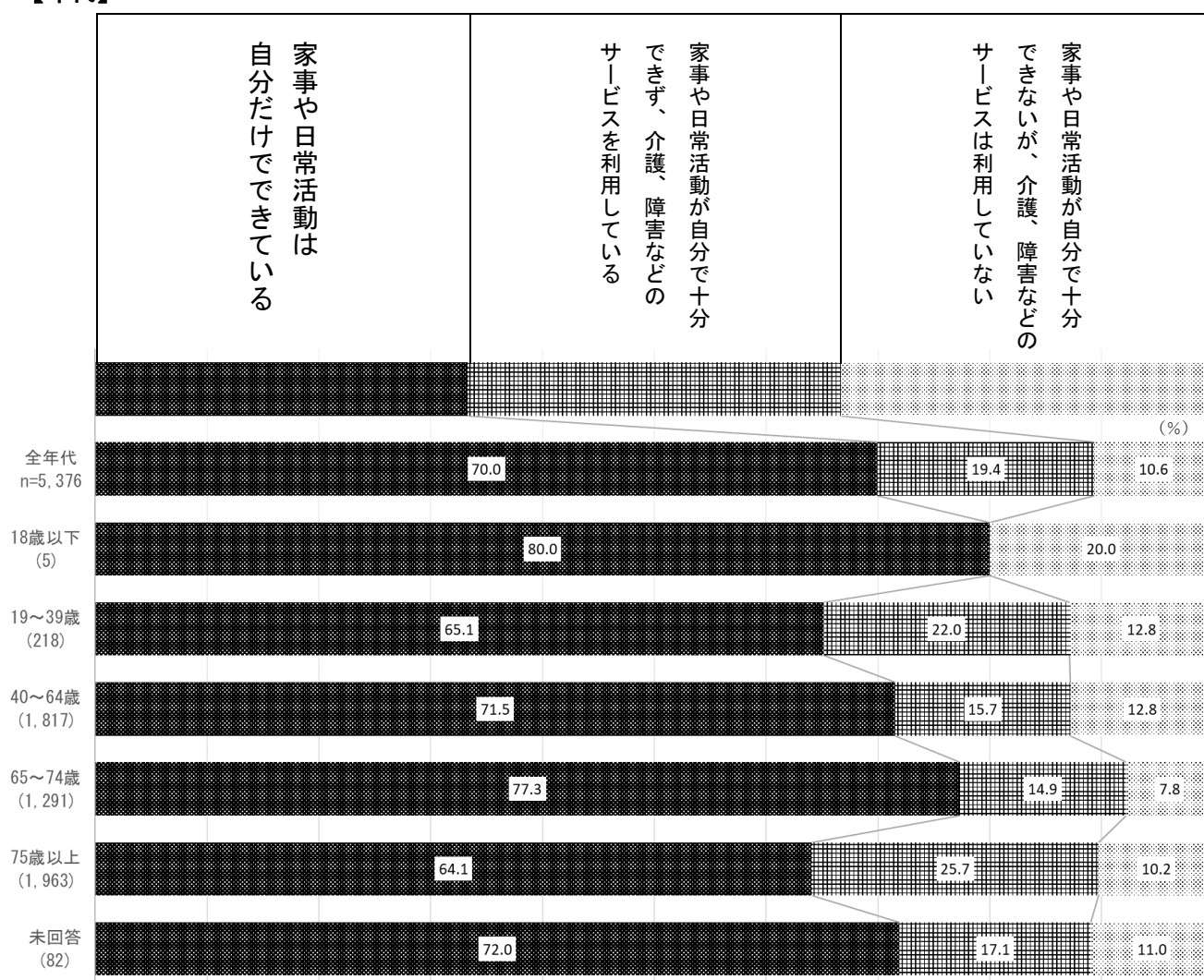
第2 生活の状況について

(1) 「日常生活の状況」と「年代」による集計

全体では「家事や日常活動は自分だけでできている」が70.0%を占める。年代別にみると、19～39歳では「家事や日常活動は自分だけでできている」が65.1%となっており、「家事や日常活動が自分で十分できず、介護、障害などのサービスを利用している」が22.0%となっている。65～74歳では「家事や日常活動は自分だけでできている」が77.3%、また75歳以上では64.1%であり、「家事や日常活動が自分で十分できず、介護、障害などのサービスを利用している」が25.7%となっている。

【図表2－(1)】 問：日常生活の状況をお答えください。

【年代】

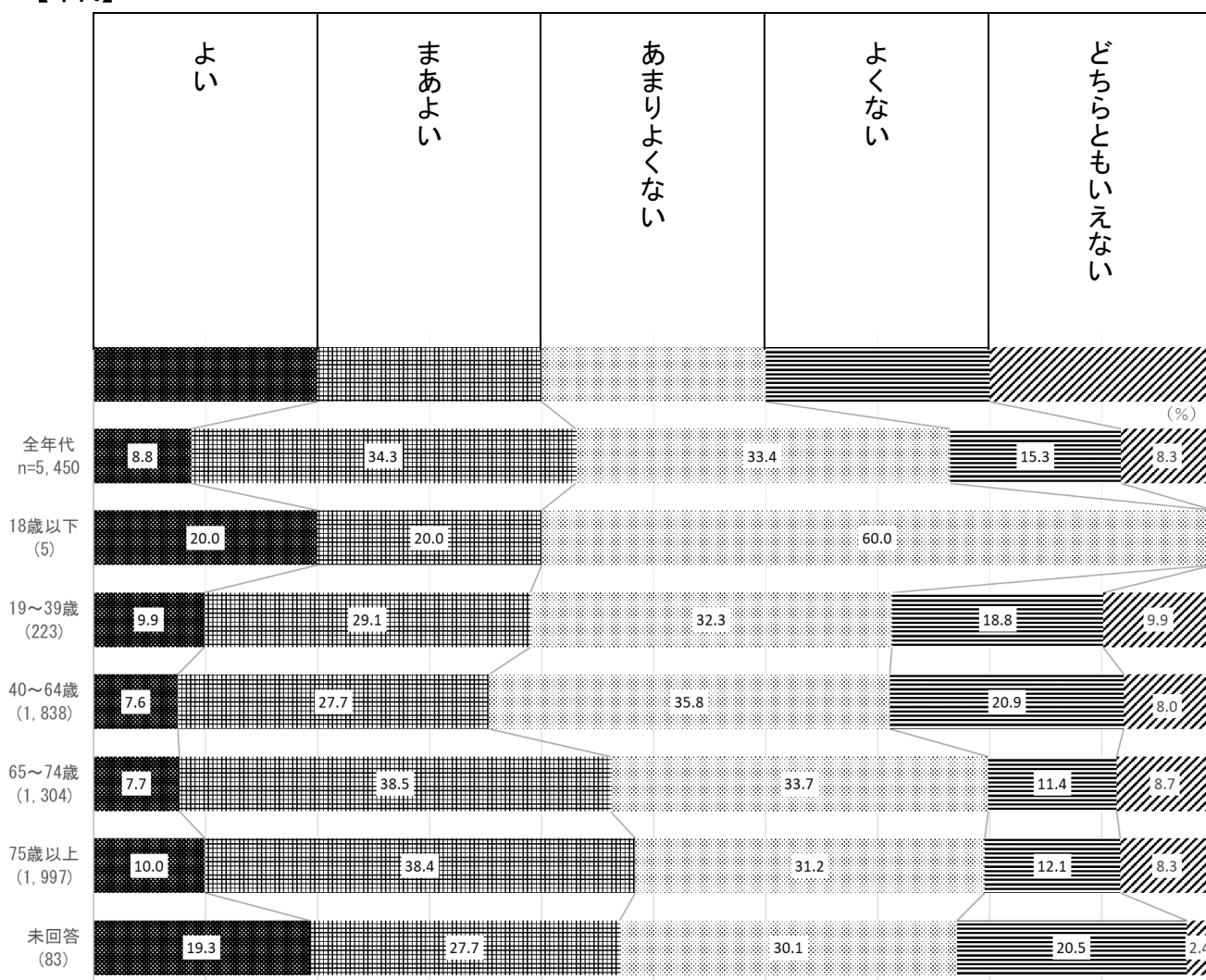


(2) 「健康状態」と「年代」による集計

全体では「まあよい」が34.3%を占め、「あまりよくない」が33.4%と続く。年代別にみると、19～39歳では「あまりよくない」が32.3%、「よくない」が18.8%であり、40～64歳では20.9%となっている。65～74歳では「まあよい」が38.5%、75歳以上では38.4%となっている。75歳以上では「よい」が10.0%となっている。

【図表2-(2)】 問：健康状態をお答えください。

【年代】

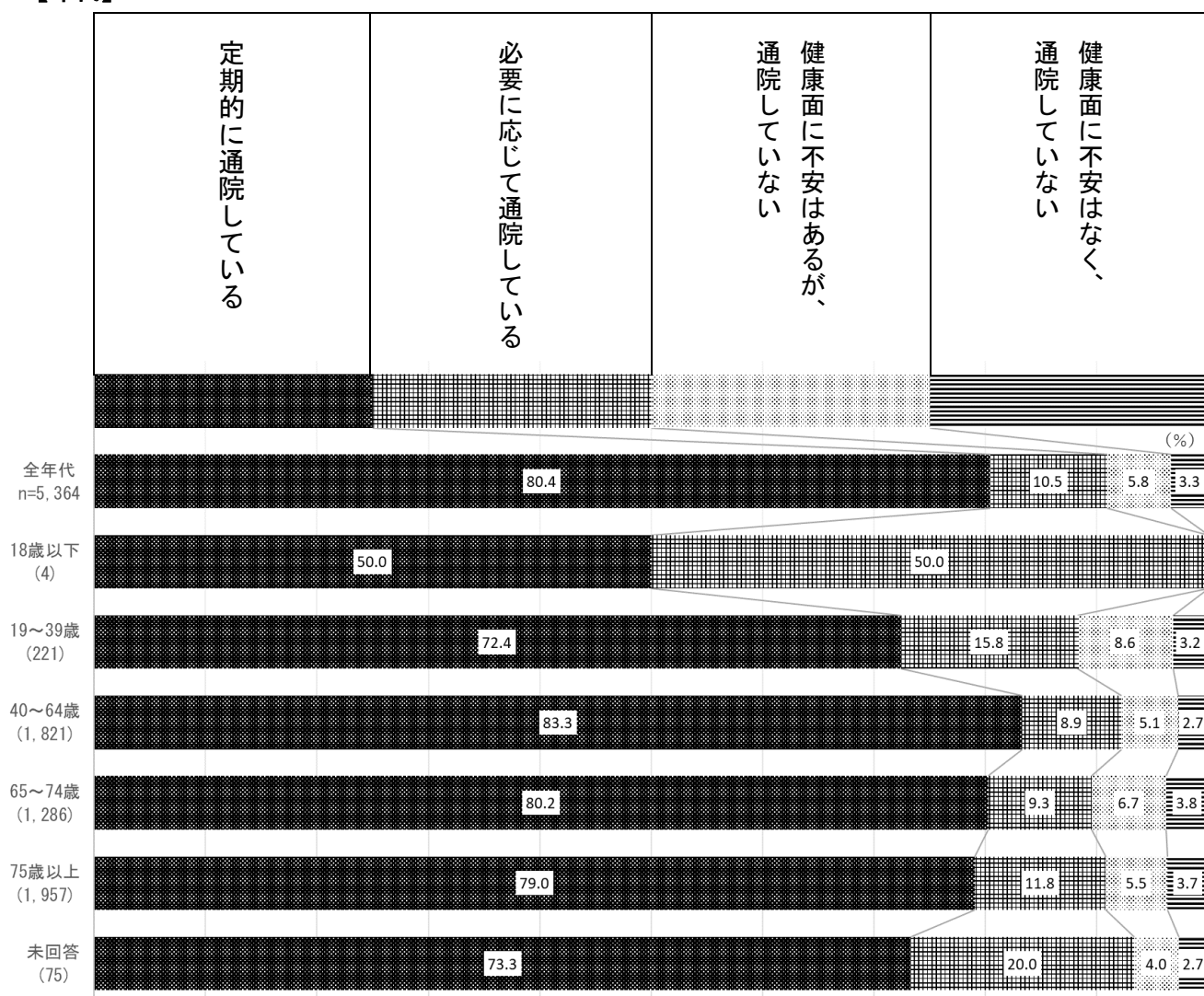


(3) 「通院状況」と「年代」による集計

全体では「定期的に通院している」が 80.4%と大半を占める。年代別にみると、19～39 歳では「定期的に通院している」が 72.4%であり、「必要に応じて通院している」が 15.8%、「健康面に不安はあるが、通院していない」が 8.6%となっている。40～64 歳では「定期的に通院している」が 83.3%と高く、65～74 歳でも 80.2%、75 歳以上でも 79.0%となっている。

【図表 2－(3)】 問：医療機関への通院状況をお答えください。

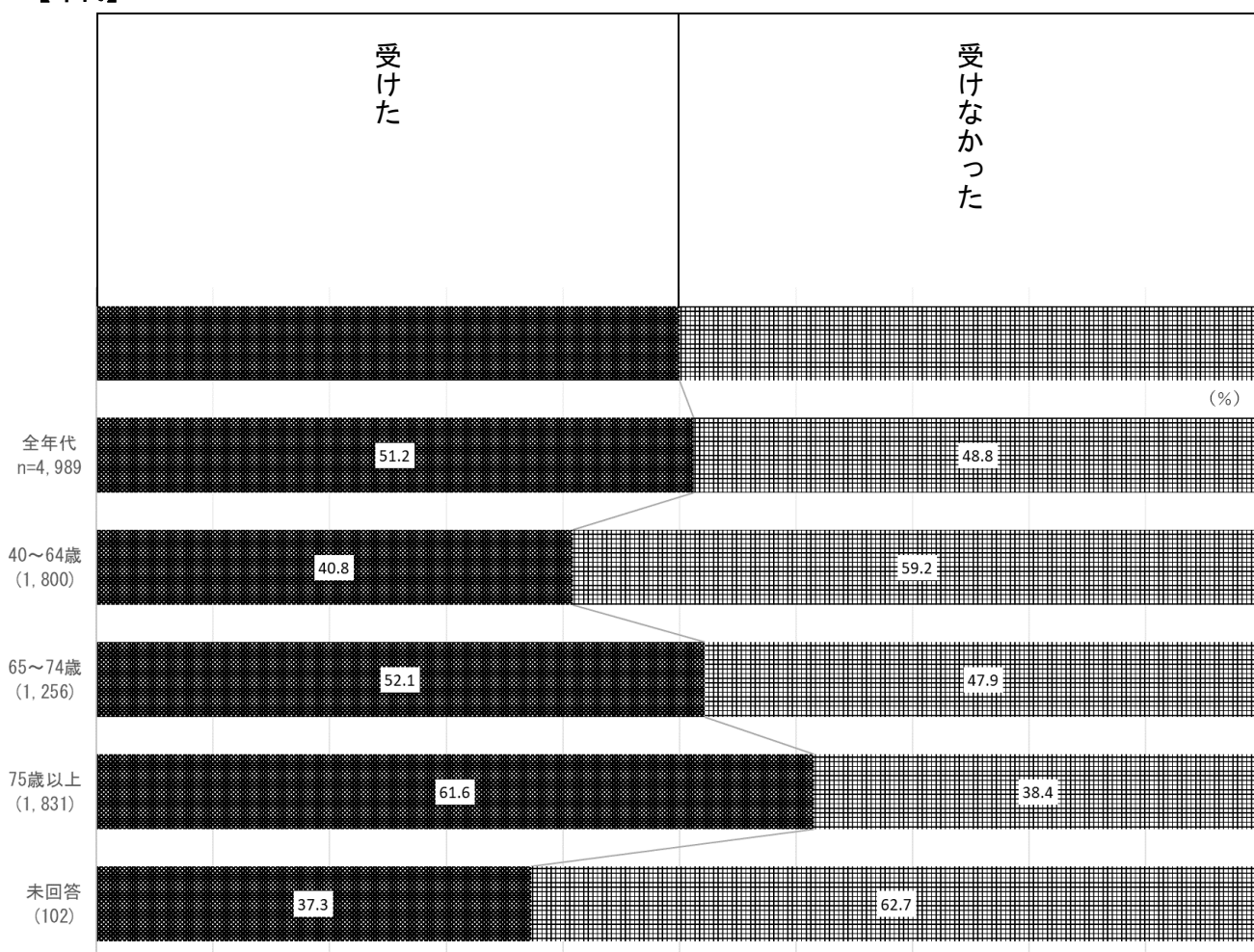
【年代】



(4) 「40 歳以上の健康診断受診状況」と「年代」による集計

全体では、健診を「受けた」が 51.2%、「受けなかった」が 48.8%とほぼ半々である。年代別にみると、40～64 歳では「受けなかった」が 59.2%、75 歳以上では「受けた」が 61.6%と高く、逆に「受けなかった」は 38.4%となっている。65～74 歳では「受けた」が 52.1%であり、年代未回答では「受けなかった」が 62.7%となっている。

【図表 2－(4)】 問：《40 歳以上の方》過去 1 年間で区の福祉健診、その他の健康診断を受けましたか。
【年代】



(5) 「前項(4)で健診を受けていない理由」と「年代」による集計(複数回答)

全体では「定期的に通院している」が 61.2%となっている。年代別にみると、「定期的に通院している」は 65～74 歳で 64.3%、75 歳以上で 65.1%と、高い年代で割合が高くなる傾向が見られる。

「疾病が見つかることに不安がある」は、40～64 歳で 12.9%であり、年代が上がるにつれて割合が減少する。また、「健康に不安がない」は、75 歳以上で 12.4%と高い年代で高くなる傾向が見られた。

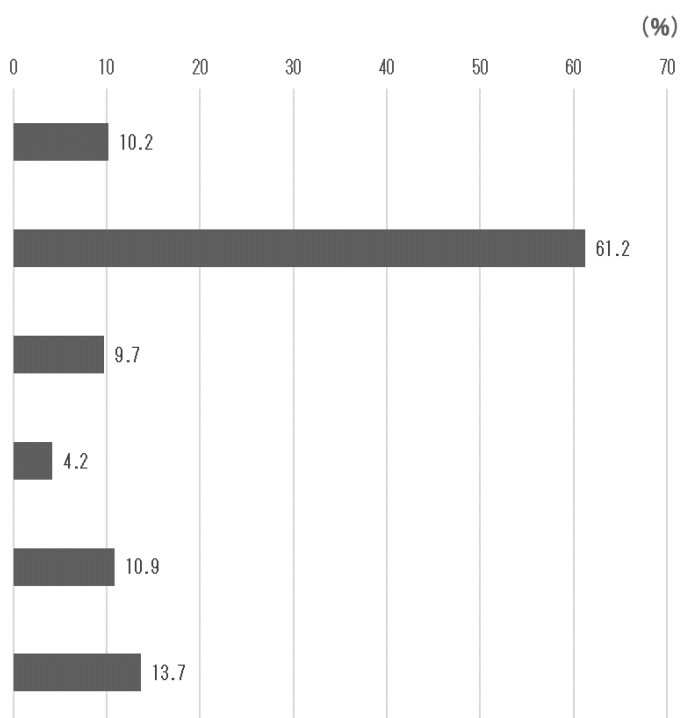
【表 2-(5)】 問：《(4)で「2. 受けなかった」と答えた方》受けなかった理由をお答えください。

(○はいくつでも)

【年代】	40～64 歳 (1,049)	65～74 歳 (588)	75 歳以上 (684)	未回答 (28)	全年代 n=2,349
健康に不安がない	85 8.1%	63 10.7%	85 12.4%	7 25.0%	240 10.2%
定期的に通院している	598 57.0%	378 64.3%	445 65.1%	17 60.7%	1,438 61.2%
受け方がわからない	118 11.2%	54 9.2%	54 7.9%	2 7.1%	228 9.7%
生活習慣の見直し(食事・運動など) を指示されたくない	49 4.7%	25 4.3%	23 3.4%	1 3.6%	98 4.2%
疾病が見つかることに不安がある	135 12.9%	63 10.7%	52 7.6%	5 17.9%	255 10.9%
その他	191 18.2%	58 9.9%	66 9.6%	6 21.4%	321 13.7%
回答数計	1,176	641	725	38	2,580

【図表２－（５）単純集計】 問：《（４）で「２．受けなかった」と答えた方》受けなかった理由をお答えください。（〇はいくつでも）

No	項目	全体 n=2,349	割合
1	健康に不安がない	240	10.2%
2	定期的に通院している	1,438	61.2%
3	受け方がわからない	228	9.7%
4	生活習慣の見直し （食事・運動など） を指示されたくない	98	4.2%
5	疾病が見つかることに不安がある	255	10.9%
6	その他	321	13.7%
回答数計		2,580	



<「健診を受けていない理由」についてその他の回答>

- ・ 入院していたため。(同文、17 件)
- ・ 体調不良のため。(同文、20 件)
- ・ 外出が困難なため。(同文、16 件)
- ・ 訪問診療や在宅医療を受けているため。(同文、20 件)
- ・ 会社の健康診断を受けているため。(同文、6 件)
- ・ かかりつけ医で定期的に検査を受けているため。(同文、10 件)
- ・ 人工透析をしている。
- ・ 年とともにあちこちが悪くなっている。
- ・ 自然に(リウマチ、胸にカテーテル有り)。
- ・ メッケル憩室炎になっている。
- ・ 麻疹があり自分で行動できない。
- ・ ベッド生活のため。
- ・ 両膝を手術したため。
- ・ シェディング、吸収体質。
- ・ 尿酸検査、心電図、血液検査、簡易的なものは受けました。
- ・ 体が不自由なため、在宅医療の先生に月 2 回、医療往診をしていただいているからです。
- ・ 時間がなかったため。(同文、11 件)
- ・ 予定が合わなかったため。(同文、4 件)
- ・ 忘れていた。(同文、8 件)
- ・ 期限が過ぎてしまったため。(同文、6 件)
- ・ 家族の介護で時間がなかったため。(同文、4 件)
- ・ 子供が小さいため、なかなか行けない。(同文、1 件)
- ・ 仕事を優先してきた。(同文、1 件)
- ・ 他の地区から転入をしたため。(同文、1 件)
- ・ 面倒くさかった。(同文、12 件)
- ・ 精神的な理由で外出や対面が難しいため。(同文、6 件)
- ・ 医療機関や医師に不信感があるため。(同文、8 件)
- ・ 福祉検診があることを知らなかった。(同文、2 件)
- ・ 受診券を無くしてしまったため。(同文、2 件)
- ・ お金が無かったため。(同文、1 件)
- ・ 健康に興味がない。(同文、1 件)
- ・ 疾病が見つかってでも治療(手術)できなければ受ける意味がない。(同文、1 件)
- ・ 今のところ特に症状がないので。
- ・ ちょっと色々あつて。
- ・ ジェンダーなので。
- ・ 行くのが辛い。
- ・ 今年は行く予定。
- ・ そろそろ受けようと思っています。
- ・ 受診券に「生活保護受給中」と記載があり、他人が大勢いるところで使用したくない。

<「健診を受けていない理由」についてその他の回答>

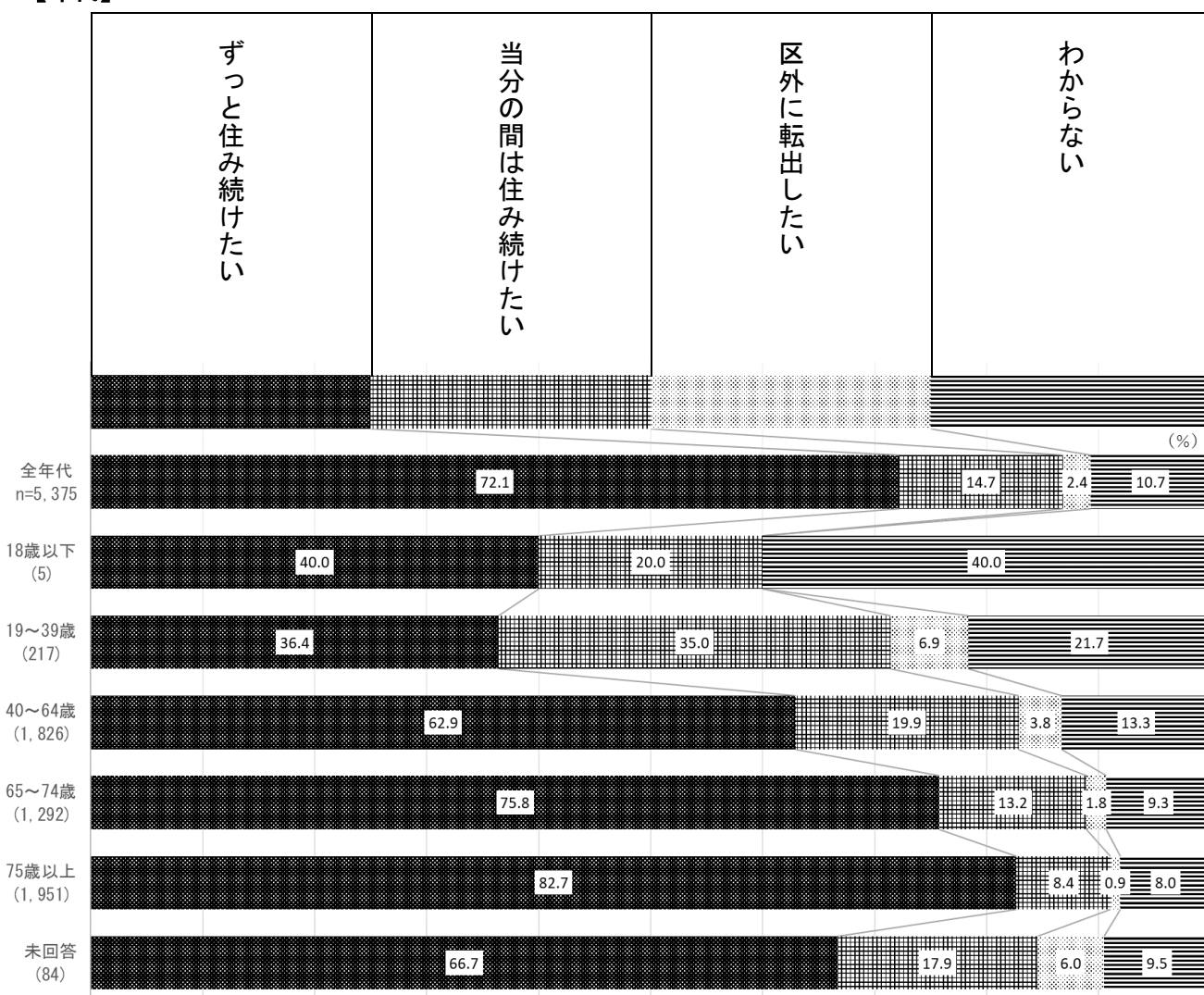
- ・ 生活保護として受けたものをビッグデータに利用され、氏名のデータが流出した場合に生活に支障が出るから。
- ・ 国、区にこれ以上迷惑かけたくない。(同文、1 件)
- ・ 区の健診で診療所に予約の電話をしたら、予約でいっぱいだと断られてから行かなくなってしまった。
- ・ ものすごく待ち時間が長く、それが嫌で行きたくない。

(6) 「江戸川区への定住意向」と「年代」による集計

全体では「ずっと住み続けたい」が 72.1%と多数を占める。年代別にみると、19～39 歳では「ずっと住み続けたい」が 36.4%と他の年代より低く、「当分の間は住み続けたい」が 35.0%、「区外に転出したい」が 6.9%となっている。一方、年代が上がるにつれて定住意向は高まり、75 歳以上では「ずっと住み続けたい」が 82.7%と高く、逆に「区外に転出したい」は 0.9%となっている。

【図表 2－(6)】 問：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

【年代】

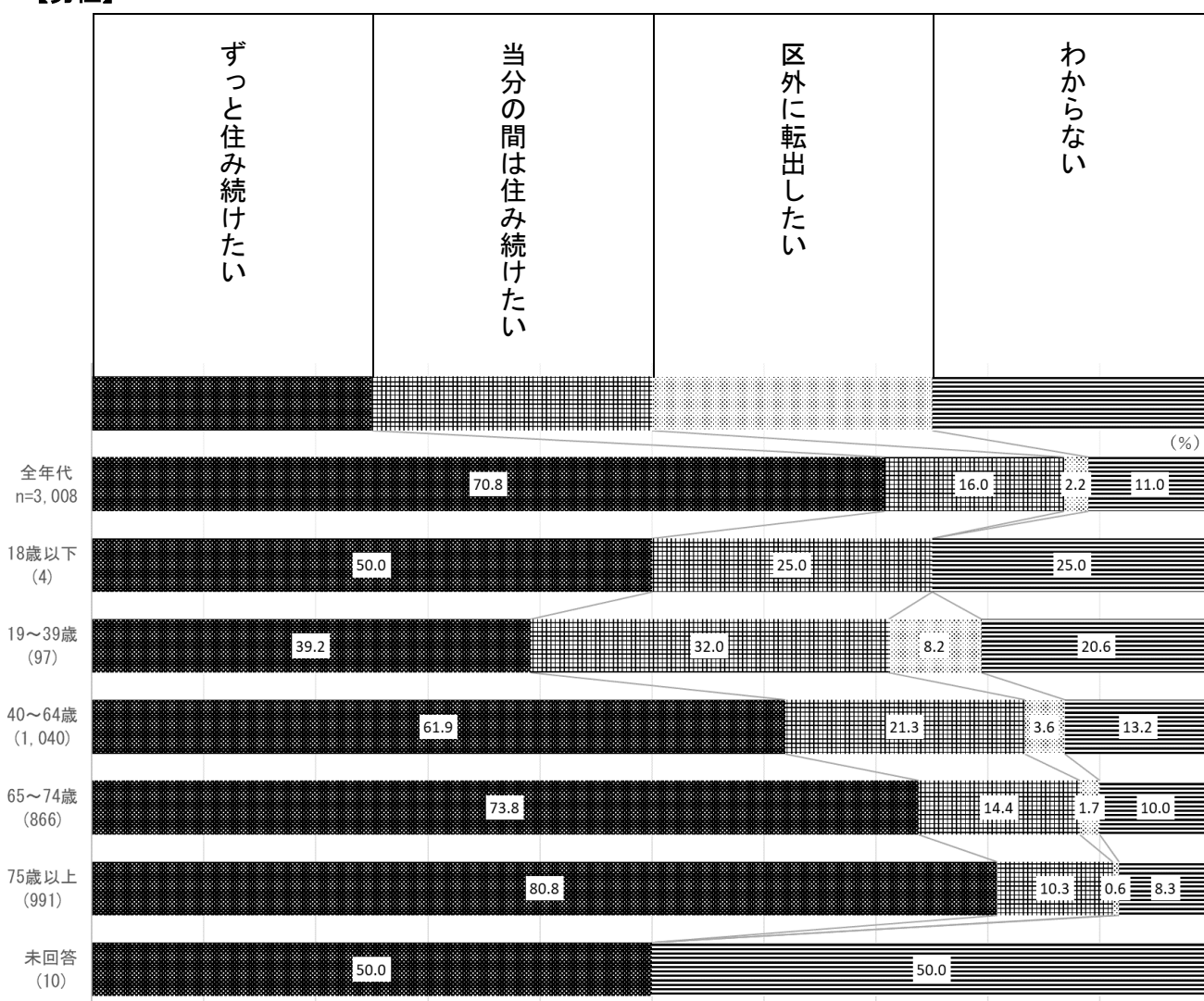


(6)① 「江戸川区への定住意向」と「性別」による集計

全体では、「江戸川区への定住意向」について、男性は「ずっと住み続けたい」70.8%、女性は74.1%であった。年代別にみると、男女ともに年代が上がるにつれて「ずっと住み続けたい」の割合が増加する傾向が見られる。75歳以上では男性80.8%、女性84.6%が「ずっと住み続けたい」と回答している。一方、19～39歳では男性の39.2%、女性の34.2%が「ずっと住み続けたい」と回答し、若い世代では「当分の間は住み続けたい」が男性32.0%、女性37.5%、「区外に転出したい」が男性8.2%、女性5.8%となっている。

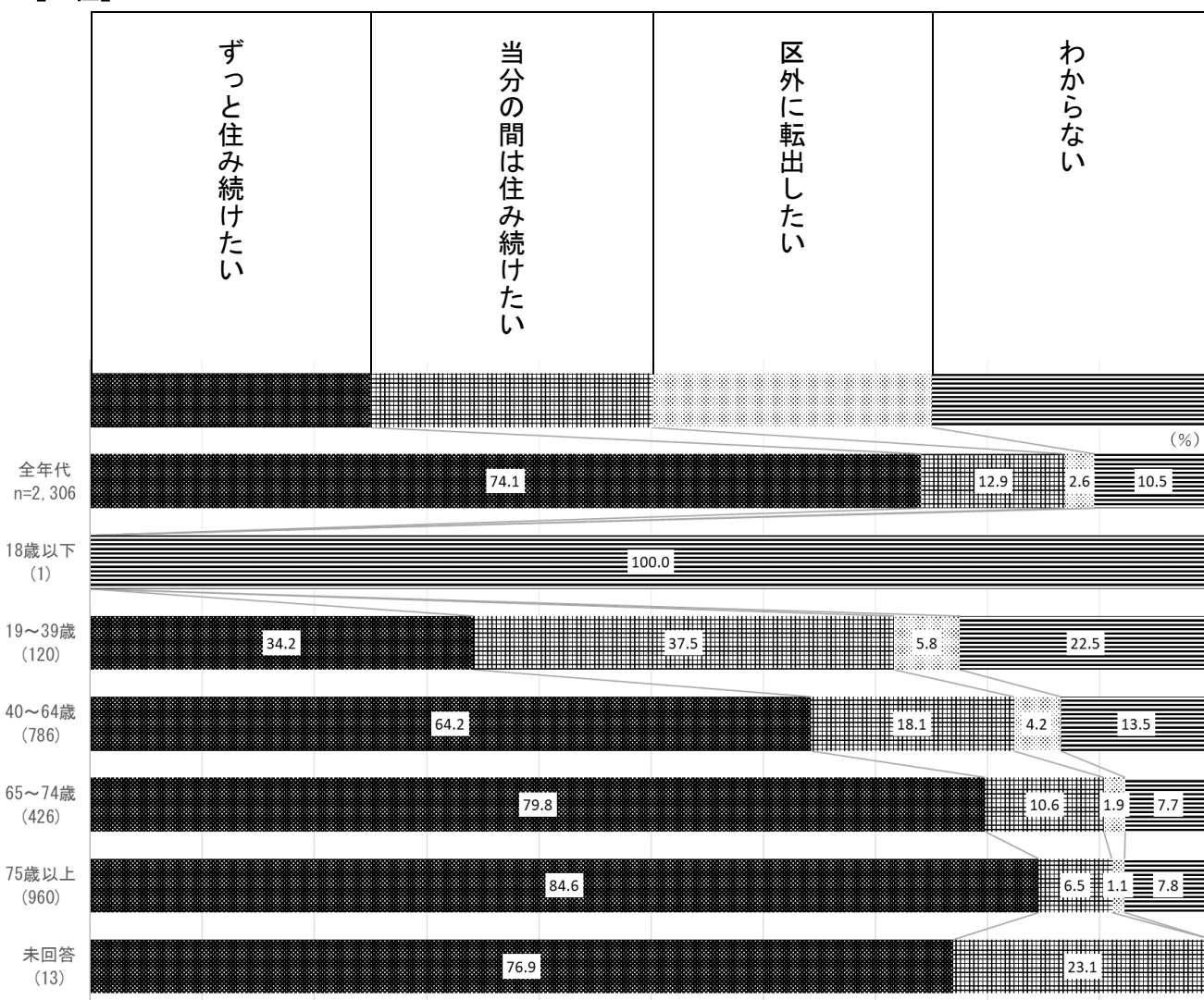
【図表2－(6)①ア】 問：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

【男性】



【図表 2-(6)①イ】 問：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

【女性】



(6)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。】

全体では、「ずっと住み続けたい」が47.6%、「当分の間は住み続けたい」が37.6%で、『永住意向』（「ずっと住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」）は85.2%となっている。一方、『転出意向』（「区外に転出したい」）は3.4%となっている。

【性・年齢別】

男性において、『永住意向』は60～64歳(89.2%)、75歳以上(89.7%)が9割弱と最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は20～29歳を境に、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。女性において、『永住意向』は70～74歳(92.8%)が9割強と最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は30～39歳を境に、男性同様に年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

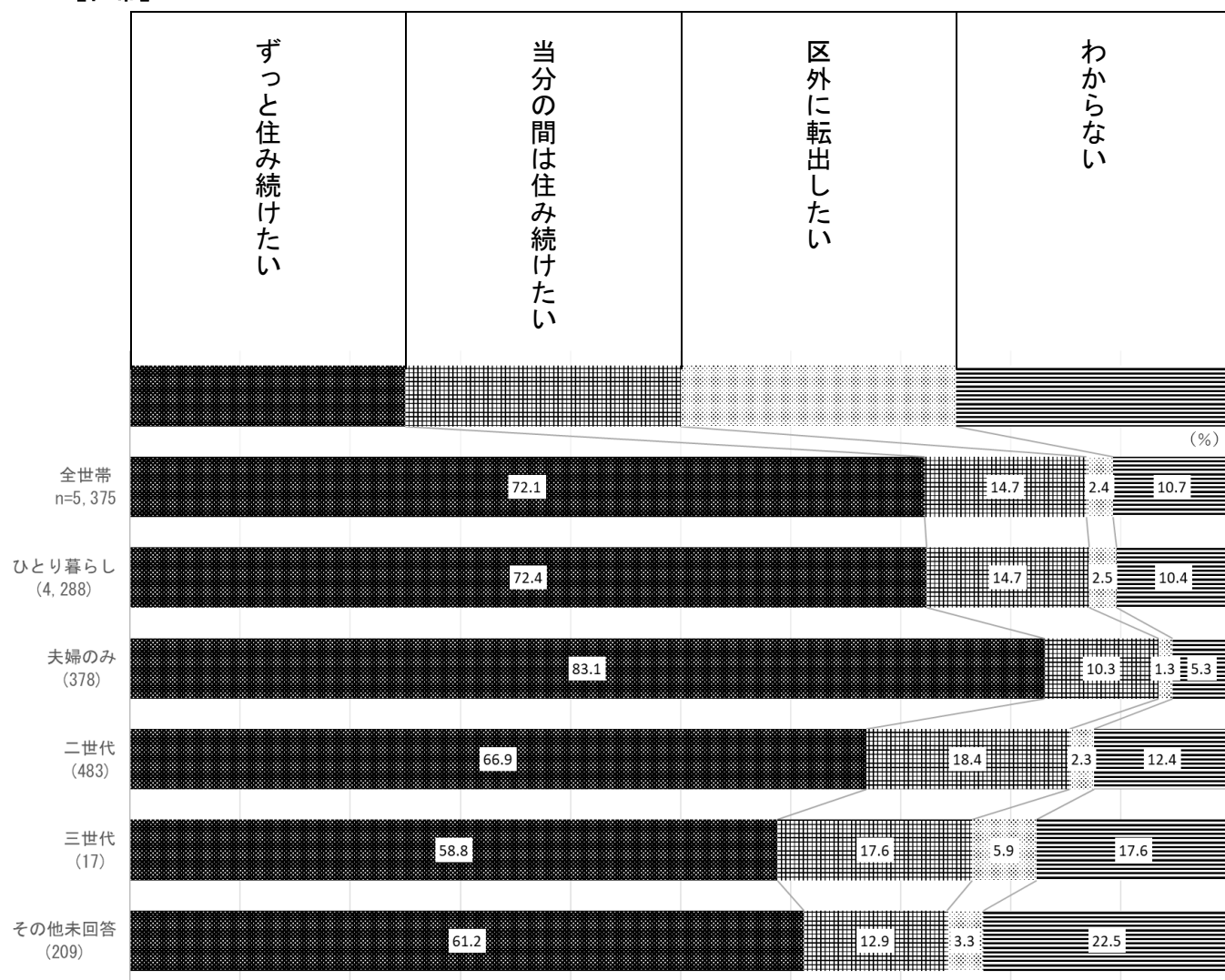
生活保護利用者アンケートでは、全体で72.1%、男性70.8%、女性74.1%が「ずっと住み続けたい」と回答している。第38回江戸川区民世論調査では、全体で47.6%、男性の『永住意向』（「ずっと住み続けたい」＋「当分の間は住み続けたい」）が60～64歳で89.2%、75歳以上で89.7%、女性は70～74歳で92.8%となっている。両調査とも女性の割合が高く、年齢が上がるほど定住意向が高い傾向は共通している。

(6)③ 「江戸川区への定住意向」と「世帯」による集計

江戸川区への定住意向について、全体では「ずっと住み続けたい」が72.1%であった。世帯構成別にみると、「夫婦のみ」世帯では83.1%が「ずっと住み続けたい」と回答しており、定住意向が高い。「二世帯」世帯は「ずっと住み続けたい」が66.9%と全体より低い。

【図表2-(6)③】 問：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

【世帯】



(7) 「地域活動・団体の参加状況」と「年代」による集計(複数回答)

全体では「参加していない」が83.2%となっている。活動別に見ると、19～39歳では「町会・自治会」が5.0%、「ボランティア」が2.7%であり、高齢層では、75歳以上で「町会・自治会」が10.9%、「高齢者団体」が5.2%と高く、65～74歳も「町会・自治会」で7.4%と一定の参加が見られる。「趣味」の活動は75歳以上で3.2%となっている。

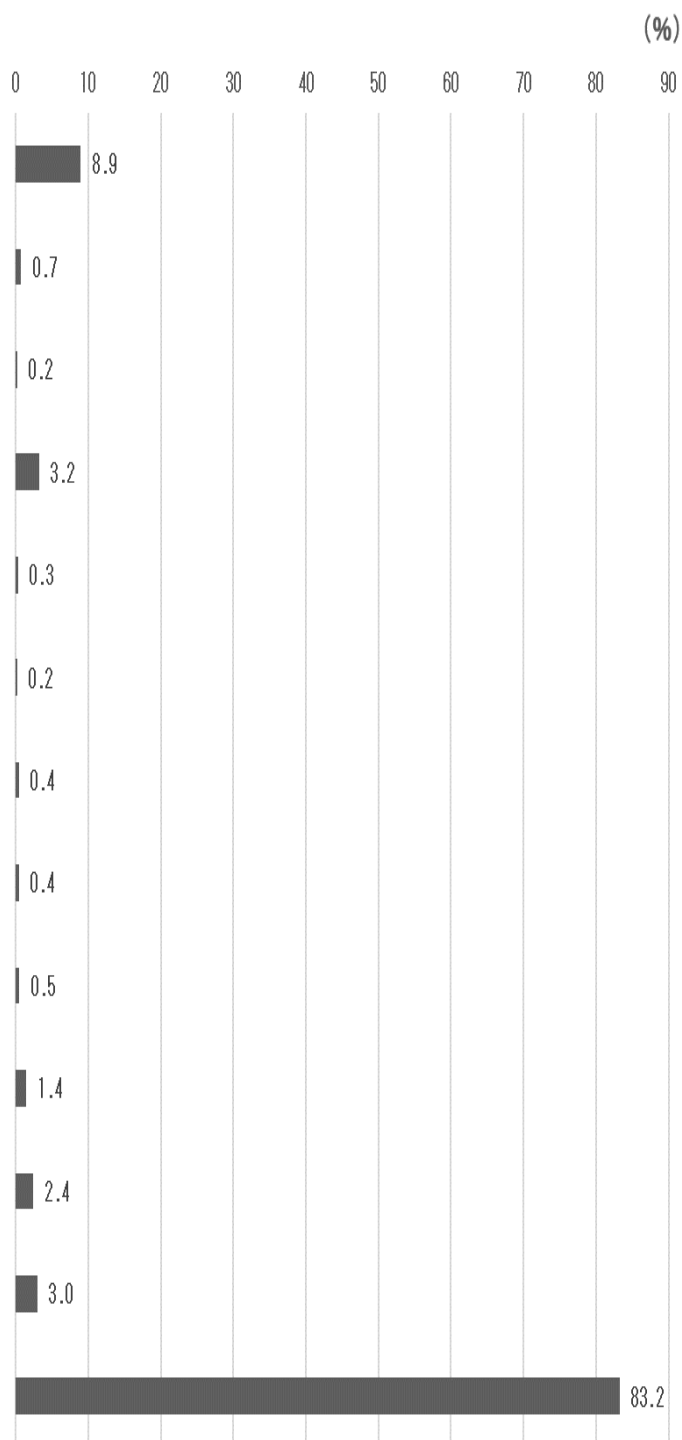
【表2-(7)】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

【年代】	18歳以下 (5)	19～39歳 (221)	40～64歳 (1,835)	65～74歳 (1,325)	75歳以上 (2,018)	未回答 (88)	全年代 n=5,492
町会・自治会		11 5.0%	150 8.2%	98 7.4%	220 10.9%	12 13.6%	491 8.9%
PTA	1 20.0%	9 4.1%	26 1.4%	1 0.1%	3 0.1%	1 1.1%	41 0.7%
子ども会	1 20.0%	2 0.9%	5 0.3%	1 0.1%	3 0.1%		12 0.2%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・ 障害者団体		6 2.7%	36 2.0%	27 2.0%	105 5.2%	2 2.3%	176 3.2%
防災団体(消防団等) ・ 防犯団体			4 0.2%	4 0.3%	9 0.4%		17 0.3%
環境団体				3 0.2%	8 0.4%		11 0.2%
スポーツ団体			6 0.3%	2 0.2%	14 0.7%	1 1.1%	23 0.4%
文化・芸能団体			9 0.5%	4 0.3%	9 0.4%	1 1.1%	23 0.4%
NPO・NGO		2 0.9%	21 1.1%	3 0.2%	3 0.1%		29 0.5%
ボランティア		6 2.7%	22 1.2%	22 1.7%	29 1.4%		79 1.4%
趣味		5 2.3%	38 2.1%	24 1.8%	64 3.2%	2 2.3%	133 2.4%
その他		7 3.2%	54 2.9%	38 2.9%	63 3.1%	2 2.3%	164 3.0%
参加していない	4 80.0%	184 83.3%	1,547 84.3%	1,140 86.0%	1,626 80.6%	71 80.7%	4,572 83.2%
回答数計	6	232	1,918	1,367	2,156	92	5,771

【図表 2-(7)単純集計】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。

(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=5,492	割合
1	町会・自治会	491	8.9%
2	PTA	41	0.7%
3	子ども会	12	0.2%
4	高齢者団体(くすのき クラブ等)・障害者団 体	176	3.2%
5	防災団体(消防団等) ・防犯団体	17	0.3%
6	環境団体	11	0.2%
7	スポーツ団体	23	0.4%
8	文化・芸能団体	23	0.4%
9	NPO・NGO	29	0.5%
10	ボランティア	79	1.4%
11	趣味	133	2.4%
12	その他	164	3.0%
13	参加していない	4,572	83.2%
回答数計		5,771	



(7)① 「地域活動・団体の参加状況」と「性別」による集計(複数回答)

「参加していない」割合は男性 86.9%に対し女性 78.5%と、女性の方が参加している率が高い。

男性では「町会・自治会」の参加が 6.7%と最も高く、75 歳以上で 8.5%を占める。女性では「町会・自治会」が 11.8%と男性を上回り、75 歳以上で 13.4%となっている。「高齢者団体・障害者団体」も 4.7%、特に 75 歳以上で 7.6%と、女性で参加率に高い傾向が見られる。

【表 2-(7)①ア】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

【男性】	18 歳以下 (4)	19～39 歳 (99)	40～64 歳 (1, 049)	65～74 歳 (890)	75 歳以上 (1, 036)	未回答 (10)	全年代 n=3, 088
町会・自治会		3 3.0%	63 6.0%	53 6.0%	88 8.5%		207 6.7%
PTA	1 25.0%	2 2.0%	3 0.3%	1 0.1%			7 0.2%
子ども会	1 25.0%		2 0.2%	1 0.1%	2 0.2%		6 0.2%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・ 障害者団体		3 3.0%	20 1.9%	13 1.5%	30 2.9%		66 2.1%
防災団体(消防団等) ・ 防犯団体			3 0.3%	3 0.3%	8 0.8%		14 0.5%
環境団体				3 0.3%	4 0.4%		7 0.2%
スポーツ団体			4 0.4%	1 0.1%	5 0.5%		10 0.3%
文化・芸能団体			6 0.6%	2 0.2%	4 0.4%		12 0.4%
NPO・NGO		1 1.0%	14 1.3%	3 0.3%	2 0.2%		20 0.6%
ボランティア		2 2.0%	13 1.2%	17 1.9%	13 1.3%		45 1.5%
趣味		5 5.1%	18 1.7%	14 1.6%	30 2.9%		67 2.2%
その他		5 5.1%	25 2.4%	18 2.0%	16 1.5%		64 2.1%
参加していない	3 75.0%	81 81.8%	923 88.0%	784 88.1%	882 85.1%	10 100.0%	2, 683 86.9%
回答数計	5	102	1, 094	913	1, 084	10	3, 208

【表２－（７）①イ】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。（〇はいくつでも）

【女性】	18 歳以下 (1)	19～39 歳 (122)	40～64 歳 (786)	65～74 歳 (435)	75 歳以上 (982)	未回答 (14)	全年代 n=2, 340
町会・自治会		8 6.6%	87 11.1%	45 10.3%	132 13.4%	3 21.4%	275 11.8%
PTA		7 5.7%	23 2.9%		3 0.3%		33 1.4%
子ども会		2 1.6%	3 0.4%		1 0.1%		6 0.3%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・ 障害者団体		3 2.5%	16 2.0%	14 3.2%	75 7.6%	1 7.1%	109 4.7%
防災団体(消防団等) ・ 防犯団体			1 0.1%	1 0.2%	1 0.1%		3 0.1%
環境団体					4 0.4%		4 0.2%
スポーツ団体			2 0.3%	1 0.2%	9 0.9%		12 0.5%
文化・芸能団体			3 0.4%	2 0.5%	5 0.5%		10 0.4%
NPO・NGO		1 0.8%	7 0.9%		1 0.1%		9 0.4%
ボランティア		4 3.3%	9 1.1%	5 1.1%	16 1.6%		34 1.5%
趣味			20 2.5%	10 2.3%	34 3.5%		64 2.7%
その他		2 1.6%	29 3.7%	20 4.6%	47 4.8%	1 7.1%	99 4.2%
参加していない	1 100.0%	103 84.4%	624 79.4%	356 81.8%	744 75.8%	10 71.4%	1,838 78.5%
回答数計	1	130	824	454	1,072	15	2,496

(7)③ 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問25あなたは、現在地域での活動・団体に参加していますか。(○はいくつでも)】

「町会・自治会」(29.9%)が3割弱と最も高くなっている。次いで「PTA」(5.7%)、「趣味」(4.9%)、「高齢者団体(くすのきクラブなど)・障害者団体」(4.0%)となっている。一方、「参加していない」(57.0%)は6割近くとなっている。

【性・年齢別】

「町会・自治会」は男性75歳以上(47.6%)が5割近くとなっている。

「参加していない」が生活保護利利用者アンケートでは全体で83.2%、男性86.9%、女性78.5%、第38回江戸川区民世論調査では、全体で「参加していない」57.0%となっている。「参加している」は生活保護利利用者アンケートでは「町会・自治会」は男性6.7%、女性11.8%、第38回江戸川区民世論調査では男性75歳以上の「町会・自治会」参加が47.6%であり、生活保護利利用者アンケートの同年代8.5%を上回っている。

(7)③ 「地域活動・団体の参加状況」と「世帯」による集計(複数回答)

全体では「地域活動・団体の参加状況」について 83.2%が「参加していない」と回答した。世帯構成別にみると、「二世帯」世帯では「町会・自治会」に参加している世帯が 21.7%。「夫婦のみ」世帯では「町会・自治会」に参加している世帯が 12.9%と比較的高い。一方、「ひとり暮らし」世帯の 84.9%が「参加していない」と回答している。

【表 2-(7)③】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (4,384)	夫婦のみ (387)	二世帯 (480)	三世帯 (17)	その他 未回答 (224)	全世帯 n=5,492
町会・自治会	314 7.2%	50 12.9%	104 21.7%	1 5.9%	22 9.8%	491 8.9%
PTA	5 0.1%		33 6.9%	1 5.9%	2 0.9%	41 0.7%
子ども会	6 0.1%		5 1.0%		1 0.4%	12 0.2%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・ 障害者団体	147 3.4%	13 3.4%	8 1.7%		8 3.6%	176 3.2%
防災団体(消防団等) ・ 防犯団体	14 0.3%	2 0.5%	1 0.2%			17 0.3%
環境団体	8 0.2%	2 0.5%	1 0.2%			11 0.2%
スポーツ団体	20 0.5%		3 0.6%			23 0.4%
文化・芸能団体	21 0.5%		2 0.4%			23 0.4%
NPO・NGO	23 0.5%	2 0.5%	2 0.4%		2 0.9%	29 0.5%
ボランティア	62 1.4%	6 1.6%	7 1.5%		4 1.8%	79 1.4%
趣味	111 2.5%	10 2.6%	7 1.5%		5 2.2%	133 2.4%
その他	141 3.2%	6 1.6%	7 1.5%	1 5.9%	9 4.0%	164 3.0%
参加していない	3,720 84.9%	318 82.2%	336 70.0%	15 88.2%	183 81.7%	4,572 83.2%
回答数計	4,592	409	516	18	236	5,771

＜「地域活動・団体の参加状況」についてその他の回答＞

- ・ デイサービスを利用している。(同文、18 件)
- ・ リハビリに通っている。(同文、2 件)
- ・ アクティビティサポートセンターを利用している。(同文、1 件)
- ・ 地域活動支援センターやデイケアを利用している。(同文、11 件)
- ・ なごみの家を利用している。(同文、4 件)
- ・ 健康友の会
- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ ケアセンター(同文、2 件)
- ・ 作業所や就労支援施設を利用している。(同文、11 件)
- ・ 町内や地域の清掃活動に参加している。(同文、6 件)
- ・ 町会、自治会に参加、または関わっている。(同文、8 件)
- ・ ウォーキングと花見など。
- ・ パソコン教室に参加している。
- ・ 地域でのカラオケ活動。
- ・ つり
- ・ マージャンクラブ
- ・ コーラス
- ・ つりとカラオケ、ボーリング。
- ・ カルチャーセンターに通っている。(同文、1 件)
- ・ 英会話をしている。
- ・ 茶話会
- ・ 友人などとの付き合いがある。
- ・ 友人(ろう者)との手話会や集まり会をしている。
- ・ 総合文化センターの行事
- ・ 娘の孫の面倒を見たり楽しんでいます。
- ・ 体操や運動、スポーツジムなどに通っている。(同文、14 件)
- ・ 宗教活動に参加している。(同文、15 件)
- ・ 政治団体(同文、2 件)
- ・ 聖書をすすめるボランティア
- ・ マジシャン
- ・ ふれあい訪問員
- ・ 見守り
- ・ 社協
- ・ 合唱ボランティアが目標のため。
- ・ 年金者組合
- ・ 団地の防犯団体
- ・ 保護猫活動
- ・ NPO 法人の卒業生として参加。
- ・ 日本財団のボランティア活動団体

<「地域活動・団体の参加状況」についてその他の回答>

- ・ 入院中
- ・ 皆様の迷惑になるので何もしない。
- ・ くすのきクラブに入りたいと思ったが出費がすごくて参加出来なかった。
- ・ 町会、くすのきクラブを辞めました。神経を使いすぎると疲れますので辞めました。
- ・ 最近引っ越して町会・自治会のことがわからない。
- ・ 参加したいけど病気のためできない。(同文、1件)
- ・ 施設入所中
- ・ 車椅子生活で移動が難しいです。
- ・ 現在江戸川区にいない。
- ・ 引っ越しをしてしまいなかなかチャンスがない。
- ・ 入居転居が激しく、年齢差、会話が合わず。
- ・ 両足悪いため参加していない。
- ・ 病気で通院している。
- ・ 腰が痛く無ければ、豪雪地帯の雪かきボランティアに行きたいくらい。
- ・ 活動団体が無い。
- ・ 昔 PTA 会計等頑張りました。
- ・ 本人の承諾なく勝手に決められた。やりたくない。
- ・ タウンミーティング
- ・ 今後考えていきたい。
- ・ 農園作業
- ・ 会社経営
- ・ 地域のお祭りなど見に行ったりしているが団体には入ったことはない。
- ・ まだ介護保険認定を受けたばかりで、いずれ高齢者団体に行こうと思っている。

(8) 「前項(7)で地域活動・団体へ参加していないとした理由」と「年代」による集計(複数回答)

全体では「健康や体力に不安がある」が55.6%と多く、次いで「興味が無い」が27.5%を占める。年代別にみると、19～39歳では「興味が無い」が46.9%であり、「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」も13.0%となっている。「健康や体力に不安がある」は、65～74歳で60.3%、75歳以上で57.2%となっている。また、「地域の人と関わりたくない」は19～39歳で25.4%、40～64歳で16.6%となっている。

【表2-(8)】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

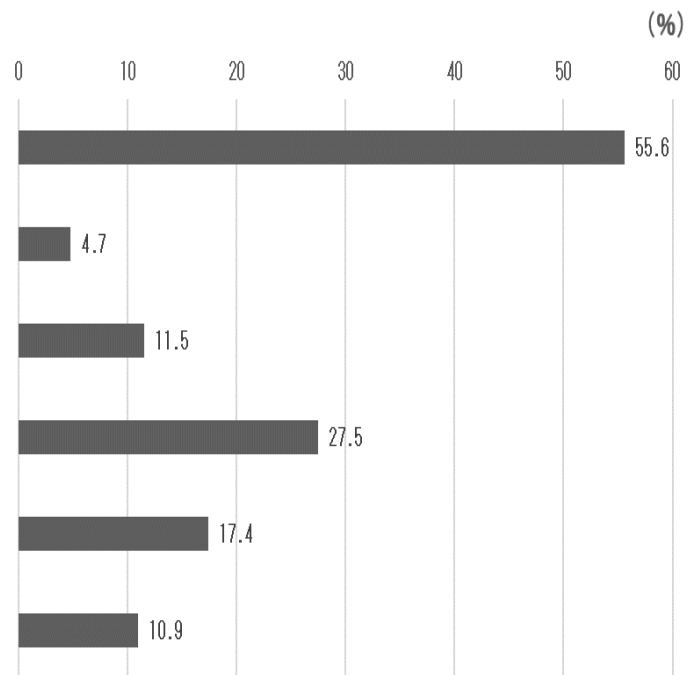
(〇はいくつでも)

【年代】	18歳以下 (4)	19～39歳 (177)	40～64歳 (1,504)	65～74歳 (1,085)	75歳以上 (1,473)	未回答 (66)	全年代 n=4,309
健康や体力に 不安がある	1 25.0%	70 39.5%	801 53.3%	654 60.3%	842 57.2%	28 42.4%	2,396 55.6%
仕事や家事(育児 ・介護等)が忙しい		23 13.0%	115 7.6%	35 3.2%	28 1.9%	3 4.5%	204 4.7%
地域の人と関わりたくない	3 75.0%	45 25.4%	249 16.6%	92 8.5%	100 6.8%	8 12.1%	497 11.5%
興味が無い		83 46.9%	475 31.6%	260 24.0%	347 23.6%	18 27.3%	1,183 27.5%
経済的負担がある		43 24.3%	314 20.9%	177 16.3%	205 13.9%	11 16.7%	750 17.4%
その他	1 25.0%	17 9.6%	154 10.2%	111 10.2%	179 12.2%	9 13.6%	471 10.9%
回答数計	5	281	2,108	1,329	1,701	77	5,501

【図表 2－(8)単純集計】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

(○はいくつでも)

No	項目	全体 n=4,309	割合
1	健康や体力に不安がある	2,396	55.6%
2	仕事や家事(育児・介護等)が忙しい	204	4.7%
3	地域の人と関わりたくない	497	11.5%
4	興味がない	1,183	27.5%
5	経済的負担がある	750	17.4%
6	その他	471	10.9%
回答数計		5,501	



(8)① 「前項(7)で地域活動・団体へ参加していないとした理由」と「性別」による集計

(複数回答)

「健康や体力に不安がある」が男性 55.0%、女性 56.7%となっている。年代別に見ると、男性 19～39 歳では「興味が無い」43.6%、「経済的負担がある」28.2%、女性 19～39 歳では「興味が無い」49.5%、「地域の人と関わりたくない」30.3%、「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」19.2%となっている。

【表 2-(8)①ア】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

【男性】	18 歳以下 (4)	19～39 歳 (177)	40～64 歳 (1, 504)	65～74 歳 (1, 085)	75 歳以上 (1, 473)	未回答 (66)	全年代 n=2, 525
健康や体力に 不安がある	1 33.3%	29 37.2%	449 50.0%	462 62.0%	444 56.0%	4 50.0%	1, 389 55.0%
仕事や家事(育児 ・介護等)が忙しい		4 5.1%	51 5.7%	18 2.4%	17 2.1%		90 3.6%
地域の人と関わりたくない	2 66.7%	15 19.2%	134 14.9%	62 8.3%	52 6.6%		265 10.5%
興味が無い		34 43.6%	319 35.5%	184 24.7%	202 25.5%		739 29.3%
経済的負担がある		22 28.2%	170 18.9%	120 16.1%	105 13.2%	1 12.5%	418 16.6%
その他	1 33.3%	11 14.1%	86 9.6%	56 7.5%	80 10.1%	3 37.5%	237 9.4%
回答数計	4	115	1, 209	902	900	8	3, 138

【表 2－(8)①イ】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

【女性】	18 歳以下 (1)	19～39 歳 (99)	40～64 歳 (606)	65～74 歳 (340)	75 歳以上 (680)	未回答 (10)	全年代 n=1,736
健康や体力に 不安がある		41 41.4%	352 58.1%	192 56.5%	398 58.5%	2 20.0%	985 56.7%
仕事や家事(育児 ・介護等)が忙しい		19 19.2%	64 10.6%	17 5.0%	11 1.6%	2 20.0%	113 6.5%
地域の人と関わりたくない	1 100.0%	30 30.3%	115 19.0%	30 8.8%	48 7.1%	1 10.0%	225 13.0%
興味がない		49 49.5%	156 25.7%	76 22.4%	145 21.3%	2 20.0%	428 24.7%
経済的負担がある		21 21.2%	144 23.8%	57 16.8%	100 14.7%	2 20.0%	324 18.7%
その他		6 6.1%	68 11.2%	55 16.2%	99 14.6%	1 10.0%	229 13.2%
回答数計	1	166	899	427	801	10	2,304

(8)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問26問25で「13」(参加していない)と答えた方にお尋ねします。参加していない理由は何ですか。
(〇はいくつでも)】

「仕事や家事(育児・介護など)が忙しい」(47.5%)が5割近くと最も高くなっている。次いで「興味がない」(31.9%)、「健康や体力に不安がある」(17.4%)、「経済的負担がある」(9.1%)となっている。

【性・年齢別】

「興味がない」は男性(36.8%)が女性(27.5%)に比べて9.3ポイント高くなっている。「興味がない」は男性20～29歳(50.0%)が5割と高くなっている。また、「健康や体力に不安がある」は女性75歳以上(58.0%)が6割近くと高くなっている。

生活保護利用者アンケートでは、全体で「健康や体力に不安がある」が55.6%、次いで「興味が無い」が27.5%であった。男女別では「健康や体力に不安がある」が男性55.0%女性56.7%であった。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「仕事や家事(育児・介護など)が忙しい」47.5%と高い。男女別では「興味がない」が男性36.8%、女性27.5%で9.3ポイント差がある。生活保護利用者アンケートでは「興味がない」が男性19～39歳43.6%、女性19～39歳49.5%、第38回江戸川区民世論調査では男性20～29歳50.0%となっている。女性75歳以上では「健康や体力に不安がある」は生活保護利用者アンケートで58.5%、第38回江戸川区民世論調査で58.0%、となっている。

(8)③ 「前項(7)で地域活動・団体へ参加していないとした理由」と「世帯」による集計(複数回答)

全体では「健康や体力に不安がある」が55.6%で多く、「興味が無い」が27.5%と続く。「ひとり暮らし」世帯や「夫婦のみ」世帯でも「健康や体力に不安がある」がそれぞれ56.2%、61.3%と高い。「二世帯」世帯では「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」が21.8%、「経済的負担がある」が23.3%と他の世帯より高く、「地域の人と関わりたくない」も16.3%となっている。

【表2-(8)③】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

(○はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (3,497)	夫婦のみ (302)	二世帯 (326)	三世帯 (14)	その他 未回答 (170)	全世帯 n=4,309
健康や体力に 不安がある	1,966 56.2%	185 61.3%	166 50.9%	3 21.4%	76 44.7%	2,396 55.6%
仕事や家事(育児・介護等)が 忙しい	98 2.8%	21 7.0%	71 21.8%	2 14.3%	12 7.1%	204 4.7%
地域の人と関わりたくない	403 11.5%	23 7.6%	53 16.3%	4 28.6%	14 8.2%	497 11.5%
興味が無い	989 28.3%	60 19.9%	84 25.8%	2 14.3%	48 28.2%	1,183 27.5%
経済的負担がある	600 17.2%	48 15.9%	76 23.3%	3 21.4%	23 13.5%	750 17.4%
その他	386 11.0%	29 9.6%	25 7.7%	5 35.7%	26 15.3%	471 10.9%
回答数計	4,442	366	475	19	199	5,501

<「地域活動・団体へ参加していないとした理由」についてその他の回答>

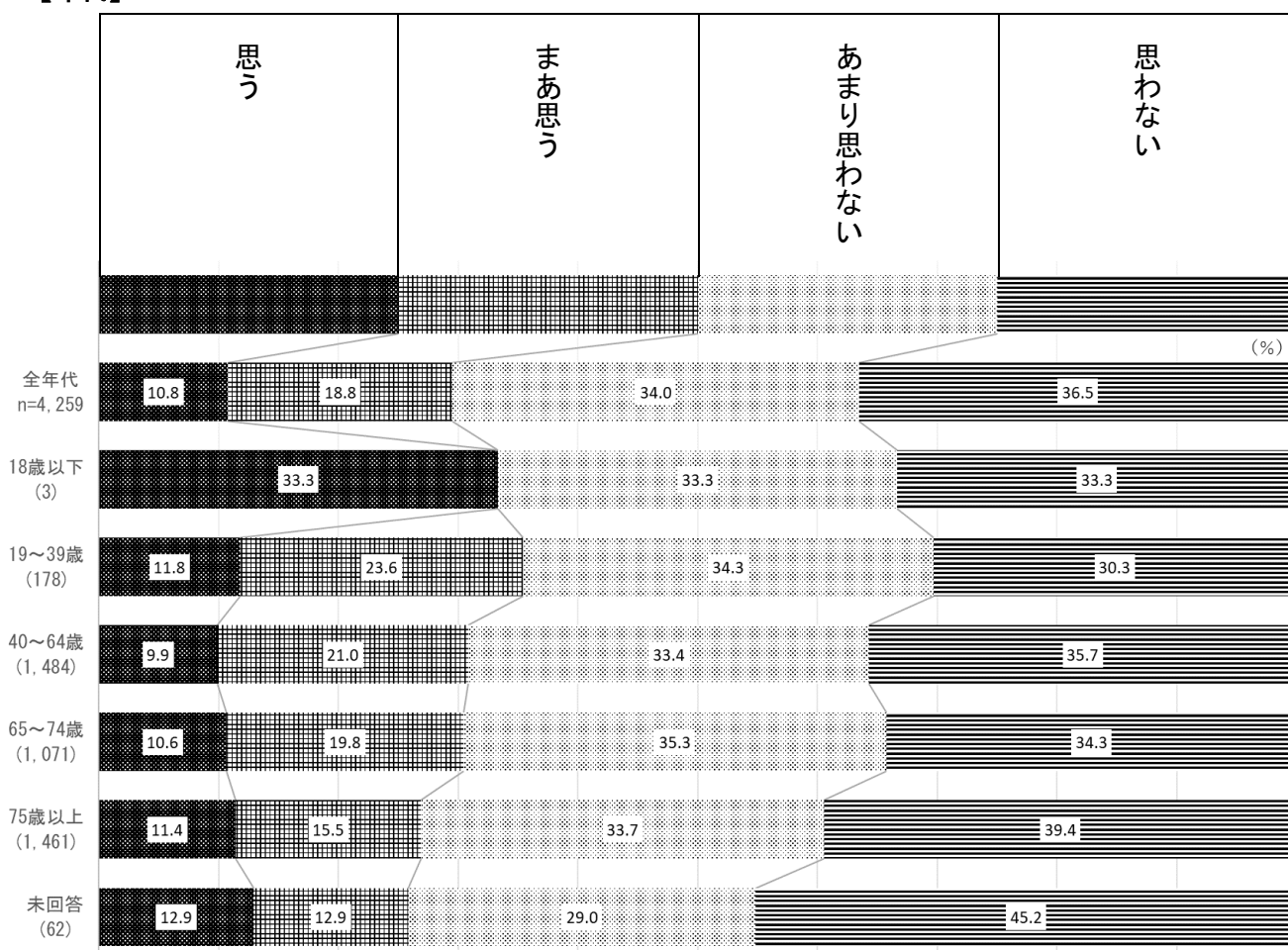
- ・ 病気や入院、治療中のため。(同文、36 件)
- ・ 身体的な障害や歩行困難のため。(同文、32 件)
- ・ 高齢や体力不足のため。(同文、14 件)
- ・ 認知症のため。(同文、2 件)
- ・ 人付き合いや対人関係が苦手なため。(同文、21 件)
- ・ 精神的な病気や不調のため。(同文、10 件)
- ・ 人と関わることに不安がある、または一人でいることを好むため。(同文、12 件)
- ・ 真っ当に人生を送る人の姿を見るのがつらい。
- ・ どのような活動があるか、参加方法がわからないため。(同文、42 件)
- ・ 機会やきっかけ、誘いがないため。(同文、17 件)
- ・ 施設に入所しているため。(同文、25 件)
- ・ 家族の介護や育児、仕事で時間がないため。(同文、7 件)
- ・ 引っ越したばかりで地域に慣れていないため。(同文、3 件)
- ・ 入居者に外国人が多く、コミュニケーションが取れない。
- ・ 言葉がわからないため。(同文、4 件)
- ・ DV からの避難のため、外部との関わりを最小限にしている。
- ・ 現在、江戸川区(またはその地域)に住んでいないため。(同文、2 件)
- ・ 近所付き合いでのトラブルや、差別を懸念しているため。(同文、6 件)
- ・ 同世代の人がいない、または話が合わないため。(同文、1 件)
- ・ 生活保護を受給していることを知られたくないため。(同文、3 件)
- ・ リズムの係の方に無料の土曜日の再開を何回もお願いしたが、かなわなかった。
- ・ 習いたいものに年齢の決まりがある。
- ・ 特に理由はない。(同文、4 件)
- ・ 役割を果たせない。
- ・ 自由でありたいから。
- ・ デイサービスを利用しているため。(同文、3 件)
- ・ 自治会役員を3月までやっていました。
- ・ 自分で読書、漢字、英語、絵、調べ物、ウォーキング等している。
- ・ 別の地域で友人とテニスをしている。
- ・ 友人が日本語を教えてくれる。
- ・ 個人的にプールで泳いだり、筋トレしたり趣味があるので。
- ・ 子供の学校のPTAのソフトボールに40年ほど前に入部し、今も仲間とキャッチボールに行っている。

(9) 「きっかけ次第で地域活動に参加したいかの意向」と「年代」による集計

全体では「あまり思わない」が34.0%、「思わない」が36.5%と、合わせて7割以上であった。年代別にみると、19～39歳では「思う」が11.8%、「まあ思う」が23.6%となっている、一方、75歳以上では「思わない」が39.4%となっている。

【図表2-(9)】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと思いますか。

【年代】

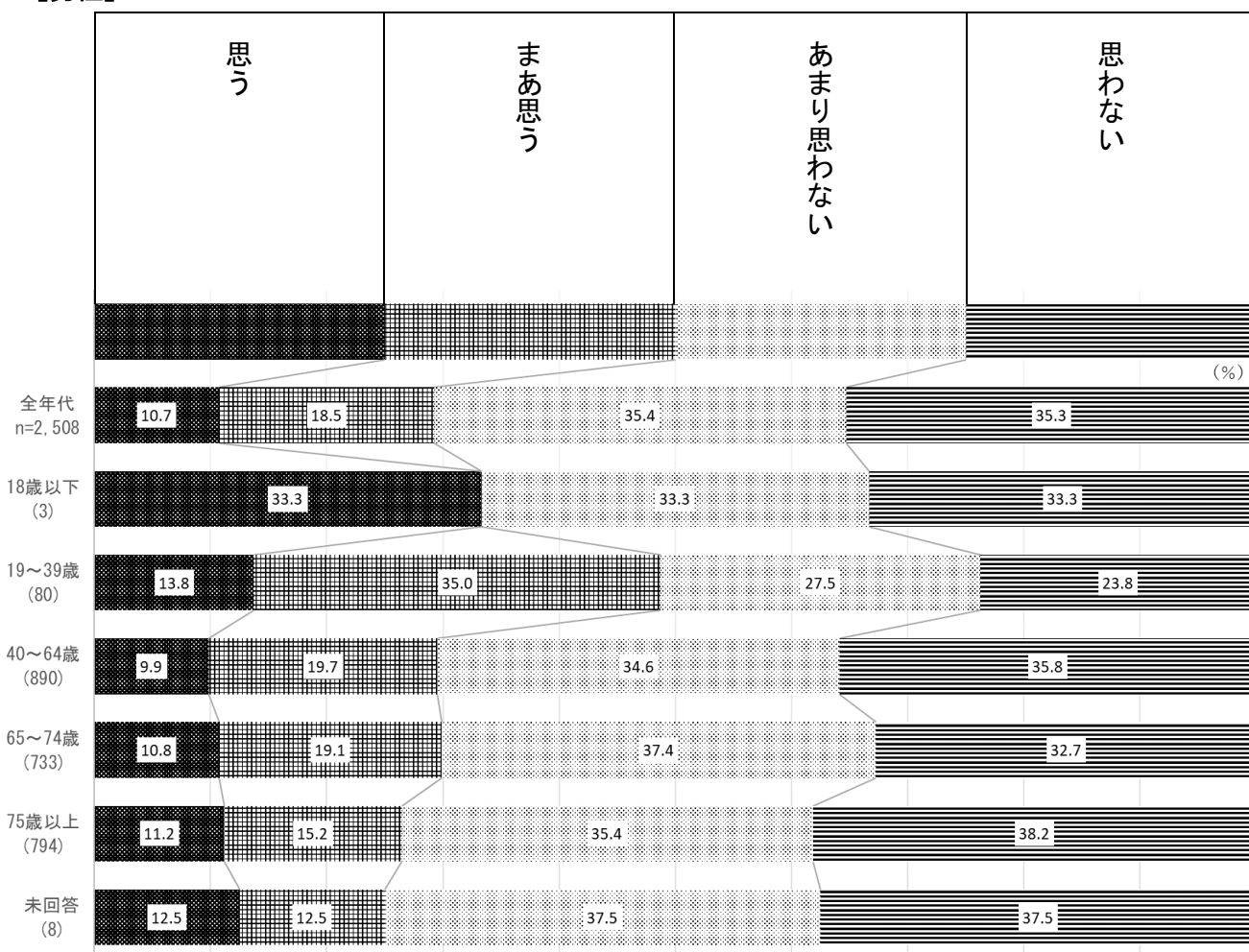


(9)① 「きっかけ次第で地域活動に参加したいかの意向」と「性別」による集計

男女ともに「あまり思わない」「思わない」が合わせて70.0%を上回っている。男性では19～39歳で「思う」13.8%「まあ思う」が35.0%であり、他の年代では「あまり思わない」「思わない」という意見が多い。75歳以上では「思わない」が38.2%となっている。女性では40～64歳で「思う」9.9%「まあ思う」が22.9%となっている。65～74歳では「思わない」が37.6%となっている。

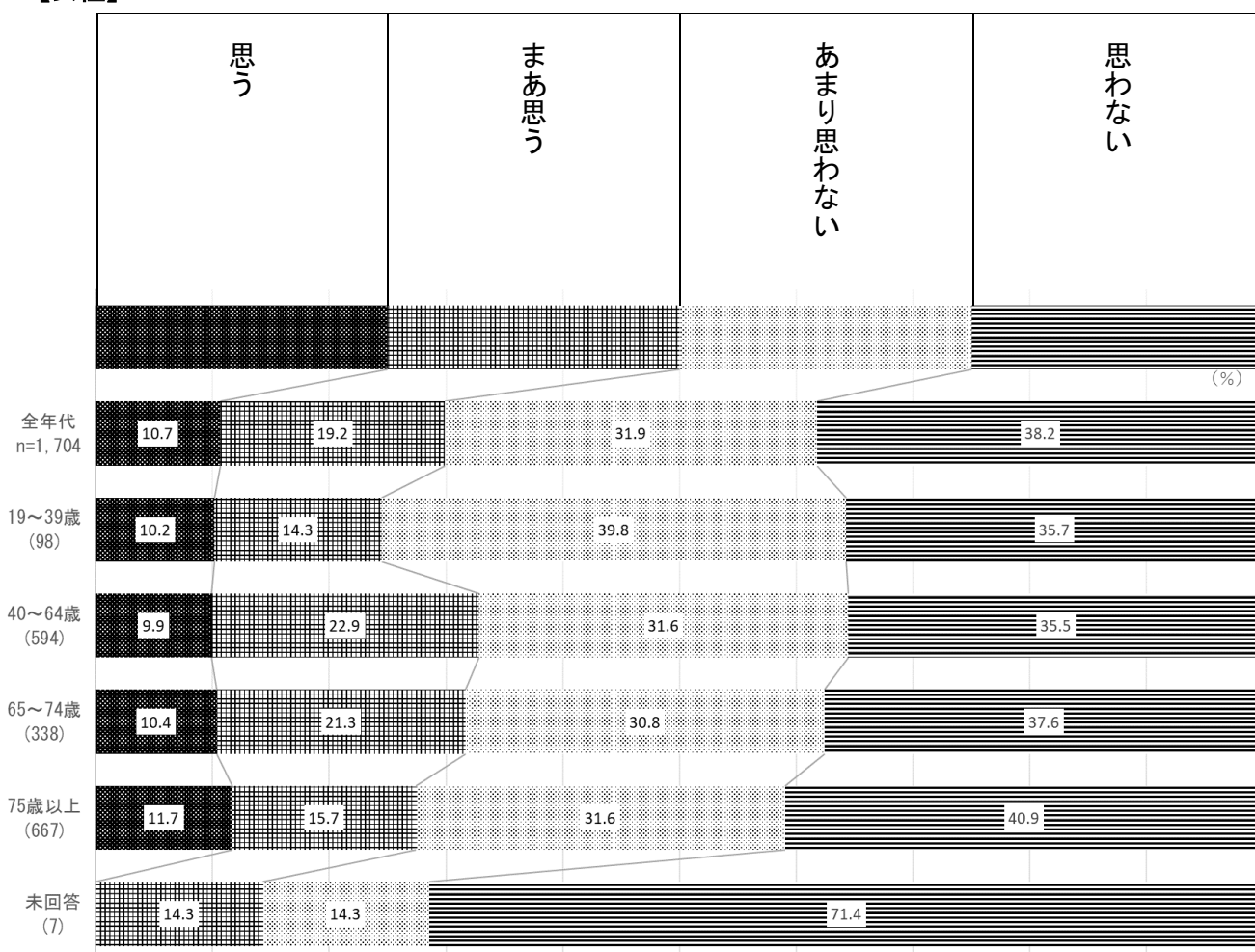
【図表2-(9)①ア】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと
 思いますか。

【男性】



【図表 2-(9)①イ】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと
 思いますか。

【女性】



(9)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問27問25で「13」(参加していない)と答えた方にお尋ねします。きっかけがあれば参加したいと思いますか。】

「思う」が10.2%、「まあ思う」が34.2%で、『思う』(「思う」+「まあ思う」)は44.4%となっている。一方、『思わない』(「思わない」+「あまり思わない」)は53.6%となっている。

【性・年齢別】

『思う』は女性(47.8%)が男性(40.1%)に比べて7.7ポイント高くなっている。

男性において、『思う』は50～59歳(47.8%)が5割近くと最も高くなっている。一方、『思わない』は30～39歳(65.5%)、65～69歳(64.5%)、70～74歳(65.4%)が6割台半ばとなっている。女性において、『思う』は20～29歳(55.2%)、50～59歳(54.7%)、60～64歳(55.3%)が5割台半ばと最も高くなっている。一方、『思わない』は75歳以上(72.4%)が7割強となっている。

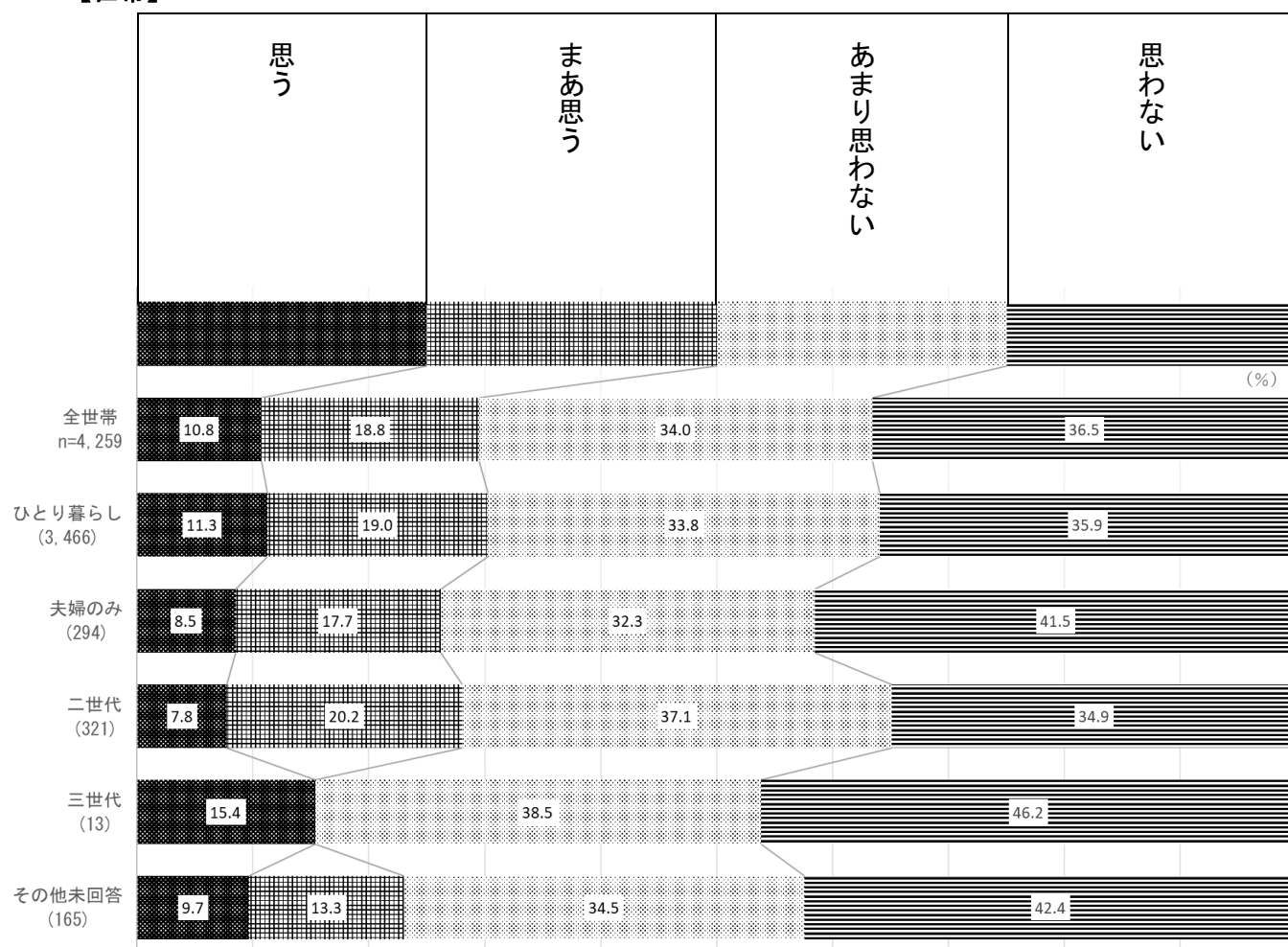
生活保護利用者アンケートでは、全体で「あまり思わない」が34.0%、「思わない」が36.5%であり、男性は「あまり思わない」35.4%「思わない」35.3%、女性は「あまり思わない」31.9%、「思わない」38.2%となっている。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「思う」が10.2%、「まあ思う」が34.2%で、『思う』(「思う」+「まあ思う」)が女性47.8%、男性40.1%となっている。生活保護利用者アンケートでは男性19～39歳で「参加したいと思う」13.8%「まあ思う」35.0%、女性40～64歳で「参加したいと思う」9.9%「まあ思う」22.9%となっている。第38回江戸川区民世論調査では『思う』が女性20～29歳55.2%、50～59歳54.7%、60～64歳で55.3%となっている。

(9)③ 「きっかけ次第で地域活動に参加したいかの意向」と「世帯」による集計

全体では「思わない」が36.5%、「あまり思わない」が34.0%となっている。「ひとり暮らし」世帯は全体と傾向が近いが、「夫婦のみ」世帯では「思わない」が41.5%とやや高い。「二世帯」世帯では「思う」が7.8%と低い傾向が見られる。

【図表2-(9)③】 問：《(7)で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと思いますか。

【世帯】

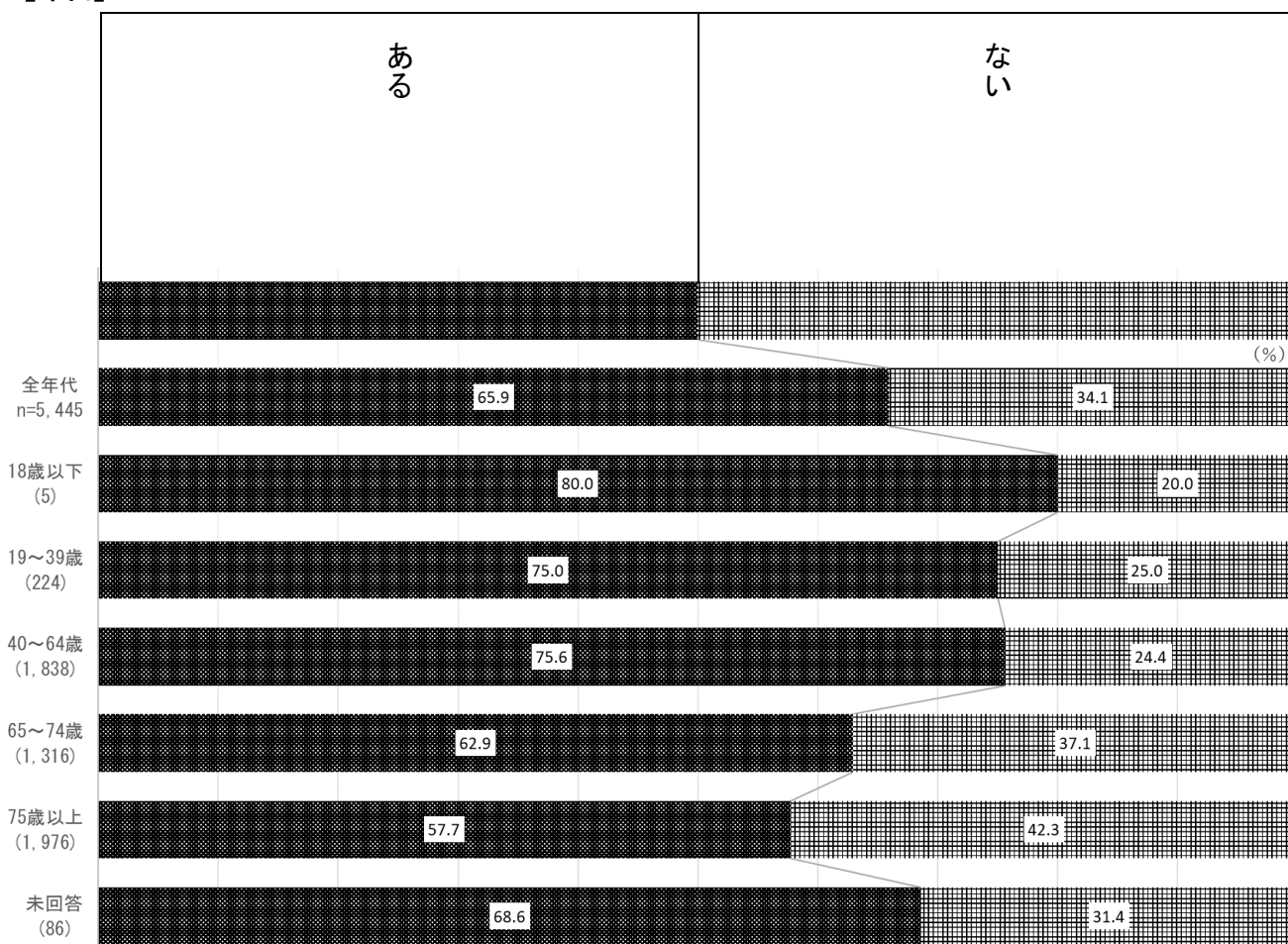


(10) 「日常生活の困りごとや悩みの有無」と「年代」による集計

全体では「ある」が 65.9%、「ない」が 34.1%となっている。年代別にみると、40～64 歳で 75.6%と高く、次いで 19～39 歳で 75.0%であった。一方、75 歳以上では「ない」が 42.3%と高く、65～74 歳でも 37.1%が「ない」と回答した。

【図表 2－(10)】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【年代】

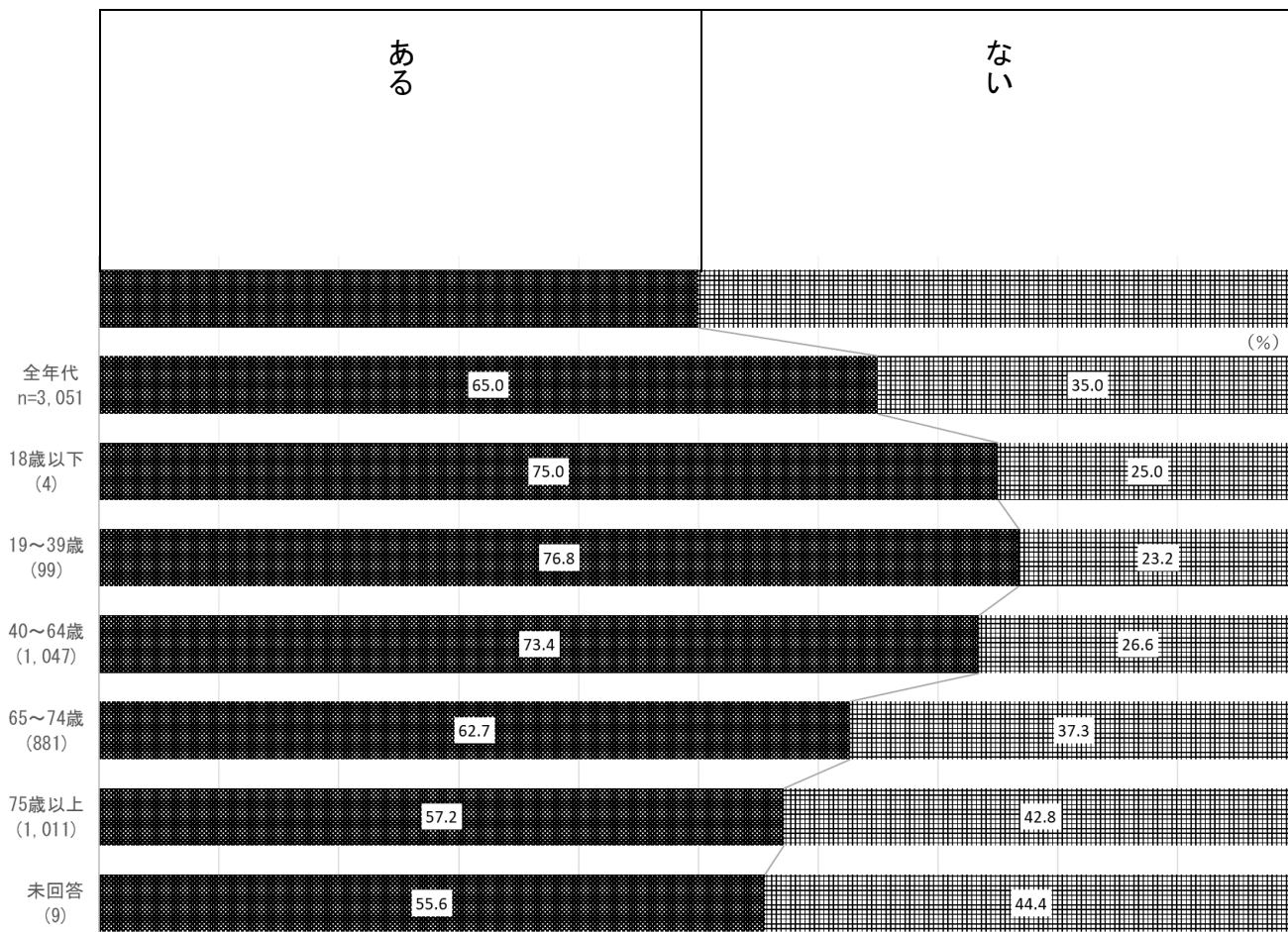


(10)① 「日常生活の困りごとや悩みの有無」と「性別」による集計

男性では「ある」は19～39歳が76.8%、40～64歳が73.4%と高く、女性でも19～39歳が73.6%、40～64歳が78.5%と高い。男女ともに年齢が上がるにつれて「ある」と回答する割合は減少し、男性75歳以上で57.2%、女性75歳以上で58.3%となっている。

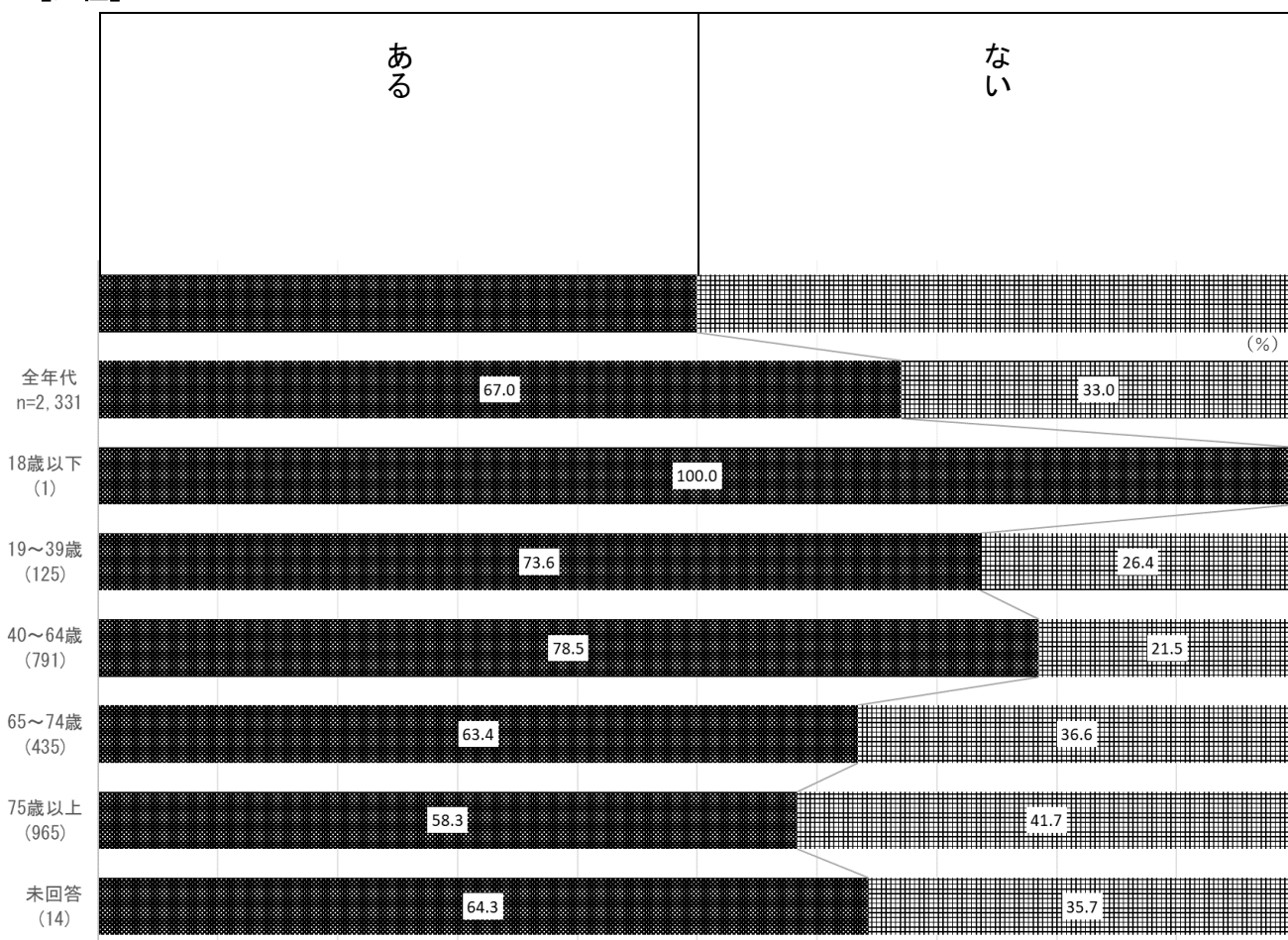
【図表2－(10)①ア】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【男性】



【図表 2－(10)①イ】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【女性】



(10)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問30 現在、あなたは日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。】

日常生活の中での困りごとや悩みは、「ある」(43.9%)が4割強、「ない」(52.0%)は5割強となっている。

【性・年齢別】

男性において、「ある」は40～49歳(51.4%)が5割強と高くなっている。「ない」は65～69歳(61.1%)、70～74歳(62.5%)が6割強と高くなっている。女性において、「ある」は30～39歳(54.5%)が5割台半ばと高くなっている。「ない」は75歳以上(59.0%)が6割弱と高くなっている。

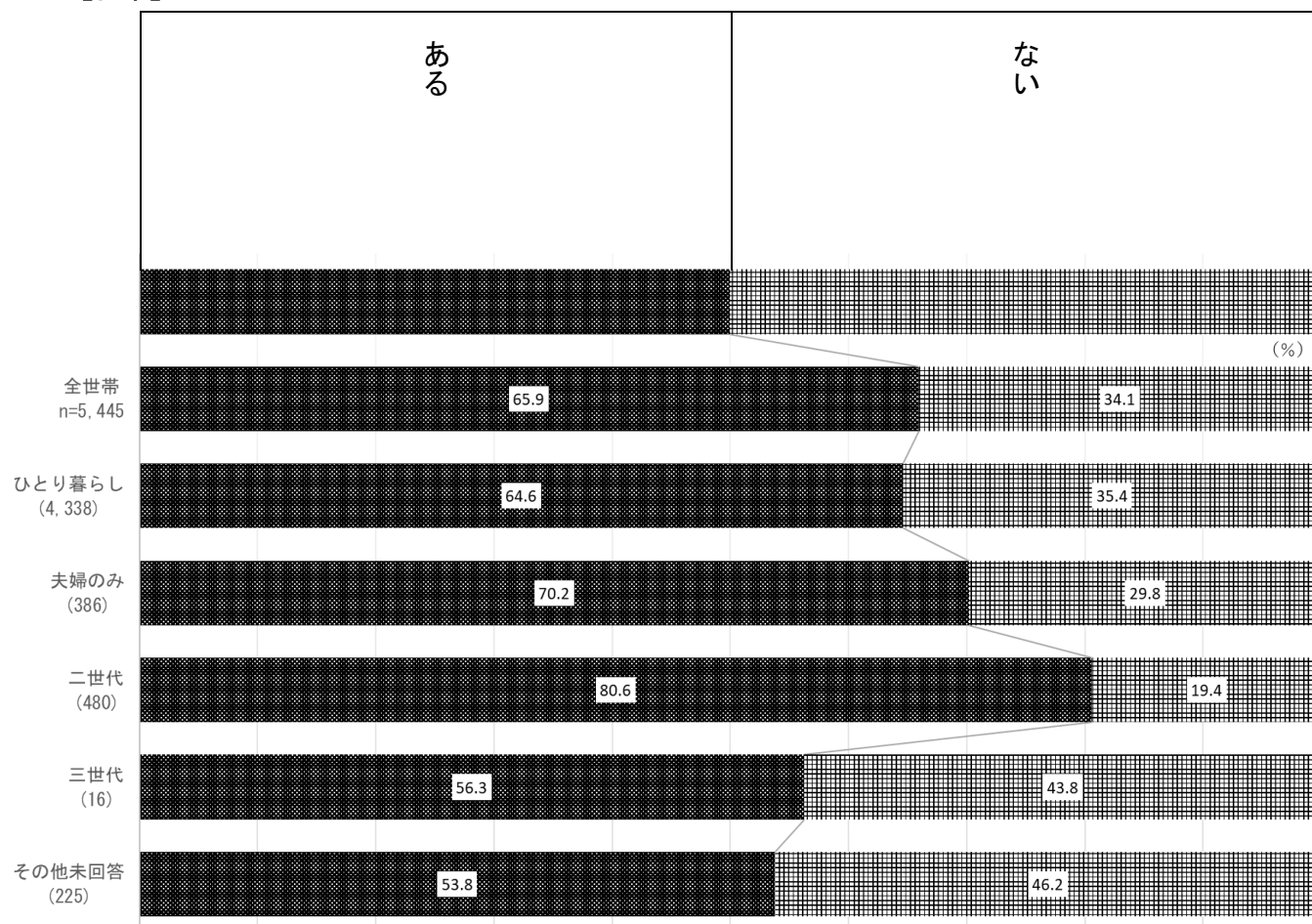
生活保護利用者アンケートでは全体で65.9%、男性19～39歳76.8%、女性40～64歳78.5%で「ある」と回答した割合が高い。第38回江戸川区民世論調査では「ある」は全体で43.9%、男性40～49歳51.4%、女性30～39歳54.5%となっている。生活保護利用者アンケートの方が全体的に高い割合となっている。また生活保護利用者アンケートでは男性75歳以上42.8%、第38回江戸川区民世論調査では女性75歳以上で59.0%が「ない」と回答している。

(10)③ 「日常生活の困りごとや悩みの有無」と「世帯」による集計

全体では「ある」が 65.9%となっている。特に「二世帯」世帯では「ある」が 80.6%と高い。
次いで「夫婦のみ」世帯でも「ある」が 70.2%となっている。

【図表 2－(10)③】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【世帯】



(11) 「困りごとや悩みの内容」と「年代」による集計(複数回答)

全体では「健康のこと」が 65.3%、「経済的なこと」が 61.7%となっている。年代別にみると、19～39 歳では「経済的なこと」70.8%、「仕事に関すること」50.0%、「住まいや生活環境」41.1%となっている。40～64 歳でも「経済的なこと」67.0%、「健康のこと」69.2%であり、40 歳以上では「健康のこと」が 6 割台であり、「仕事に関すること」や「住まいや生活環境」の割合は高齢になるほど減少している。

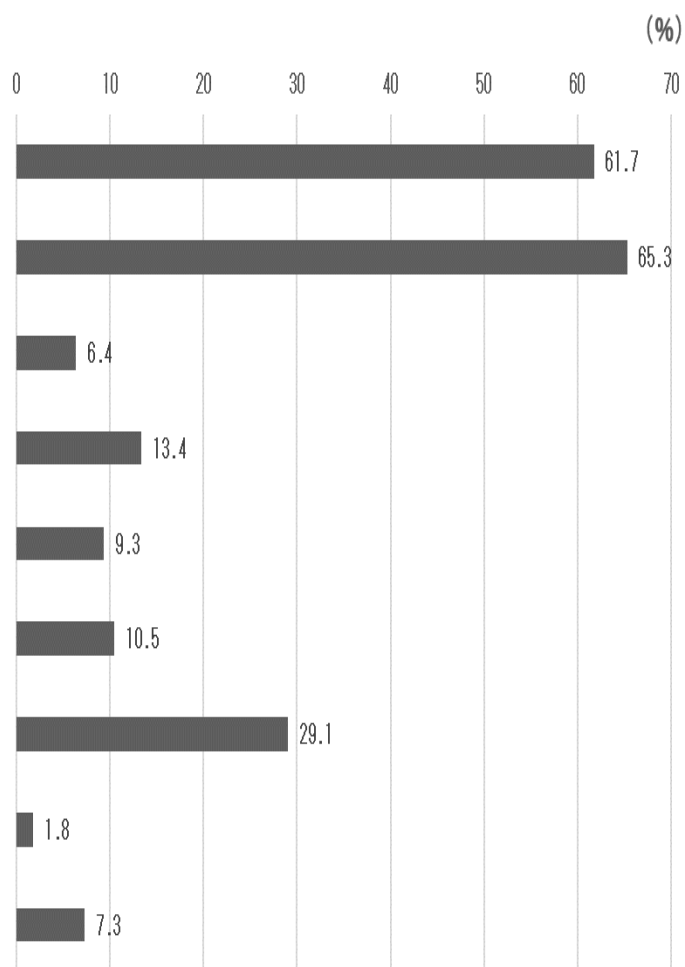
【表 2－(11)】 問：《(11)で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【年代】	18 歳以下 (4)	19～39 歳 (168)	40～64 歳 (1, 385)	65～74 歳 (826)	75 歳以上 (1, 117)	未回答 (55)	全年代 n=3, 555
経済的なこと	1 25.0%	119 70.8%	928 67.0%	495 59.9%	617 55.2%	35 63.6%	2, 195 61.7%
健康のこと	1 25.0%	105 62.5%	958 69.2%	512 62.0%	717 64.2%	28 50.9%	2, 321 65.3%
子育て・介護のこと		25 14.9%	136 9.8%	16 1.9%	44 3.9%	6 10.9%	227 6.4%
仕事に関すること		84 50.0%	310 22.4%	61 7.4%	13 1.2%	7 12.7%	475 13.4%
家族との人間関係		26 15.5%	189 13.6%	47 5.7%	63 5.6%	7 12.7%	332 9.3%
家族以外との人間関係	1 25.0%	41 24.4%	227 16.4%	47 5.7%	52 4.7%	5 9.1%	373 10.5%
住まいや生活環境	2 50.0%	69 41.1%	506 36.5%	225 27.2%	217 19.4%	14 25.5%	1, 033 29.1%
特にない			12 0.9%	18 2.2%	31 2.8%	3 5.5%	64 1.8%
その他	1 25.0%	11 6.5%	104 7.5%	57 6.9%	81 7.3%	6 10.9%	260 7.3%
回答数計	6	480	3, 370	1, 478	1, 835	111	7, 280

【図表 2－(11)単純集計】 問：《(11)で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=3,555	割合
1	経済的なこと	2,195	61.7%
2	健康のこと	2,321	65.3%
3	子育て・介護のこと	227	6.4%
4	仕事に関すること	475	13.4%
5	家族との人間関係	332	9.3%
6	家族以外との人間関係	373	10.5%
7	住まいや生活環境	1,033	29.1%
8	特にない	64	1.8%
9	その他	260	7.3%
回答数計		7,280	



(11)① 「困りごとや悩みの内容」と「性別」による集計(複数回答)

男女ともに「経済的なこと」と「健康のこと」がそれぞれ60%を超えている。年代別では、男性19～39歳では「経済的なこと」68.4%、「健康のこと」57.9%となっている。女性19～39歳では「経済的なこと」72.8%、「健康のこと」66.3%、「子育て・介護のこと」21.7%となっている。

【表2-(11)①ア】 問：《(11)で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

【男性】	18歳以下 (3)	19～39歳 (76)	40～64歳 (765)	65～74歳 (551)	75歳以上 (569)	未回答 (5)	全年代 n=1,969
経済的なこと	1 33.3%	52 68.4%	503 65.8%	331 60.1%	320 56.2%	3 60.0%	1,210 61.5%
健康のこと	1 33.3%	44 57.9%	526 68.8%	341 61.9%	358 62.9%	2 40.0%	1,272 64.6%
子育て・介護のこと		5 6.6%	35 4.6%	10 1.8%	22 3.9%		72 3.7%
仕事に関すること		39 51.3%	181 23.7%	40 7.3%	6 1.1%		266 13.5%
家族との人間関係		9 11.8%	77 10.1%	23 4.2%	22 3.9%		131 6.7%
家族以外との人間関係		15 19.7%	103 13.5%	25 4.5%	23 4.0%		166 8.4%
住まいや生活環境	1 33.3%	34 44.7%	267 34.9%	145 26.3%	99 17.4%	1 20.0%	547 27.8%
特にない			9 1.2%	14 2.5%	19 3.3%		42 2.1%
その他	1 33.3%	8 10.5%	55 7.2%	32 5.8%	41 7.2%	1 20.0%	138 7.0%
回答数計	4	206	1,756	961	910	7	3,844

【表 2－(11)①イ】 問：《(11)で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(○はいくつでも)

【女性】	18 歳以下 (1)	19～39 歳 (92)	40～64 歳 (620)	65～74 歳 (275)	75 歳以上 (548)	未回答 (8)	全年代 n=1,544
経済的なこと		67 72.8%	425 68.5%	164 59.6%	297 54.2%	5 62.5%	958 62.0%
健康のこと		61 66.3%	432 69.7%	171 62.2%	359 65.5%	4 50.0%	1,027 66.5%
子育て・介護のこと		20 21.7%	101 16.3%	6 2.2%	22 4.0%	1 12.5%	150 9.7%
仕事に関すること		45 48.9%	129 20.8%	21 7.6%	7 1.3%	1 12.5%	203 13.1%
家族との人間関係		17 18.5%	112 18.1%	24 8.7%	41 7.5%	2 25.0%	196 12.7%
家族以外との人間関係	1 100.0%	26 28.3%	124 20.0%	22 8.0%	29 5.3%	1 12.5%	203 13.1%
住まいや生活環境		35 38.0%	239 38.5%	80 29.1%	118 21.5%	1 12.5%	473 30.6%
特にない			3 0.5%	4 1.5%	12 2.2%		19 1.2%
その他		3 3.3%	49 7.9%	25 9.1%	40 7.3%	1 12.5%	118 7.6%
回答数計	1	274	1,614	517	925	16	3,347

(11)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問31 問30で「1」(ある)と答えた方にお尋ねします。

あなたの困りごとや悩みはどのようなことですか。(〇はいくつでも)】

「経済的なこと」(55.4%)が5割台半ばと最も高くなっている。次いで「健康のこと」(43.5%)、「住まいや生活環境」(33.6%)、「子育て・介護のこと」(28.1%)となっている。

【性・年齢別】

「経済的なこと」は男性(58.7%)が女性(52.6%)に比べて6.1ポイント高く、「子育て・介護のこと」は女性(30.1%)が男性(26.1%)に比べて4.0ポイント高くなっている。「経済的なこと」は女性20～29歳(78.8%)が8割近くと高くなっている。「健康のこと」は女性75歳以上(73.7%)が7割強と高くなっている。

生活保護利用者アンケートでは、全体で「健康のこと」が65.3%、「経済的なこと」が61.7%となっている。男女ともに「経済的なこと」「健康のこと」がそれぞれ60%を超えている。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「経済的なこと」が55.4%であり、男女別では男性58.7%、女性52.6%で6.1ポイント差がある。生活保護利用者アンケートでは女性19～39歳の「経済的なこと」72.8%に対し、第38回江戸川区民世論調査では女性20～29歳78.8%となっている。「子育て・介護のこと」は第38回江戸川区民世論調査で女性30.1%、男性26.1%となり、生活保護利用者アンケートで女性9.7%、男性3.7%となっている。

(11)③ 「困りごとや悩みの内容」と「世帯」による集計(複数回答)

全体では「健康のこと」が65.3%、「経済的なこと」が61.7%と高い。世帯別にみると、「二世帯」世帯では「経済的なこと」が68.2%、「子育て・介護のこと」が32.3%となっている。また「ひとり暮らし」世帯では、「健康のこと」が66.1%と全世帯の中で平均より高い。

【表2-(11)③】 問：《(11)で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(○はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (2,772)	夫婦のみ (269)	二世帯 (387)	三世帯 (9)	その他 未回答 (118)	全世帯 n=3,555
経済的なこと	1,690 61.0%	170 63.2%	264 68.2%	5 55.6%	66 55.9%	2,195 61.7%
健康のこと	1,831 66.1%	166 61.7%	259 66.9%	3 33.3%	62 52.5%	2,321 65.3%
子育て・介護のこと	64 2.3%	24 8.9%	125 32.3%	2 22.2%	12 10.2%	227 6.4%
仕事に関すること	359 13.0%	17 6.3%	76 19.6%	3 33.3%	20 16.9%	475 13.4%
家族との人間関係	214 7.7%	20 7.4%	81 20.9%	2 22.2%	15 12.7%	332 9.3%
家族以外との人間関係	275 9.9%	18 6.7%	53 13.7%	4 44.4%	23 19.5%	373 10.5%
住まいや生活環境	828 29.9%	59 21.9%	114 29.5%	4 44.4%	28 23.7%	1,033 29.1%
特にない	55 2.0%	4 1.5%	2 0.5%		3 2.5%	64 1.8%
その他	219 7.9%	10 3.7%	21 5.4%	1 11.1%	9 7.6%	260 7.3%
回答数計	5,535	488	995	24	238	7,280

<「困りごとや悩みの内容」についてその他の回答>

- ・ 病気や身体の不自由さ、体調不良に関する悩み。(同文、25 件)
- ・ 加齢による身体能力の低下や、それに伴う生活の困難。(同文、3 件)
- ・ 目がぼやける、認知症の進行、物忘れなど、特定の症状に関する悩み。(同文、4 件)
- ・ 食事制限があるため、365 日自炊している。
- ・ 在宅酸素療法で外出が困難。
- ・ 突然呼吸困難になることがある。
- ・ がんで声帯を摘出し、話すことができない。
- ・ 物価高騰により、食費や光熱費、生活費全般が苦しい。(同文、19 件)
- ・ 年金や保護費が減額されたことへの不満や、将来の減額への不安。(同文、4 件)
- ・ 家電の故障や粗大ごみの処分など、臨時的な出費に対応できない。(同文、2 件)
- ・ 借金がある。
- ・ 子供の大学費用や、自分の老後のための支払い(年金、介護保険)ができていない。
- ・ 夏の冷房手当も出してほしい。
- ・ 隣人や上階の騒音に悩まされている。(同文、10 件)
- ・ 隣人からの嫌がらせや、ストーカー行為に悩んでいる。(同文、5 件)
- ・ 住宅に風呂がなく、入浴に困難を感じている。(同文、3 件)
- ・ 建物の老朽化や、雨戸がないことによる防犯面での不安。(同文、2 件)
- ・ 引っ越しをしたいが、生活保護では物件が見つかりにくい。(同文、1 件)
- ・ 駅に近く便利だが、酔っ払いが多い。
- ・ プロパンガスのためガス代が高すぎる。
- ・ 孤独や人間関係の悩み。
- ・ 家族や友人がおらず、困った時に頼れる人がいない。(同文、7 件)
- ・ 一人暮らしのため、孤独感や将来への不安がある。(同文、2 件)
- ・ 人と関わることが苦手、または人と話す機会がない。(同文、5 件)
- ・ グループホームや作業所での人間関係に悩んでいる。
- ・ 将来や老後の生活、健康に対して漠然とした不安がある。(同文、12 件)
- ・ 終活について、どうすればよいかわからない。(同文、5 件)
- ・ 自分が死亡した後の手続きや、納骨について心配している。(同文、2 件)
- ・ 将来への希望が見いだせない。(同文、1 件)
- ・ 行政の対応や、ケースワーカーに相談しにくいと感じている。(同文、3 件)
- ・ 生活保護者への差別や、不動産屋による貧困ビジネスに苦しんでいる。
- ・ 移動手段として、せめて原付を使わせてほしい。
- ・ バス路線が廃止になり、通院が困難になった。
- ・ 保護費の減額決定の理由を知りたい。
- ・ 生活保護だと家賃の上限が低いため、上げてほしい。
- ・ 身体的な理由で、掃除やゴミ出し、高所の作業が困難。(同文、8 件)
- ・ 一人で買い物に行くのが難しい、または店の場所が遠い。(同文、3 件)
- ・ 事務的な手続きや、書類の意味を理解するのが難しい。(同文、2 件)
- ・ 通院や区役所へ直接行くよう言われるが、身体的に辛い。

<「困りごとや悩みの内容」についてその他の回答>

- ・ 不審な目で見られたり、差別を受けたりした経験からくるトラウマや苦痛。(同文、2 件)
- ・ 精神疾患(うつ病、統合失調症など)による感情の不安定さや生きづらさを感じている。(同文 5 件)
- ・ 死にたい、生きていて申し訳ないと感じることがある。(同文、1 件)
- ・ ASD(自閉スペクトラム症)や ADHD など、発達障害による困難。
- ・ 家族(子供、夫、親など)の引きこもりや病気、介護に関する悩み。(同文、8 件)
- ・ 特定の個人や団体からの付きまといや嫌がらせを受けている。(同文、3 件)
- ・ 仕事が続かない、または就職活動に関する悩み。(同文、2 件)
- ・ 相続に関する悩み。(同文、2 件)
- ・ ペットのこと。
- ・ 性のこと。

(12) 「困りごとや悩みの相談相手」と「年代」による集計(複数回答)

全体では「行政(ケースワーカーを含む)や民間等の相談機関」が 26.8%、「病院・診療所の医師」が 26.5%と専門機関への相談が上位であった。年代別にみると、19～39 歳では「病院・診療所の医師」が 33.7%、「友人・知人」が 29.5%と高い。40～64 歳では「行政(ケースワーカーを含む)や民間等の相談機関」30.1%、「病院・診療所の医師」32.8%となっている。高齢層では「家族・親戚」が 75 歳以上で 23.7%と高い。また、「相談する人はいない」も全年代で 2 割前後いる。

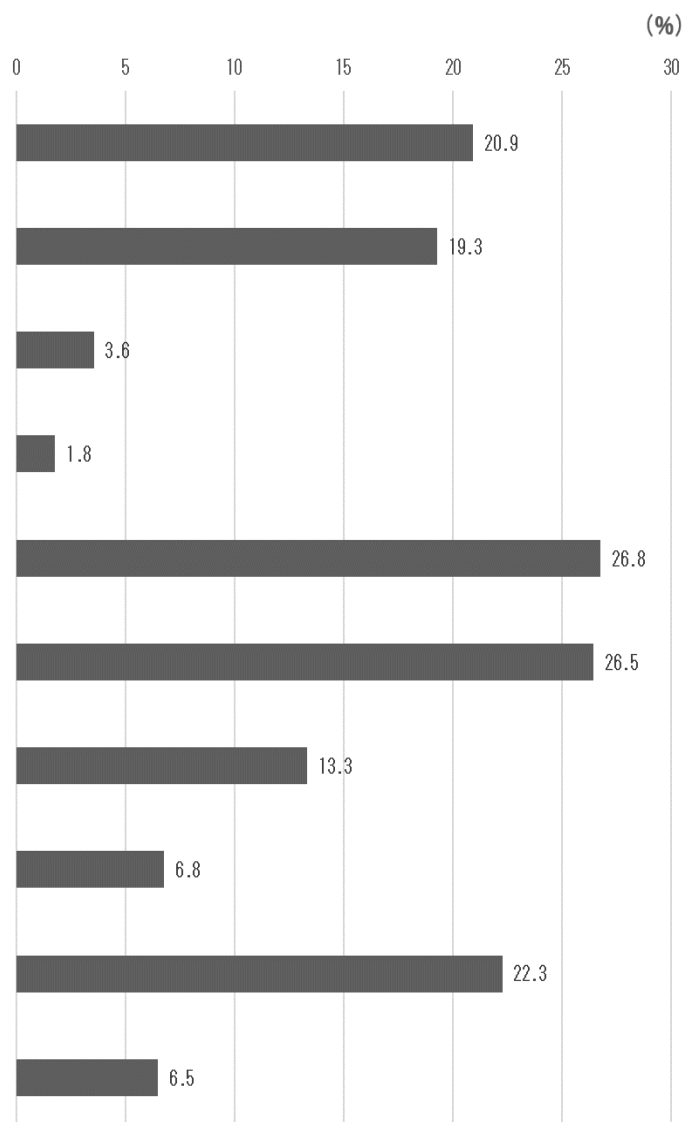
【表 2－(12)】 問：《(10)で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(○はいくつでも)

【年代】	18 歳以下 (3)	19～39 歳 (166)	40～64 歳 (1, 365)	65～74 歳 (800)	75 歳以上 (1, 074)	未回答 (55)	全年代 n=3, 463
家族・親戚	1 33.3%	48 28.9%	283 20.7%	126 15.8%	255 23.7%	12 21.8%	725 20.9%
友人・知人		49 29.5%	290 21.2%	138 17.3%	181 16.9%	10 18.2%	668 19.3%
近隣の住民		2 1.2%	49 3.6%	22 2.8%	49 4.6%	1 1.8%	123 3.6%
職場関係者		7 4.2%	39 2.9%	10 1.3%	4 0.4%	1 1.8%	61 1.8%
行政や民間等の相談機関		48 28.9%	411 30.1%	190 23.8%	267 24.9%	11 20.0%	927 26.8%
病院・診療所の医師		56 33.7%	448 32.8%	160 20.0%	240 22.3%	12 21.8%	916 26.5%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいか わからない	1 33.3%	19 11.4%	164 12.0%	118 14.8%	151 14.1%	9 16.4%	462 13.3%
相談する必要はないので 誰にも相談してない	1 33.3%	6 3.6%	71 5.2%	65 8.1%	89 8.3%	3 5.5%	235 6.8%
相談する人はいない	1 33.3%	28 16.9%	341 25.0%	195 24.4%	193 18.0%	13 23.6%	771 22.3%
その他	1 33.3%	15 9.0%	87 6.4%	34 4.3%	83 7.7%	5 9.1%	225 6.5%
回答数計	5	278	2, 183	1, 058	1, 512	77	5, 113

【図表 2－(12)単純集計】 問：《(10)で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。
(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=3,463	割合
1	家族・親戚	725	20.9%
2	友人・知人	668	19.3%
3	近隣の住民	123	3.6%
4	職場関係者	61	1.8%
5	行政や民間等の相談機関	927	26.8%
6	病院・診療所の医師	916	26.5%
7	相談したいことはあるが どこに相談したらよいか わからない	462	13.3%
8	相談する必要はないので 誰にも相談してない	235	6.8%
9	相談する人はいない	771	22.3%
10	その他	225	6.5%
回答数計		5,113	



(12)① 「困りごとや悩みの相談相手」と「性別」による集計(複数回答)

男性は「行政(ケースワーカーを含む)や民間等の相談機関」27.7%、「病院・診療所の医師」26.0%を主な相談相手としている。女性は「家族・親戚」30.1%、「病院・診療所の医師」27.1%、「友人・知人」24.7%となっている。男性では「相談する人はいない」が25.6%と女性18.1%より高く、男女ともに「相談したいことはあるが、どこに相談したらよいかわからない」13.3%となっている。

【表2-(12)①ア】 問:《(10)で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

【男性】	18歳以下 (2)	19～39歳 (74)	40～64歳 (755)	65～74歳 (534)	75歳以上 (551)	未回答 (4)	全年代 n=1,920
家族・親戚		20 27.0%	116 15.4%	52 9.7%	78 14.2%	1 25.0%	267 13.9%
友人・知人		16 21.6%	136 18.0%	74 13.9%	63 11.4%		289 15.1%
近隣の住民		2 2.7%	28 3.7%	15 2.8%	21 3.8%		66 3.4%
職場関係者		2 2.7%	19 2.5%	8 1.5%	1 0.2%		30 1.6%
行政や民間等の相談機関		20 27.0%	229 30.3%	139 26.0%	143 26.0%	1 25.0%	532 27.7%
病院・診療所の医師		21 28.4%	239 31.7%	110 20.6%	130 23.6%		500 26.0%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいか わからない	1 50.0%	8 10.8%	82 10.9%	79 14.8%	85 15.4%		255 13.3%
相談する必要はないので 誰にも相談してない	1 50.0%	4 5.4%	42 5.6%	48 9.0%	57 10.3%		152 7.9%
相談する人はいない	1 50.0%	16 21.6%	207 27.4%	142 26.6%	123 22.3%	2 50.0%	491 25.6%
その他	1 50.0%	7 9.5%	39 5.2%	24 4.5%	35 6.4%	1 25.0%	107 5.6%
回答数計	4	116	1,137	691	736	5	2,689

【表 2－(12)①イ】 問：《(10)で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(○はいくつでも)

【女性】	18 歳以下 (1)	19～39 歳 (92)	40～64 歳 (610)	65～74 歳 (266)	75 歳以上 (523)	未回答 (8)	全年代 n=1, 500
家族・親戚	1 100. 0%	28 30. 4%	167 27. 4%	74 27. 8%	177 33. 8%	4 50. 0%	451 30. 1%
友人・知人		33 35. 9%	154 25. 2%	64 24. 1%	118 22. 6%	2 25. 0%	371 24. 7%
近隣の住民			21 3. 4%	7 2. 6%	28 5. 4%		56 3. 7%
職場関係者		5 5. 4%	20 3. 3%	2 0. 8%	3 0. 6%		30 2. 0%
行政や民間等の相談機関		28 30. 4%	182 29. 8%	51 19. 2%	124 23. 7%	2 25. 0%	387 25. 8%
病院・診療所の医師		35 38. 0%	209 34. 3%	50 18. 8%	110 21. 0%	2 25. 0%	406 27. 1%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいか わからない		11 12. 0%	82 13. 4%	39 14. 7%	66 12. 6%	1 12. 5%	199 13. 3%
相談する必要はないので 誰にも相談してない		2 2. 2%	29 4. 8%	17 6. 4%	32 6. 1%		80 5. 3%
相談する人はいない		12 13. 0%	134 22. 0%	53 19. 9%	70 13. 4%	3 37. 5%	272 18. 1%
その他		8 8. 7%	48 7. 9%	10 3. 8%	48 9. 2%		114 7. 6%
回答数計	1	162	1, 046	367	776	14	2, 366

(12)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問32 問30で「1」(ある)と答えた方にお尋ねします。

あなたは、困りごとや悩みを誰に相談していますか。(○はいくつでも)】

「家族・親戚」(53.9%)が5割強と最も高くなっている。次いで「友人・知人」(31.6%)、「病院・診療所の医師」(13.6%)、「職場関係者」(11.5%)となっている。一方、「相談する人はいない」(13.8%)は1割強となっている。

【性・年齢別】

「友人・知人」は女性(36.8%)が男性(24.6%)に比べて12.2ポイント高く、「家族・親戚」は女性(57.2%)が男性(49.5%)に比べて7.7ポイント高くなっている。「家族・親戚」は女性20～29歳(81.8%)が8割強と高くなっている。また、「友人・知人」は女性20～29歳(72.7%)が7割強と高くなっている。

生活保護利用者アンケートでは、全体で「行政や民間等の相談機関」が26.8%、「病院・診療所の医師」が26.5%であった。男女別では、男性が「行政や民間等の相談機関」27.7%、女性は「家族・親戚」30.1%であった。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「家族・親戚」53.9%となっている。また、男女別では「家族・親戚」が女性57.2%、男性49.5%で7.7ポイント差となっている。「友人・知人」は生活保護利用者アンケートで女性24.7%、第38回江戸川区民世論調査で女性36.8%となっている。生活保護利用者アンケートでは女性19～39歳で「家族・親戚」30.4%、「友人・知人」35.9%、第38回江戸川区民世論調査では女性20～29歳の「家族・親戚」81.8%、「友人・知人」72.7%であった。

(12)③ 「困りごとや悩みの相談相手」と「世帯」による集計(複数回答)

全体では「行政(ケースワーカーを含む)や民間等の相談機関」が26.8%、「病院・診療所の医師」が26.5%となっている。また「相談する人はいない」も22.3%と高い。世帯別では、「二世帯」世帯で「家族・親戚」が38.3%と高い。「夫婦のみ」世帯では「家族・親戚」が30.4%、「相談したいことはあるが、どこに相談したらよいかわからない」が17.5%。「ひとり暮らし」世帯では「相談する人はいない」が23.1%となっている。

【表2-(12)③】 問：《(10)で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (2,705)	夫婦のみ (257)	二世帯 (376)	三世帯 (9)	その他 未回答 (116)	全世帯 n=3,463
家族・親戚	490 18.1%	78 30.4%	144 38.3%	1 11.1%	12 10.3%	725 20.9%
友人・知人	531 19.6%	20 7.8%	91 24.2%	2 22.2%	24 20.7%	668 19.3%
近隣の住民	103 3.8%	7 2.7%	8 2.1%		5 4.3%	123 3.6%
職場関係者	42 1.6%	1 0.4%	10 2.7%		8 6.9%	61 1.8%
行政や民間等の相談機関	726 26.8%	64 24.9%	104 27.7%	2 22.2%	31 26.7%	927 26.8%
病院・診療所の医師	724 26.8%	68 26.5%	98 26.1%		26 22.4%	916 26.5%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいかわからない	351 13.0%	45 17.5%	45 12.0%	1 11.1%	20 17.2%	462 13.3%
相談する必要はないので 誰にも相談してない	199 7.4%	13 5.1%	16 4.3%	1 11.1%	6 5.2%	235 6.8%
相談する人は いない	625 23.1%	46 17.9%	76 20.2%	3 33.3%	21 18.1%	771 22.3%
その他	178 6.6%	11 4.3%	24 6.4%	1 11.1%	11 9.5%	225 6.5%
回答数計	3,969	353	616	11	164	5,113

＜「困りごとや悩みの相談相手」についてその他の回答＞

- ・ 施設やグループホームの職員に相談している。(同文、39 件)
- ・ 訪問看護師や看護師に相談している。(同文、20 件)
- ・ ケアマネジャーに相談している。(同文、18 件)
- ・ ヘルパーに相談している。(同文、9 件)
- ・ 医師や心療内科の先生に相談している。(同文、5 件)
- ・ 福祉事務所の担当者に相談している。(同文、5 件)
- ・ 相談支援専門員・保佐人
- ・ 障害者センターとカウンセリング
- ・ 訪問リハビリ
- ・ 後見人・健康サポートセンター
- ・ 在宅診療に変えたお陰で本音を話せる人が増えた。(月 2 回主治医、月 2 回看護師)保健所にも相談に行くようになった。
- ・ 子供や妹など、家族・親族に相談している。(同文、11 件)
- ・ 彼氏
- ・ 先輩たち
- ・ 警察に相談している。(同文、7 件)
- ・ ハローワーク
- ・ 区の相談窓口
- ・ 生活安全課
- ・ 自治会生活安全部
- ・ 学校の担任
- ・ 大家や不動産会社に相談している。(同文、8 件)
- ・ 弁護士に相談している。(同文、1 件)
- ・ 政治団体や議員に相談している。(同文、1 件)
- ・ 相談電話
- ・ NGO に登録している。
- ・ 元ケースワーカーの行政書士で生活保護専門 YouTuber
- ・ おそうじ代行さん
- ・ ChatGPT
- ・ ネット検索など、自分で調べている。

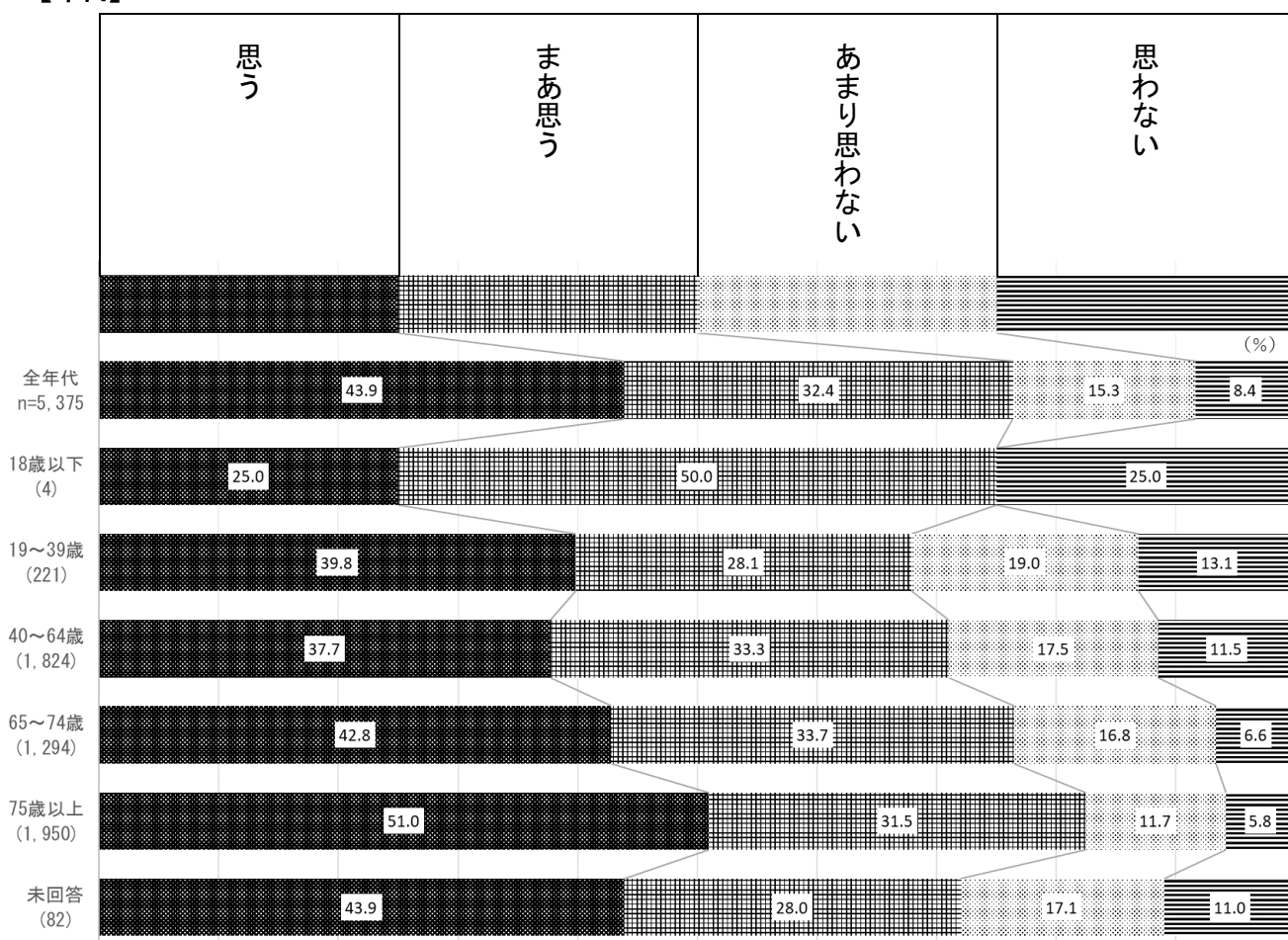
第3 福祉事務所とケースワーカーについて

(1) 「福祉事務所やケースワーカーに相談しやすいと思うか」と「年代」による集計

全体では、「思う」が43.9%、「まあ思う」が32.4%となっている。年代別にみると、19～39歳では「あまり思わない」が19.0%であり、「思わない」が13.1%、75歳以上では「思う」が51.0%と半数を超え、「思わない」は5.8%と低い。

【図表3-（1）】 問：福祉事務所(生活援護課)や担当のケースワーカーには相談しやすいと思いますか。

【年代】

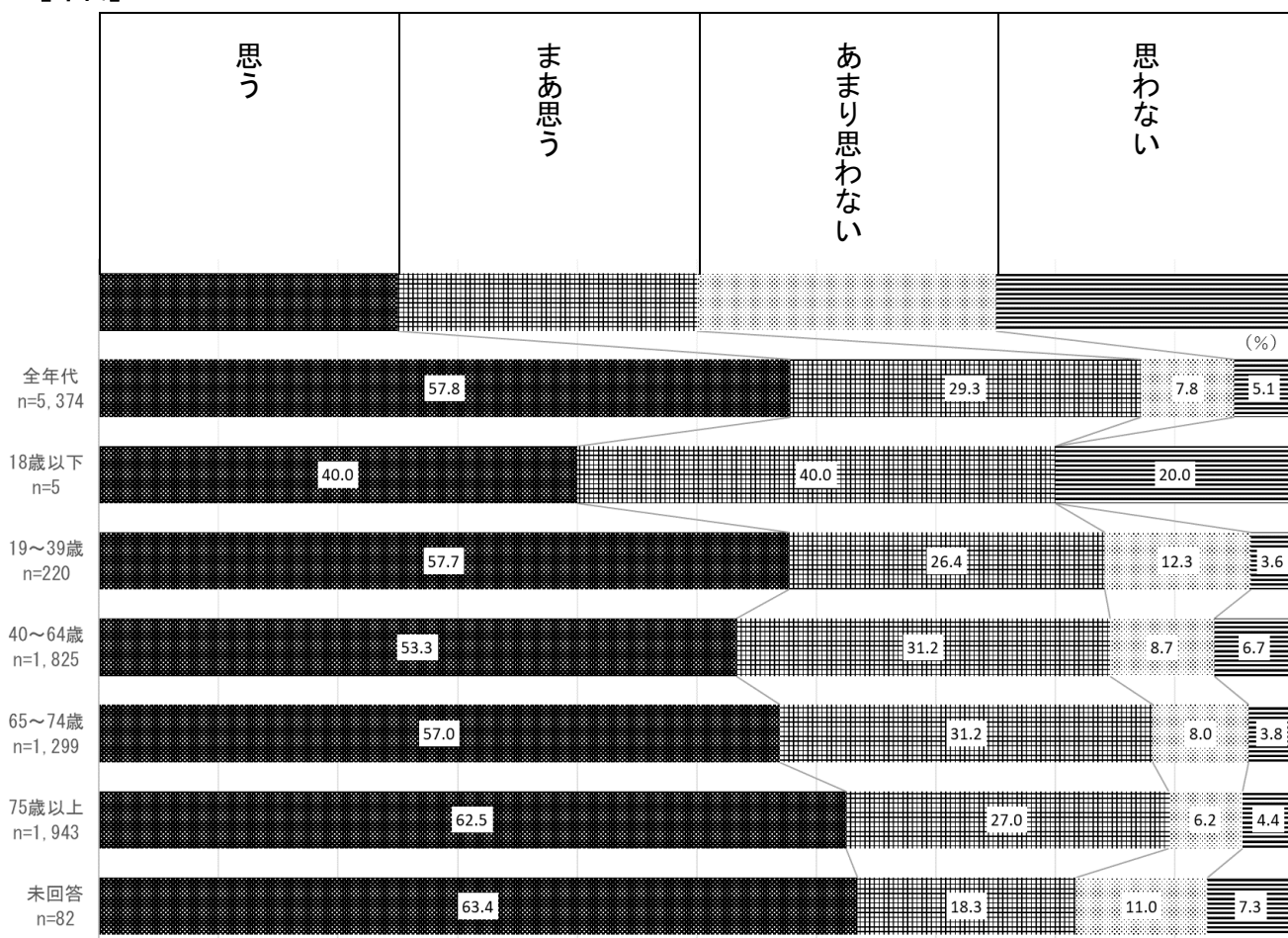


(2) 「ケースワーカーの態度や言葉遣いは適切だと思うか」と「年代」による集計

全体では「思う」が 57.8%、「まあ思う」が 29.3%となり、合わせて 87.1%がケースワーカーの態度や言葉遣いを適切だと感じている。年代別にみると、19～39 歳では「あまり思わない」が 12.3%、「思わない」が 3.6%となっている。75 歳以上では「思う」が 62.5%と高い。

【図表 3－(2)】 問：ケースワーカーの態度や言葉遣いは適切だと思いますか。

【年代】

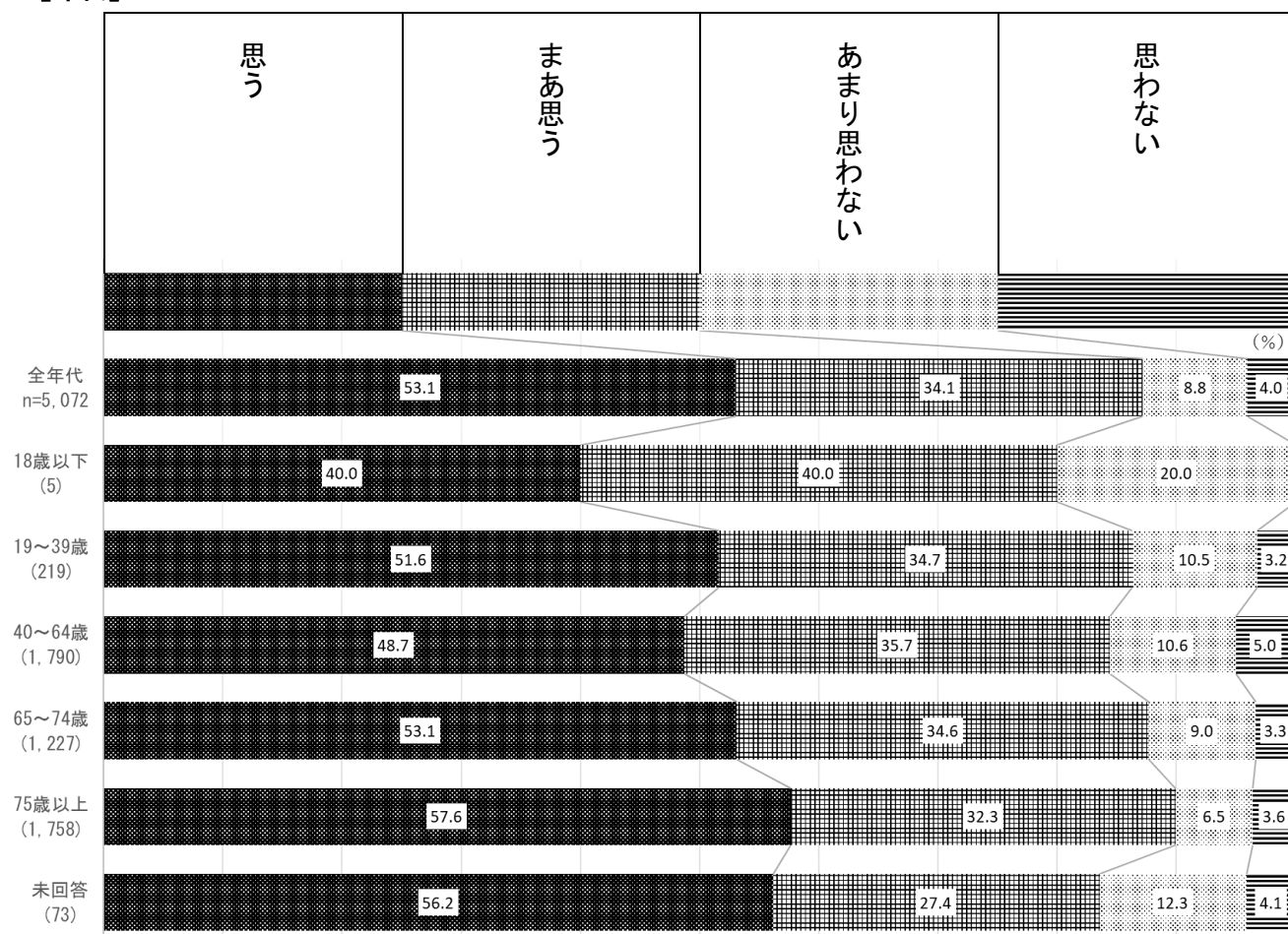


(3) 「ケースワーカーの説明はわかりやすいと思うか」と「年代」による集計

全体では、「思う」が53.1%、「まあ思う」が34.1%となっている。年代別にみると、75歳以上では「思う」が57.6%と高い。40～64歳では「あまり思わない」が10.6%、「思わない」が5.0%となっている。

【図表3－(3)】 問：ケースワーカーの説明はわかりやすいと思いますか。

【年代】

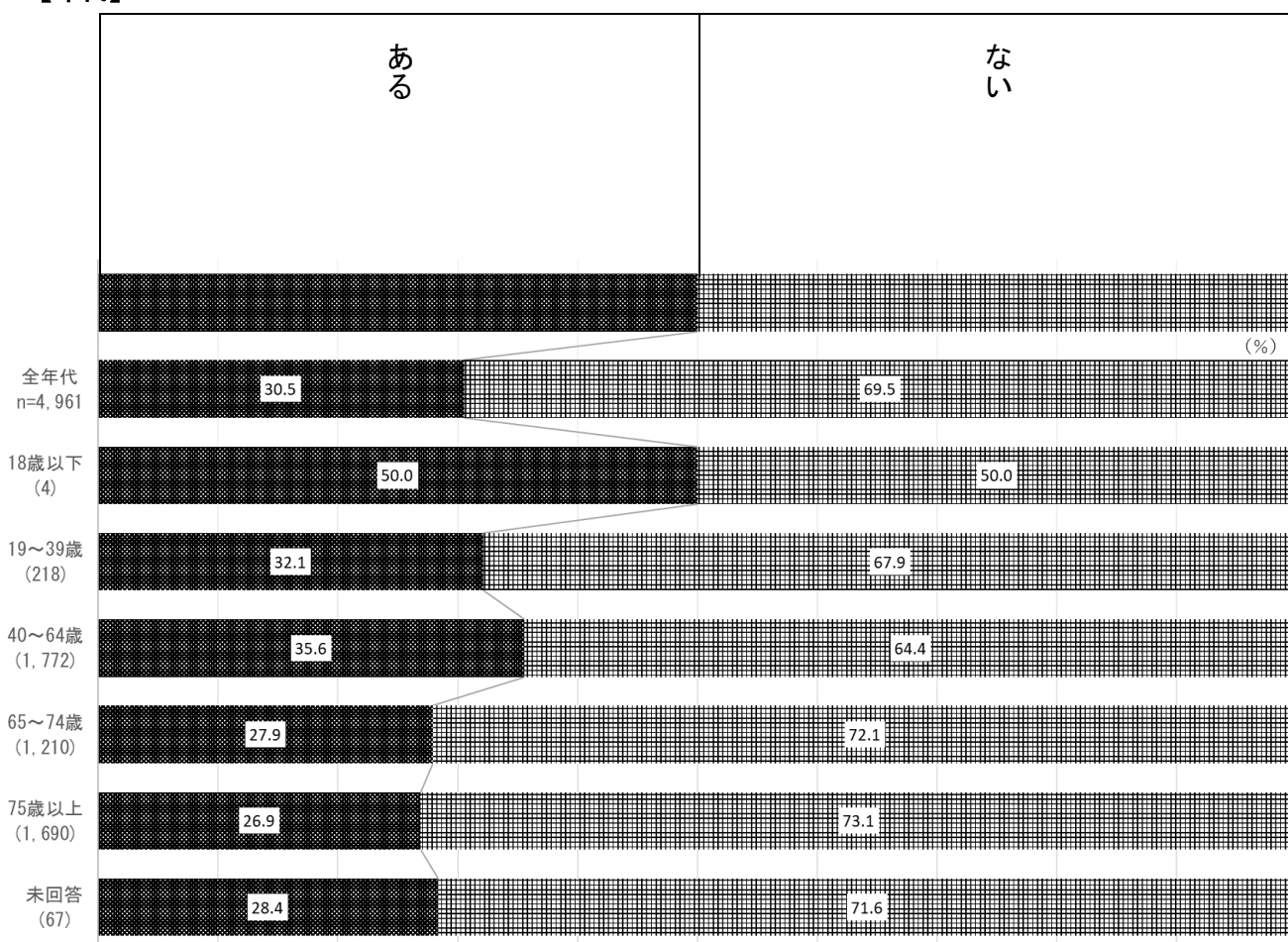


(4) 「ケースワーカーとの関わりで印象に残っていることがあるか」と「年代」による集計

全体では、「ある」が 30.5%、「ない」が 69.5%となり、約 7 割の回答者がケースワーカーとの関わりで印象に残っていることはないと回答した。年代別にみると、40～64 歳でも「ある」が 35.6%と全体より高い傾向にある。一方、65 歳以上では「ある」の割合が低く、75 歳以上では 26.9%と低くなっている。

【図表 3－(4)】 問：ケースワーカーとの関わりで印象に残っていることがありますか。

【年代】



<「ケースワーカーとの関わりで印象に残っていること」について>

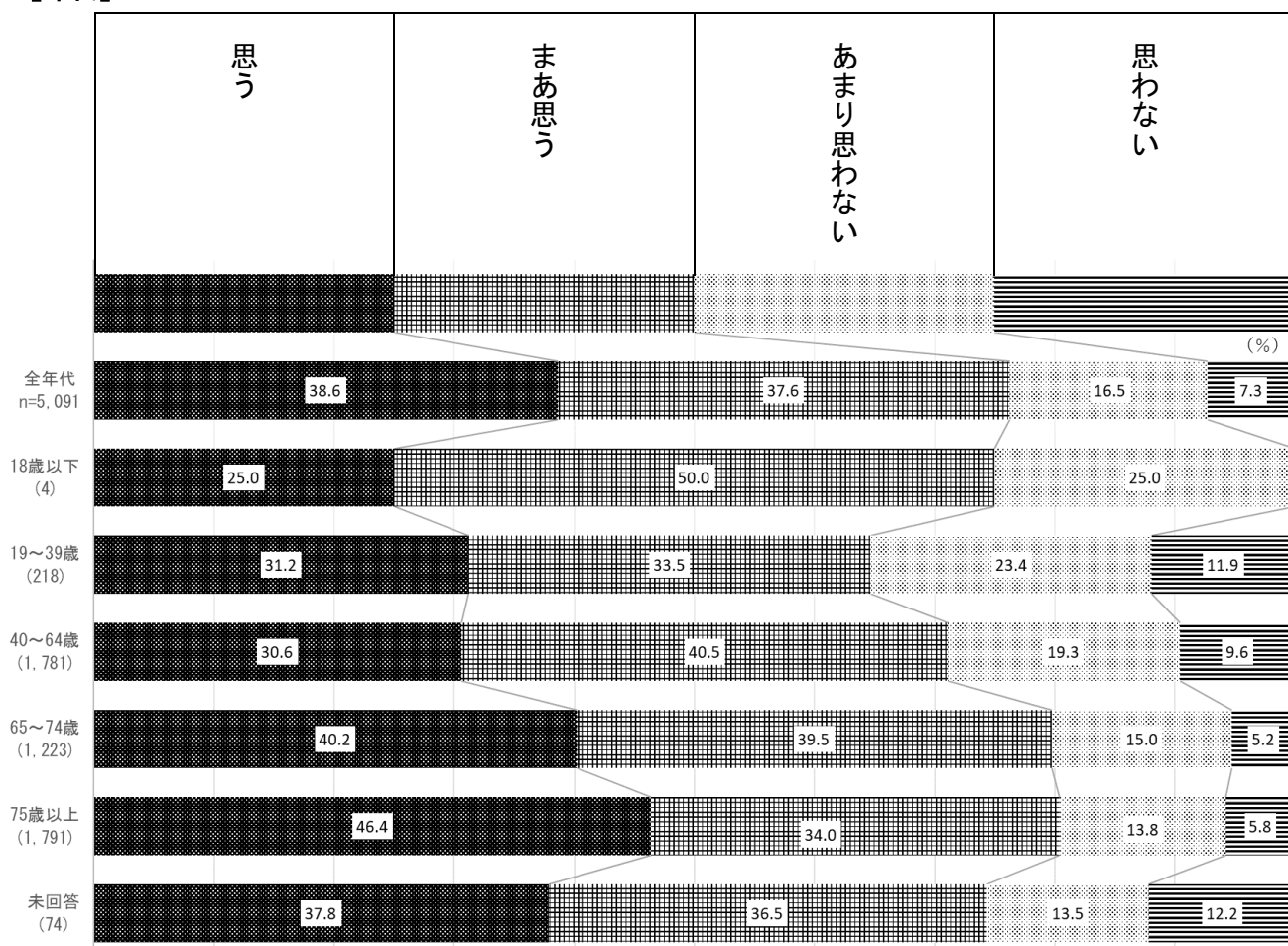
- ・ 親身になって話を聞いてくれた。(同文、55 件)
- ・ 優しく丁寧で、分かりやすく話してくれる。(同文、110 件)
- ・ 女性の担当で、女性同士なので話しやすかった。(同文、1 件)
- ・ 病状や家庭の事情を理解し、寄り添ってくれた。(同文、10 件)
- ・ 子供に折り紙を折ってくれたことは良い思い出です。
- ・ 入院や引っ越し、各種手続きの際に親身に動いてくれた。(同文、25 件)
- ・ 病院を探してくれたり、病院に連絡してくれたりした。(同文、4 件)
- ・ 暑い夏も寒い冬もグループホーム探しをしてくれた。(同文、1 件)
- ・ 夏、あまりの暑さに電気代のことを伝えたら、図書館に行くよう言われた。
- ・ セコム(見守りサービス)を紹介してくれた。(同文、2 件)
- ・ 不動産屋と家賃の交渉を根気強くしてくれた。
- ・ 困っている時に、ご自身の携帯電話でタクシーを手配してくれた。
- ・ 必要な物を購入させてもらえた。(同文、1 件)
- ・ 体調を気遣ってくれたり、励ましの言葉をかけてくれたりした。(同文、16 件)
- ・ 単身で都営住宅が当選した時、「なかなかない」と心から喜んでくれた。
- ・ 「今は病気なんだからゆっくりいきましょう」と言われ、少し安心できた。
- ・ 働ける日数が増えたことに気づき「頑張っていますね」と声をかけてくれた。
- ・ 高圧的な態度や威圧的な口調、暴言があった。(同文、28 件)
- ・ 見下したような態度を取られたり、人格を否定されたりした。(同文、9 件)
- ・ パワハラやセクハラがあった。(同文、1 件)
- ・ 「早く仕事探して下さい！指導はいりますよ」と言われた。
- ・ 約束の時間に来ない、または約束を守らない。(同文、1 件)
- ・ 対応が事務的で冷たい、話を聞いてくれない。(同文、25 件)
- ・ 相談しても無駄だと感じた、または相談する気になれない。(同文、6 件)
- ・ 困っているのに「そういうサービスはやっていない」と冷たくあしらわれた。
- ・ こちらの言い分の半分も聞かないうちに結論を出す。
- ・ 担当者によって言うことや対応が違う。(同文、18 件)
- ・ 説明が不足している、またはわかりにくい。(同文、10 件)
- ・ 息子のメガネ購入の手続きについて事前に説明がなく、非常に困った。
- ・ カウンセリング費用の助成をお願いしたが、対応までに4ヶ月かかった。
- ・ 通院交通費を支払われなかったり、給与計算を間違えられたりした。(同文、3 件)
- ・ 保護費の振込がなかったり、手渡しになったりした。(同文、1 件)
- ・ 玄関先で近隣に聞こえるような大声で話された。(同文、1 件)
- ・ 無断で冷蔵庫を開けられそうになったり、土足で部屋に入られたりした。
- ・ 下着まで見られたことがトラウマになっている。
- ・ 1年ごとに担当者が変わるため、その都度説明が必要で大変。(同文、6 件)
- ・ ケースワーカーの数が少ないと感じる。
- ・ 事務所に電話しても、不在ことが多い。
- ・ 精神疾患について不勉強だと感じた。
- ・ 部屋が汚れていると面前で言われた。

(5) 「福祉事務所の窓口は行きやすいと思うか」と「年代」による集計

全体では、「思う」が38.6%、「まあ思う」が37.6%となっている。年代別にみると、19～39歳では「あまり思わない」が23.4%、「思わない」が11.9%となっている。75歳以上では「思う」が46.4%と高く、次いで65～74歳でも「思う」が40.2%となっている。

【図表3－(5)】 問：福祉事務所(生活援護課)の窓口は行きやすい雰囲気だと思いますか。

【年代】

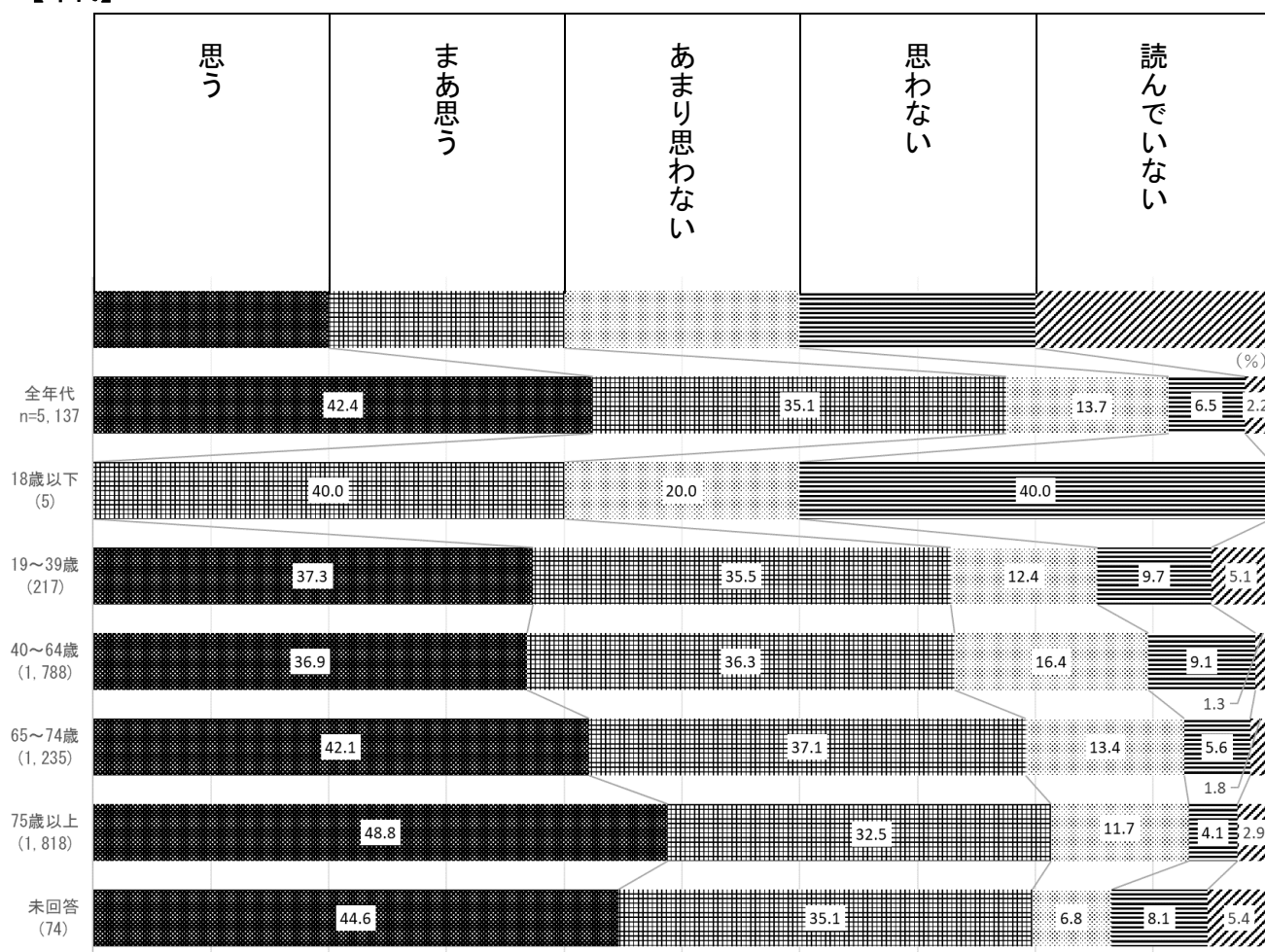


(6) 「保護決定通知書はわかりやすいと思うか」と「年代」による集計

全体では、「思う」が42.4%、「まあ思う」が35.1%となっている。年代別にみると、75歳以上では「思う」が48.8%と高く、通知書がわかりやすいと感じる割合が高い傾向にある。40～64歳では「あまり思わない」が16.4%、「思わない」が9.1%となっている。

【図表3－(6)】 問：福祉事務所(生活援護課)からお送りする「保護決定通知書」はわかりやすいと思いますか。

【年代】

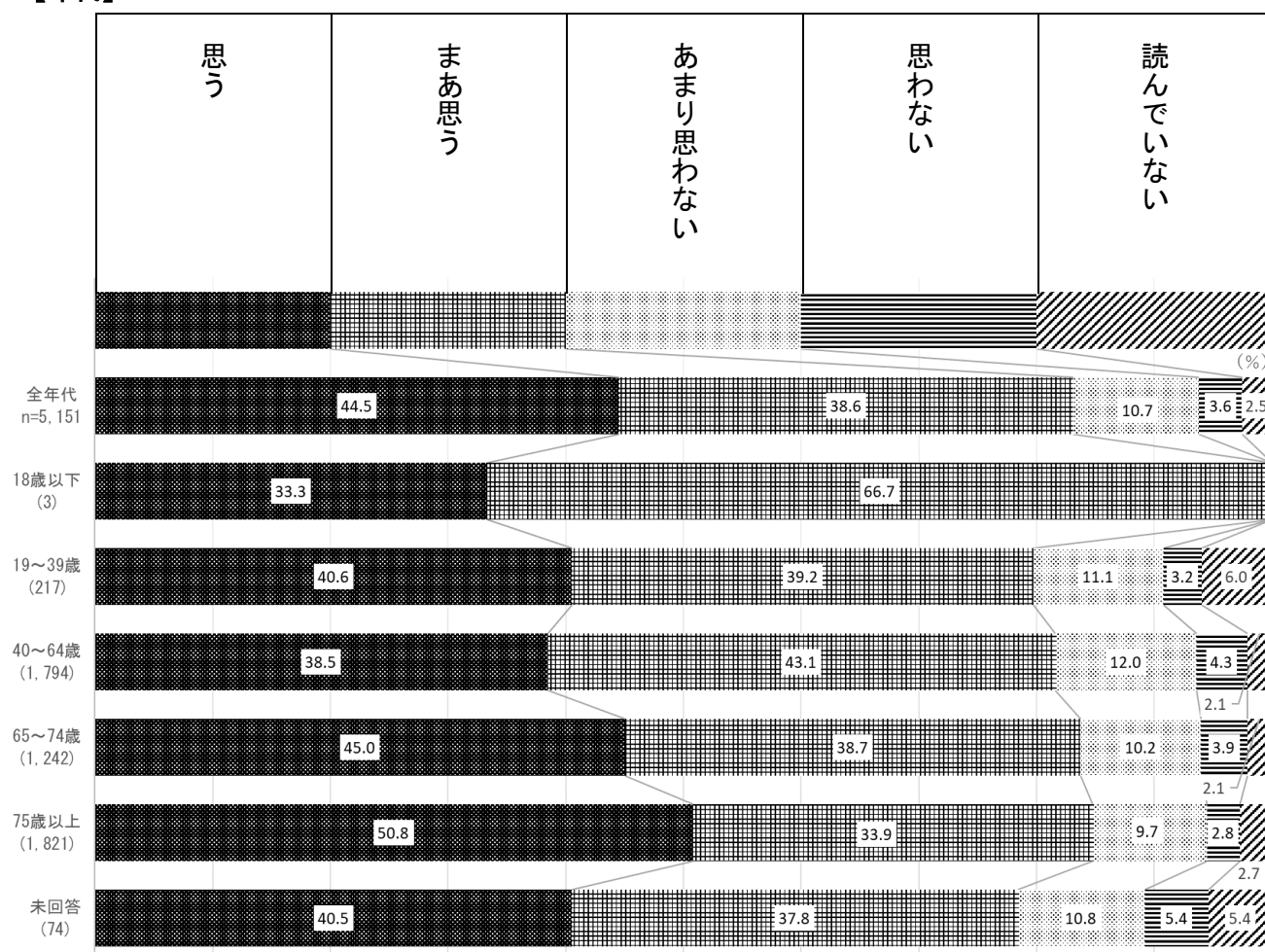


(7) 「福祉事務所からのお知らせはわかりやすいと思うか」と「年代」による集計

全体では、「思う」が44.5%、「まあ思う」が38.6%となっている。年代別にみると、75歳以上では「思う」が50.8%と高く、次いで65～74歳でも「思う」が45.0%となっている。40～64歳では「思う」が38.5%と全体よりやや低く、「読んでいない」が2.1%となっている。

【図表3－(7)】 問：福祉事務所(生活援護課)からお送りする「福祉事務所からのお知らせ」はわかりやすいと思いますか。

【年代】

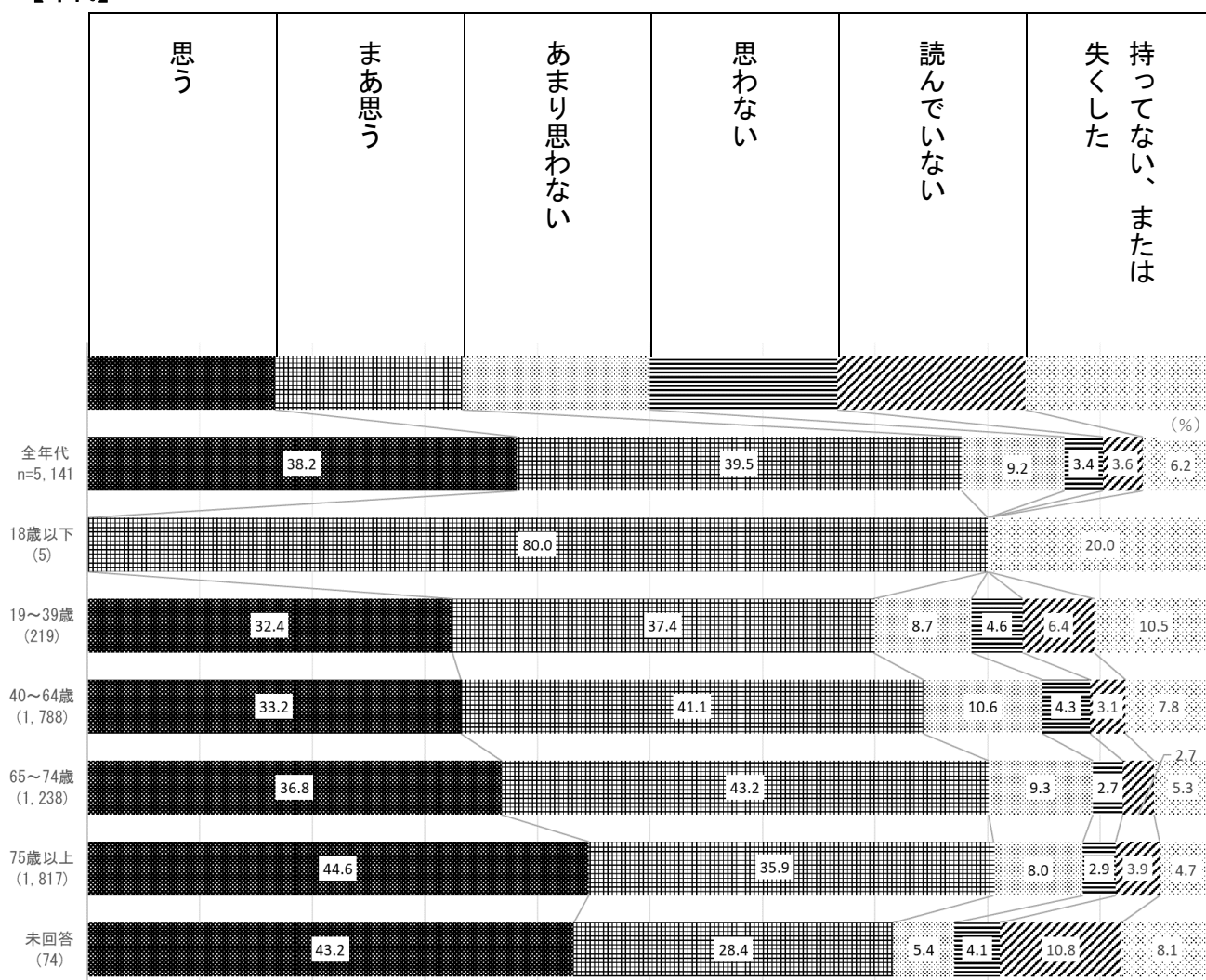


(8) 「生活保護のしおりはわかりやすいと思うか」と「年代」による集計

全体では、「思う」が 38.2%、「まあ思う」が 39.5%となっている。年代別にみると、75 歳以上では「思う」が 44.6%と高い。19～39 歳では「思う」が 32.4%と全体より低く、「読んでいない」が 6.4%、「持ってない、または失くした」が 10.5%となっている。

【図表 3－(8)】 問：福祉事務所(生活援護課)からお渡しした「生活保護のしおり」はわかりやすいと思いますか。

【年代】



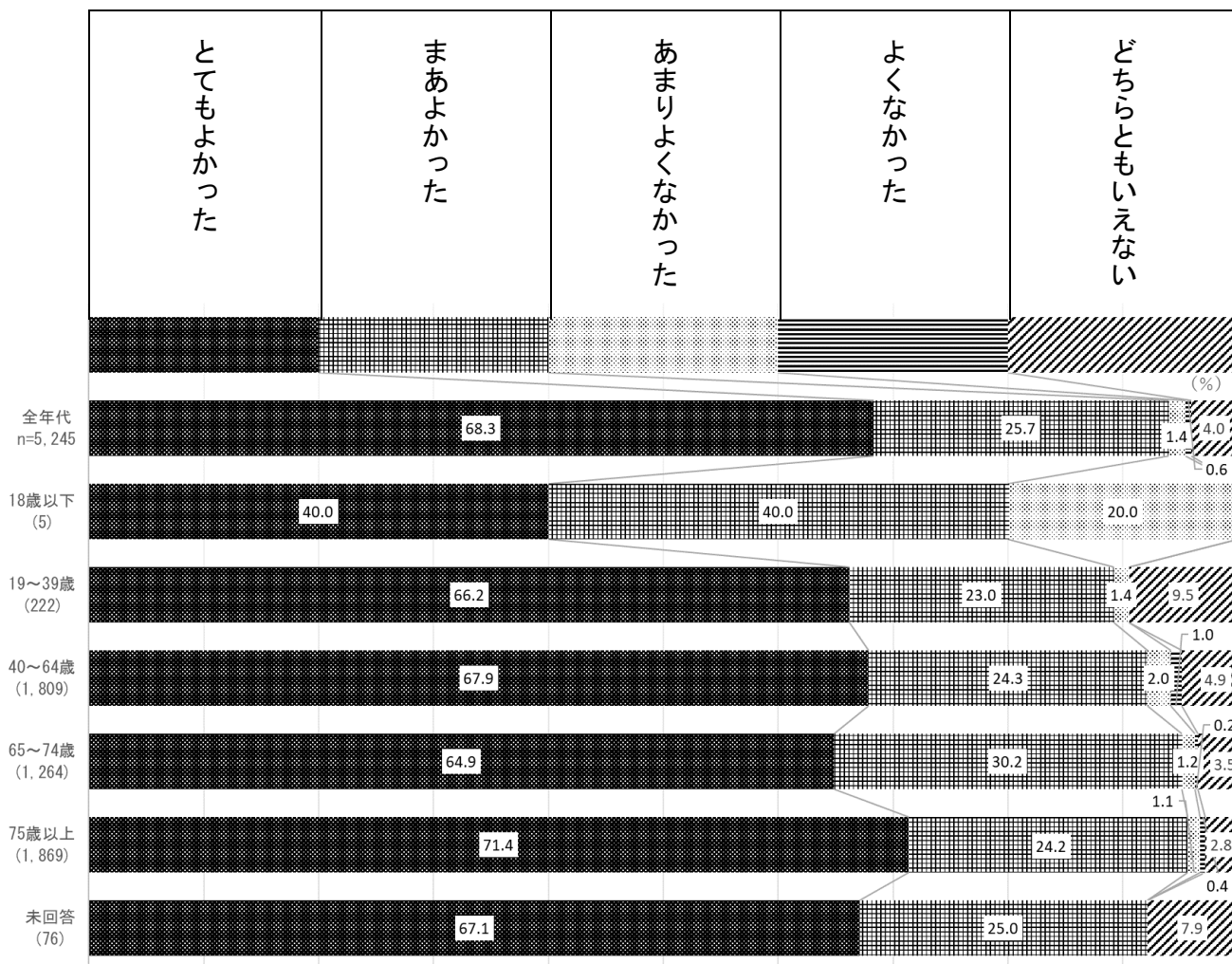
第4 生活保護について

(1) 「生活保護を利用してよかったかどうか」と「年代」による集計

全体では、「とてもよかった」が68.3%、「まあよかった」が25.7%となっている。年代別にみると、75歳以上では「とてもよかった」が71.4%と高い。19～39歳では「どちらともいえない」が9.5%と他の年代層より高い傾向が見られる。

【図表4-(1)】 問：生活保護を利用してよかったですか。

【年代】

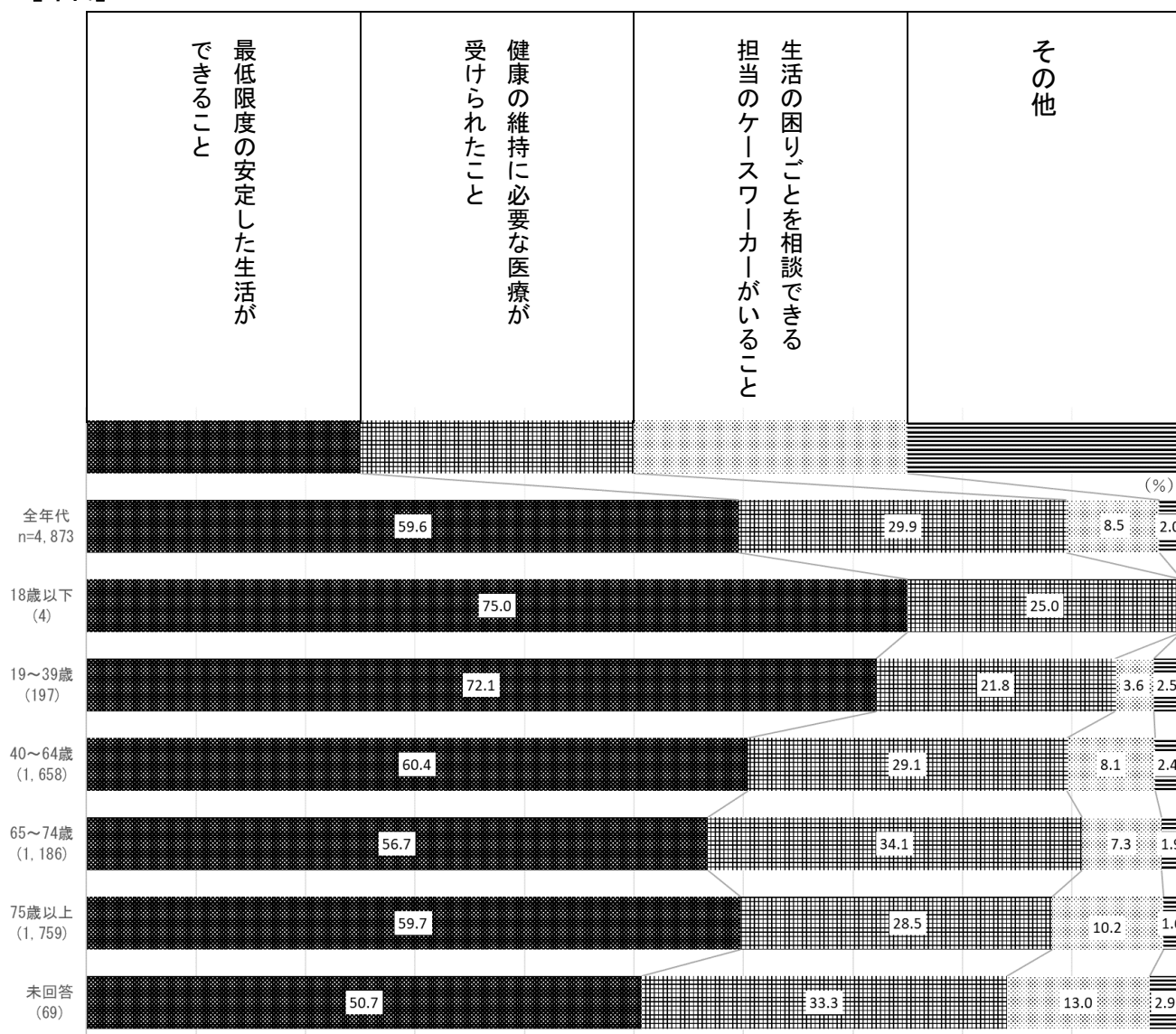


(2) 「前項(1)でとてもよかった・まあよかったとした理由」と「年代」による集計

全体では「最低限度の安定した生活ができること」が 59.6%と多く、次いで「健康の維持に必要な医療が受けられたこと」が 29.9%となっている。年代別にみると、19～39 歳では「最低限度の安定した生活ができること」が 72.1%と高い。65～74 歳では「健康の維持に必要な医療が受けられたこと」が 34.1%と全体より高く、75 歳以上では「生活の困りごとを相談できる担当のケースワーカーがいること」が 10.2%となっている。

【図表 4-(2)】 問：《(2)で「1. とてもよかった」、「2. まあよかった」と答えた方》そのように思った一番の理由は何ですか。

【年代】



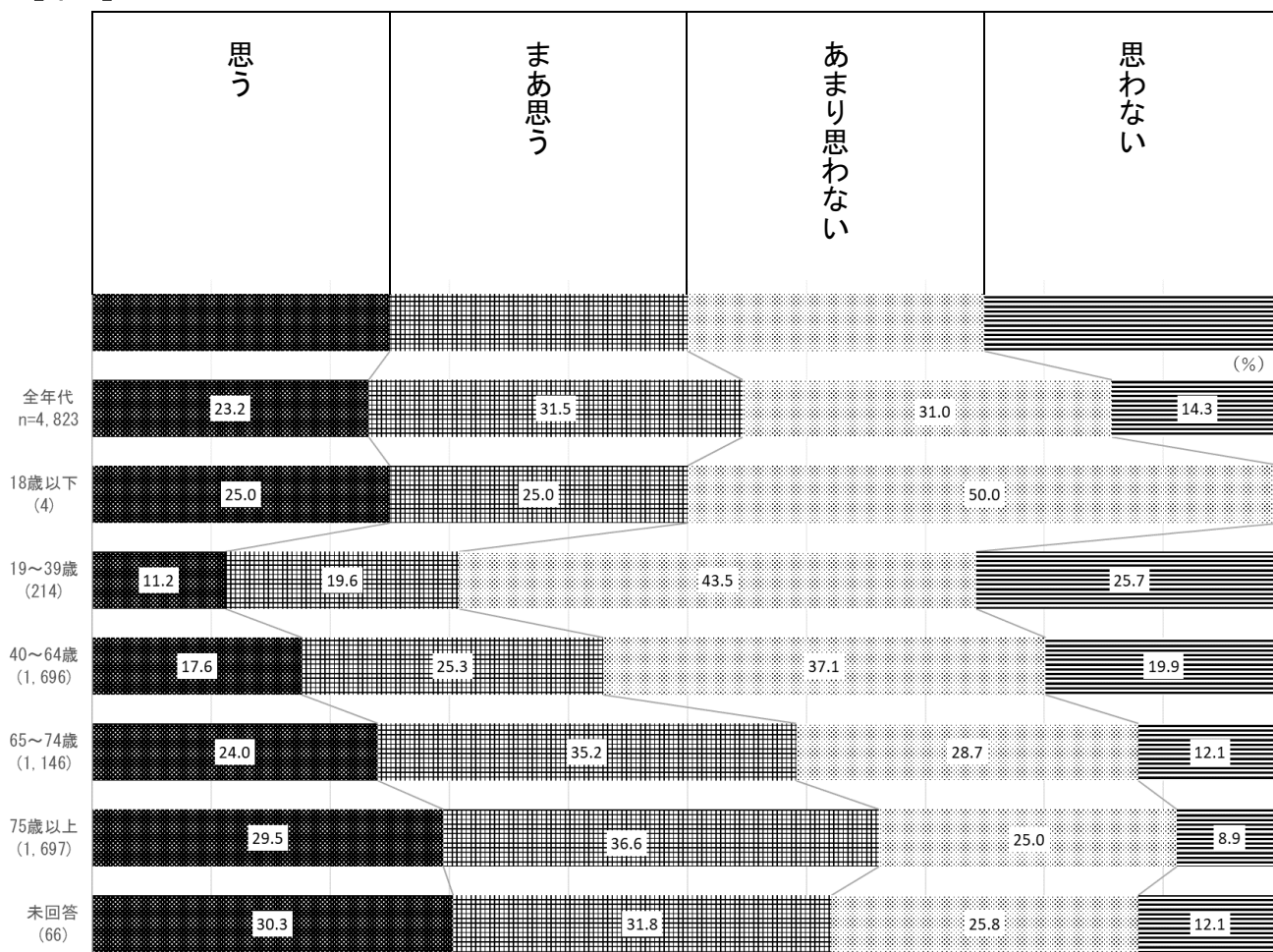
<「生活保護を利用してよかった理由」についてその他の回答>

- ・ この制度がなければ生きていけない状態だった。(同文、13 件)
- ・ 不安がなく生活でき、ストレスが減った。(同文、11 件)
- ・ すべてに絶望していた状態から、生きていて良いんだと思えるようになった。
- ・ 路頭に迷うことや、犯罪に手を染めずにいられること。
- ・ 一度失った住民票や印鑑登録証明書が、また取得できたこと。
- ・ 医療費の心配をせず、必要な医療が受けられることが安心です。(同文、9 件)
- ・ 精神病に理解のない両親と離れ、治療に専念できるようになった。
- ・ 介護と医療にお金がかかるため、助かっている。
- ・ 子どもを育て、学校を卒業させることができた。(同文、6 件)
- ・ 高齢の母の介護を、生活の心配をせずにできた。
- ・ 不登校気味の子供としっかり向き合う時間ができた。
- ・ 最低限度以下の生活です。(同文、6 件)
- ・ 世話になっているのが心苦しく、何かうしろめたさがある。(同文、3 件)
- ・ 生活保護を受けるのは悲しいです。
- ・ 綱渡り状態だが、何とか生活している。
- ・ とても感謝しています。助かりました。(同文、7 件)
- ・ いざという時に頼りになると思う。
- ・ ケースワーカーなど、事務所の方々が親切で、何でも話せる。(同文、4 件)

（３） 「生活保護が国民の権利であることを社会全体で理解されていると思うか」と「年代」による集計

全体では、「生活保護が国民の権利であることを社会全体で理解されていると思うか」に対し、「思う」23.2%「まあ思う」31.5%「あまり思わない」31.0%「思わない」14.3%となっている。年代別にみると、19～39歳では「あまり思わない」43.5%、「思わない」25.7%となり、理解されていないと感じる割合が高い。75歳以上では「思う」29.5%、「まあ思う」36.6%と、理解されていると感じる割合が高い。

【図表４－（３）】 問：生活保護が国民の権利であることを社会全体で理解されていると思いますか。
【年代】



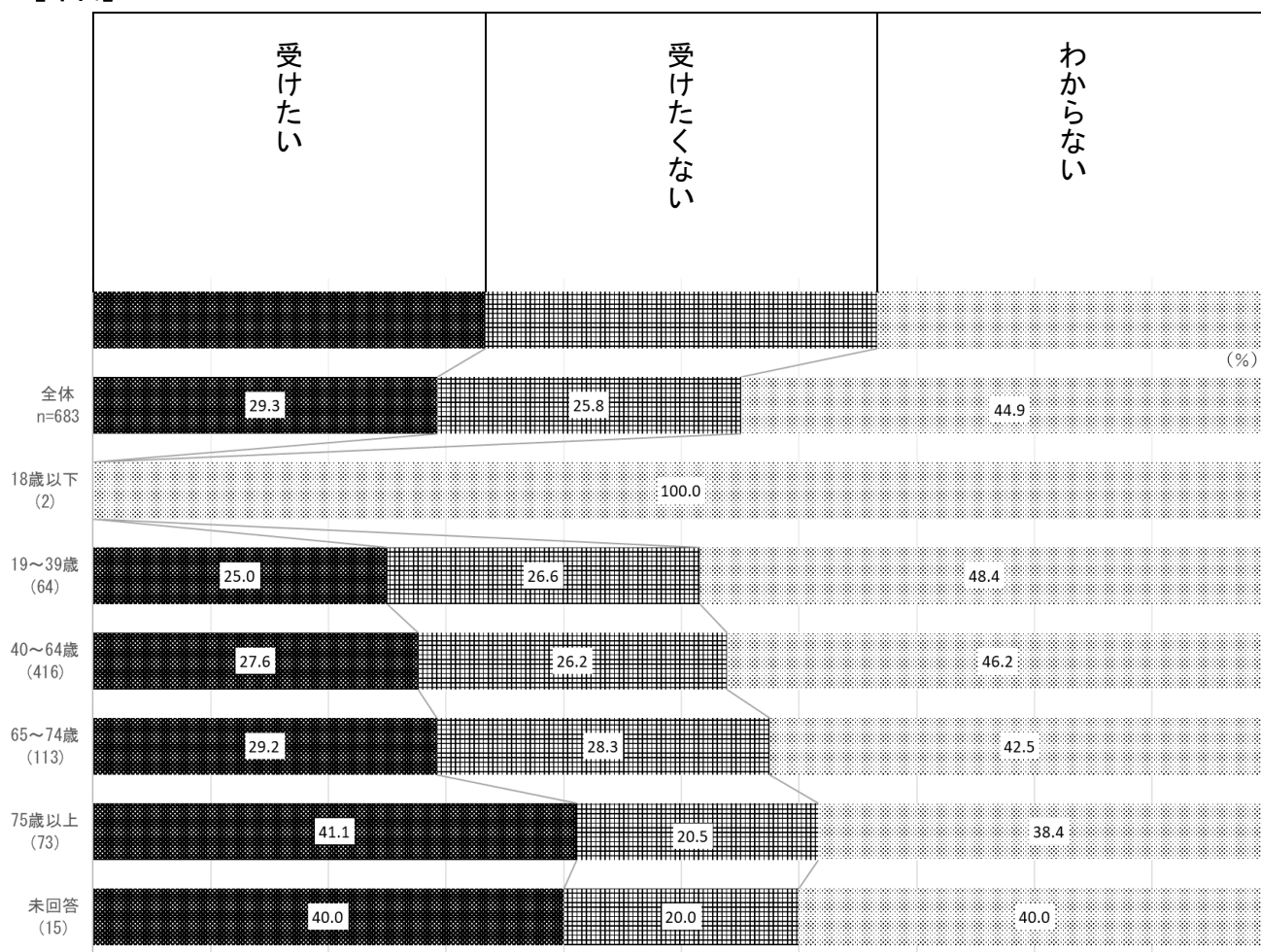
第5 仕事について

(1) 働いている方「仕事や転職について支援を受けたいかどうか」と「年代」による集計

全体では、「仕事や転職について支援を受けたいかどうか」に対し、「わからない」が44.9%と多く、次いで「受けたい」29.3%、「受けたくない」25.8%となった。年代別にみると、75歳以上では「受けたい」が41.1%と他の年代層より高い傾向にある。一方、19～39歳では「わからない」が48.4%と高い。

【図表5－(1)】 問：《働いている方に伺います。》収入を増やすためなど、仕事や転職について福祉事務所(生活援護課)から支援を受けたいですか。

【年代】

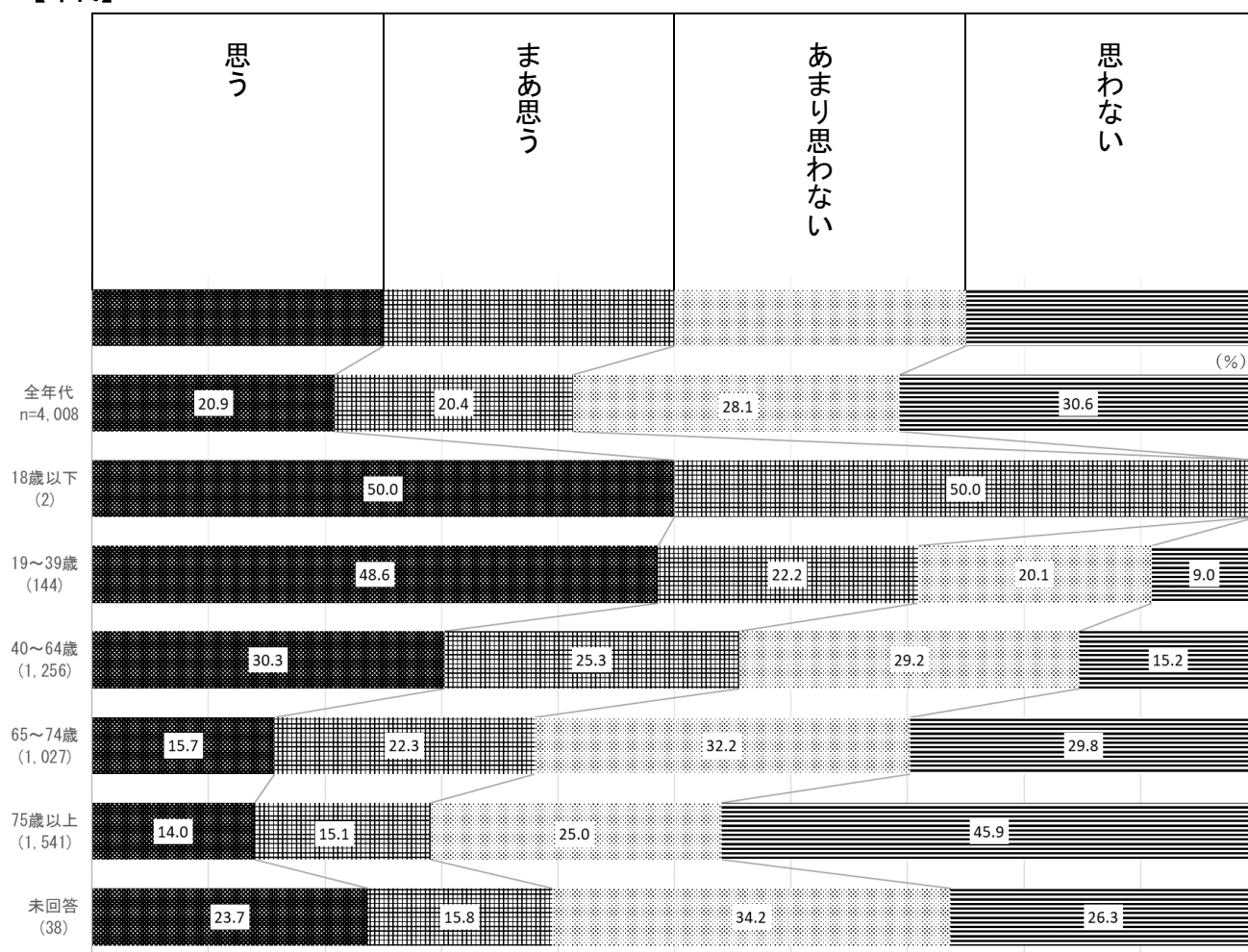


(2) 働いていない方「働く機会があれば働きたいと思うかどうか」と「年代」による集計

全体では「働く機会があれば働きたいと思うかどうか」に対し、「思う」20.9%「まあ思う」20.4%「あまり思わない」28.1%「思わない」30.6%となった。年代別にみると、19～39歳では「思う」14.0%「まあ思う」15.1%、また75歳以上では「思わない」が45.9%となっている。40～64歳では「あまり思わない」が29.2%、65～74歳では「思わない」が29.8%となっている。

【図表5－(2)】 問：《働いていない方に伺います。》働く機会があれば働きたいと思いますか。

【年代】

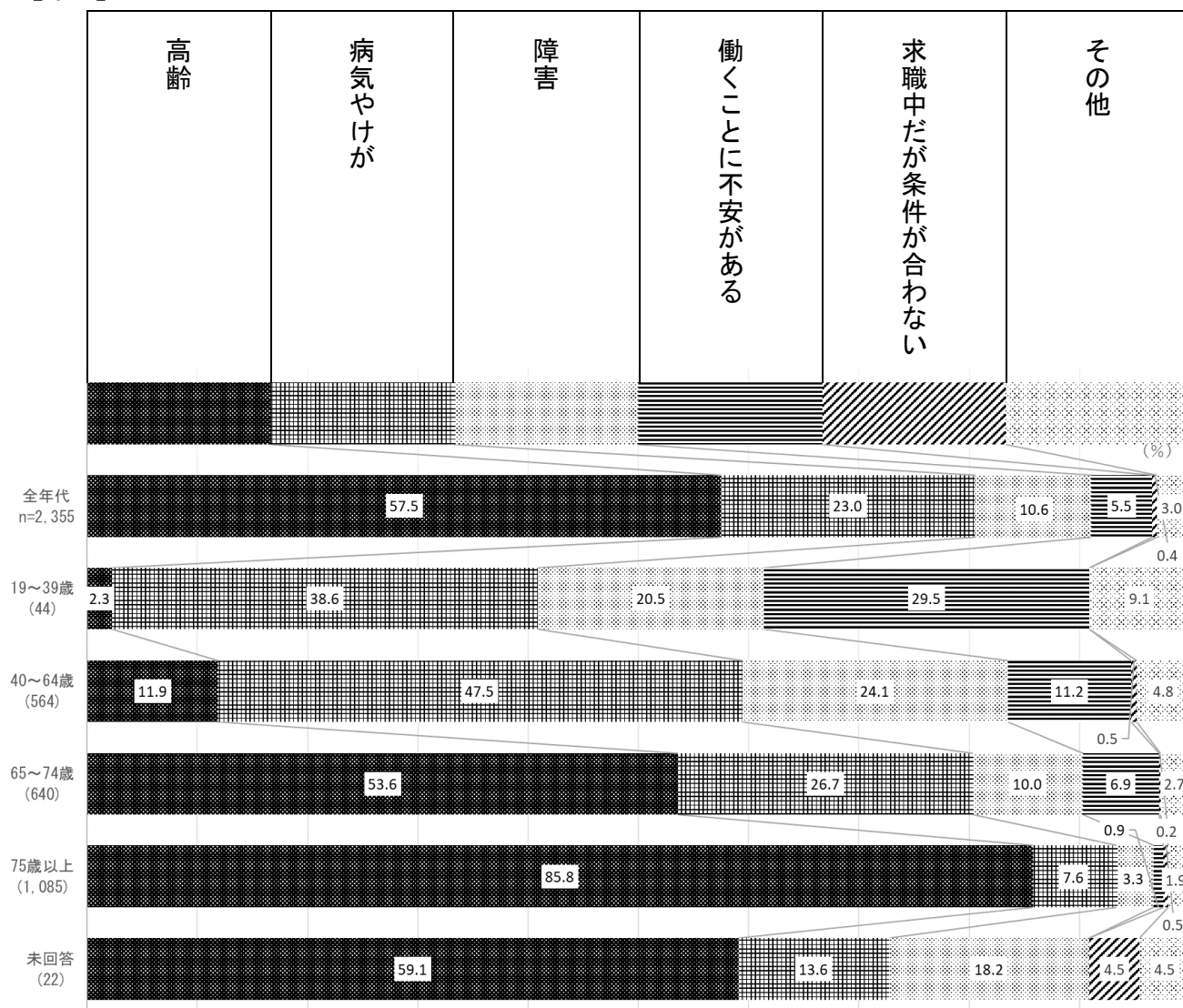


(3) 「前項(2)で思わないとした理由」と「年代」による集計

全体で「高齢」が 57.5%と多い。年代別にみると、75 歳以上では「高齢」が 85.8%と高く、次いで 65～74 歳でも 53.6%が「高齢」を理由に挙げている。一方、19～39 歳では「病気やけが」38.6%、「働くことに不安がある」29.5%、40～64 歳では「病気やけが」47.5%、「障害」24.1%となっている。

【図表 5－(3)】 問：《(26)で「3. あまり思わない」、「4. まったく思わない」と答えた方》 そのように思った理由は何ですか。

【年代】



＜「働きたいと思わないとした理由」についてその他の回答＞

- ・ 医師から労働を禁止されている。(同文、6 件)
- ・ 年齢的に難しく、体力的に無理だと感じている。(同文、9 件)
- ・ 人工透析や治療中のため、働くことができない。(同文、5 件)
- ・ 身体に障害や後遺症があり、思うように動かない。(同文、9 件)
- ・ 病気や怪我をすることが怖い、または体力に自信がない。(同文、3 件)
- ・ 見た目にはわからない内部障害のため、無理をすると病状が悪化するが、周囲に理解されず精神的にも苦しい。
- ・ うつ病の治療中や、精神的に参っているため。(同文、5 件)
- ・ 人間関係を築くことが苦手で、仕事での対人関係によって病状が悪化してしまう。(同文、5 件)
- ・ 過去のトラウマから、他人と関わる仕事が怖い。
- ・ 障害のある子供の介護や、家族の世話で手がかかるため。(同文、7 件)
- ・ 子供の悩みや不安に寄り添う心の余裕が必要なため。
- ・ 収入やシフトなど、病気を持つ人間に向くような仕事が見つからない。
- ・ 義務教育を受けていない。
- ・ 長い間働いていないため。
- ・ 一生懸命働いても収入の超過分は徴収され、やりがいを感じられないから。(同文、2 件)
- ・ 仕事を辞めて月日が経つと、その気が失せてくる。
- ・ 近隣との騒音トラブルで寝不足が続いている。(同文、1 件)
- ・ 施設に入居中のため。(同文、1 件)

第6 福祉事務所、生活援護課、ケースワーカー、生活保護についての自由意見

- 生活保護制度のおかげで生活ができており、大変助かっています。心から感謝しています。
(同文、231 件)
- 病気の治療や手術、入院が安心してでき、命が助かりました。医療費の支援にとっても感謝しています。(同文、14 件)
- 納税者への申し訳なさや肩身の狭い思いを感じながらも、制度に感謝し生活しています。
(同文、6 件)
- 引きこもり気味でメンタルに不安を抱える子供たちに対し、仕事をセーブして向き合えるのは生活保護のおかげです。
- 自死を考えていましたが、この制度のおかげで救われました。(同文、1 件)
- 最初は抵抗がありましたが、今ではおかげさまで健康でいられます。一人では生きていけなかったと思います。
- 年金だけでは生活できず相談したところ、住宅扶助を受けることができ生きていられます。
- 住まいを見つけてもらい、クーラー・風呂付きの部屋で大変住みやすくなりました。
- ケースワーカーや福祉事務所職員の親切で丁寧な対応に感謝しています。話もよく聞いてくれるため、安心でき、頼りになります。(同文、90 件)
- 担当ケースワーカーのおかげで、就労支援に繋がり前向きに取り組めている。物価高で貯金はできないが、健康維持に収入を使え意欲向上に繋がっている。(同文、8 件)
- 病気で働けず社会のゴミだと思っていたが、ケースワーカーが親切に優しく接してくれるおかげで「生きていても良いんだ」と思えるようになりました。
- 担当ケースワーカーが家庭訪問時に顔を見せると安心します。(同文、2 件)
- 今まで担当していただいたケースワーカーは皆さん良い方ばかりでした。
- 生活援護課の手続きが迅速で助かりました。
- (施設に入居された故人の言葉として)「もっと早く施設にすれば良かった」とケースワーカーに感謝していた。
- 支援のおかげで、少しでも地域に貢献したい(公園の草むしりなど)という気持ちが生まれました。
- 今後も引き続き支援をお願いします。(同文、20 件)
- 福祉事務所の皆様、体に気をつけて頑張ってください。
- このようなアンケートはありがたいです。
- 物価が高騰している中、低所得者向けの給付金は非常に助かります。
- 物価高騰(食料品、光熱費等)により生活が厳しく保護費の増額を強く求めます。(同文、254 件)
- 冬季加算だけでなく熱中症予防のために夏季加算や冷房使用のための補助を願っています。
(同文 1 件)
- 高齢(70 歳、75 歳など)になると保護費が減額されることに納得がいきません。今の物価高では生活が成り立ちません。(同文、4 件)
- 現物支給(米、食品と交換できる券、フードスタンプなど)の支援があると助かる。(同文、3 件)
- アパートの管理費(3000 円)を負担してほしい。
- 冷蔵庫や洗濯機などの家電製品が壊れても買い替える余裕がなく、購入のための補助金が出ると助かります。(同文、5 件)
- 生活に困窮している人に対し、役所で引き取った家電などを譲ってほしい。

福祉事務所、生活援護課、ケースワーカー、生活保護についての自由意見

- ・ 冠婚葬祭などの突発的な出費に対応できません。
- ・ オムツ代の支給額(8200 円)では、値上がりにより宅配サービスを利用できず買い物が大変です。
- ・ 働いて収入を得ても保護費が減額されるため、就労意欲が湧きません。(同文、3 件)
- ・ 児童手当や障害者支援給付金が収入認定されること、障害年金の控除額が低いことに不満があります。
- ・ 子どもがアルバイトで得た収入を進学のために貯金できるようにしてほしいです。
- ・ 借金は収入ではないはずなのに、収入認定されることに疑問です。
- ・ 年金などが支給額から先に引かれる(天引きされる)ことに不満です。(同文、1 件)
- ・ 給与の立て替え分がまとめて精算されると生活が苦しくなります。(同文、1 件)
- ・ 保護費の支給日より前に家賃や光熱費が引き落とされるため困ります。
- ・ 毎月の支給を月末にしてほしい。
- ・ 携帯電話代の補助を希望します。
- ・ ケースワーカーの対応に個人差があり、高圧的、威圧的、事務的、上から目線な態度や言葉遣いに不満や恐怖を感じます。もっと親身に、寄り添った丁寧な対応を望みます。(同文、148 件)
- ・ 病気で働けない状況などを理解してもらえず、「病人なんだから外出するな」「早く仕事を探せ」など、こちらの事情を考慮しない一方的な指導に困っています。(同文、2 件)
- ・ 持病や介護で働けないことに対し、担当者によっては傷つく言葉を言われたことがある。担当者が変わるたびに不安定になるが、どこに相談していいかわからない。
- ・ 仕事だからやっているだけ、親身ではないと感ずることがあります。以前、時間を聞いてもいないのに「遅刻」を「出張」と言われるなど、不誠実な対応をされました。本当に良い人はすぐにいなくなってしまう。
- ・ 自分の用件が済んだらすぐ帰るのではなく、他に悩みなどないか一言聞いてほしい。
- ・ ケースワーカーが頻繁に交代するため、その都度、信頼関係を築き直すのが精神的に負担です。引き継ぎが不十分で、同じ説明を繰り返さなければならないこともあります。(同文、17 件)
- ・ 生活保護制度や支援内容に関する知識が不足しているケースワーカーがおり、受けられるはずの支援を受けられなかったことがあります。(同文、2 件)
- ・ 担当ケースワーカーと相性が悪い場合、精神的な負担が大きいため、担当者を変更できる制度を設けてほしいです。(同文、2 件)
- ・ 女性特有の病気(婦人科系)の相談を、男性のケースワーカーには話しづらいため、女性のケースワーカーの方が相談しやすい。(同文、1 件)
- ・ 担当者が不在の際に他の職員に伝言を頼んでも、担当者に伝わっていないことがあった。
(同文、1 件)
- ・ 若いケースワーカーだと人生経験が浅く相談しても対応に限界があると感じるため、年配者も配置してほしい。
- ・ ケースワーカーの負担を軽減し、専門性を高めるための人員配置やシステム(DX 化)の導入、研修の強化などを求めます。
- ・ 家庭訪問や郵便物などで近隣に生活保護受給者とわからないように配慮してほしいです。
(同文、5 件)
- ・ 誰がケースワーカーなのか知らない。(同文、5 件)

福祉事務所、生活援護課、ケースワーカー、生活保護についての自由意見

- ・ 福祉事務所の窓口で名前を呼ばれたり、プライバシーが配慮されない場所(ベンチなど)で資産申告をさせられたりすることに抵抗があります。
- ・ 家庭訪問は、急だと困るので前日か数日前に知らせてほしい。(同文、1件)
- ・ 聴覚障害者にとって手話は言葉なので、ケースワーカーの方には少しでも手話を覚えてほしいです。
- ・ 収入申告などの手続きを、郵送費の負担がないメールやLINE、Webで行えるようにしてほしいです。(同文、3件)
- ・ 生活保護のしおりや決定通知書の内容がわかりにくく、扶助額の計算方法も不明瞭です。受けられる扶助(メガネ代、交通費等)を知らないまま自己負担してしまいました。(同文、4件)
- ・ 収入認定について、分かりやすい目安を一覧表などで提示してほしいです。
- ・ 生活保護でも受診できる病院のリストを事務所に置いてほしいです。(同文、1件)
- ・ 通知が前後して来ることがありわかりにくいので、改善してほしい。(同文、1件)
- ・ 医療券を毎回、福祉事務所に取りに行くのが身体的・経済的に負担です。郵送やカード化、自動送付などの改善を望みます。(同文、9件)
- ・ 整骨院に通院できるようにしてほしい。
- ・ 大学や専門学校への進学支援、子どもの保護対象期間などについて、もっと柔軟な運用を望みます。
- ・ 仕事を探す際は、本人の意向に沿うような仕事を探してほしい。
- ・ 強く「仕事しろ」と勧めないでほしい。精神的に良くない。
- ・ 就職しようにも意味のわからない邪魔をするなど、自立を妨害されていると感じます。
- ・ 住宅扶助の基準額が低く、家賃上限が現状に合わず、住環境の悪い物件しか選べません。
- ・ 足腰が弱くなったので、1階の部屋に転居したい。
- ・ 都営住宅や区営住宅に入居したい。
- ・ 転居の話を詳しく聞きたいです。
- ・ 住環境(階段の有無など)や、金銭で解決しなければならないことへの配慮をもう少しお願いしたいです。
- ・ 引っ越し費用を食費に充てられるようにしてほしい。
- ・ 買い物や通院のために、50ccのバイク(原付)など車の所有を認めてほしい。(同文、2件)
- ・ 生活保護の申請時に「水際作戦」で追い返されるなど、不適切な対応を受けました。
- ・ 父が重度障害、母も病気だったにもかかわらず、娘(私)と同居しているという理由だけで受給を断られました。母が一人暮らしになってから認定がおり、ありがたい反面、納得できません。「玄関が二つあればよかった」など形式的な判断に疑問を感じました。
- ・ 福祉事務所の名称や生活保護というネーミングが、相談しづらい雰囲気を作っているため改善してほしいです。
- ・ 携帯電話がなく困っているため、福祉事務所でフリーダイヤルを使わせてほしい。
- ・ (夫婦関係について)夫婦は一緒に住まないといけないのでしょうか。
- ・ 生活保護を受けていることで、世間から「税金泥棒」などと偏見や差別の目で見られることが非常に辛く、肩身が狭い思いをしています。(同文、14件)
- ・ 保護を受けていると話せないため、友人との付き合いなどがなくなり、社会的に孤立していきます。(同文、1件)
- ・ 制度を利用していることに申し訳ない、情けないという気持ちがある。(同文、4件)

福祉事務所、生活保護課、ケースワーカー、生活保護についての自由意見

- ・ 不正受給者と同列に扱われ、社会悪と見なされることに憤りを感じます。
- ・ 生活保護は「国民の権利」であることが、社会全体にもっと理解されてほしいです(同文、1件)
- ・ 病気や加齢、身体の不調により、今後の生活や働けるかどうかが不安である。(同文、6件)
- ・ 親が亡くなったらどうなるか、一人で倒れたらどうしようかと不安である。(同文、2件)
- ・ 身寄りがないため、病気で手術する時や死亡した後始末、お墓のことなど終活について相談したい。
(同文、3件)
- ・ 家族の介助が必要。子どもとの関係も遠のき、何事も一人で対応している。手術を控えており、どうぞよろしくお願いします。
- ・ (生活が苦しい、申し訳ないなどの理由で)早く死にたい、生きたくないと感じる。(同文、5件)
- ・ 働きたいという思いはありますが、病気や社会に適合できないことで働けない自分に葛藤しています。それでも自立を目指したいです。(同文、7件)
- ・ 体調が悪くても、ケースワーカーにすら理解してもらえないと感じることがあり、生きているのが悪いのかと思ってしまいます。
- ・ 死を負った身体ではどうしたら良いかわからない。
- ・ 死ぬまでお世話になると思うのでよろしくお願いします。
- ・ 病気や身体の障害(心臓病、ヘルニア、麻痺、目の病気など)により、日常生活や就労が困難な状況にある。(同文、9件)
- ・ 精神疾患や発達障害の特性(物忘れ、注意力低下)、また薬の副作用が強く、社会復帰に自信がない。
- ・ 健康診断で通院を勧められましたが、高額医療になることへの懸念や、「税金の無駄遣い」と思われることへの恐怖心から、病院に行くことに強い抵抗を感じます。(同文、1件)
- ・ 複数の病院に定期的に通えることにとても感謝しています。
- ・ 娘の心の病気(双極障害)があり、就労支援を受けています。時間がかかるとは思いますが、ご迷惑をおかけします。
- ・ 病気で話すことや書くことが苦手である。
- ・ 生活保護は申請制ではなく、国が能動的に対象者を審査し、救済する制度にすべきです。
- ・ 氷河期世代への手当増額や、ベーシックインカムのような制度の導入を希望します。
- ・ 若い世代が安易に受給しているのではないか。もっと厳しく調査して本当に困っている人を助けてほしい。
- ・ このアンケートは知的障害のある人には少し難しいように思う。(同文、1件)
- ・ アンケートに書いても仕方がない、丸め込まれると感じている。(同文、1件)
- ・ 自分のことはなるべく自分でやり、迷惑をかけないようにしたいです。(同文、1件)
- ・ 私たち夫婦は生活保護を受けて本当に助かっている。80歳になるが、どうすれば生活保護から抜け出せるのか方法を教えてほしい。
- ・ 霊的なものの影響か、現在の住まいに来てから夫婦ともに体調が良くない。どうしたらよいか。
- ・ 父が勝手に自分のお金を税金の支払いに充てていたことが悔しい。
- ・ 週に一度、リハビリデイサービスに行っています。

第3章 くらしごと相談室利用者アンケート

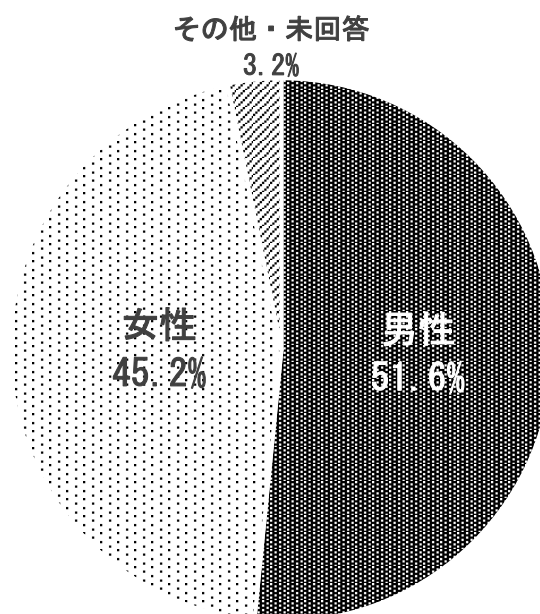
第1節 概要

1～2人世帯が81.7%と小規模世帯に集中し、「ひとり暮らし」世帯が46.8%となっている。年齢層は40～64歳44.4%と65歳以上が41.2%、就労状況では無職35.7%、非正規雇用が39.7%となっている。

項目1	項目2	回答数(件数)	割合(%)
性別	男性	65	51.6
	女性	57	45.2
	その他・未回答	4	3.2
年代	18歳以下	0	0.0
	19～39歳	16	12.7
	40～64歳	56	44.4
	65～74歳	27	21.4
	75歳以上	25	19.8
	未回答	2	1.6
世帯構成	ひとり暮らし	59	46.8
	夫婦	22	17.5
	二世帯	35	27.8
	三世帯	0	0.0
	その他・未回答	10	7.9
世帯人数	1人	61	48.4
	2人	42	33.3
	3人	10	7.9
	4人	7	5.6
	5人以上	3	2.4
	未回答	3	2.4
職業	正規職員(社員)	21	16.7
	契約・派遣	14	11.1
	アルバイト・パート	36	28.6
	自営業	6	4.8
	学生	0	0.0
	無職(求職活動中)	9	7.1
	無職	36	28.6
	未回答	4	3.2

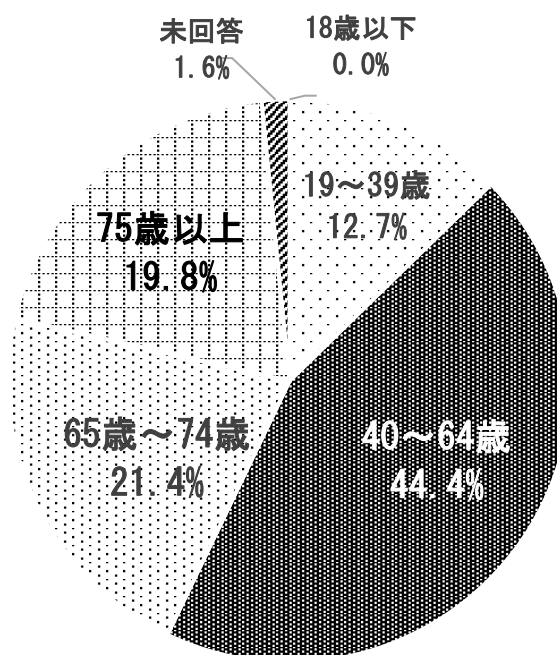
(1) 性別

No	項目	回答数	割合
1	男性	65	51.6%
2	女性	57	45.2%
3	その他・未回答	4	3.2%
回答数計		126	100.0%



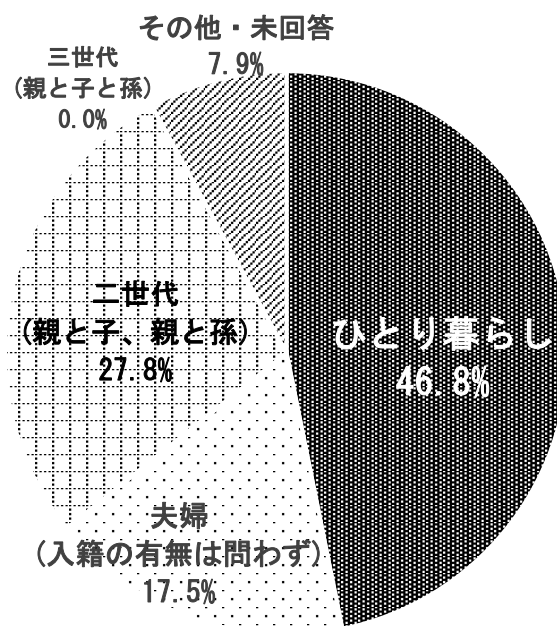
(2) 年代

No	項目	回答数	割合
1	18歳以下	0	0%
2	19～39歳	16	12.7%
3	40～64歳	56	44.4%
4	65歳～74歳	27	21.4%
5	75歳以上	25	19.8%
6	未回答	2	1.6%
回答数計		126	100.0%



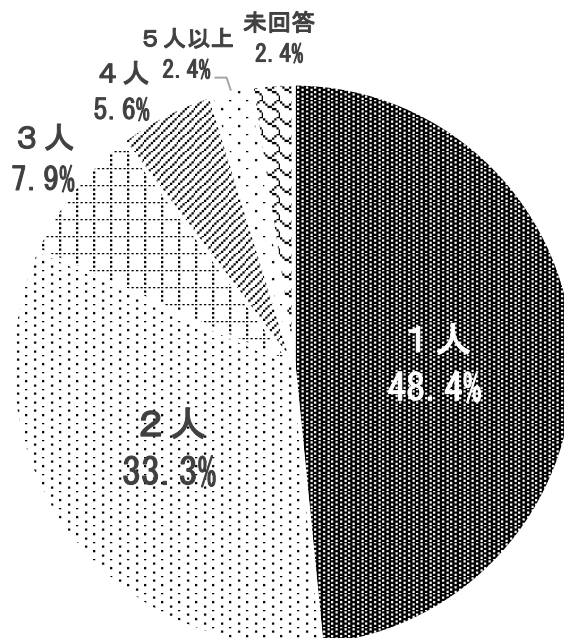
(3) 世帯構成

No	項目	回答数	割合
1	ひとり暮らし	59	46.8%
2	夫婦 (入籍の有無は問わず)	22	17.5%
3	二世帯 (親と子、親と孫)	35	27.8%
4	三世帯 (親と子と孫)	0	0.0%
5	その他・未回答	10	7.9%
回答数計		126	100.0%



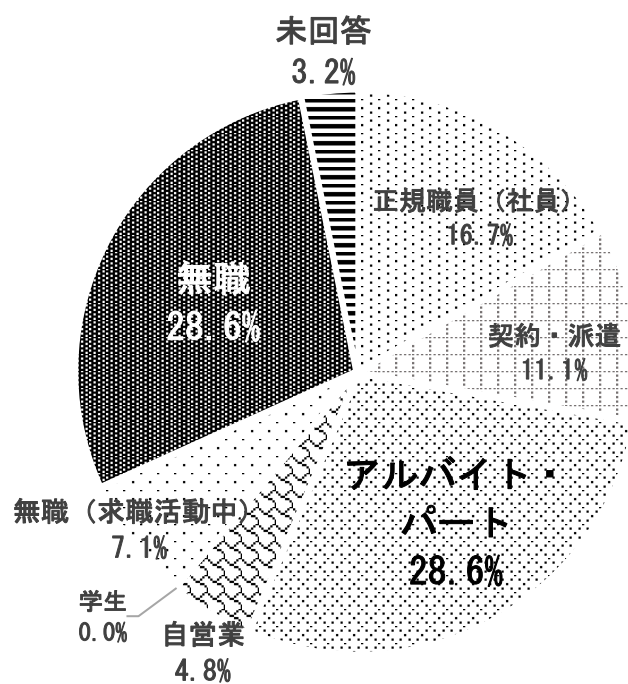
(4) 一緒に暮らしている人数

No	項目	回答数	割合
1	1人	61	48.4%
2	2人	42	33.3%
3	3人	10	7.9%
4	4人	7	5.6%
5	5人以上	3	2.4%
6	未回答	3	2.4%
回答数計		126	100.0%



(6) 職業

No	項目	回答数	割合
1	正規職員(社員)	21	16.7%
2	契約・派遣	14	11.1%
3	アルバイト・パート	36	28.6%
4	自営業	6	4.8%
5	学生	0	0.0%
6	無職(求職活動中)	9	7.1%
7	無職	36	28.6%
8	未回答	4	3.2%
回答数計		126	100.0%



第2節 集計結果

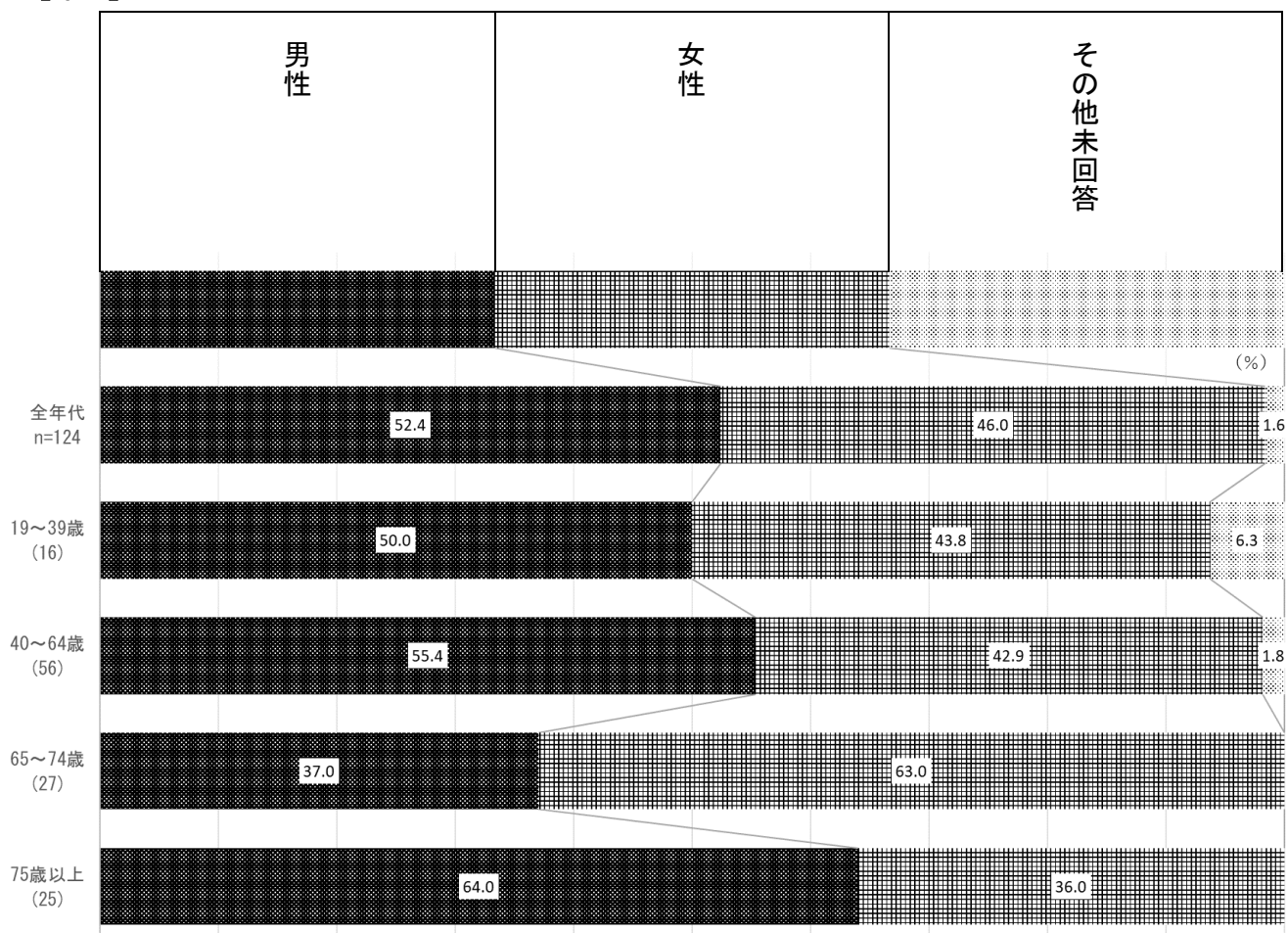
第1 回答者の基本属性について

(1) 「性別」と「年代」による集計

全体では男性が52.4%、女性が46.0%となっている。年代別にみると、19～39歳では男性が50.0%、女性が43.8%、40～64歳では男性が55.4%と女性42.9%を上回る。65～74歳では女性が63.0%、男性は37.0%となっている。75歳以上では男性が64.0%と女性36.0%となっている。

【図表1－(1)】 問：性別をお答えください。

【年代】

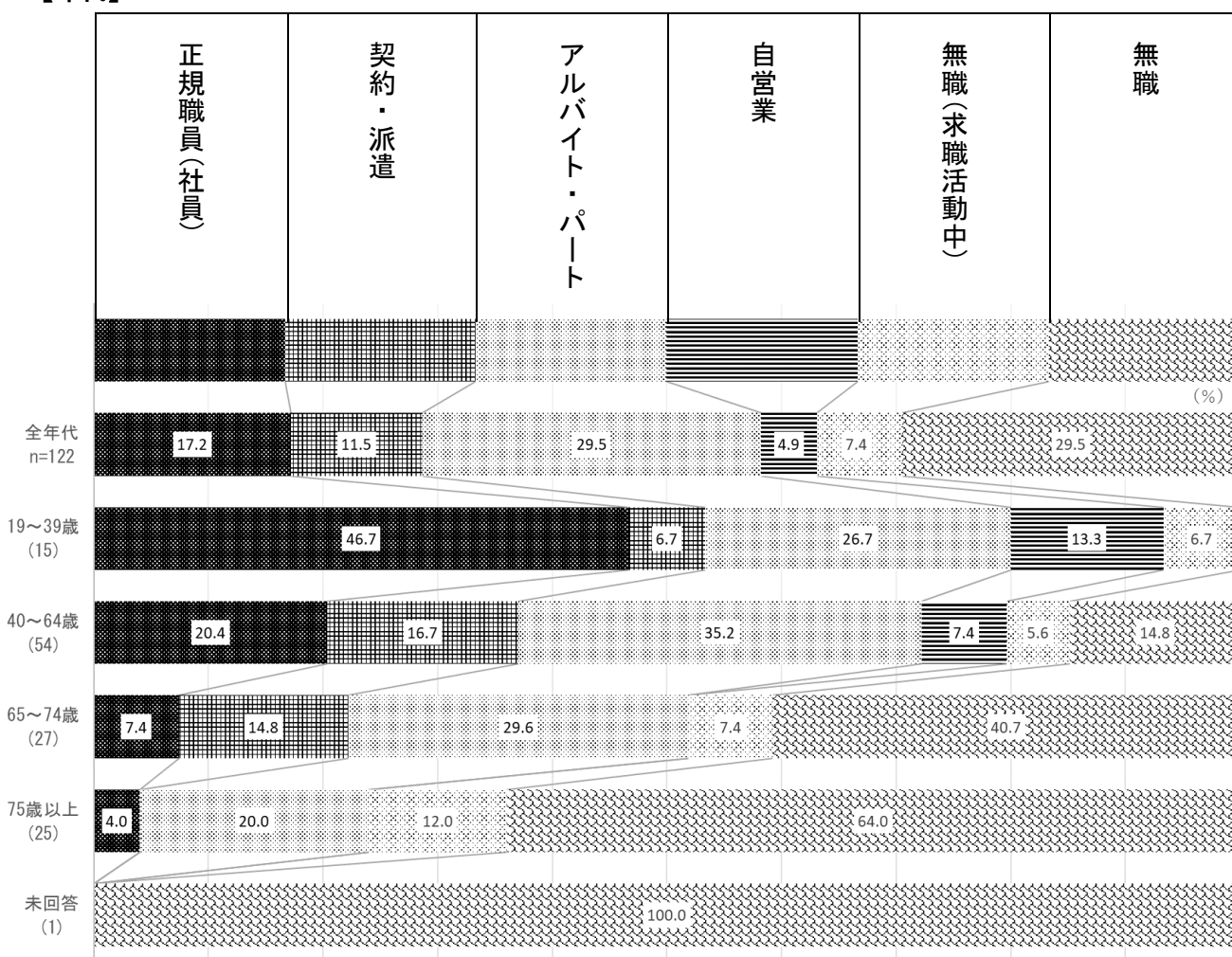


(2) 「職業」と「年代」による集計

全体では「アルバイト・パート」と「無職」がそれぞれ 29.5%となっている。年代別にみると、19～39 歳では「正規職員(社員)」46.7%、40～64 歳では「アルバイト・パート」が 35.2%、次いで「正規職員(社員)」20.4%となっている。65～74 歳では「無職」が 40.7%、75 歳以上では 64.0%となっている。

【図表 1－(2)】 問：ご職業をお答えください。

【年代】



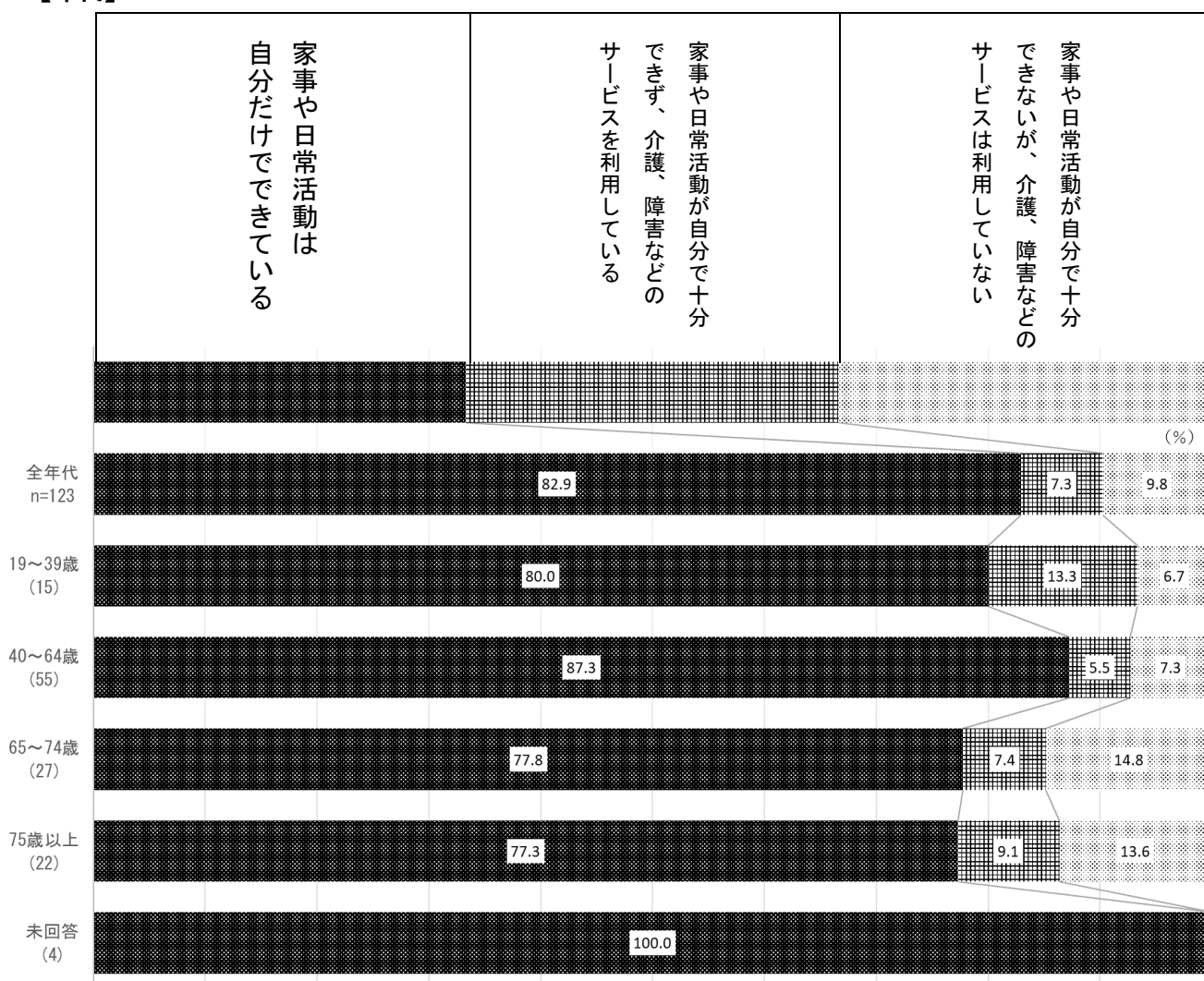
第2 生活の状況について

(1) 「日常生活の状況」と「年代」による集計

全体では「家事や日常活動は自分だけでできている」が82.9%となっている。年代別にみると、19～39歳で「家事や日常活動が自分で十分できず、介護、障害などのサービスを利用している」が13.3%、40歳以上の割合より多い。

【図表2-(1)】 問：日常生活の状況をお答えください。

【年代】

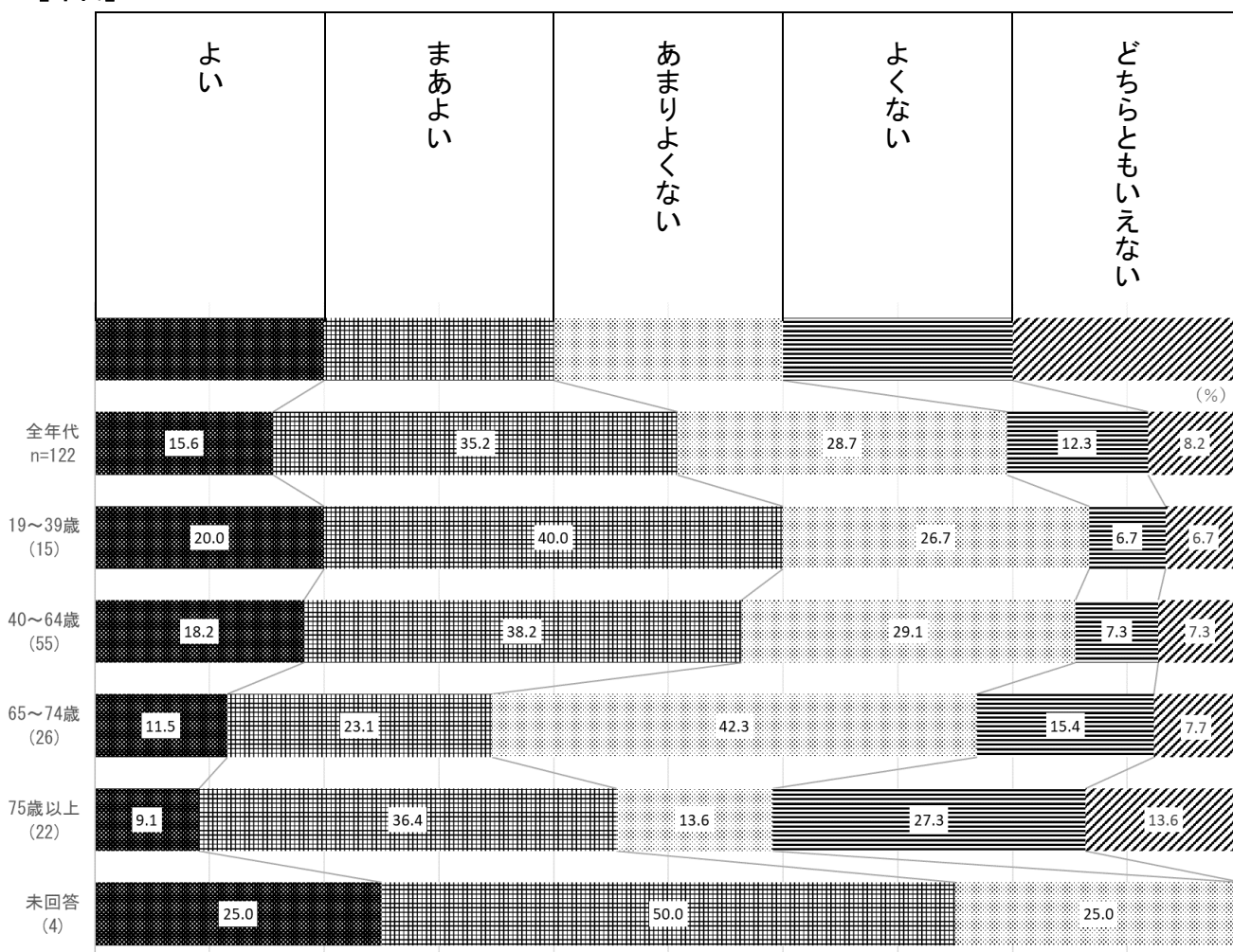


(2) 「健康状態」と「年代」による集計

全体では「よい」15.6%「まあよい」35.2%となっている。年代別にみると、65～74歳で「あまりよくない」42.3%「よくない」15.4%となっており、75歳以上の「あまりよくない」13.6%、「よくない」27.3%となっている。

【図表2－(2)】 問：健康状態をお答えください。

【年代】

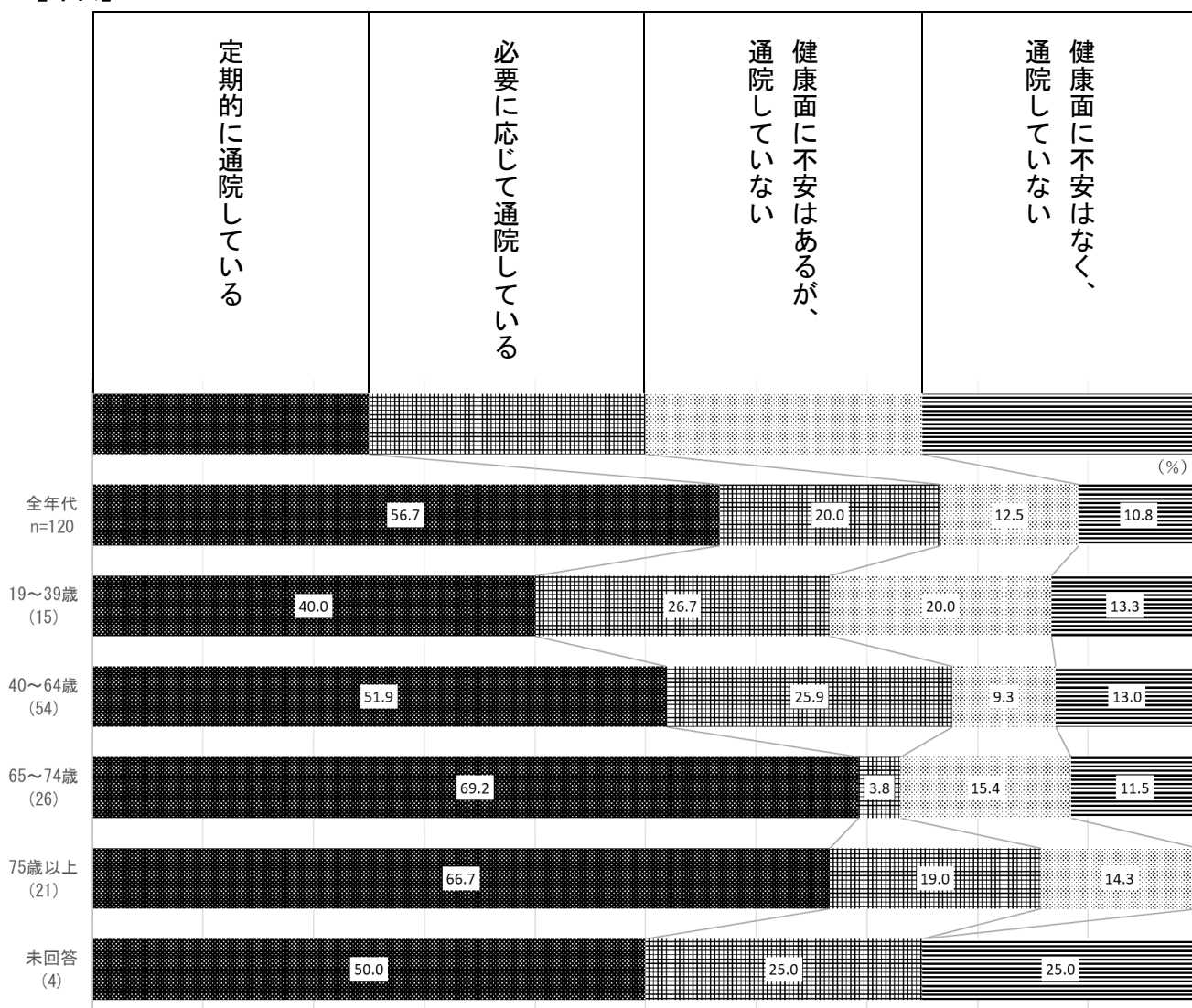


(3) 「通院状況」と「年代」による集計

全体で「定期的に通院している」が 56.7% 「必要に応じ通院している」が 20.0% となっている。
年代別にみると、40～64 歳では「定期的に通院している」51.9% 「必要に応じ通院している」25.9% となっている。19～39 歳では「健康面に不安があるが、受診していない」が 20.0% となっている。

【図表 2－(3)】 問：医療機関への通院状況をお答えください。

【年代】

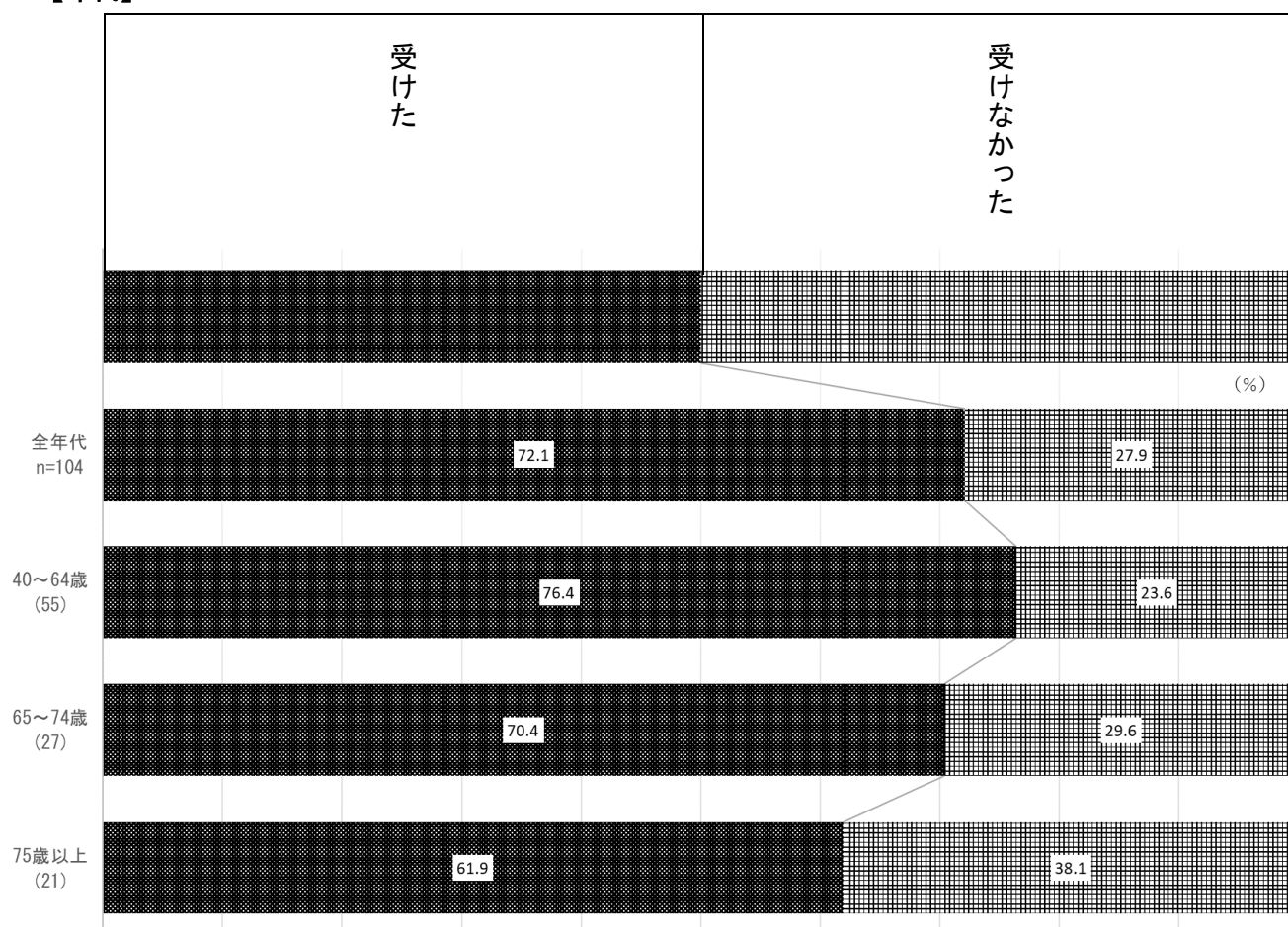


(4) 「40 歳以上の健診状況」と「年代」による集計

全体で「受けた」は 72.1% となっている。年代別にみると「受けた」は 40～64 歳 76.4%、65～74 歳 70.4%、75 歳以上では 61.9% となっている。

【図表 2－(4)】 問：《40 歳以上の方》過去 1 年間で健康診断を受けましたか。

【年代】



(5) 「前項(4)で健診を受けていない理由」と「年代」による集計

全体で「定期的に通院している」「受診費用がかかる」がともに 26.7%となっている。年代別にみると「生活習慣の見直し(食事・運動など)を指示されたくない」「受診費用がかかる」について年齢が上がるにしたがって割合が増加している。

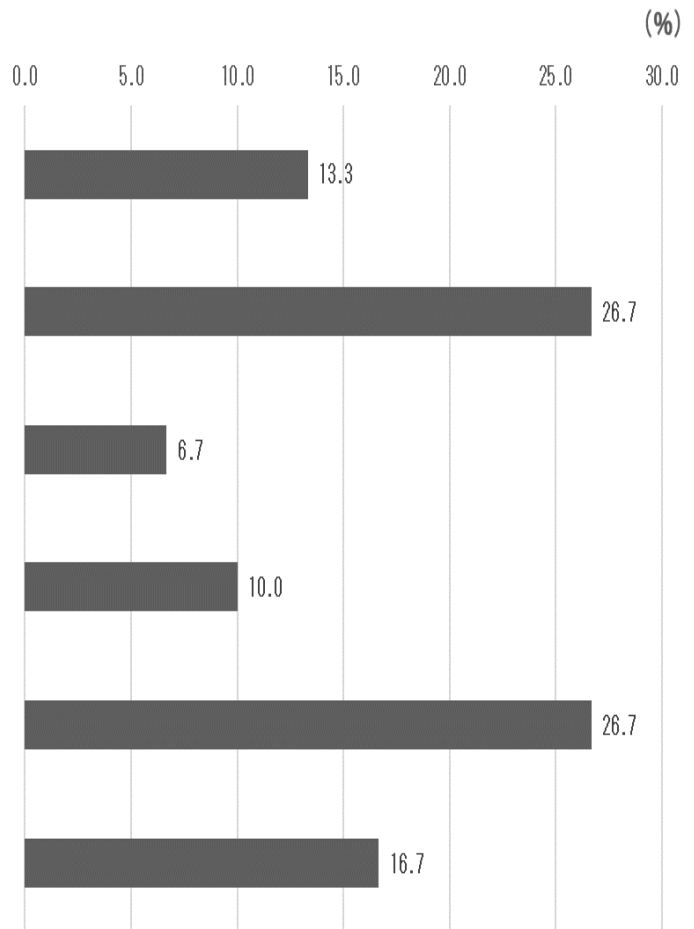
【表 2- (5)】 問：《(4)で「2. 受けなかった」と答えた方》受けなかった理由をお答えください。

(○はいくつでも)

【年代】	40～64 歳 (15)	65～74 歳 (8)	75 歳以上 (7)	未回答 (0)	全年代 (30)
健康に不安がない	3 20.0%	1 12.5%			4 13.3%
定期的に通院している	3 20.0%	3 37.5%	2 28.6%		8 26.7%
受け方がわからない	1 6.7%		1 14.3%		2 6.7%
生活習慣の見直し(食事・運動など) を指示されたくない	1 6.7%	1 12.5%	1 14.3%		3 10.0%
受診費用がかかる	3 20.0%	2 25.0%	3 42.9%		8 26.7%
その他	4 26.7%	1 12.5%			5 16.7%
回答数計	15	8	7		30

【図表 2－(5)単純集計】 問：《(4)で「2. 受けなかった」と答えた方》受けなかった理由をお答えください。(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=30	割合
1	健康に不安がない	4	13.3%
2	定期的に通院している	8	26.7%
3	受け方がわからない	2	6.7%
4	生活習慣の見直し (食事・運動など) を指示されたくない	3	10.0%
5	受診費用がかかる	8	26.7%
6	その他	5	16.7%
回答数計		30	



<「健診を受けていない理由」についてその他の回答>

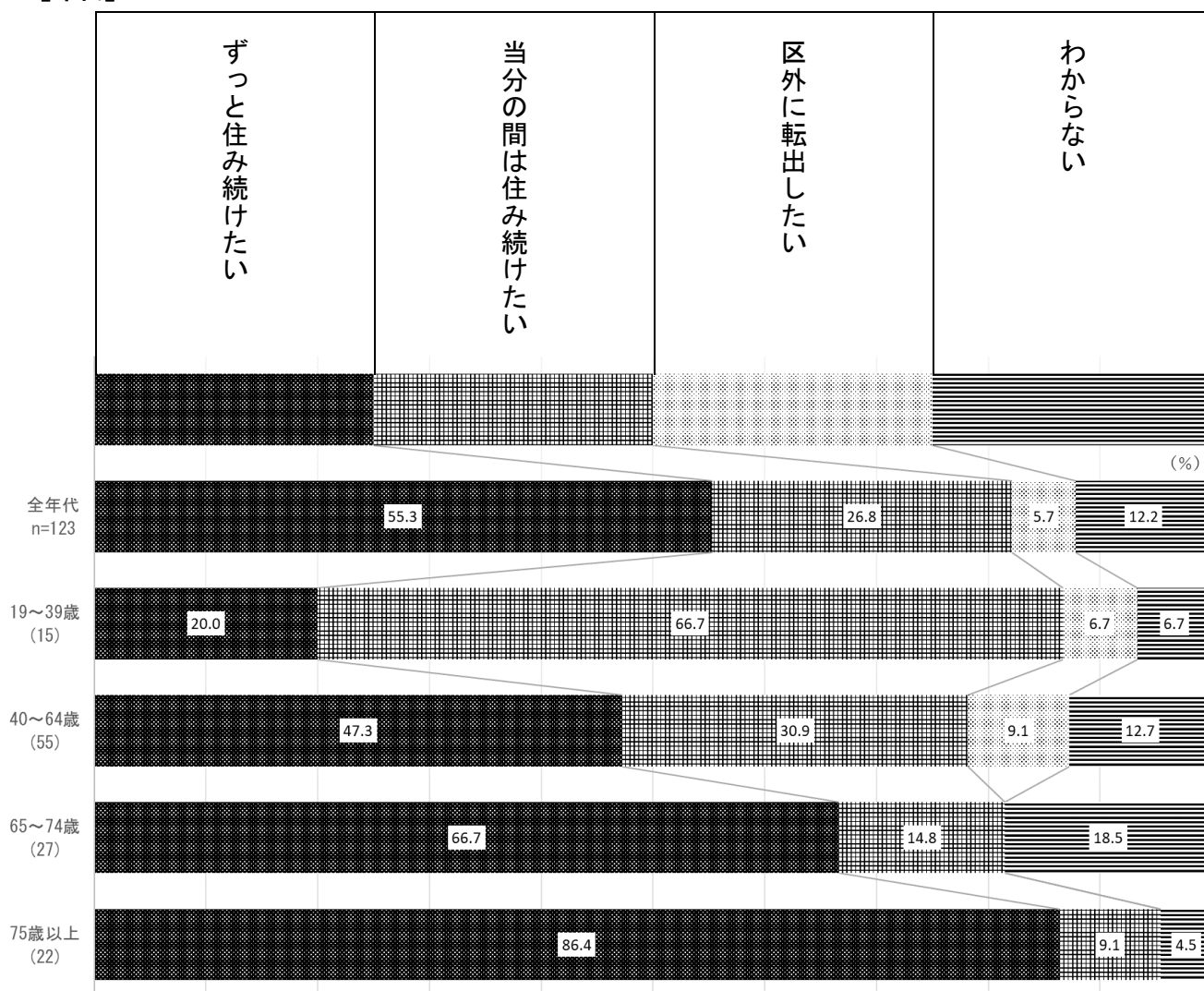
- ・ 2023 年 11 月は会社で受けていたが、2024 年 10 月に生活保護受給者となり、受けていない。
- ・ 予約するのが面倒。
- ・ 体調不良で行けない。
- ・ 行く気がない。
- ・ 予約が取れない。

(6) 「江戸川区への定住意向」と「年代」による集計

全体で「ずっと住みたい」55.3%、「当分の間は住みたい」が26.8%となっている。年代別にみると「ずっと住みたい」が、40歳から年齢が上がるにしたがって割合が増加している。19～39歳では「当分住みたい」が66.7%となっている。

【図表2－(6)】 問：今後も江戸川区に住みたいと思いますか。

【年代】

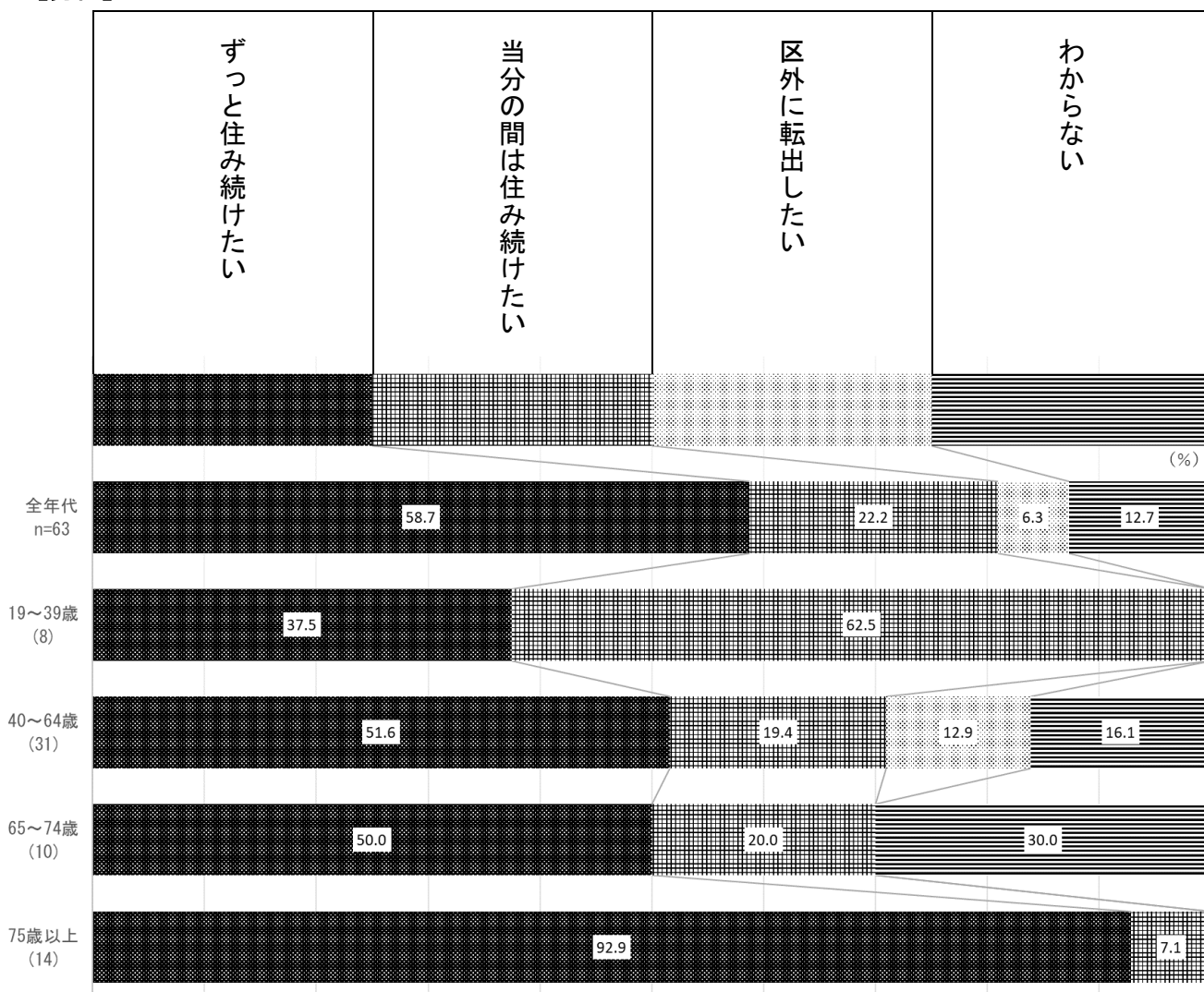


(6)① 「江戸川区への定住意向」と「性別」による集計

男性では 58.7%、女性では 51.8%が「ずっと住み続けたい」と回答している。年代別にみると、男性の 75 歳以上で 92.9%が「ずっと住み続けたい」、女性も 65～74 歳で 76.5%、75 歳以上で 75.0%となっている。「当分の間は住み続けたい」は男性の 19～39 歳では 62.5%、女性の 19～39 歳では 71.4%となっている。男性の 40～64 歳では 12.9%が「区外に転出したい」と回答している。

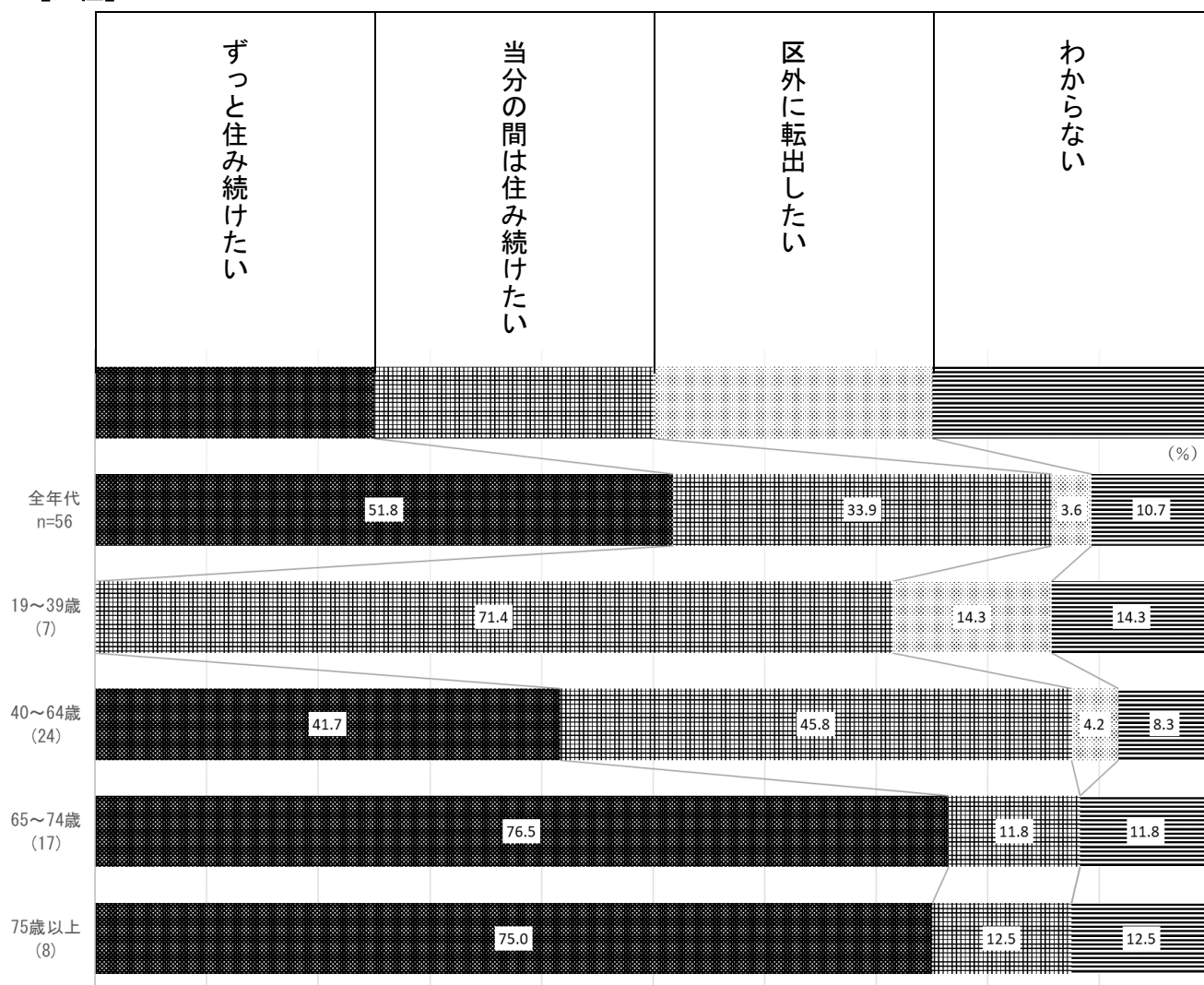
【図表 2－(6)①ア】 問：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

【男性】



【図表 2－(6)①イ】 問：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

【女性】



(6)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。】

全体では、「ずっと住み続けたい」が47.6%、「当分の間は住み続けたい」が37.6%で、『永住意向』(「ずっと住み続けたい」+「当分の間は住み続けたい」)は85.2%となっている。一方、『転出意向』(「区外に転出したい」)は3.4%となっている。

【性・年齢別】

男性において、『永住意向』は60～64歳(89.2%)、75歳以上(89.7%)が9割強と最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は20～29歳を境に、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。女性において、『永住意向』は70～74歳(92.8%)が9割強と最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は30～39歳を境に、男性同様に年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

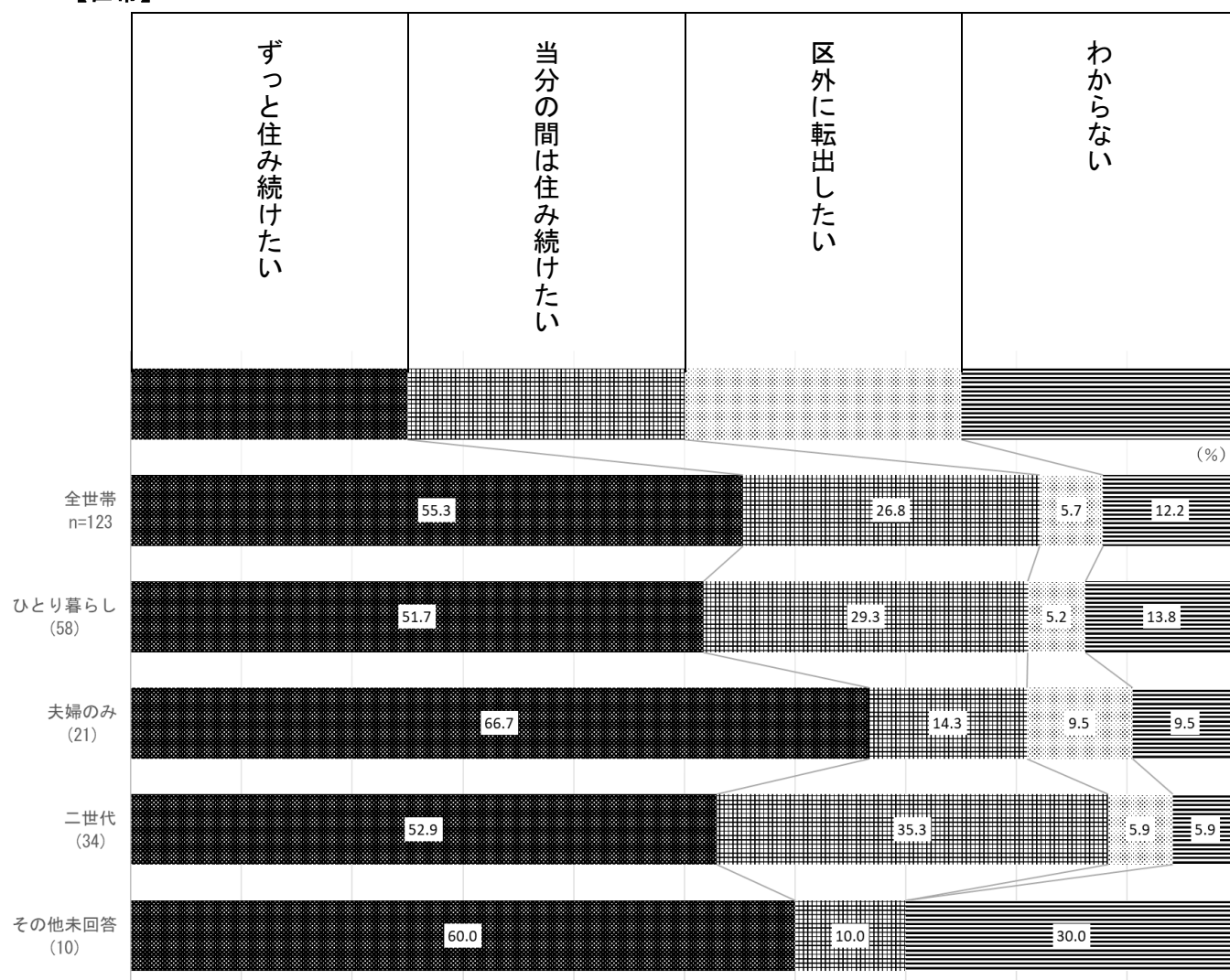
くらしごと相談室利用者アンケートでは、全体で55.3%、男性58.7%、女性51.8%が「ずっと住み続けたい」と回答している。男女別にみると男性75歳以上92.9%、女性65～74歳76.5%が「ずっと住み続けたい」、男性19～39歳62.5%、女性19～39歳71.4%が「当分の間は住み続けたい」と回答している。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「ずっと住み続けたい」が47.6%、男女別にみると『永住意向』(「ずっと住み続けたい」+「当分の間は住み続けたい」)が男性75歳以上で89.7%、女性70～74歳で92.8%と高い。

(6)③ 「江戸川区への定住意向」と「世帯」による集計

全体では「ずっと住み続けたい」が 55.3%となっている。「当分の間は住み続けたい」は 26.8%、世帯別にみると、「夫婦のみ」世帯で「ずっと住み続けたい」が 66.7%と高くなっている。「二世代」世帯では「当分の間は住み続けたい」が 35.3%と他の世帯より高い。「ひとり暮らし」世帯では「ずっと住み続けたい」が 51.7%、「わからない」13.8%となっている。

【図表 2－(6)③】 問：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

【世帯】



(7) 「地域活動・団体の参加状況」と「年代」による集計(複数回答)

全体で「参加していない」79.0%となっている。年代別にみると19～74歳で「参加していない」は80%を超えているが、75歳以上では69.6%となっている。参加状況をみると、19～39歳は「ボランティア」13.3%、40～64歳は「町会・自治会」「ボランティア」がともに7.3%、65～74歳では「町会・自治体」14.8%、75歳以上は「町会・自治会」「高齢者団体(くすのきクラブ等)・障害者団体」がともに13.0%となっている。

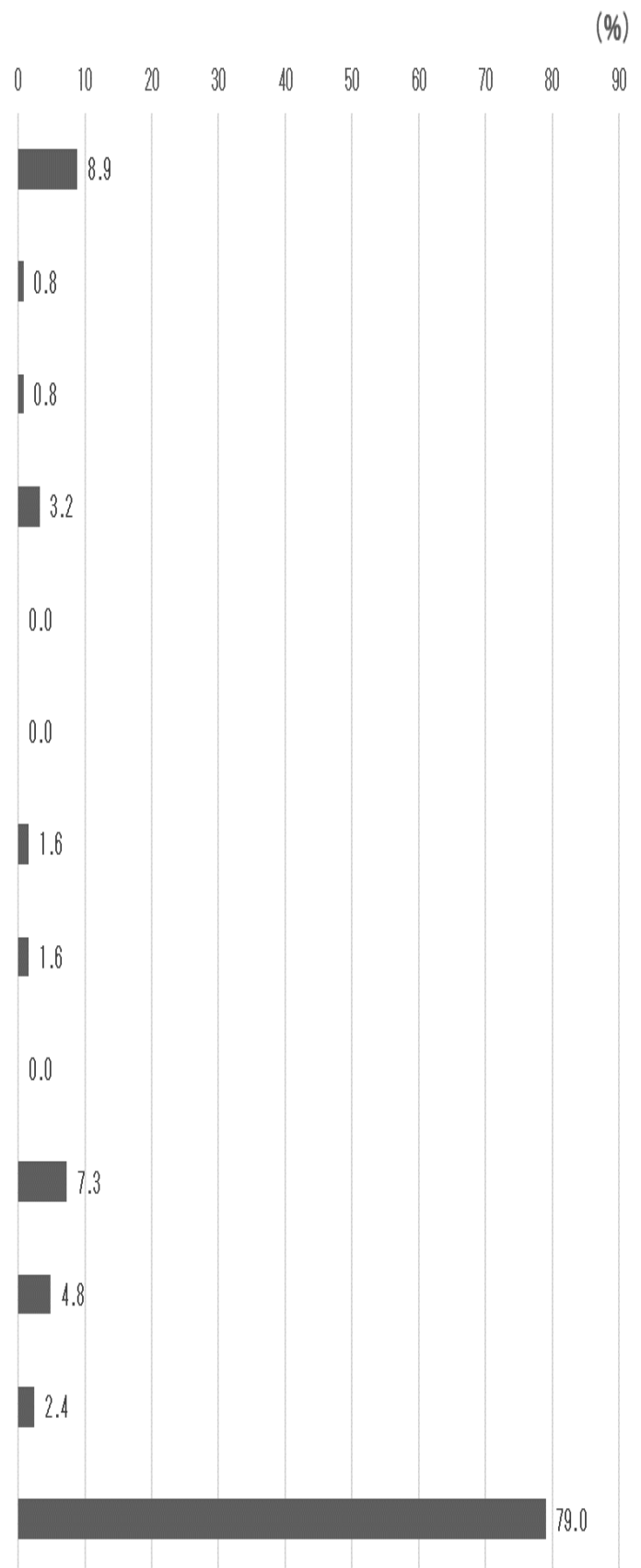
【表2-(7)】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

【年代】	19～39 歳 (15)	40～64 歳 (55)	65～74 歳 (27)	75 歳以上 (23)	未回答 (4)	全年代 (124)
町会・自治会		4 7.3%	4 14.8%	3 13.0%		11 8.9%
PTA		1 1.8%				1 0.8%
子ども会	1 6.7%					1 0.8%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・障害者団体		1 1.8%		3 13.0%		4 3.2%
スポーツ団体		1 1.8%		1 4.3%		2 1.6%
文化・芸能団体					2 50.0%	2 1.6%
ボランティア	2 13.3%	4 7.3%	1 3.7%	1 4.3%	1 25.0%	9 7.3%
趣味		3 5.5%	2 7.4%	1 4.3%		6 4.8%
その他	1 6.7%	1 1.8%	1 3.7%			3 2.4%
参加していない	12 80.0%	45 81.8%	22 81.5%	16 69.6%	3 75.0%	98 79.0%
回答数計	16	60	30	25	6	137

【図表 2-(7)単純集計】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。

(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=124	割合
1	町会・自治会	11	8.9%
2	PTA	1	0.8%
3	子ども会	1	0.8%
4	高齢者団体 (くすのきクラブ等) ・ 障害者団体	4	3.2%
5	防災団体(消防団等) ・ 防犯団体	0	0.0%
6	環境団体	0	0.0%
7	スポーツ団体	2	1.6%
8	文化・芸能団体	2	1.6%
9	NPO・NGO	0	0.0%
10	ボランティア	9	7.3%
11	趣味	6	4.8%
12	その他	3	2.4%
13	参加していない	98	79.0%
回答数計		137	



(7)① 「地域活動・団体の参加状況」と「性別」による集計(複数回答)

男女ともに「参加していない」の割合が高い。男性では全体で90.5%が「参加していない」となっている。75歳以上で「高齢者団体(くすのきクラブ等)・障害者団体」14.3%となっている。女性では全体で66.7%が「参加していない」と男性より参加率は高い。特に「町会・自治会」は全体で17.5%、75歳以上で33.3%となっている。また、「ボランティア」は全体で12.3%、19～39歳では28.6%となっている。

【表2-(7)①ア】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

【男性】	19～39歳 (8)	40～64歳 (31)	65～74歳 (10)	75歳以上 (14)	未回答 (0)	全年代 n=63
町会・自治会			1 10.0%			1 1.6%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・ 障害者団体				2 14.3%		2 3.2%
ボランティア		1 3.2%				1 1.6%
趣味			1 10.0%			1 1.6%
その他	1 12.5%	1 3.2%	1 10.0%			3 4.8%
参加していない	7 87.5%	29 93.5%	9 90.0%	12 85.7%		57 90.5%
回答数計	8	31	12	14		65

【表 2－(7)①イ】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

【女性】	19～39 歳 (7)	40～64 歳 (24)	65～74 歳 (17)	75 歳以上 (9)	未回答 (0)	全年代 n=57
町会・自治会		4 16.7%	3 17.6%	3 33.3%		10 17.5%
PTA		1 4.2%				1 1.8%
子ども会	1 14.3%					1 1.8%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・ 障害者団体		1 4.2%		1 11.1%		2 3.5%
スポーツ団体		1 4.2%		1 11.1%		2 3.5%
ボランティア	2 28.6%	3 12.5%	1 5.9%	1 11.1%		7 12.3%
趣味		3 12.5%	1 5.9%	1 11.1%		5 8.8%
参加していない	5 71.4%	16 66.7%	13 76.5%	4 44.4%		38 66.7%
回答数計	8	29	18	11		66

(7)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問25あなたは、現在地域での活動・団体に参加していますか。(○はいくつでも)】

「町会・自治会」(29.9%)が3割弱と最も高くなっている。次いで「PTA」(5.7%)、「趣味」(4.9%)、「高齢者団体(くすのきクラブなど)・障害者団体」(4.0%)となっている。一方、「参加していない」(57.0%)は6割近くとなっている。

【性・年齢別】

「町会・自治会」は男性75歳以上(47.6%)が5割近くとなっている。

くらしごと相談室利用者アンケートでは、全体で79.0%、男性90.5%、女性66.7%が「参加していない」と回答している。第38回江戸川区民世論調査では「参加していない」が57.0%となっている。くらしごと相談室利用者アンケートでは「町会・自治会」が女性75歳以上で33.3%、第38回江戸川区民世論調査では男性75歳以上で47.6%となっている。くらしごと相談室利用者アンケートでは女性19～39歳で「ボランティア」28.6%となっている。

(7)③ 「地域活動・団体の参加状況」と「世帯」による集計(複数回答)

全体で79.0%が「参加していない」と回答している。世帯別にみると「参加していない」が「ひとり暮らし」世帯では、81.4%、「夫婦のみ」世帯では90.5%、「二世帯」世帯では70.6%となっている。活動別では、「町会・自治会」に「ひとり暮らし」世帯が11.9%、「ボランティア」に「二世帯」世帯が14.7%となっている。

【表2-(7)③】 問：お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(〇はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (59)	夫婦のみ (21)	二世帯 (34)	その他 未回答 (10)	全世帯 n=124
町会・自治会	7 11.9%	1 4.8%	2 5.9%	1 10.0%	11 8.9%
PTA			1 2.9%		1 0.8%
子ども会			1 2.9%		1 0.8%
高齢者団体(くすのきクラブ等) ・ 障害者団体			2 5.9%	2 20.0%	4 3.2%
スポーツ団体	1 1.7%		1 2.9%		2 1.6%
文化・芸能団体				2 20.0%	2 1.6%
ボランティア	3 5.1%		5 14.7%	1 10.0%	9 7.3%
趣味	4 6.8%	1 4.8%	1 2.9%		6 4.8%
その他	2 3.4%		1 2.9%		3 2.4%
参加していない	48 81.4%	19 90.5%	24 70.6%	7 70.0%	98 79.0%
回答数計	65	21	38	13	137

<「地域活動・団体の参加状況」についてその他の回答>

- ・ 地域のおまつり等イベント
- ・ ボランティアの掃除

(8) 「前項(7)で地域活動・団体へ参加していないとした理由」と「年代」による集計(複数回答)

全体で「健康や体力に不安がある」36.5%、「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」32.3%となっている。年代別にみると「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」は19～39歳で61.5%、40～64歳で37.8%となっている。「健康や体力に不安がある」が、年齢が上がるにしたがって割合が増加している。「経済的負担がある」が65～74歳で31.8%であった。

【表2-(8)】 問：《問7で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

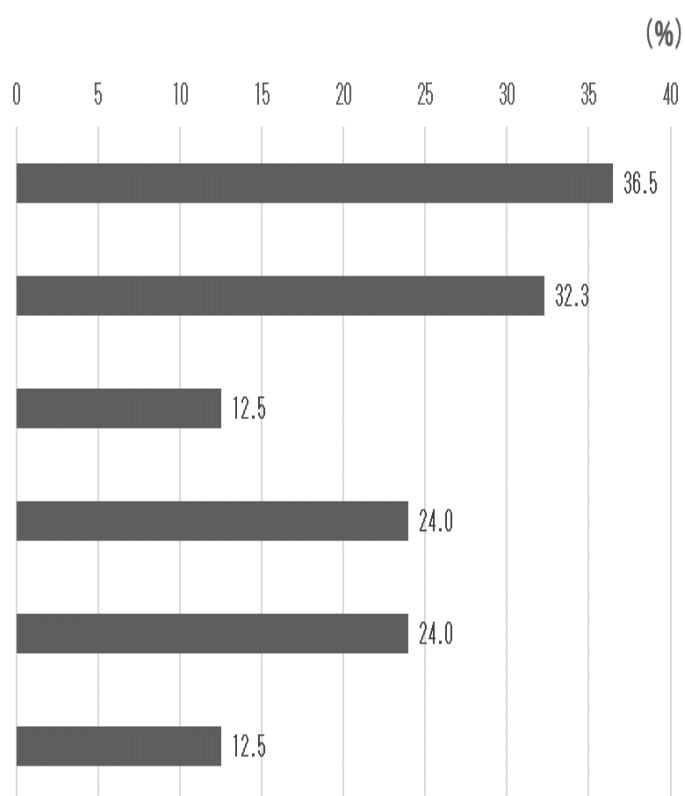
(○はいくつでも)

【年代】	19～39 歳 (13)	40～64 歳 (45)	65～74 歳 (22)	75 歳以上 (15)	未回答 (1)	全年代 n=96
健康や体力に不安がある	3 23.1%	13 28.9%	9 40.9%	10 66.7%		35 36.5%
仕事や家事(育児・介護等)が忙しい	8 61.5%	17 37.8%	4 18.2%	2 13.3%		31 32.3%
地域の人と関わりたくない		7 15.6%	2 9.1%	2 13.3%	1 100.0%	12 12.5%
興味が無い	3 23.1%	11 24.4%	6 27.3%	3 20.0%		23 24.0%
経済的負担がある	2 15.4%	10 22.2%	7 31.8%	4 26.7%		23 24.0%
その他	1 7.7%	7 15.6%	3 13.6%	1 6.7%		12 12.5%
回答数計	17	65	31	22	1	136

【図表２－（８）単純集計】 問：《問７で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

（〇はいくつでも）

No	項目	全体 n=96	割合
1	健康や体力に不安がある	35	36.5%
2	仕事や家事 （育児・介護等）が忙しい	31	32.3%
3	地域の人と 関わりたくない	12	12.5%
4	興味が無い	23	24.0%
5	経済的負担がある	23	24.0%
6	その他	12	12.5%
回答数計		136	



(8) 「前項(7)①で地域活動・団体へ参加していないとした理由」と「性別」による集計(複数回答)

男性全体では「興味が無い」34.5%、「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」30.9%となっている。
年代別にみると、19～39歳では「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」57.1%、75歳以上では「健康や体力に不安がある」54.5%となっている。女性全体では「健康や体力に不安がある」52.6%、「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」36.8%、年代別にみると、19～39歳では「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」80.0%となっている。

【表2-(8)①ア】 問：《問7で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

【男性】	19～39歳 (7)	40～64歳 (28)	65～74歳 (9)	75歳以上 (11)	未回答 (0)	全年代 n=55
健康や体力に不安がある	1 14.3%	7 25.0%	1 11.1%	6 54.5%		15 27.3%
仕事や家事(育児・介護等)が忙しい	4 57.1%	9 32.1%	2 22.2%	2 18.2%		17 30.9%
地域の人と関わりたくない		4 14.3%	1 11.1%	2 18.2%		7 12.7%
興味が無い	2 28.6%	9 32.1%	5 55.6%	3 27.3%		19 34.5%
経済的負担がある	1 14.3%	7 25.0%	1 11.1%	2 18.2%		11 20.0%
その他	1 14.3%	3 10.7%	1 11.1%	1 9.1%		6 10.9%
回答数計	9	39	11	16		75

【表 2－(8)①イ】 問：《問 7 で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

(○はいくつでも)

【女性】	19～39 歳 (5)	40～64 歳 (16)	65～74 歳 (13)	75 歳以上 (4)	未回答 (0)	全年代 n=38
健康や体力に不安がある	2 40.0%	6 37.5%	8 61.5%	4 100.0%		20 52.6%
仕事や家事(育児・介護等)が忙しい	4 80.0%	8 50.0%	2 15.4%			14 36.8%
地域の人と関わりたくない		3 18.8%	1 7.7%			4 10.5%
興味が無い		2 12.5%	1 7.7%			3 7.9%
経済的負担がある	1 20.0%	3 18.8%	6 46.2%	2 50.0%		12 31.6%
その他		3 18.8%	2 15.4%			5 13.2%
回答数計	7	25	20	6		58

(8)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問26問25で「13」(参加していない)と答えた方にお尋ねします。参加していない理由は何ですか。
(〇はいくつでも)】

「仕事や家事(育児・介護など)が忙しい」(47.5%)が5割近くと最も高くなっている。次いで「興味がない」(31.9%)、「健康や体力に不安がある」(17.4%)、「経済的負担がある」(9.1%)となっている。

【性・年齢別】

「興味がない」は男性(36.8%)が女性(27.5%)に比べて9.3ポイント高くなっている。「興味がない」は男性20～29歳(50.0%)が5割と高くなっている。また、「健康や体力に不安がある」は女性75歳以上(58.0%)が6割近くと高くなっている。

くらしごと相談室利用者アンケートでは、全体で「健康や体力に不安がある」36.5%「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」32.3%となっている。男女別にみると、男性で「興味が無い」34.5%、女性で「健康や体力に不安がある」52.6%となっている。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「仕事や家事(育児・介護など)が忙しい」(47.5%)が5割近くと最も高くなっている。次いで「興味がない」(31.9%)となっている。男性の「興味がない」36.8%が女性27.5%を上回っている。

(8)③ 「前項⑦で地域活動・団体へ参加していないとした理由」と「世帯」による集計(複数回答)

全体で「健康や体力に不安がある」が 36.5%、「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」が 32.3%となっている。世帯別にみると、「夫婦のみ」世帯では、「健康や体力に不安がある」と「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」がともに 47.4%となっている。「二世帯」世帯では「仕事や家事(育児・介護等)が忙しい」が 41.7%、「その他未回答」世帯では「地域の人と関わりたくない」が 42.9%となっている。

【表 2-(8)③】 問：《問 7 で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (46)	夫婦のみ (19)	二世帯 (24)	その他 未回答 (7)	全世帯 n=96
健康や体力に不安がある	15 32.6%	9 47.4%	9 37.5%	2 28.6%	35 36.5%
仕事や家事(育児・介護等)が忙しい	11 23.9%	9 47.4%	10 41.7%	1 14.3%	31 32.3%
地域の人と関わりたくない	6 13.0%		3 12.5%	3 42.9%	12 12.5%
興味が無い	12 26.1%	4 21.1%	5 20.8%	2 28.6%	23 24.0%
経済的負担がある	11 23.9%	4 21.1%	7 29.2%	1 14.3%	23 24.0%
その他	6 13.0%	1 5.3%	4 16.7%	1 14.3%	12 12.5%
回答数計	61	27	38	10	136

<「地域活動・団体へ参加していないとした理由」についてその他の回答>

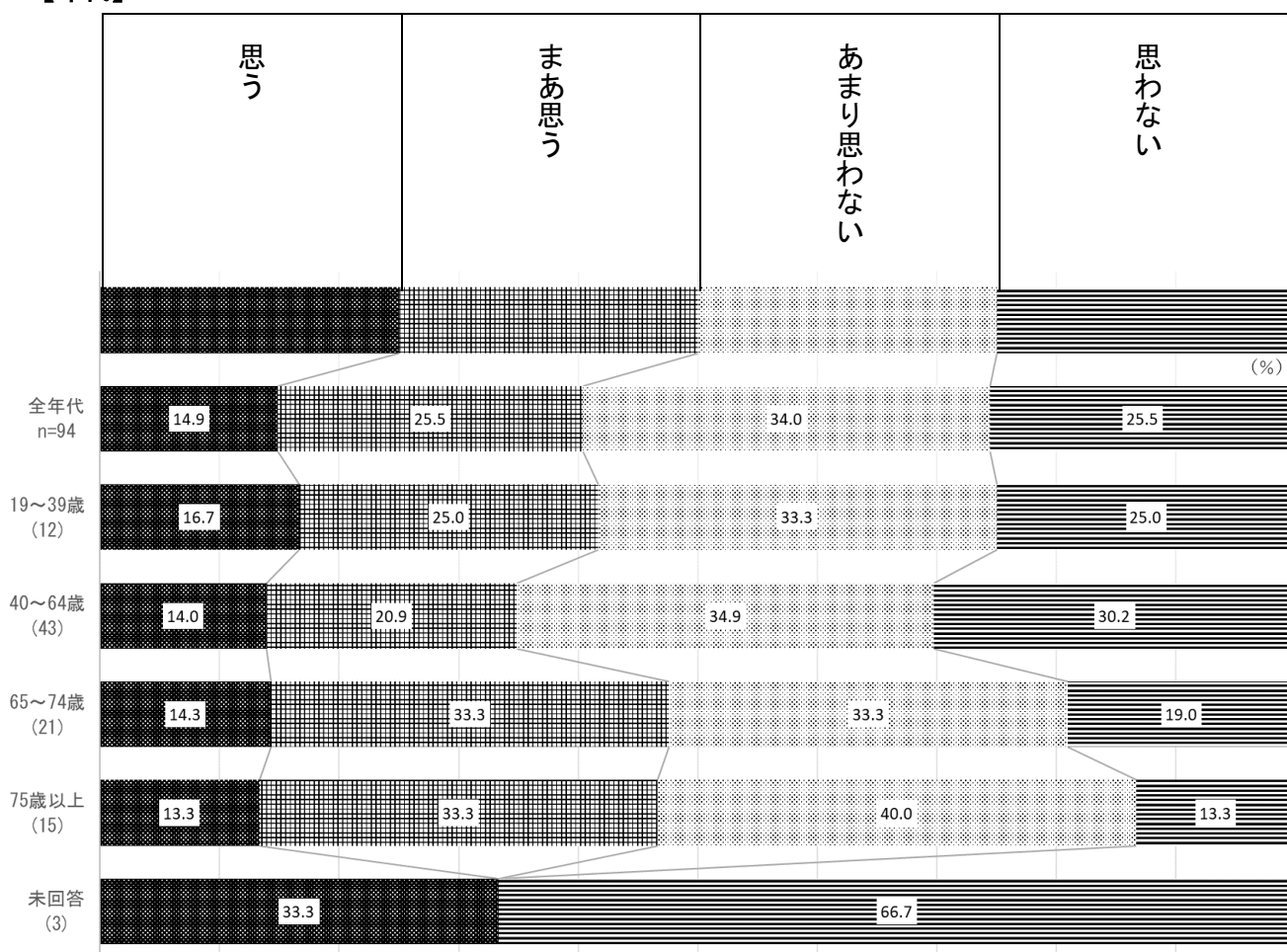
- ・ 心身ともにそのゆとりがない。
- ・ ずっと仕事をしてきて暇がなかった。
- ・ 知らなかった。
- ・ 特に理由は無い。
- ・ この地域、町内会からはお声をかけてもらえない。
- ・ 仕事をしている為、時間がない。(同文、1件)
- ・ 越したばかりの地区には、馴染めてもいないので。
- ・ 就労支援センター通所。
- ・ フリーランスのため不定期に仕事がある。
- ・ 団地のため、自治会参加が強制的なところが嫌。
- ・ 他の NPO に従事している。

(9) 「きっかけ次第で地域活動に参加したいかの意向」と「年代」による集計

全体で「思う」14.9%、「まあ思う」25.5%となっている。一方、「あまり思わない」34.0%、「思わない」25.5%となっている。年代別にみると大きな差はないが、40～64歳で「あまり思わない」34.9%、「思わない」30.2%となっている。

【図表2-(9)】 問：《問7で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと思いますか。

【年代】

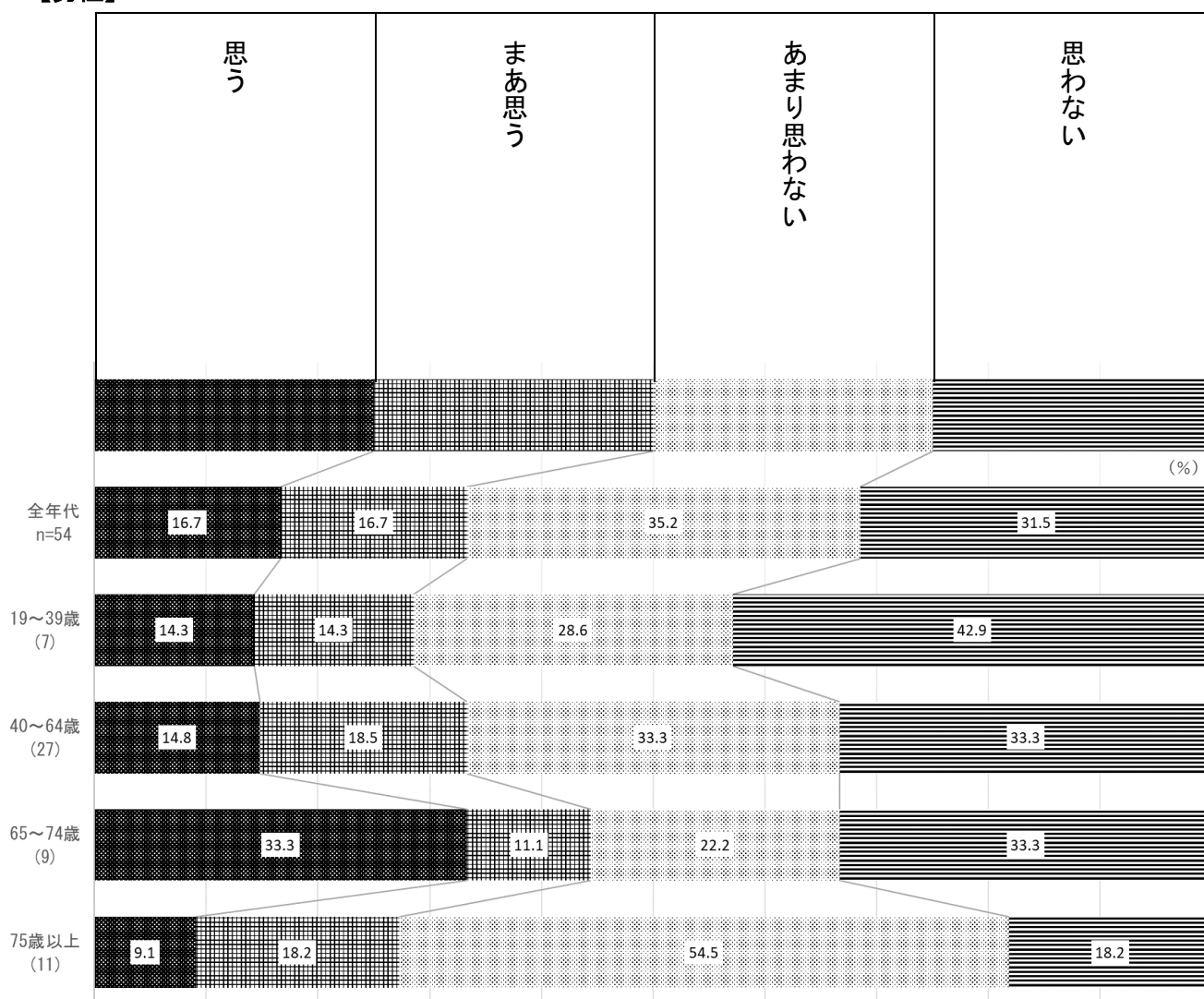


(9)① 「きっかけ次第で地域活動に参加したいかの意向」と「性別」による集計

男性全体では「あまり思わない」35.2%、「思わない」31.5%であり、75歳以上では「あまり思わない」54.5%となっている。一方、65～74歳男性では「思う」が33.3%となっている。女性全体では「まあ思う」40.5%と高く、19～39歳では「思う」20.0%「まあ思う」40.0%となっている。

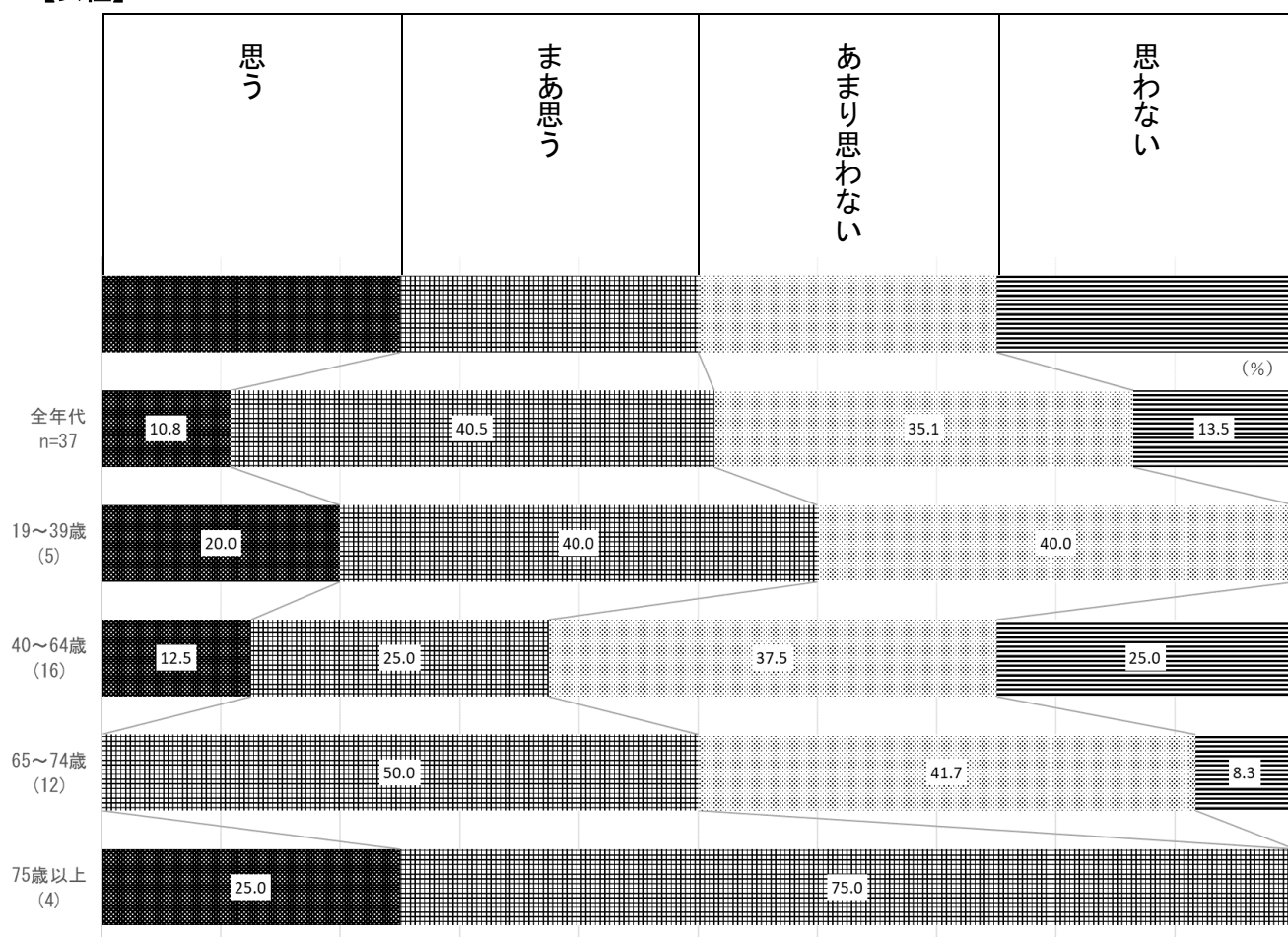
【図表2-(9)①ア】 問：《問7で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと
 思いますか。

【男性】



【図表 2-(9)①イ】 問：《問 7 で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと
 思いますか。

【女性】



(9)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問27 問25で「13」(参加していない)と答えた方にお尋ねします。きっかけがあれば参加したいと思いますか。】

「思う」が10.2%、「まあ思う」が34.2%で、『思う』(「思う」+「まあ思う」)は44.4%となっている。一方、『思わない』(「思わない」+「あまり思わない」)は53.6%となっている。

【性・年齢別】

『思う』は女性(47.8%)が男性(40.1%)に比べて7.7ポイント高くなっている。

男性において、『思う』は50～59歳(47.8%)が5割近くと最も高くなっている。一方、『思わない』は30～39歳(65.5%)、65～69歳(64.5%)、70～74歳(65.4%)が6割台半ばとなっている。女性において、『思う』は20～29歳(55.2%)、50～59歳(54.7%)、60～64歳(55.3%)が5割台半ばと最も高くなっている。一方、『思わない』は75歳以上(72.4%)が7割強となっている。

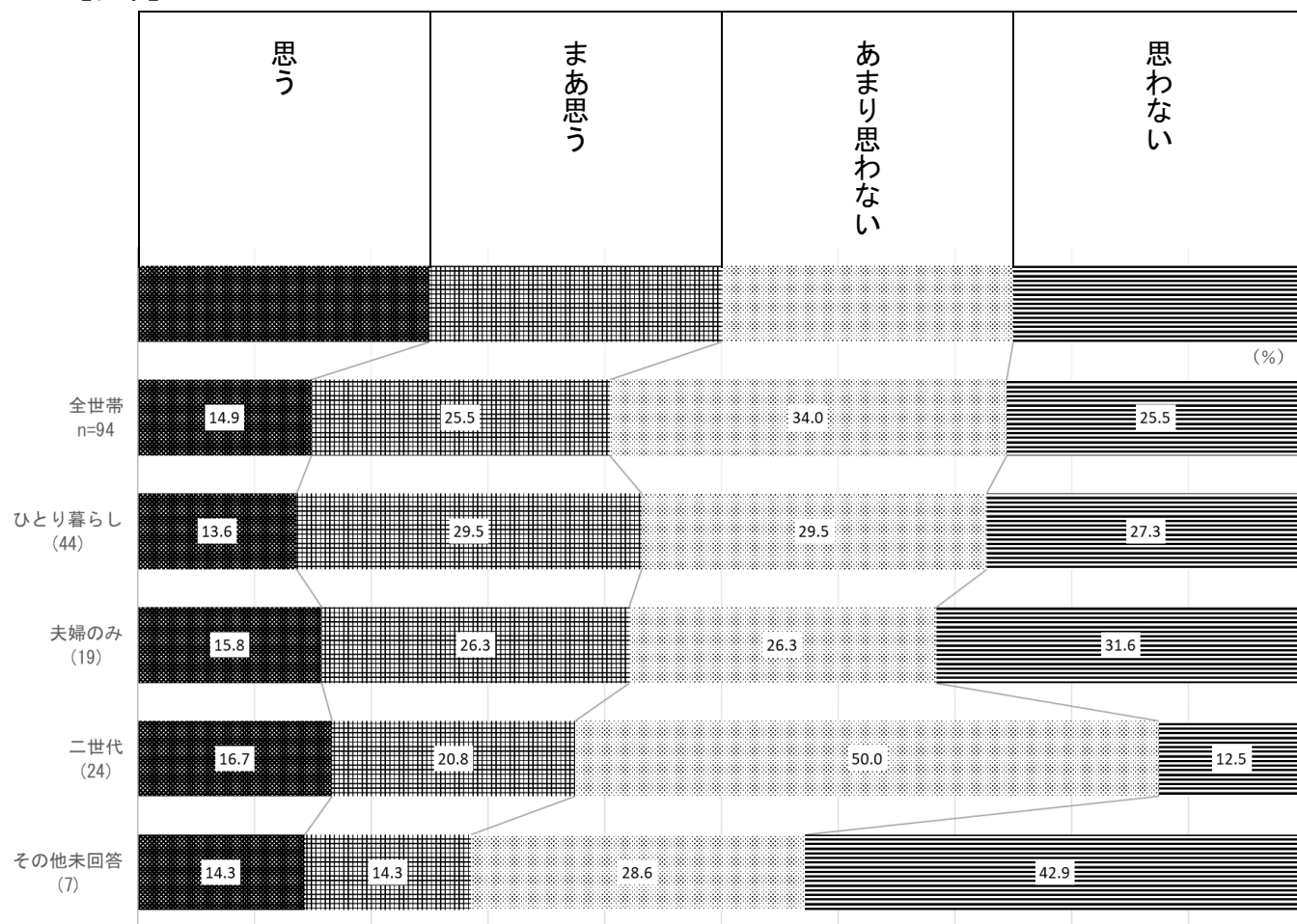
くらしごと相談室利用者アンケートでは、全体で「思う」14.9%、「まあ思う」25.5%となっている。一方、「あまり思わない」34.0%、「思わない」25.5%となっている。男女別にみると、女性は「思う」10.8%、「まあ思う」40.5%、男性は「思う」「まあ思う」ともに16.7%であった。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「思う」10.2%、「まあ思う」34.2%となっている。一方、『思わない』(「思わない」+「あまり思わない」)は53.6%となっている。男女別にみると、女性において『思う』(「思う」+「まあ思う」)は女性47.8%であり、男性では40.1%となっている。両調査とも男性に比べ、女性の参加意向がみられる。

(9)③ 「きっかけ次第で地域活動に参加したいかの意向」と「世帯」による集計

全体では「あまり思わない」34.0%、「まあ思う」「思わない」ともに25.5%となっている。世帯別にみると「二世帯」世帯では「あまり思わない」が50.0%と高い。「その他未回答」世帯では「思わない」が42.9%と高い。「ひとり暮らし」世帯では「思う」13.6%、「まあ思う」29.5%となっている。

【図表2-(9)③】 問：《問7で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと思いますか。

【世帯】

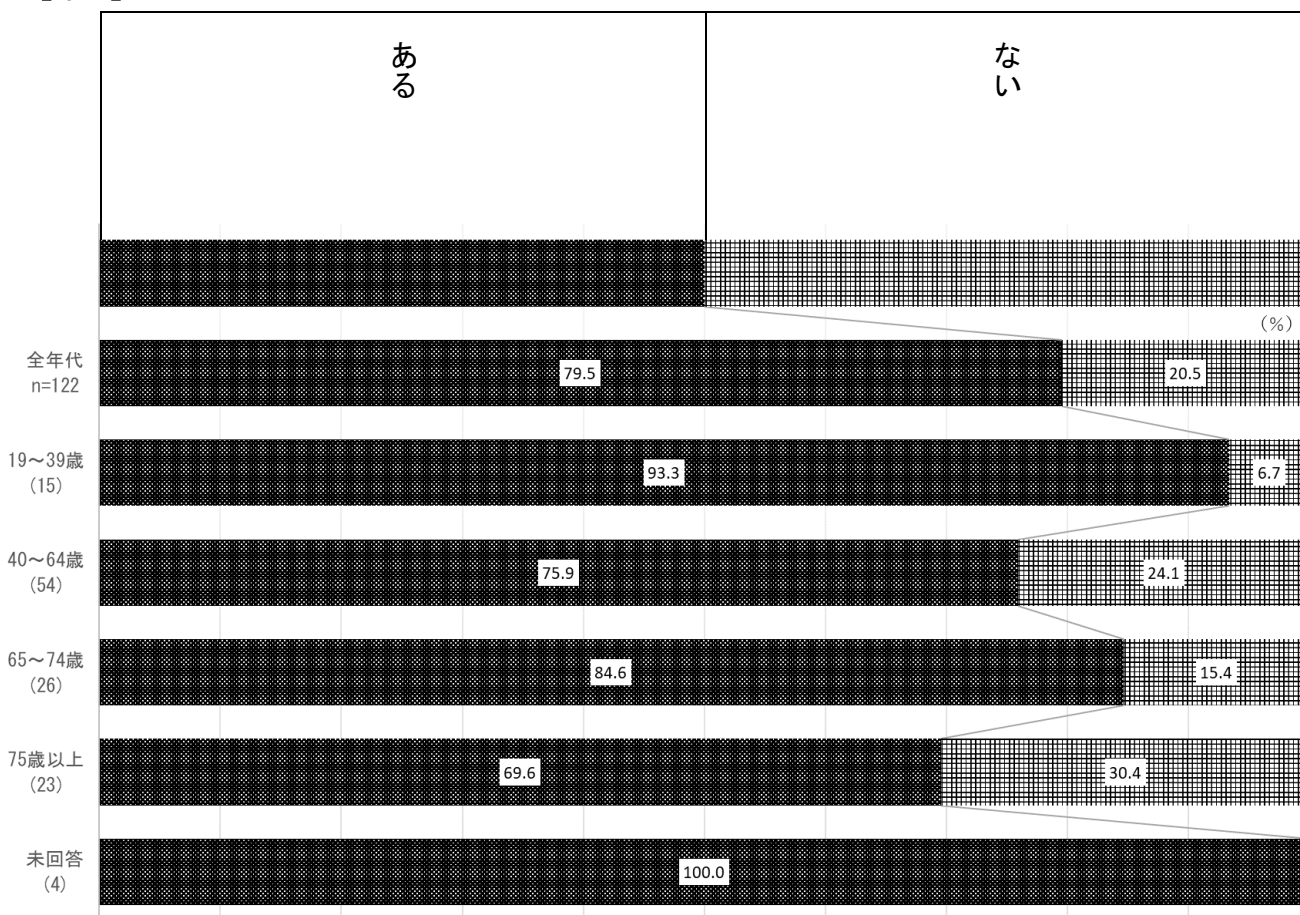


(10) 「日常生活の困りごとや悩みの有無」と「年代」による集計

全体で「ある」は79.5%となっている。年代別にみると19～39歳で93.3%、次いで65～74歳で84.6%となっている。

【図表2－(10)】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【年代】

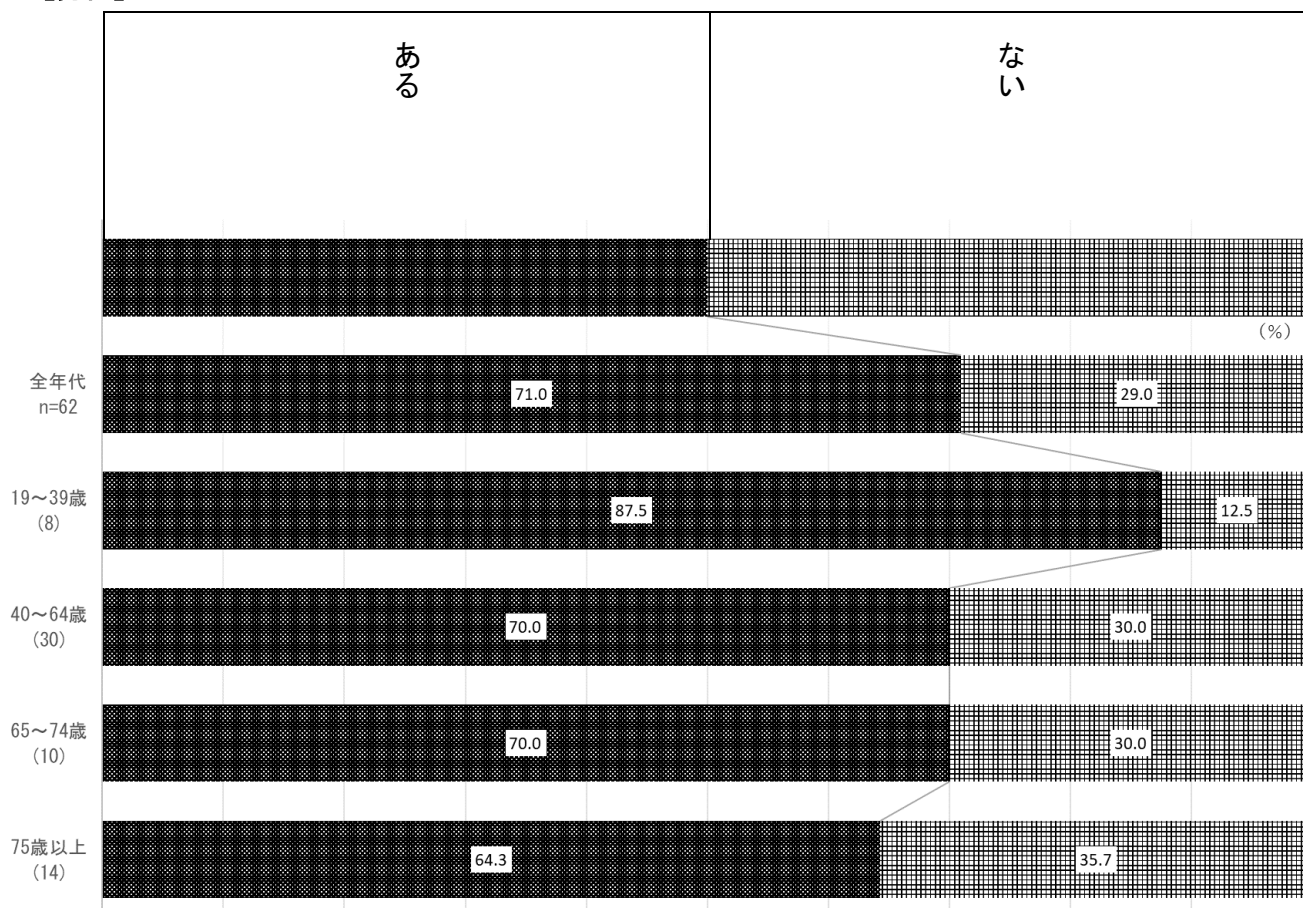


(10)① 「日常生活の困りごとや悩みの有無」と「性別」による集計

男性全体では 71.0%が「ある」、19～39 歳で 87.5%と高い。女性全体では 87.5%が「ある」、19～39 歳では 100.0%、65～74 歳では 93.8%となっている。

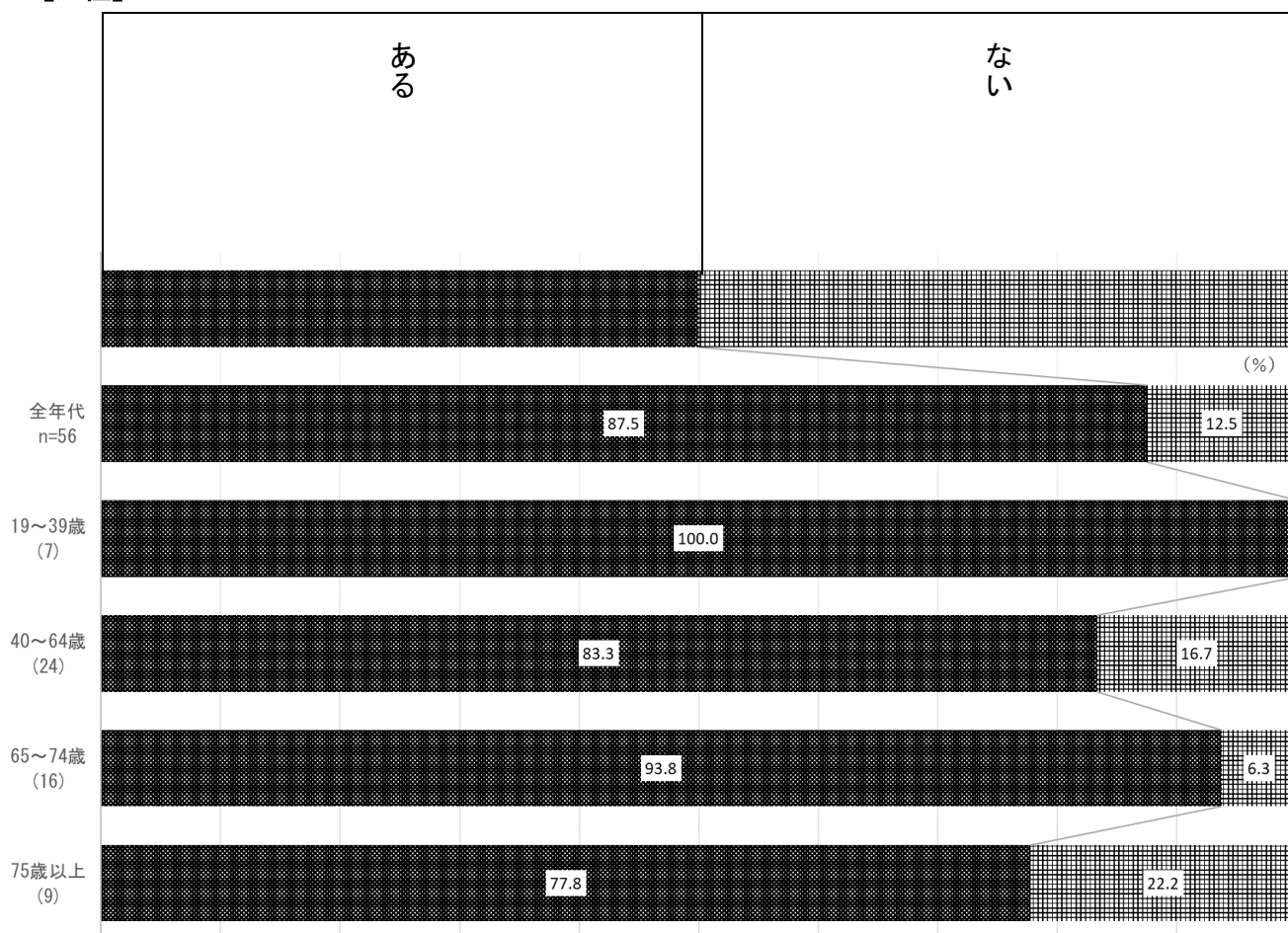
【図表 2－(10)①ア】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【男性】



【図表 2－(10)①イ】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【女性】



(10)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問30 現在、あなたは日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。】

日常生活の中での困りごとや悩みは、「ある」(43.9%)が4割強、「ない」(52.0%)は5割強となっている。

【性・年齢別】

男性において、「ある」は40～49歳(51.4%)が5割強と高くなっている。「ない」は65～69歳(61.1%)、70～74歳(62.5%)が6割強と高くなっている。女性において、「ある」は30～39歳(54.5%)が5割台半ばと高くなっている。「ない」は75歳以上(59.0%)が6割弱と高くなっている。

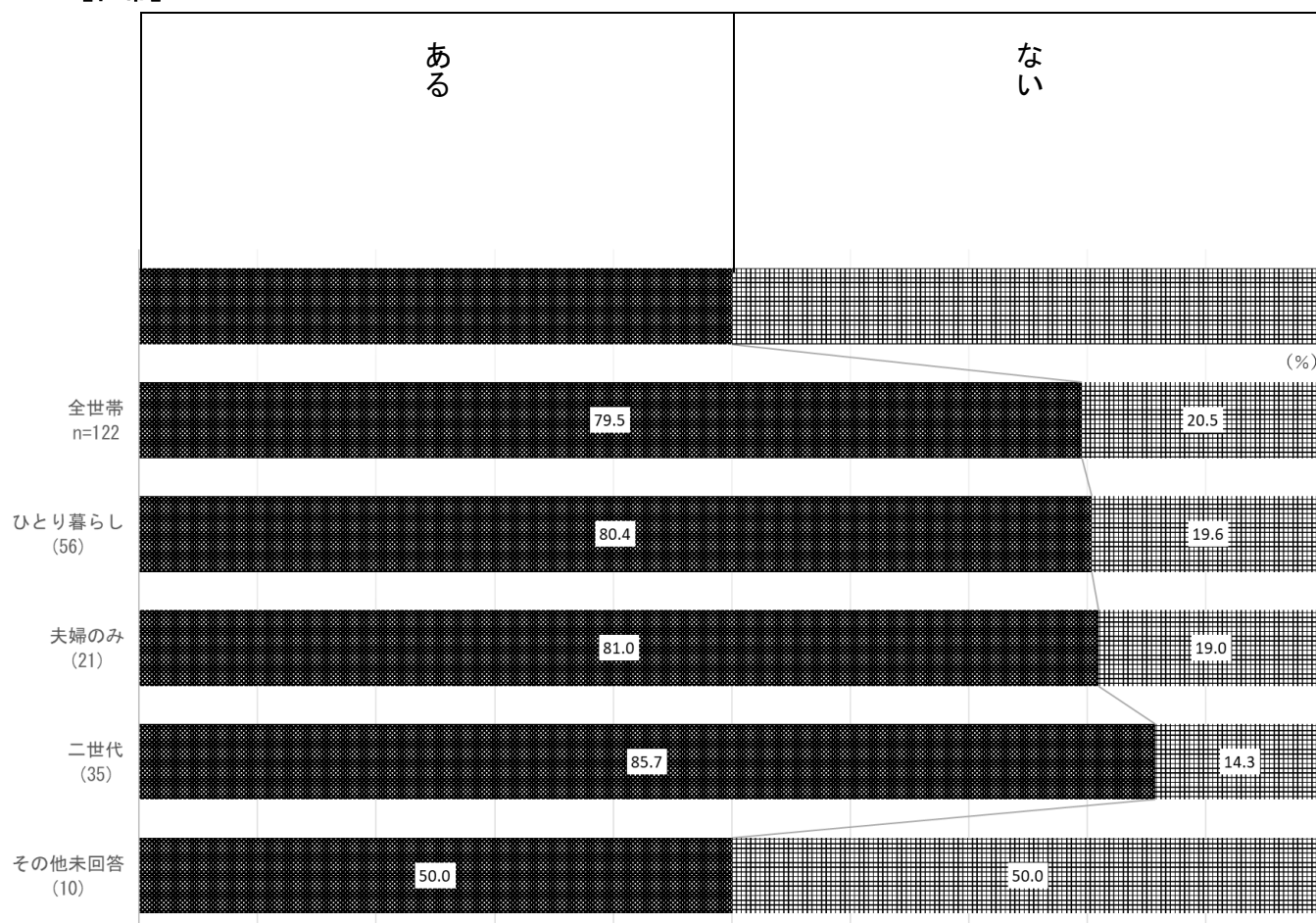
くらしごと相談室利用者アンケートでは、「ある」は全体で79.5%、第38回江戸川区民世論調査では43.9%となっている。男女別でみると、くらしごと相談室利用者アンケートでは男女ともに19～39歳において高い割合を示し、第38回江戸川区民世論調査においては男性で40～49歳51.4%、女性で30～39歳54.5%となっている。

(10)③ 「日常生活の困りごとや悩みの有無」と「世帯」による集計

全体では「ある」が79.5%、「ない」が20.5%となっている。世帯別にみると「二世帯」世帯で「ある」が85.7%と高く、「ひとり暮らし」世帯では80.4%、「夫婦のみ」世帯では81.0%が「ある」と回答している。

【図表2－(10)③】 問：現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

【世帯】



(11) 「困りごとや悩みの内容」と「年代」による集計(複数回答)

全体で「経済的なこと」が 79.4%となっている。年代別にみると 65～74 歳で「経済的なこと」86.4%、次いで「健康のこと」で 68.2%となっている。40～64 歳で「経済的なこと」は 85.7%となっている。75 歳以上では「健康のこと」53.3%、次いで「経済的なこと」が 46.7%となっている。

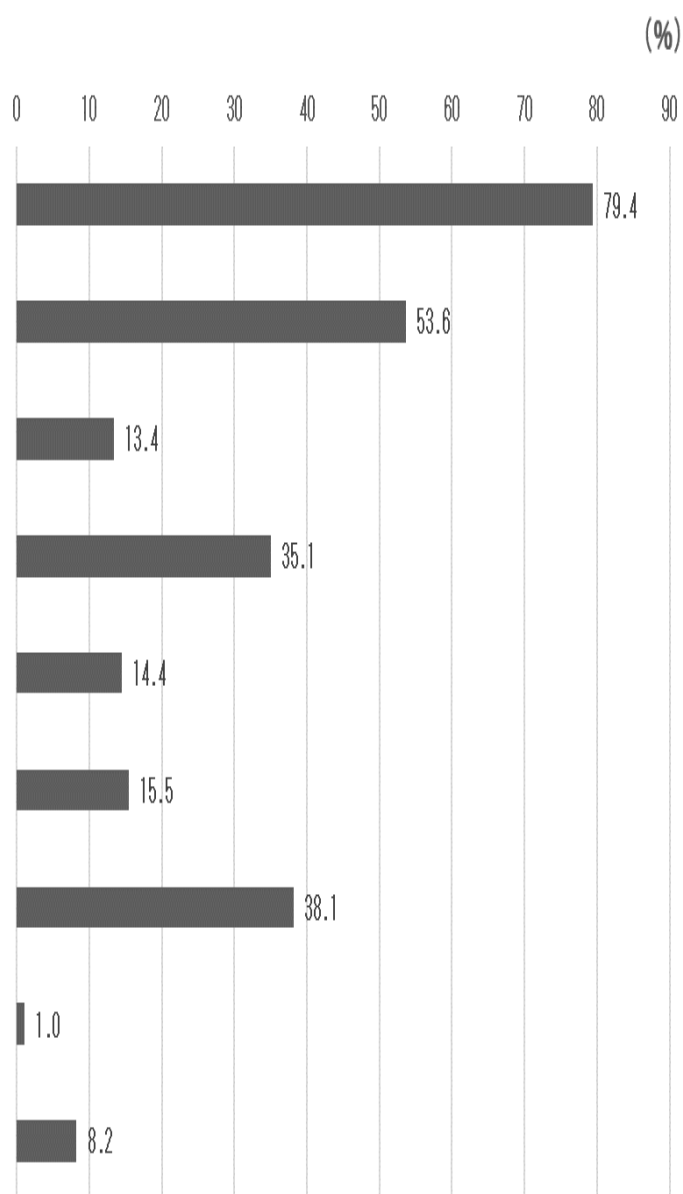
【表 2－(11)】 問：《11 で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

【年代】	19～39 歳 (14)	40～64 歳 (42)	65～74 歳 (22)	75 歳以上 (15)	未回答 (4)	全年代 n=97
経済的なこと	12 85.7%	36 85.7%	19 86.4%	7 46.7%	3 75.0%	77 79.4%
健康のこと	8 57.1%	19 45.2%	15 68.2%	8 53.3%	2 50.0%	52 53.6%
子育て・介護のこと	4 28.6%	7 16.7%	1 4.5%	1 6.7%		13 13.4%
仕事に関すること	6 42.9%	18 42.9%	6 27.3%	3 20.0%	1 25.0%	34 35.1%
家族との人間関係	2 14.3%	7 16.7%	1 4.5%	3 20.0%	1 25.0%	14 14.4%
家族以外との人間関係	3 21.4%	9 21.4%	2 9.1%		1 25.0%	15 15.5%
住まいや生活環境	4 28.6%	18 42.9%	7 31.8%	6 40.0%	2 50.0%	37 38.1%
特にない			1 4.5%			1 1.0%
その他		5 11.9%		3 20.0%		8 8.2%
回答数計	39	119	52	31	10	251

【図表 2－(11)単純集計】 問：《11 で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=97	割合
1	経済的なこと	77	79.4%
2	健康のこと	52	53.6%
3	子育て・介護のこと	13	13.4%
4	仕事に関すること	34	35.1%
5	家族との人間関係	14	14.4%
6	家族以外との人間関係	15	15.5%
7	住まいや生活環境	37	38.1%
8	特にない	1	1.0%
9	その他	8	8.2%
回答数計		251	



(11)① 「困りごとや悩みの内容」と「性別」による集計(複数回答)

「経済的なこと」が、女性 81.3%、男性 77.8%となっている。男性では 65～74 歳で「経済的なこと」が 100.0%となっている。女性では「健康のこと」が 66.7%、「仕事に関すること」が 50.0%、「住まいや生活環境」が 47.9%、40～64 歳女性では「仕事に関すること」が 75.0%、「住まいや生活環境」が 65.0%、男性は 75 歳以上で「健康のこと」が 55.6%となっている。

【表 2－(11)①ア】 問：《11 で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

【男性】	19～39 歳 (7)	40～64 歳 (22)	65～74 歳 (7)	75 歳以上 (9)	未回答 (0)	全年代 n=45
経済的なこと	6 85.7%	18 81.8%	7 100.0%	4 44.4%		35 77.8%
健康のこと	3 42.9%	7 31.8%	3 42.9%	5 55.6%		18 40.0%
子育て・介護のこと	2 28.6%	3 13.6%	1 14.3%	1 11.1%		7 15.6%
仕事に関すること	3 42.9%	3 13.6%	2 28.6%	1 11.1%		9 20.0%
家族との人間関係	2 28.6%	2 9.1%		3 33.3%		7 15.6%
家族以外との人間関係	1 14.3%	4 18.2%				5 11.1%
住まいや生活環境	2 28.6%	5 22.7%	2 28.6%	3 33.3%		12 26.7%
特にない			1 14.3%			1 2.2%
その他		3 13.6%		1 11.1%		4 8.9%
回答数計	19	45	16	18		98

【表 2－(11)①イ】 問：《11 で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(〇はいくつでも)

【女性】	19～39 歳 (7)	40～64 歳 (20)	65～74 歳 (15)	75 歳以上 (6)	未回答 (0)	全年代 n=48
経済的なこと	6 85. 7%	18 90. 0%	12 80. 0%	3 50. 0%		39 81. 3%
健康のこと	5 71. 4%	12 60. 0%	12 80. 0%	3 50. 0%		32 66. 7%
子育て・介護のこと	2 28. 6%	4 20. 0%				6 12. 5%
仕事に関すること	3 42. 9%	15 75. 0%	4 26. 7%	2 33. 3%		24 50. 0%
家族との人間関係		5 25. 0%	1 6. 7%			6 12. 5%
家族以外との人間関係	2 28. 6%	5 25. 0%	2 13. 3%			9 18. 8%
住まいや生活環境	2 28. 6%	13 65. 0%	5 33. 3%	3 50. 0%		23 47. 9%
その他		2 10. 0%		2 33. 3%		4 8. 3%
回答数計	20	74	36	13		143

(11)② 第38回江戸川区民世論調査の結果との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問31 問30で「1」(ある)と答えた方にお尋ねします。

あなたの困りごとや悩みはどのようなことですか。(〇はいくつでも)】

「経済的なこと」(55.4%)が5割台半ばと最も高くなっている。次いで「健康のこと」(43.5%)、「住まいや生活環境」(33.6%)、「子育て・介護のこと」(28.1%)となっている。

【性・年齢別】

「経済的なこと」は男性(58.7%)が女性(52.6%)に比べて6.1ポイント高く、「子育て・介護のこと」は女性(30.1%)が男性(26.1%)に比べて4.0ポイント高くなっている。「経済的なこと」は女性20～29歳(78.8%)が8割近くと高くなっている。「健康のこと」は女性75歳以上(73.7%)が7割強と高くなっている。

くらしごと相談室利用者アンケートでは、全体で「経済的なこと」が79.4%となっている。男女別にみると、「経済的なこと」が女性81.3%、男性77.8%となっている。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「経済的なこと」(55.4%)が5割台半ばと最も高くなっている。次いで「健康のこと」(43.5%)であった。男女別にみると「経済的なこと」が男性58.7%、女性52.6%となっている。「健康のこと」は、くらしごと相談室利用者アンケートでは女性75歳以上で50.0%、第38回江戸川区民世論調査では女性75歳以上で73.7%となっている。

(11)③ 「困りごとや悩みの内容」と「世帯」による集計(複数回答)

全体では「経済的なこと」が 79.4%、「健康のこと」が 53.6%となっている。世帯別にみると「健康のこと」は「夫婦のみ」世帯で 64.7%となっている。「子育て・介護のこと」は「二世帯」世帯で 27.6%となっている。

【表 2－(11)③】 問：《11 で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。

(○はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (46)	夫婦のみ (17)	二世帯 (29)	その他 未回答 (5)	全世帯 n=97
経済的なこと	36 78.3%	13 76.5%	23 79.3%	5 100.0%	77 79.4%
健康のこと	22 47.8%	11 64.7%	15 51.7%	4 80.0%	52 53.6%
子育て・介護のこと	2 4.3%	2 11.8%	8 27.6%	1 20.0%	13 13.4%
仕事に関すること	17 37.0%	4 23.5%	10 34.5%	3 60.0%	34 35.1%
家族との人間関係	6 13.0%		6 20.7%	2 40.0%	14 14.4%
家族以外との人間関係	7 15.2%	1 5.9%	6 20.7%	1 20.0%	15 15.5%
住まいや生活環境	17 37.0%	5 29.4%	13 44.8%	2 40.0%	37 38.1%
特にない	1 2.2%				1 1.0%
その他	5 10.9%	1 5.9%	2 6.9%		8 8.2%
回答数計	113	37	83	18	251

<「困りごとや悩みの内容」についてその他の意見>

- ・ 上の階の騒音(早朝他)。
- ・ 家賃が高いので困っています。
- ・ 部屋の壁の薄さなど。
- ・ 1年ごとの継続でいつ(仕事を)辞めさせられるか。パートなので生活が成り立っていない。
- ・ 病気で仕事ができない。
- ・ 主人が脳出血で 50 代で倒れた。
- ・ 将来のこと。(同文、1 件)

(12) 「困りごとや悩みの相談相手」と「年代」による集計(複数回答)

全体では「家族・親戚」37.2%、「行政や民間等の相談機関」34.0%となっている。年代別にみると、19～39歳は「家族・親戚」が71.4%となっている。年代が上がるごとに割合は少なくなっている。75歳以上では「行政や民間等の相談機関」が57.1%と多く、次いで「相談する人はいない」35.7%となっている。「相談する人がいない」は、年代が上がる毎に割合が高くなっている。

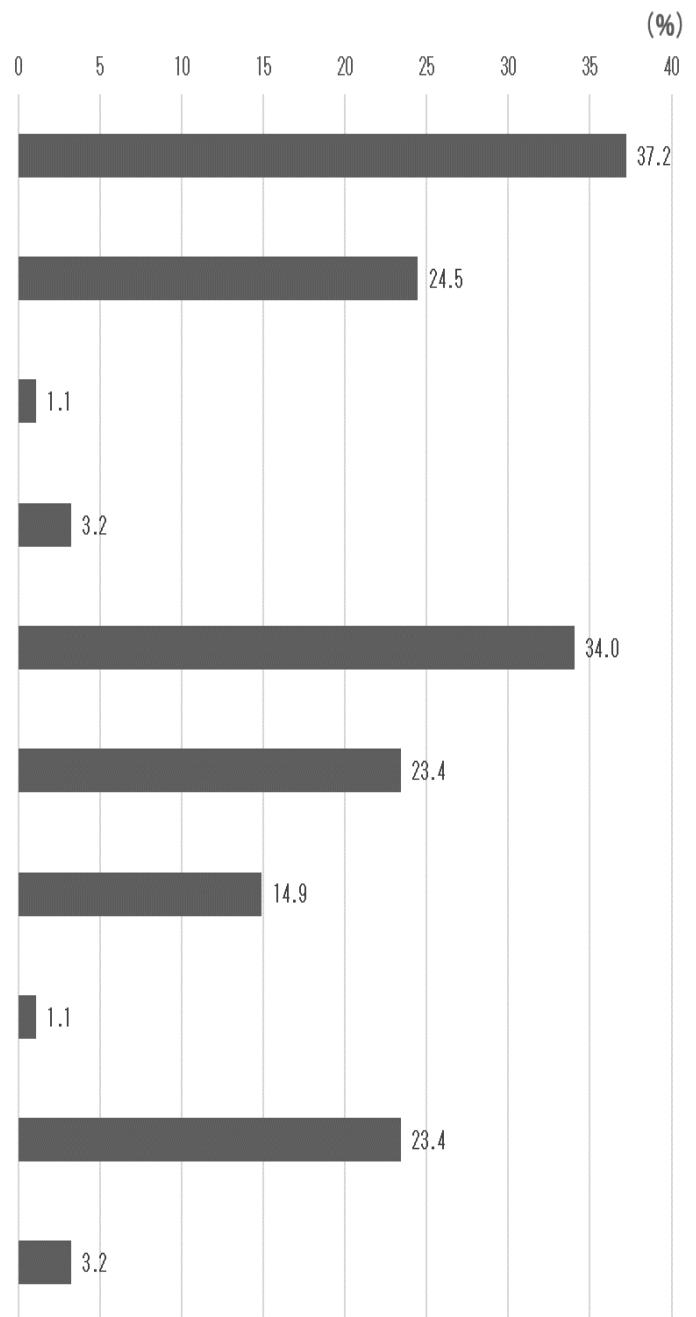
【表2-(12)】 問：《10で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

【年代】	19～39歳 (14)	40～64歳 (41)	65～74歳 (21)	75歳以上 (14)	未回答 (4)	全年代 n=94
家族・親戚	10 71.4%	18 43.9%	4 19.0%	2 14.3%	1 25.0%	35 37.2%
友人・知人	5 35.7%	12 29.3%	5 23.8%		1 25.0%	23 24.5%
近隣の住民			1 4.8%			1 1.1%
職場関係者	1 7.1%	1 2.4%	1 4.8%			3 3.2%
行政や民間等の相談機関	4 28.6%	12 29.3%	6 28.6%	8 57.1%	2 50.0%	32 34.0%
病院・診療所の医師	4 28.6%	11 26.8%	3 14.3%	3 21.4%	1 25.0%	22 23.4%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいかわからない	3 21.4%	4 9.8%	3 14.3%	3 21.4%	1 25.0%	14 14.9%
相談する必要はないので 誰にも相談してない			1 4.8%			1 1.1%
相談する人はいない	1 7.1%	9 22.0%	7 33.3%	5 35.7%		22 23.4%
その他		2 4.9%	1 4.8%			3 3.2%
回答数計	28	69	32	21	6	156

【図表 2－(12)単純集計】 問：《10 で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。
(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=94	割合
1	家族・親戚	35	37.2%
2	友人・知人	23	24.5%
3	近隣の住民	1	1.1%
4	職場関係者	3	3.2%
5	行政や民間等の相談機関	32	34.0%
6	病院・診療所の医師	22	23.4%
7	相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいか わからない	14	14.9%
8	相談する必要はないので 誰にも相談してない	1	1.1%
9	相談する人はいない	22	23.4%
10	その他	3	3.2%
回答数計		156	



(12)① 「困りごとや悩みの相談相手」と「性別」による集計(複数回答)

女性は全体で「家族・親戚」47.9%、「行政や民間等の相談機関」35.4%、「友人・知人」33.3%となっている。男性は「行政や民間等の相談機関」31.0%、「相談する人はいない」28.6%となっている。19～39歳では「家族・親戚」への相談は、女性85.7%、男性57.1%、75歳以上では「行政や民間等の相談機関」への相談が男性50.0%、女性66.7%となっている。男性は「相談する人はいない」が、75歳以上では37.5%となっている。

【表2-(12)①ア】 問：《10で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

【男性】	19～39歳 (7)	40～64歳 (21)	65～74歳 (6)	75歳以上 (8)	回答 (0)	全年代 n=42
家族・親戚	4 57.1%	6 28.6%		1 12.5%		11 26.2%
友人・知人	1 14.3%	5 23.8%				6 14.3%
職場関係者		1 4.8%				1 2.4%
行政や民間等の相談機関	1 14.3%	5 23.8%	3 50.0%	4 50.0%		13 31.0%
病院・診療所の医師	1 14.3%	5 23.8%	1 16.7%	2 25.0%		9 21.4%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいかわからない	2 28.6%	2 9.5%		1 12.5%		5 11.9%
相談する必要はないので 誰にも相談してない			1 16.7%			1 2.4%
相談する人はいない	1 14.3%	6 28.6%	2 33.3%	3 37.5%		12 28.6%
その他		1 4.8%				1 2.4%
回答数計	10	31	7	11		59

【表 2－(12)①イ】 問：《10 で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(○はいくつでも)

【女性】	19～39 歳 (7)	40～64 歳 (20)	65～74 歳 (15)	75 歳以上 (6)	未回答 (0)	全年代 n=48
家族・親戚	6 85. 7%	12 60. 0%	4 26. 7%	1 16. 7%		23 47. 9%
友人・知人	4 57. 1%	7 35. 0%	5 33. 3%			16 33. 3%
近隣の住民			1 6. 7%			1 2. 1%
職場関係者	1 14. 3%		1 6. 7%			2 4. 2%
行政や民間等の相談機関	3 42. 9%	7 35. 0%	3 20. 0%	4 66. 7%		17 35. 4%
病院・診療所の医師	3 42. 9%	6 30. 0%	2 13. 3%	1 16. 7%		12 25. 0%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいかわからない	1 14. 3%	2 10. 0%	3 20. 0%	2 33. 3%		8 16. 7%
相談する人はいない		3 15. 0%	5 33. 3%	2 33. 3%		10 20. 8%
その他		1 5. 0%	1 6. 7%			2 4. 2%
回答数計	18	38	25	10		91

(12)② 第38回江戸川区民世論調査との比較

第38回江戸川区民世論調査の結果(一部抜粋)

【問32 問30で「1」(ある)と答えた方にお尋ねします。

あなたは、困りごとや悩みを誰に相談していますか。(○はいくつでも)】

「家族・親戚」(53.9%)が5割強と最も高くなっている。次いで「友人・知人」(31.6%)、「病院・診療所の医師」(13.6%)、「職場関係者」(11.5%)となっている。一方、「相談する人はいない」(13.8%)は1割強となっている。

【性・年齢別】

「友人・知人」は女性(36.8%)が男性(24.6%)に比べて12.2ポイント高く、「家族・親戚」は女性(57.2%)が男性(49.5%)に比べて7.7ポイント高くなっている。「家族・親戚」は女性20～29歳(81.8%)が8割強と高くなっている。また、「友人・知人」は女性20～29歳(72.7%)が7割強と高くなっている。

くらしごと相談室利用者アンケートでは、全体で「家族・親戚」37.2%、「行政や民間等の相談機関」34.0%となっている。男女別にみると「家族・親戚」が女性で47.9%、男性で26.2%となっている。第38回江戸川区民世論調査では、全体で「家族・親戚」(53.9%)が5割強と最も高くなっている。男女別にみると「家族・親戚」が女性57.2%、男性49.5%となっている。くらしごと相談室利用者アンケートでは、女性の「友人・知人」33.3%であり、第38回江戸川区民世論調査では女性の「友人・知人」が、36.8%となっている。

(12)③ 「困りごとや悩みの相談相手」と「世帯」による集計(複数回答)

全体では「家族・親戚」37.2%、「行政や民間等の相談機関」34.0%となっている。世帯別にみると、「家族・親戚」への相談が「二世帯」世帯で60.7%、「ひとり暮らし」世帯では22.2%となっている。「相談する人はいない」は「二世帯」世帯で32.1%、「夫婦のみ」世帯では12.5%となっている。

【表2-(12)③】 問：《10で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

【世帯】	ひとり暮らし (45)	夫婦のみ (16)	二世帯 (28)	その他 未回答 (5)	全世帯 n=94
家族・親戚	10 22.2%	6 37.5%	17 60.7%	2 40.0%	35 37.2%
友人・知人	11 24.4%	6 37.5%	5 17.9%	1 20.0%	23 24.5%
近隣の住民	1 2.2%				1 1.1%
職場関係者	2 4.4%		1 3.6%		3 3.2%
行政や民間等の相談機関	15 33.3%	6 37.5%	8 28.6%	3 60.0%	32 34.0%
病院・診療所の医師	8 17.8%	5 31.3%	7 25.0%	2 40.0%	22 23.4%
相談したいことはあるが、 どこに相談したらよいかわからない	8 17.8%	1 6.3%	3 10.7%	2 40.0%	14 14.9%
相談する必要はないので 誰にも相談してない		1 6.3%			1 1.1%
相談する人はいない	11 24.4%	2 12.5%	9 32.1%		22 23.4%
その他	2 4.4%	1 6.3%			3 3.2%
回答数計	68	28	50	10	156

<「困りごとや悩みの相談相手」についてその他の回答>

- ・ 大家さん
- ・ 生活再生相談(サポート基金)

第3 くらしごと相談室と相談支援員について

(1) 「生活の困りごとが発生したきっかけ」と「年代」による集計(複数回答)

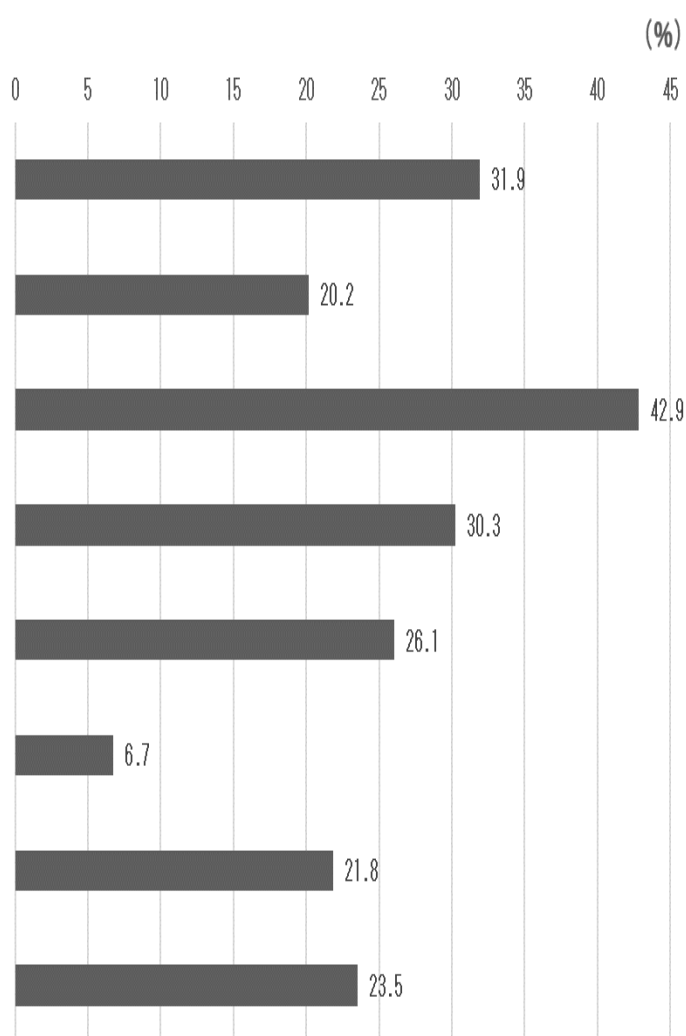
全体では「預貯金がなくなった」が42.9%となっている。次いで、「一時的な出費が重なった」が31.9%であった。年代別にみると「預貯金がなくなった」は40～64歳35.8%、65～74歳50.0%、75歳以上59.1%となっている。年代別では19～39歳で「一時的な出費が重なった」と「失業した」がともに42.9%となっている。

【表3-(1)】 問：生活の困りごとが発生したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【年代】	19～39歳 (14)	40～64歳 (53)	65～74歳 (26)	75歳以上 (22)	未回答 (4)	全年代 n=119
一次的な出費が重なった	6 42.9%	18 34.0%	8 30.8%	6 27.3%		38 31.9%
税金や保険料、家賃の滞納	2 14.3%	9 17.0%	8 30.8%	5 22.7%		24 20.2%
預貯金がなくなった	5 35.7%	19 35.8%	13 50.0%	13 59.1%	1 25.0%	51 42.9%
失業した	6 42.9%	14 26.4%	9 34.6%	6 27.3%	1 25.0%	36 30.3%
仕事が見つからない	3 21.4%	19 35.8%	3 11.5%	5 22.7%	1 25.0%	31 26.1%
家族との離別があった		3 5.7%	1 3.8%	3 13.6%	1 25.0%	8 6.7%
病気やケガの治療費の支払い	1 7.1%	14 26.4%	8 30.8%	3 13.6%		26 21.8%
その他	5 35.7%	14 26.4%	4 15.4%	5 22.7%		28 23.5%
回答数計	28	110	54	46	4	242

【図表 3－(1)単純集計】 問：生活の困りごとが発生したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=119	割合
1	一次的な出費が重なった	38	31.9%
2	税金や保険料、家賃の滞納	24	20.2%
3	預貯金がなくなった	51	42.9%
4	失業した	36	30.3%
5	仕事が見つからない	31	26.1%
6	家族との離別があった	8	6.7%
7	病気やケガの治療費の支払い	26	21.8%
8	その他	28	23.5%
回答数計		242	



<「生活の困りごとが発生したきっかけ」についてその他の意見>

- ・ 支払に追われ余裕がない。
- ・ 収入が減少した。(同文、2 件)
- ・ 収入の減少が多くコロナをきっかけに支払いや生活に困る状況。
- ・ 病気や祝日で月のお金から税金を引かれて生活困窮。
- ・ 夫の収入内で家計が回らなかった為。
- ・ 介護していた父の介護費、葬儀費用。
- ・ 貸した資金が戻らないため。
- ・ 金銭管理に不安があった。出費が多いと感じている。
- ・ 預貯金が無くなりギャンブルに手を出した。
- ・ 病気(仕事のし過ぎで体を壊した。圧迫骨折等、不明の病気、仕事ができなくなった)。
- ・ 健診で肺がんと診断され検査中です。
- ・ 病気の発症。
- ・ 退職しその後、心の病気になった。
- ・ パニックなどの精神障害。
- ・ 糖尿病や精神疾患などの健康障害の為に長い時間働くことが出来ない。
- ・ 主人が倒れ生活が難しくなった。夫の前に自分も入院して自宅療養中だった。
- ・ 親の病変による一時的な経済不安。
- ・ ここ一、二年で感じる肉体の衰えによる漠然とした不安。
- ・ 定年退職に係る再就職。
- ・ 仕事の内容、職場の体制。
- ・ 離婚。
- ・ 犬が病気になり手術して介護が必要となり 2 年間仕事をやめたが、お金も無くなってきたので、2 時間でも働ける職場を探した。
- ・ 職安に行ったら、制度を知り利用しました。(同文、1 件)

(2) 「くらしごと相談室をどこで紹介されたか、どこで知られたか」と「年代」による集計(複数回答)

全体では「区役所の窓口(税金・保険料など)」30.5%、「自分で調べた」27.1%となっている。年代別でみると、19～39歳で「その他」33.3%、40～64歳で「自分で調べた」28.3%、75歳以上で「自分で調べた」31.6%、「熟年相談室(地域包括支援センター)」21.1%となっている。

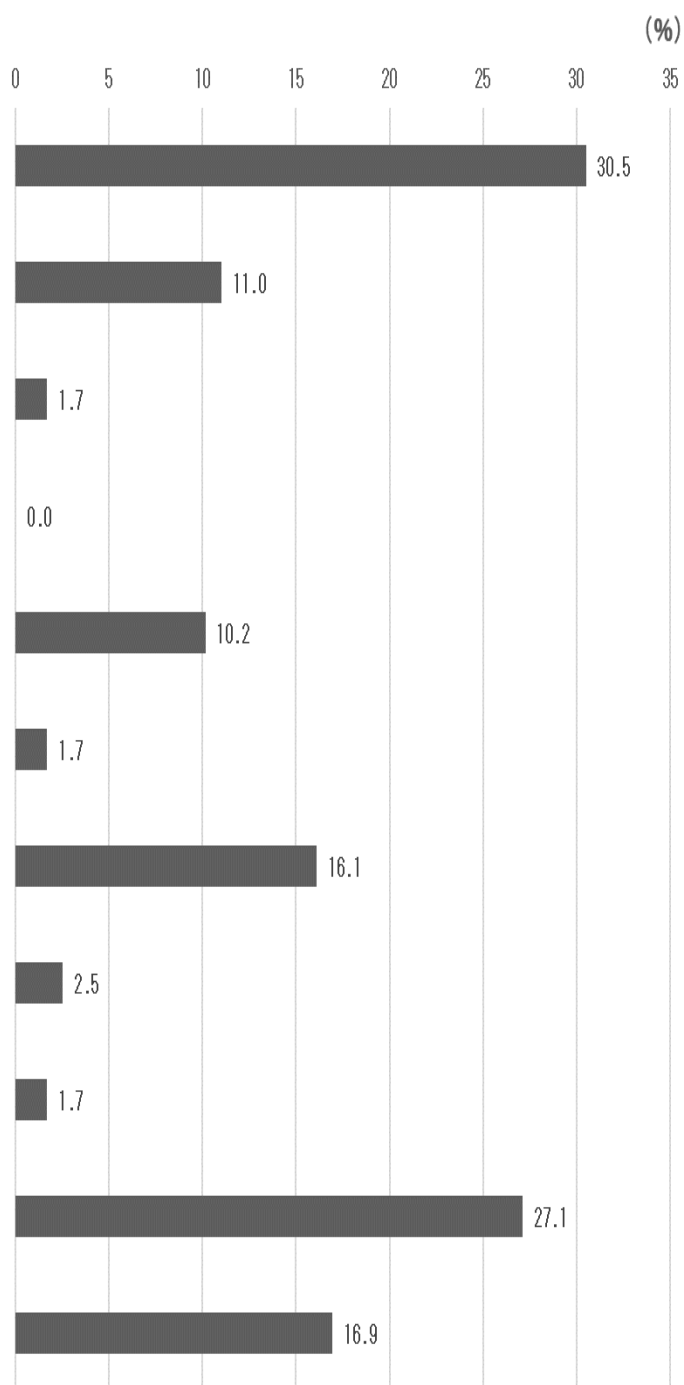
【表3-(2)】問:「くらしごと相談室」をどこで紹介されましたか、またはどこでお知りになりましたか。

(○はいくつでも)

【年代】	19～39歳 (15)	40～64歳 (53)	65～74歳 (27)	75歳以上 (19)	未回答 (4)	全年代 n=118
区役所の窓口(税金・保険料など)	6 40.0%	14 26.4%	10 37.0%	6 31.6%		36 30.5%
熟年相談室(地域包括支援センター)	1 6.7%	3 5.7%	5 18.5%	4 21.1%		13 11.0%
居宅介護支援事業所		1 1.9%	1 3.7%			2 1.7%
社会福祉協議会	1 6.7%	5 9.4%	4 14.8%	1 5.3%	1 25.0%	12 10.2%
なごみの家			1 3.7%	1 5.3%		2 1.7%
ハローワーク	3 20.0%	8 15.1%	5 18.5%	3 15.8%		19 16.1%
医療機関		1 1.9%	2 7.4%			3 2.5%
民生委員		1 1.9%		1 5.3%		2 1.7%
自分で調べた	4 26.7%	15 28.3%	4 14.8%	6 31.6%	3 75.0%	32 27.1%
その他	5 33.3%	11 20.8%	3 11.1%	1 5.3%		20 16.9%
回答数計	20	59	35	23	4	141

【表３－（２）単純集計】問：「くらしごと相談室」をどこで紹介されましたか、またはどこでお知りになりましたか。（〇はいくつでも）

No	項目	全体 n=118	割合
1	区役所の窓口 (税金・保険料など)	36	30.5%
2	熟年相談室 (地域包括支援センター)	13	11.0%
3	居宅介護支援事業所	2	1.7%
4	健康サポートセンター	0	0.0%
5	社会福協議会	12	10.2%
6	なごみの家	2	1.7%
7	ハローワーク	19	16.1%
8	医療機関	3	2.5%
9	民生委員	2	1.7%
10	自分で調べた	32	27.1%
11	その他	20	16.9%
回答数計		141	



＜「くらしごと相談室をどこで紹介されたか、どこで知られたか」についてその他の回答＞

- ・ 区役所の窓口で職安の窓口があると紹介されました。(同文、3 件)
- ・ 警察。(同文、1 件)
- ・ ハローワークの支所。
- ・ ケースワーカー。
- ・ ヘルパー利用にあたっての計画相談の方から
- ・ 江戸川区ひきこもり相談室。
- ・ テレビやインターネットで貧困に対し紹介しているのを見ました。
- ・ ホームページ。
- ・ チラシ。
- ・ 知人に教えてもらった。
- ・ 親。
- ・ 過去に別件で知っていた。
- ・ なんとなく前から生活保護という言葉聞いたことがあったので。
- ・ 相談していない。(同文、1 件)

(3) 「くらしごと相談室での相談内容」と「年代」による集計(複数選択可)

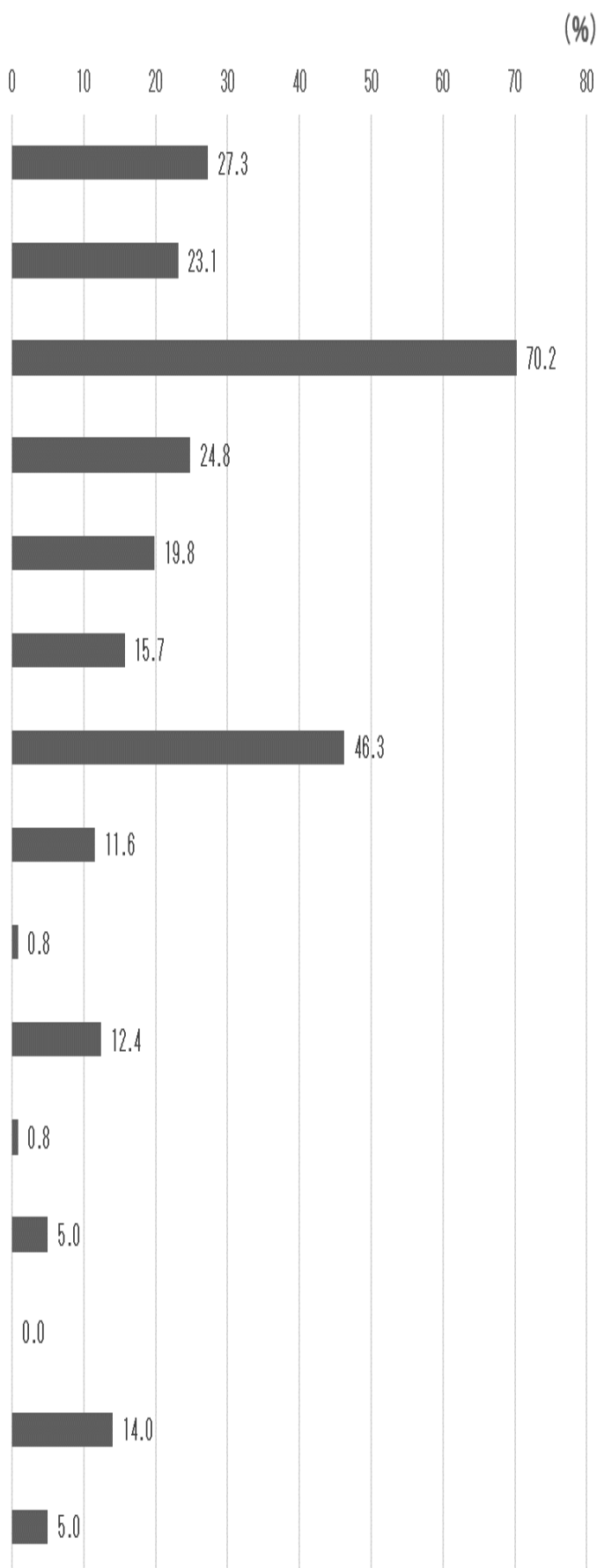
全体で「収入・生活費」70.2%、「仕事探し・就職」46.3%となっている。年代別にみると、すべての年代で「収入・生活費」が多くなっている。「仕事探し・就職」は19～39歳で40.0%、40～64歳で51.9%、65～74歳で55.6%、75歳以上で23.8%となっている。

【表3-3】 問:「くらしごと相談室」でどのような相談をしましたか。(〇はいくつでも)

【年代】	19～39歳 (15)	40～64歳 (54)	65～74歳 (27)	75歳以上 (21)	未回答 (4)	全年代 n=121
病気や健康、障害	4 26.7%	17 31.5%	7 25.9%	4 19.0%	1 25.0%	33 27.3%
住まい	4 26.7%	10 18.5%	6 22.2%	6 28.6%	2 50.0%	28 23.1%
収入・生活費	9 60.0%	39 72.2%	19 70.4%	14 66.7%	4 100.0%	85 70.2%
家賃や住宅ローンの支払い	5 33.3%	15 27.8%	5 18.5%	4 19.0%	1 25.0%	30 24.8%
税金や公共料金等の支払い	4 26.7%	10 18.5%	5 18.5%	5 23.8%		24 19.8%
債務(借金)		9 16.7%	5 18.5%	5 23.8%		19 15.7%
仕事探し・就職	6 40.0%	28 51.9%	15 55.6%	5 23.8%	2 50.0%	56 46.3%
仕事の不安やトラブル	2 13.3%	10 18.5%	1 3.7%		1 25.0%	14 11.6%
近隣・地域との関係		1 1.9%				1 0.8%
家族関係・人間関係	2 13.3%	10 18.5%	1 3.7%	1 4.8%	1 25.0%	15 12.4%
DV・虐待		1 1.9%				1 0.8%
ひきこもり		3 5.6%	2 7.4%	1 4.8%		6 5.0%
食料	1 6.7%	12 22.2%	4 14.8%			17 14.0%
その他	1 6.7%	2 3.7%	1 3.7%	2 9.5%		6 5.0%
回答数計	38	167	71	47	12	335

【図表 3－(3)単純集計】 問：「くらしごと相談室」でどのような相談をしましたか。(〇はいくつでも)

No	項目	全体 n=118	割合
1	病気や健康、障害	33	27.3%
2	住まい	28	23.1%
3	収入・生活費	85	70.2%
4	家賃や住宅ローンの支払い	30	24.8%
5	税金や公共料金等の支払い	24	19.8%
6	債務(借金)	19	15.7%
7	仕事探し・就職	56	46.3%
8	仕事の不安やトラブル	14	11.6%
9	近隣・地域との関係	1	0.8%
10	家族関係・人間関係	15	12.4%
11	DV・虐待	1	0.8%
12	ひきこもり	6	5.0%
13	不登校	0	0.0%
14	食料	17	14.0%
15	その他	6	5.0%
回答数計		335	



＜「くらしごと相談室での相談内容」についてその他の回答＞

- ・ 仕事。(同文、1 件)
- ・ 年金等の手続き指導を受けた。
- ・ 精神手帳の取得のアドバイス。障害年金取得の手伝い(これは今回取れなかったなので、また助力を頂きたい)。

(4) 「くらしごと相談室で受けた支援内容」と「年代」による集計(複数選択可)

全体で「相談員との面談」77.8%、「就職に向けたサポート」42.7%となっている。年代別にみると、すべての年代で「相談員との面談」が多くなっている。年代別では19～39歳で「就職に向けたサポート」と「家賃の支援」がともに40.0%、65歳～74歳で「就職に向けたサポート」が52.0%であった。また、75歳以上で「住まい探し」15.0%となっている。

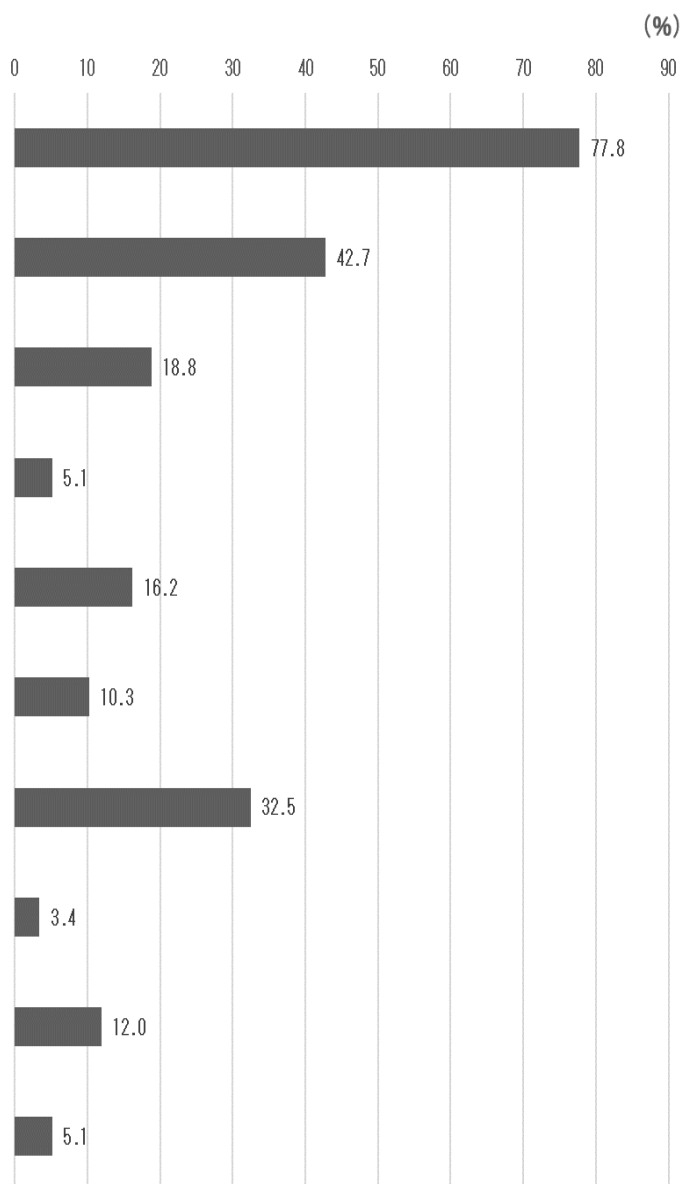
【表3-（4）】 問：「くらしごと相談室」ではどのような支援を受けましたか。（〇はいくつでも）

【年代】	19～39 歳 (15)	40～64 歳 (54)	65～74 歳 (25)	75 歳以上 (20)	未回答 (3)	全年代 n=117
相談員との面談	9 60.0%	44 81.5%	20 80.0%	15 75.0%	3 100.0%	91 77.8%
就職に向けたサポート	6 40.0%	24 44.4%	13 52.0%	4 20.0%	3 100.0%	50 42.7%
家賃の支援	6 40.0%	10 18.5%	3 12.0%	1 5.0%	2 66.7%	22 18.8%
住まい探し		2 3.7%	1 4.0%	3 15.0%		6 5.1%
家計の見直しについての アドバイス	2 13.3%	10 18.5%	6 24.0%	1 5.0%		19 16.2%
借金等の債務整理		7 13.0%	2 8.0%	3 15.0%		12 10.3%
食料の提供	5 33.3%	20 37.0%	10 40.0%	3 15.0%		38 32.5%
区役所の各種手続きの同行		1 1.9%	1 4.0%	2 10.0%		4 3.4%
関係機関等の紹介	4 26.7%	5 9.3%	4 16.0%	1 5.0%		14 12.0%
その他	1 6.7%	4 7.4%		1 5.0%		6 5.1%
回答数計	33	127	60	34	8	262

【図表 3－(4)単純集計】 問：「暮らしごと相談室」ではどのような支援を受けましたか。

(○はいくつでも)

No	項目	全体 n=117	割合
1	相談員との面談	91	77.8%
2	就職に向けたサポート	50	42.7%
3	家賃の支援	22	18.8%
4	住まい探し	6	5.1%
5	家計の見直しについての アドバイス	19	16.2%
6	借金等の債務整理	12	10.3%
7	食料の提供	38	32.5%
8	区役所の各種手続きの同行	4	3.4%
9	関係機関等の紹介	14	12.0%
10	その他	6	5.1%
回答数計		262	



<「暮らしごと相談室で受けた支援内容」についてその他の回答>

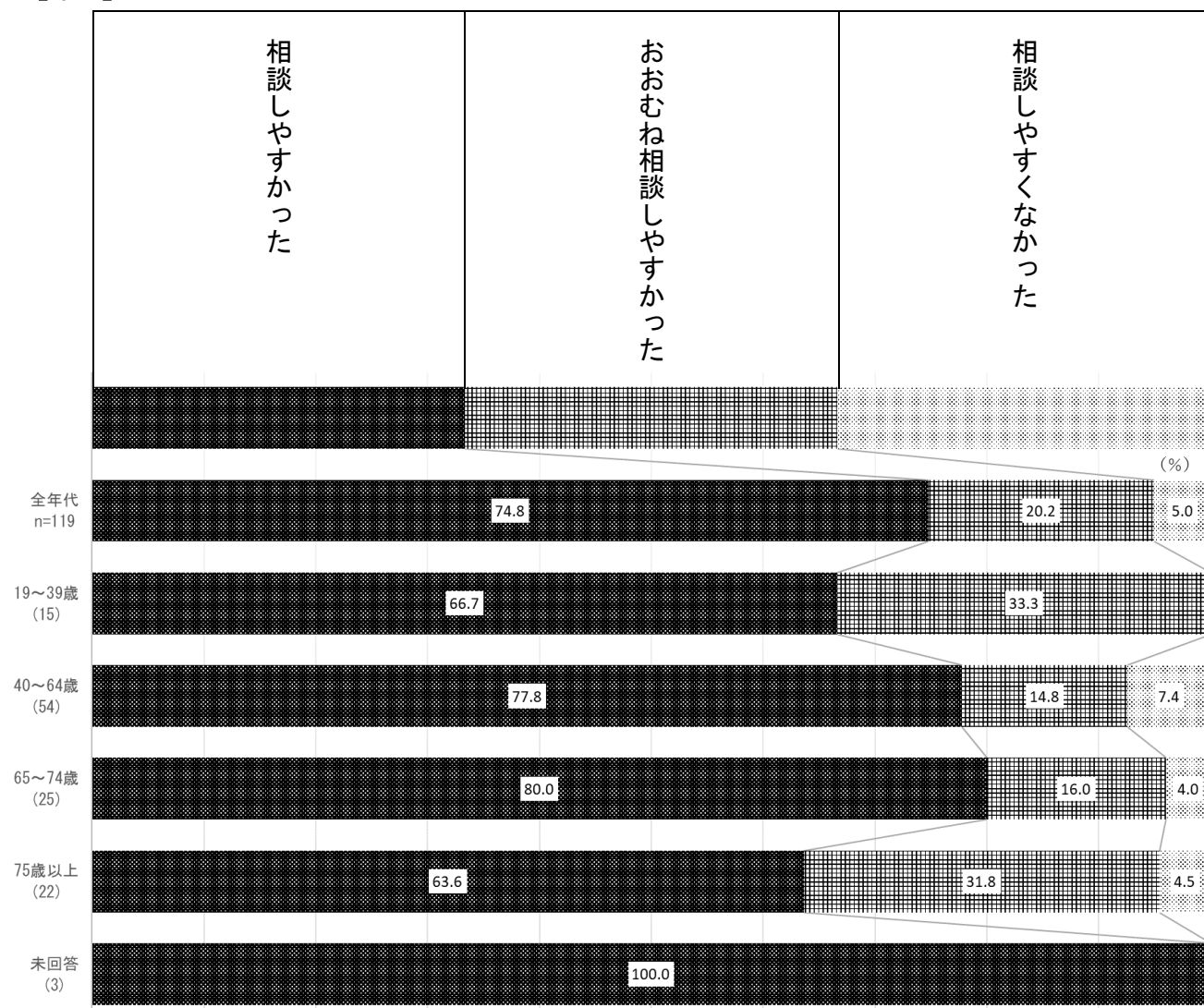
- ・ 生活保護受給について。
- ・ 病院に行けなかった事など。
- ・ 年金の的確な助言がありました。
- ・ 障害年金取得のサポート、残念ながら今回は適用されなかったので次こそは取得したい。
- ・ 何も、してくれなかった。

(5) 「対応した相談員は相談しやすい雰囲気であったか」と「年代」による集計

全体で「相談しやすかった」74.8%、「おおむね相談しやすかった」20.2%となっている。年代別にみると、65歳～74歳で「相談しやすかった」80.0%となっている。

【図表3－(5)】 問：対応した相談員は、相談しやすい雰囲気でしたか。

【年代】

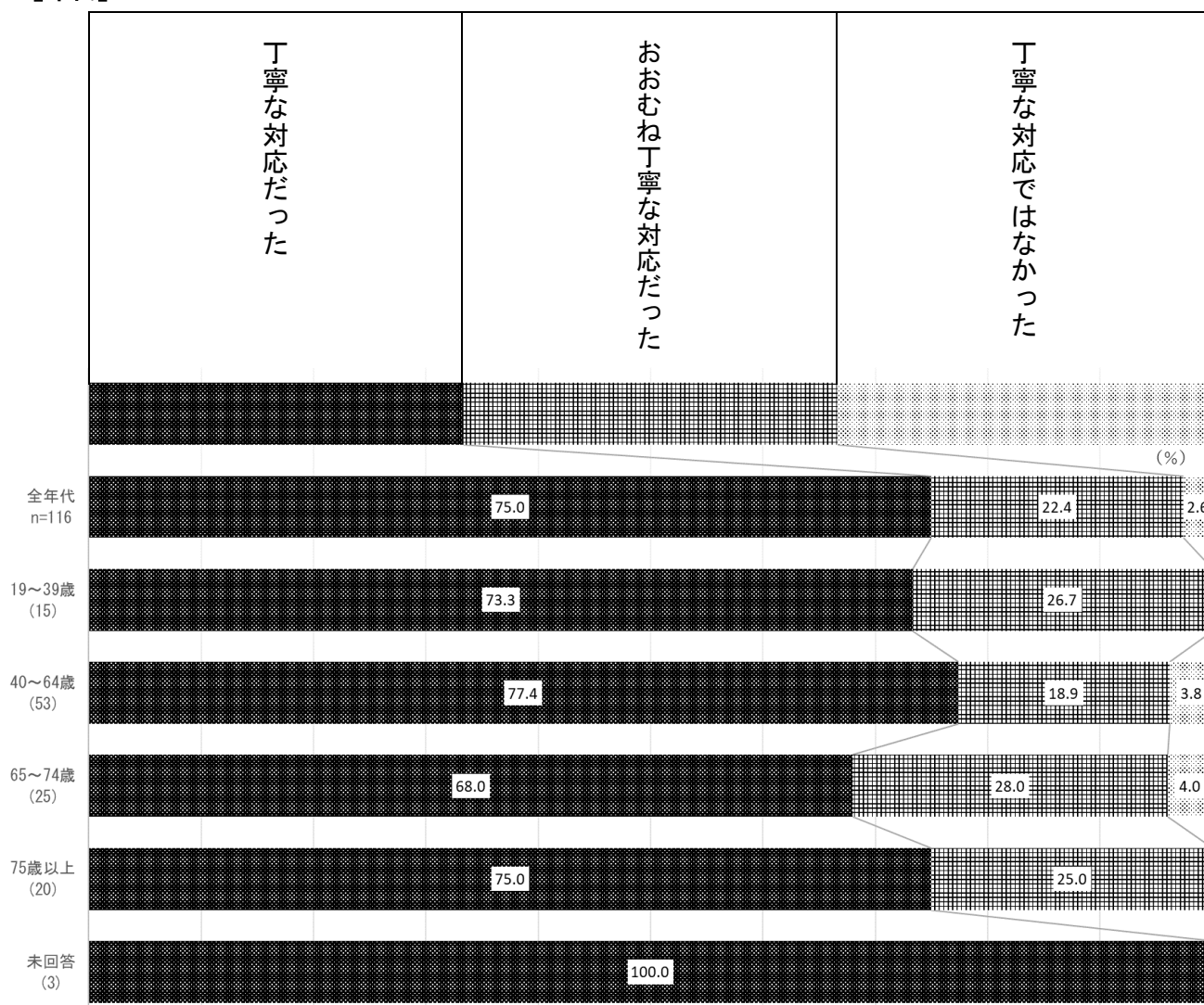


(6) 「対応した相談員は丁寧な対応であったか」と「年代」による集計

全体で「丁寧な対応だった」75.0%、「おおむね丁寧な対応だった」22.4%となっている。年代別にみると、65歳～74歳で「丁寧な対応だった」68.0%であり、40歳～64歳では77.4%であった。

【図表3-(6)】 問：相談員は希望や気持ち、困りごとなどを理解したうえで、丁寧に対応してくれましたか。

【年代】



(7) 「相談後の生活の変化」と「年代」による集計(複数選択可)

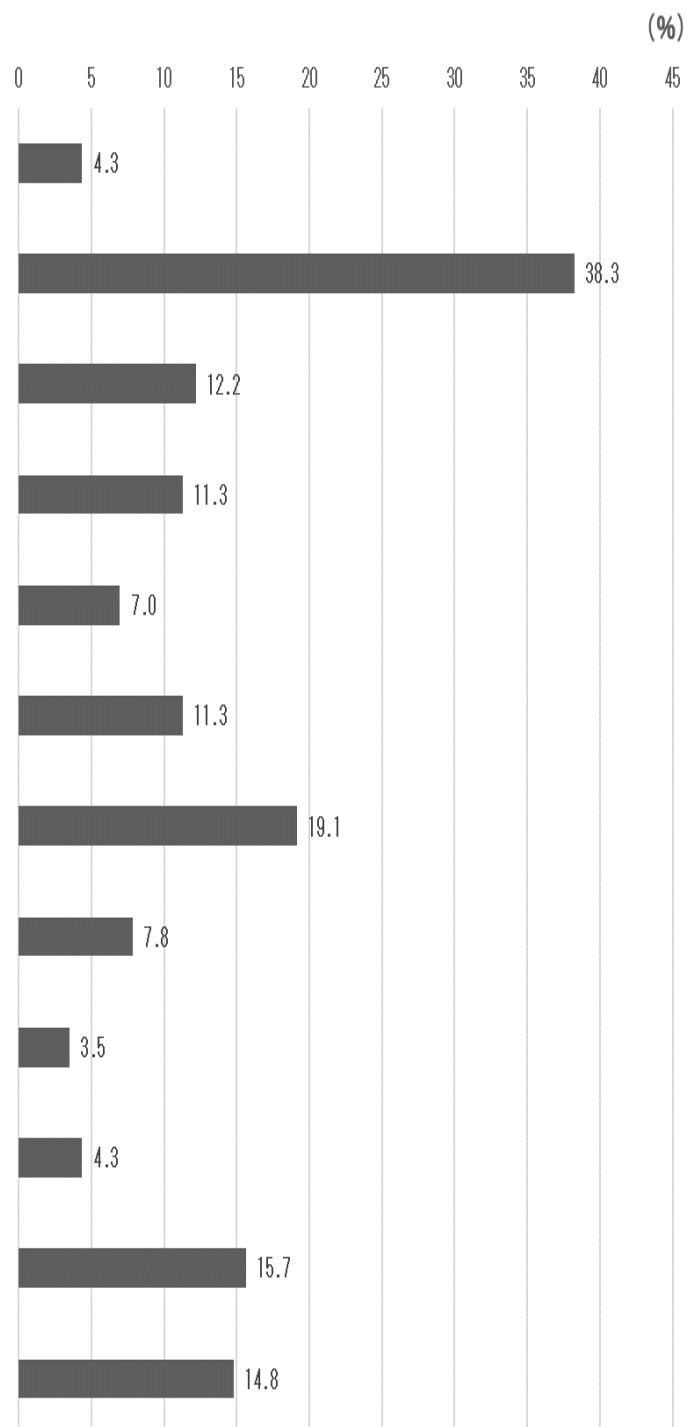
全体で「仕事を始めた」38.3%、「家計のやりくりが改善した」19.1%となっている。年代別にみると、19～39歳は「仕事を始めた」53.3%、「家計のやりくりが改善した」26.7%となっている。75歳以上では「何も変わらない」25.0%、「仕事による収入が増えた」「他に関わりのある相談窓口を知ることができた」がともに15.0%であった。65歳～74歳では「就職活動を開始した」が31.8%であった。

【表3-(7)】 問：相談して生活などに変化はありましたか。(〇はいくつでも)

【年代】	19～39 歳 (15)	40～64 歳 (54)	65～74 歳 (22)	75 歳以上 (20)	未回答 (4)	全年代 n=115
体調がよくなった	1 6.7%	2 3.7%	1 4.5%	1 5.0%		5 4.3%
仕事を始めた	8 53.3%	22 40.7%	10 45.5%	2 10.0%	2 50.0%	44 38.3%
仕事による収入が増えた	1 6.7%	6 11.1%	4 18.2%	3 15.0%		14 12.2%
就職活動を開始した	1 6.7%	3 5.6%	7 31.8%	1 5.0%	1 25.0%	13 11.3%
就職に向けて準備中		5 9.3%	2 9.1%	1 5.0%		8 7.0%
住まいが安定した	3 20.0%	5 9.3%	2 9.1%	2 10.0%	1 25.0%	13 11.3%
家計のやりくりが改善した	4 26.7%	12 22.2%	6 27.3%			22 19.1%
債務整理をした (債務整理の準備を始めた)		4 7.4%	3 13.6%	2 10.0%		9 7.8%
他に関わりのある相談窓口を知ることができた				3 15.0%	1 25.0%	4 3.5%
交流の場や連絡を取りあう 知人ができた	1 6.7%	2 3.7%	2 9.1%			5 4.3%
何も変わらない	1 6.7%	10 18.5%	1 4.5%	5 25.0%	1 25.0%	18 15.7%
その他	1 6.7%	10 18.5%	2 9.1%	4 20.0%		17 14.8%
回答数計	21	81	40	24	6	172

【図表３－（７）単純集計】 問：相談して生活などに変化はありましたか。（○はいくつでも）

No	項目	全体 n=115	割合
1	体調がよくなった	5	4.3%
2	仕事を始めた	44	38.3%
3	仕事による収入が増えた	14	12.2%
4	就職活動を開始した	13	11.3%
5	就職に向けて準備中	8	7.0%
6	住まいが安定した	13	11.3%
7	家計のやりくりが改善した	22	19.1%
8	債務整理をした (債務整理の準備を始めた)	9	7.8%
9	他に関わりのある相談窓口を知ることができた	4	3.5%
10	交流の場や連絡を取りあう知人ができた	5	4.3%
11	何も変わらない	18	15.7%
12	その他	17	14.8%
回答数計		172	



<「相談後の生活の変化」についてその他の回答>

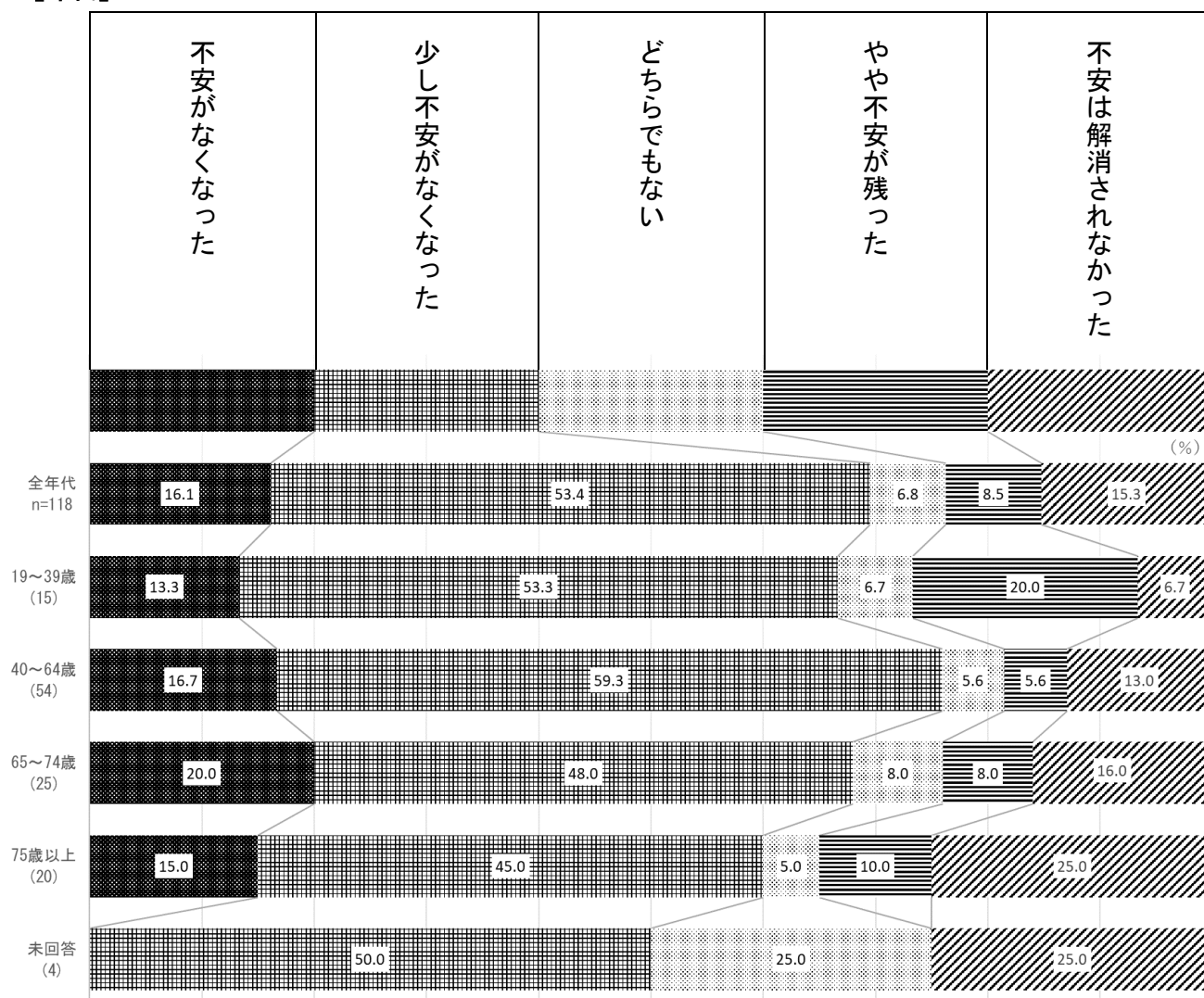
- ・ 相談できる安心感を得た。
- ・ 就活の焦る気持ちが楽になりました。
- ・ 気持ちが楽になった。(同文、1 件)
- ・ 精神的不安定の低下を一時的にはあるが現状維持できていた。
- ・ 食料の支援を受け助かった。(同文、1 件)
- ・ 食事ができるようになった。
- ・ 会社倒産後の税金その他の支払いを分割にしてもらい、何とか切り抜けられました。
- ・ 経済的な見通しができた。
- ・ 就職活動の際、丁寧に指導対応をしていただくことができた。
- ・ 経済面では未だ改善には至らず。
- ・ 食料提供を教えてくださいましたが、そのサービスが終わってしまいました。
- ・ 酷暑に動き体調を崩した。
- ・ 今検査中で手術はいつ頃になるかわからず不安だらけです。

(8) 「くらしごと相談室利用後の気持ちの状況」と「年代」による集計

全体で「少し不安がなくなった」53.4%、次いで「不安がなくなった」16.1%となっている。年代別にみると、19～39歳で「やや不安が残った」20.0%、75歳以上で「不安は解消されなかった」25.0%となっている。

【図表3－(8)】 問：「くらしごと相談室」を利用した後、現在の気持ちはどのような状況ですか。

【年代】

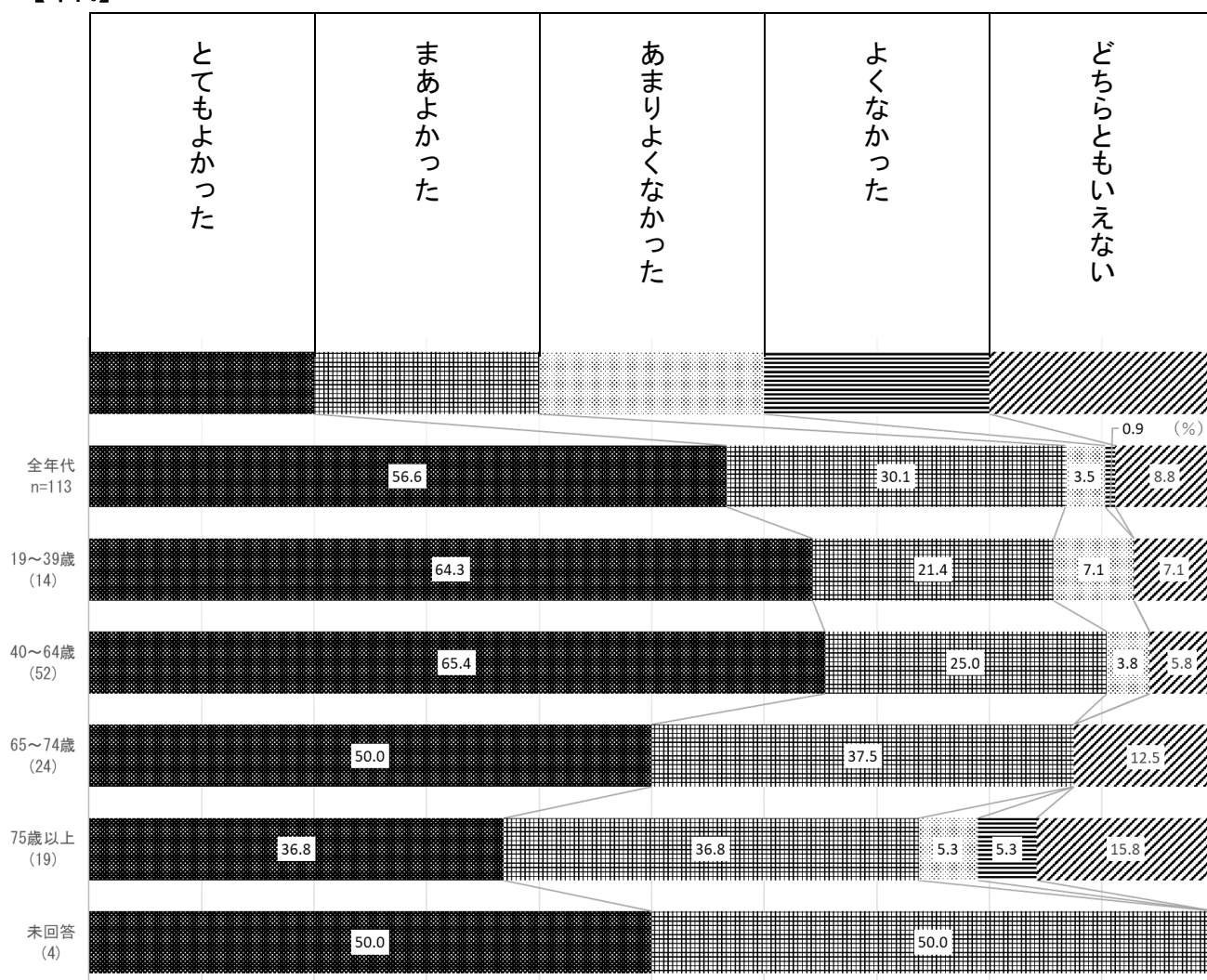


(9) 「くらしごと相談室を利用してよかったかどうか」と「年代」による集計

全体で「とてもよかった」56.6%、「まあよかった」30.1%となっている。年代別にみると、40歳～64歳で「とてもよかった」65.4%、75歳以上で「とてもよかった」と「まあよかった」とともに36.8%であった。また、19～39歳で「あまりよくなかった」7.1%、75歳以上で「あまりよくなかった」と「よくなかった」とともに5.3%となっている。

【図表3－(9)】 問：「くらしごと相談室」を利用してよかったですか。

【年代】



(10) 「生活の困りごとがあったときにどのような支援があればいいか」と「年代」による集計(複数回答)

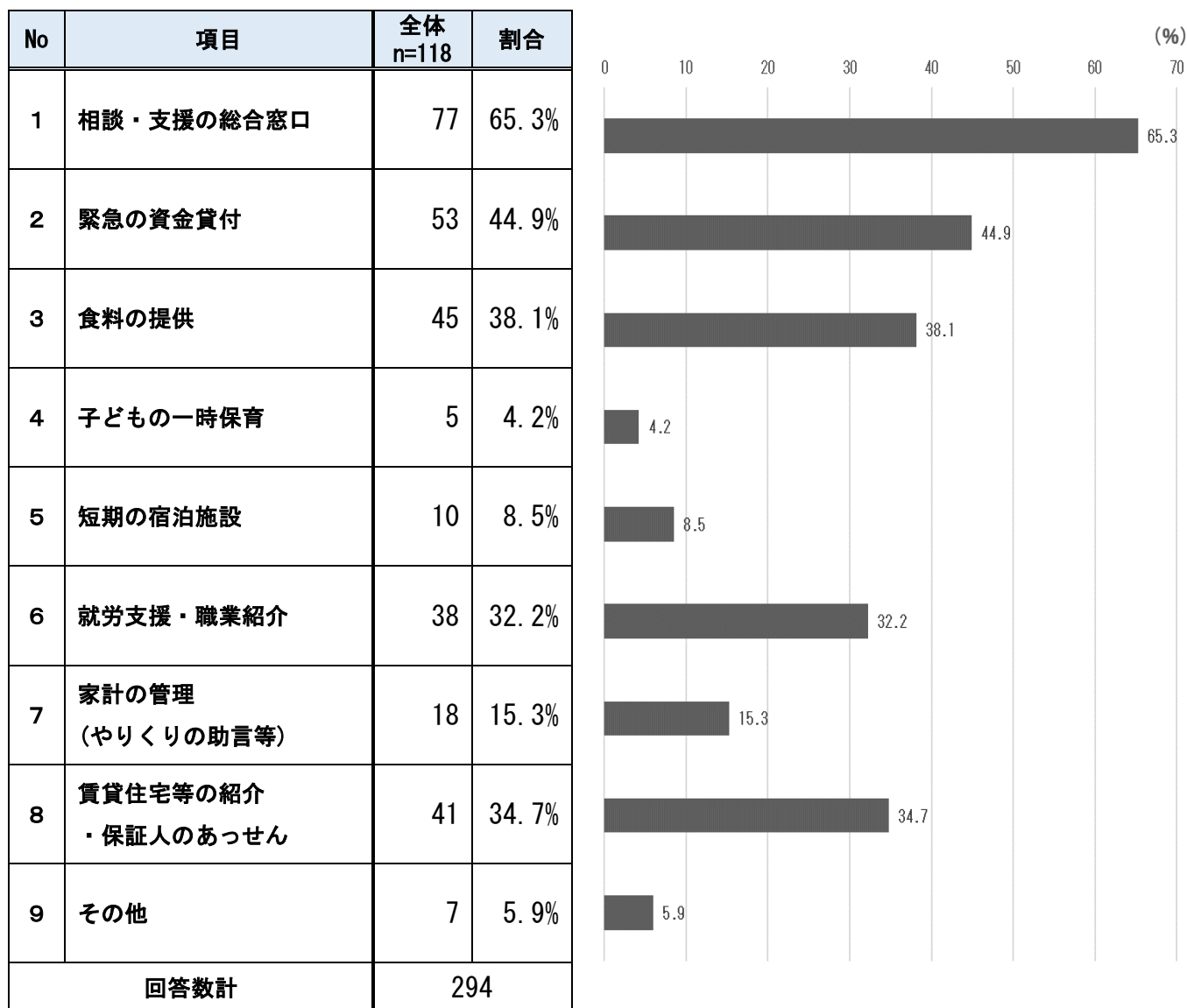
全体で「相談・支援の総合窓口」65.3%、「緊急の資金貸付」44.9%となっている。年代別にみると、19～39歳は「緊急の資金貸付」と「食料の提供」がともに66.7%、「就職支援・職業紹介」53.3%となっている。40～64歳では「賃貸住宅等の紹介・保証人のあっせん」42.6%となっている。

【表3-(10)】 問：生活の困りごとがあったとき、どのような支援があればいいと思いますか。

(○はいくつでも)

【年代】	19～39歳 (15)	40～64歳 (54)	65～74歳 (23)	75歳以上 (22)	未回答 (4)	全年代 n=118
相談・支援の総合窓口	9 60.0%	41 75.9%	13 56.5%	13 59.1%	1 25.0%	77 65.3%
緊急の資金貸付	10 66.7%	22 40.7%	11 47.8%	9 40.9%	1 25.0%	53 44.9%
食料の提供	10 66.7%	21 38.9%	5 21.7%	8 36.4%	1 25.0%	45 38.1%
子どもの一時保育	3 20.0%	2 3.7%				5 4.2%
短期の宿泊施設	4 26.7%	5 9.3%		1 4.5%		10 8.5%
就労支援・職業紹介	8 53.3%	18 33.3%	7 30.4%	4 18.2%	1 25.0%	38 32.2%
家計の管理 (やりくりの助言等)	3 20.0%	7 13.0%	5 21.7%	3 13.6%		18 15.3%
賃貸住宅等の紹介・保証人の あっせん	5 33.3%	23 42.6%	7 30.4%	5 22.7%	1 25.0%	41 34.7%
その他	1 6.7%	4 7.4%	2 8.7%			7 5.9%
回答数計	53	143	50	43	5	294

【図表 3－(10)単純集計】 問：生活の困りごとがあったとき、どのような支援があればいいと思いますか。(〇はいくつでも)



<「生活の困りごとがあったときにどのような支援があればいいか」についてその他の回答>

- ・ 人間だけでなく、一緒に暮らしている動物等のことも考えていただければと思う。
- ・ 生活費
- ・ メンタルケア(同文、1件)
- ・ 状況によって変化するので何ともの。
- ・ 障害年金専用のサポート。
- ・ 行政のやることは、毎度マニュアル通りなので特に期待はしていない。
- ・ 一時的に都営バスが無料で使えるようになるとうれしいです。本当にお金がないときは真夏でも徒歩で江戸川区役所まで移動していたため。

第4 くらしごと相談室についての自由意見

- ・ 相談室について感謝しております。
- ・ くらしごと相談室にお世話になり、大変ありがとうございました。特に担当者によくしていただいて、とても感謝いたしました。
- ・ 心の面に寄り添ってとてもありがたかったです。
- ・ 生活支援センターの皆様方、また海援隊の方本当に親身になり職場の面接に同行していただいてとても安心できる穏やかな職場でした。こんなに親切に対応してくださるところがあることを知りました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。
- ・ とても丁寧な対応してくださいました。
- ・ 不安定な状況に陥ったとき頼りになる場所があるのは勿論、本当にありがたかったのですが、お二方とも役所仕事ではなく寄り添う対応で、精神的な面でも本当に助かりました。尽力してくださって感謝です。
- ・ 寄り添い支援はありがたいです。
- ・ キャリアコンサルタントの方だともいいますが、とても前向きに話を進めてくださった。お二人で対応していただきましたが、兩人共にフランクかつ丁寧に対応してくださったので、気持ちの支えになりました。
- ・ いつも笑顔で親切に接してくれるので、「頑張ろう」という気持ちを無くさずに過ごせております。ありがとうございます。
- ・ 自分はたまたま相性の合う相談員に1年ほどじっくり向き合っていただけましたが、相談員の負担が大きくないかな？大丈夫かな？と思えるほど寄り添っていただけたので、相談員の待遇等はリソースを割いてあげて欲しいと思いました。
- ・ 相談室で対応していただいた担当者は、若いのにとっても親身になっていただいて忘れません。感謝がなく、よくお話も聞いていただいてありがとうございます。
- ・ とても丁寧に聞いてくれて助言していただき、気持ちが少し楽になりました。
- ・ いつも丁寧に笑顔で接してくださるので気持ちが和みます。ありがとうございます。
- ・ いつも親切に対応してくれて、心強く思っています。ありがとうございます。しかし、まだ問題解決や不安解決には到達していないので、これからも引き続きよろしくお願いいたします。
- ・ 話しやすくとても相談しやすかったですよ。
- ・ 現在、おかげさまで仕事も収入も安定してきたことと、本人と猫たちが元気いっぱいなことをここでご報告させていただきます。本当にありがとうございました。
- ・ 食料の提供、フードネット江戸川のみなさまへの感謝。ありがとうございました。
- ・ 自営業でコロナの影響もあり収入の減少もあり家賃の支払いも滞り困っていたところ、くらし相談をふと見つけ相談したところ、いろいろ指導頂き食料の支援も頂きとても助かりました。その後も色々ありましたが、今、何とか生活しております。その節はお世話になりました。ありがとうございます。相談していた担当者にもお礼お伝えください。
- ・ 担当者には相当お世話になりました。今は生活保護で、何とか通院しながら体調も気にしながら生活しています。
- ・ 現在は生活保護を受けながら身体の治療に専念出来るのでありがたい(食品等の物価が高いのでやりくりが苦勞する)。
- ・ 現在の生活が安定しているのは、生活援護課(葛西)に感謝です。

くらしごと相談室についての自由意見

- ・ 去年大変お世話になりました。生活においても仕事においても親身にサポートしていただき大きな力になりました。本当にありがとうございました。
- ・ ご紹介の甲斐あって、精神手帳の障害年金の方の条件が整いました。その節は本当にありがとうございました。
- ・ 以前、失業後の就職探しや食料支援をして頂いた者です。その節は大変お世話になりました。おかげさまで生活は安定しました。
- ・ あの時に相談して、本当に助かりました。話すことで一歩ずつ踏み出す感じでした。今は紹介された会社で正社員として働いています。来年度子供は大学に進学し、後少して子育ても終了です。今生活できているのもあの時の相談員たちのおかげです。
- ・ 藁にもすがる思いで相談させていただきました。なかなか身内にも相談しづらい状況下にこのような仕組みがあることを知らなかったなか紹介していただいたのは大変有意義でした。その節は本当にお世話になりました。
- ・ 病気やこれから来る親の介護など不安はありますが、困ったら相談できることがありがたいです。ありがとうございました。
- ・ お世話になりました。環境がよくなりました。江戸川区に住んでいてよかったと感じました。
- ・ 住まいに近ければ非常に便利です。
- ・ 良くしていただいています。ありがとうございます。
- ・ ありがとうございました。(同文、9件)
- ・ 現金給付等の情報について、区役所の窓口では積極的に教えてはいただけません。こちらから質問しない限り、情報を得ることはできません。…様々な給付制度についてぜひ積極的に教えていただきたいものです。インターネットで検索したくても、どのような制度があるのかわからなくては自身で調べることもままなりません。
- ・ 何か困った時に、普段から区役所やH・を確認しているわけではないので、色々な制度がある紹介を身近に知れたら良かった。
- ・ 相談して、色々サポートを提案したが、期限の関係で受けられない状況もあったので、事前に知れたら少し違うかと思う。
- ・ 心のケアはとてもよかったですが、貸付や食料、具体的活動面が別のつながりのため…本当に困っている人に行きづらい援助の仕組みになっている気がします。…貧困のためアルバイトを家族で増やしても国の支援金が前年より収入が上回ってなくても仕事を掛け持ちの人は認められず貯金も尽きてしまいました。
- ・ 食料品支援受け終わりました。そのあとすぐ物価高にあったのですが、援助をもう少し続けてほしかった。
- ・ 私の場合は会社倒産の為に、支払わなければならない税金や保険料が翌年迄収入のあった時の金額で請求され、とても困りました。…くらしごと相談室ではアルバイトの相談に乗って頂きましたが、出来れば納税課の窓口で、倒産した人達の支払いの相談にもっと積極的に関わってもらえたらと思いました。
- ・ 法的な話のみで、今困っていることの助けにはならなかった。
- ・ もう少しあとちょっとだけで良いので早め早めの対応を…いつも担当者が変わります。できるだけ1人の担当者と続けたいと思います。それと変えるときは前もって伝えてほしい。

くらしごと相談室についての自由意見

- ・ 相談員によって対応が違うと思います。…以前の相談員は 1 時間以上待つて(いつも通り)通帳を見せて紹介状をお願いしても紹介状をくれなかったことが何度かありました。理由は通帳に 1 万円以上入っていたからだそうです。
- ・ 相談者の状況把握が全くできていない。当方が高齢者(90 歳)故か、区外放出を一方的に判断されました。
- ・ 相談員によって大きな差がある。
- ・ 現在も介護費用、施設問題、生活、仕事など不安がいっぱいです。…難病もあり相談しても進んでない。業務的な流れで終わっている感じです。
- ・ 区役所から紹介されて行ったのにウェルカムムードは全くなく、待たされたし相談員の人は冷たい感じの人で、取り締まりを受けているようでした。
- ・ 細かい事を聞かれ恥ずかしかったかな？まだ住まいを探して行きます。
- ・ 老後の色々な相談がしたい。わかりやすく説明してもらいたい。
- ・ 只今、パートで時給で風邪などひいて休んで 10 万ちょっとと…女性にもとにかく生きていく何かがあると思います。絶望感しかなくつらいです。
- ・ しかしながらやはり障害年金取得の書類などにサポートが必要です…また電話して協力をお願いしますので、今度こそ取得出来るよう何卒お力をお貸し頂ければ幸いです。
- ・ 家計簿のつけ方が続かない。
- ・ 都営住宅に入居したくて抽選、当選を願い頑張っていますが、当選が遠く…都営住宅でお世話になればたらしと思っている。
- ・ 自分は今、年金生活、都営住宅に 3 月 16 日より入居、家賃が安く生活できそうだが…孤独死だけはしたくない、頑張るだけ。
- ・ 小さな子と介護の母を見ているシングルのため、フルタイムで仕事が出来ない、収入が少なく生活が苦しい。
- ・ 去年は私の状況に合わせるように高価な家電がことごとく壊れて年末には携帯も壊れて数ヶ月放置していたため、おそらく状況確認のお電話をくださっていたと思うのですが、出られずに申し訳ありません。
- ・ 夫が利用で私自身利用したことはないのですが、利用しやすさがわからないが、相談したいこともあるので、調べてみようと思う。
- ・ 休日にも対応していただけますと幸いです。
- ・ くらしごと相談室で障害者枠で仕事探しができれば嬉しいです。
- ・ 自分は資金的にかなり不安があるため、貸付制度について特にいろいろ教えて欲しい。
- ・ こんな経験をされている先輩達は多くいるとは思いますが、そういった方々の交流もないので中々相談も出来ていません経験者の対処方法をもっと聞いてみたいです。
- ・ 遠くから来ている方でも、いつでも利用できるようにしていただきたいです。

参考資料 アンケート調査票

えどがわく せいかつ ほ ごりようしゃ
江戸川区 生活保護利用者アンケート 調査票

令和7年3月

- 調査対象は、世帯主の方（封筒の宛名の方）です。
- ご本人が記入できない場合、ご家族の方、または介護をしている方が手伝ってください。
- 選択式の回答は、当てはまる番号を「○」で囲んでください。「その他」を選んだ場合は、（ ）内に具体的に記入してください。
- 記述式の回答は、枠内に具体的に記入してください。
- *回答は無記名ですので、個人が特定されることはありません。
- *回答は任意です。回答の有無やその内容により、皆様が不利益を受けることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

【調査対象（世帯主）の方について】

F 1 性別をお答えください。

1 . 男性 2 . 女性 3 . その他

F 2 年齢をお答えください。（令和7年4月1日時点）

1 . 18歳以下 2 . 19～39歳 3 . 40～64歳 4 . 65～74歳 5 . 75歳以上

F 3 世帯構成をお答えください。

1 . ひとり暮らし 2 . 夫婦（入籍の有無は問わず）のみ 3 . 二世帯（親と子、親と孫）
4 . 三世帯（親と子と孫） 5 . その他（ ）

F 4 一緒に暮らしている人数（世帯主の方を含む）をお答えください。

1 . 1人 2 . 2人 3 . 3人 4 . 4人 5 . 5人以上

F 5 生活保護の利用期間をお答えください。（令和7年4月1日時点）

1 . 1年未満 2 . 1年～3年未満 3 . 3年～5年未満 4 . 5年以上

F 6 ご職業をお答えください。

1 . 正規職員（社員） 2 . 契約・派遣 3 . アルバイト・パート 4 . 自営業 5 . 学生
6 . 無職（求職活動中） 7 . 無職

せいかつ じょうきょう
【生活の状況について】

とい にちじょうせいかつ じょうきょう こた
問1 日常生活の状況をお答えください。

1. 家事や日常活動は自分だけでできている
2. 家事や日常活動が自分で十分できず、介護、障害などのサービスを利用している
3. 家事や日常活動が自分で十分できないが、介護、障害などのサービスは利用していない

とい けんこうじょうたい こた
問2 健康状態をお答えください。

1. よい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない 5. どちらともいえない

とい いりようき かん つういんじょうきょう こた
問3 医療機関への通院状況をお答えください。

1. 定期的に通院している 2. 必要に応じて通院している
3. 健康面に不安はあるが、通院していない 4. 健康面に不安はなく、通院していない

とい さいいじょう かた か こ ねんかん く ふくしけんしん た けんこうしんだん う
問4 《40歳以上の方》過去1年間で区の福祉健診、その他の健康診断を受けましたか。

40歳未満の方は問6へ進んでください。

1. 受けた 2. 受けなかった

とい とい う こた かた う 受けなかった理由をお答えください。

(○はいくつでも)

1. 健康に不安がない 2. 定期的に通院している 3. 受け方がわからない
4. 生活習慣の見直し(食事・運動など)を指示されたくない
5. 疾病が見つかることに不安がある 6. その他()

とい こんご えどがわく す つづ
問6 今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

1. ずっと住み続けたい 2. 当分の間は住み続けたい 3. 区外に転出したい
4. わからない

とい すま ちいき かつどう さんか
問7 お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(○はいくつでも)

1. 町会・自治会 2. PTA 3. 子ども会
4. 高齢者団体(くすのきクラブ等)・障害者団体 5. 防災団体(消防団等)・防犯団体
6. 環境団体 7. スポーツ団体 8. 文化・芸能団体 9. NPO・NGO
10. ボランティア 11. 趣味 12. その他()
13. 参加していない

問8 《問7で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 健康や体力に不安がある
2. 仕事や家事(育児・介護など)が忙しい
3. 地域の人と関わりたくない
4. 興味が無い
5. 経済的負担がある
6. その他()

問9 《問7で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと思いますか。

1. 思う
2. まあ思う
3. あまり思わない
4. 思わない

問10 現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

1. ある
2. ない

問11 《問10で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 経済的なこと
2. 健康のこと
3. 子育て・介護のこと
4. 仕事に関すること
5. 家族との人間関係
6. 家族以外との人間関係
7. 住まいや生活環境
8. 特になし
9. その他()

問12 《問10で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(〇はいくつでも)

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 近隣の住民
4. 職場関係者
5. 行政(ケースワーカーを含む)や民間などの相談機関
6. 病院・診療所の医師
7. 相談したいことはあるが、どこに相談したらよいかわからない
8. 相談する必要はないので誰にも相談してない
9. 相談する人はいない
10. その他()

【福祉事務所(生活支援課)とケースワーカーについて】

問13 福祉事務所(生活支援課)や担当のケースワーカーには相談しやすいと思いますか。

1. 思う
2. まあ思う
3. あまり思わない
4. 思わない

問14 ケースワーカーの態度や言葉遣いは適切だと思いますか。

1. 思う
2. まあ思う
3. あまり思わない
4. 思わない

問15 ケースワーカーの説明はわかりやすいと思いますか。

- 1 . 思う 2 . まあ思う 3 . あまり思わない 4 . 思わない

問16 ケースワーカーとの関わりで印象に残っていることがありますか。

- 1 . ある 2 . ない

問17 《問16 で「1 . ある」と答えた方》どのようなことが印象に残っていますか。

問18 福祉事務所（生活援護課）の窓口は行きやすい雰囲気だと思いますか。

- 1 . 思う 2 . まあ思う 3 . あまり思わない 4 . 思わない

問19 福祉事務所（生活援護課）からお送りする「保護決定通知書」はわかりやすいと思いますか。

- 1 . 思う 2 . まあ思う 3 . あまり思わない 4 . 思わない 5 . 読んでいない

問20 福祉事務所（生活援護課）からお送りする「福祉事務所からのお知らせ」はわかりやすいと思いますか。

- 1 . 思う 2 . まあ思う 3 . あまり思わない 4 . 思わない 5 . 読んでいない

問21 福祉事務所（生活援護課）からお渡しした「生活保護のしおり」はわかりやすいと思いますか。

- 1 . 思う 2 . まあ思う 3 . あまり思わない 4 . 思わない 5 . 読んでいない
6 . 持っていない、または失くした

【生活保護について】

問22 生活保護を利用してよかったですか。

- 1 . とてもよかった 2 . まあよかった 3 . あまりよくなかった 4 . よくなかった
5 . どちらともいえない

問23 《問22 で「1 . とてもよかった」、「2 . まあよかった」と答えた方》そのように思った一番の理由は何ですか。

- 1 . 最低限度の安定した生活ができること 2 . 健康の維持に必要な医療が受けられたこと
3 . 生活の困りごとを相談できる担当のケースワーカーがいること
4 . その他（ ）

問24 生活保護が国民の権利であることを社会全体で理解されていると思いますか。

1. 思う 2. まあ思う 3. あまり思わない 4. 思わない

【仕事について】

働いている方に伺います。働いていない方は、問26へ進んでください。

問25 収入を増やすためなど、仕事や転職について福祉事務所（生活支援課）から支援を受けた
いますか。

1. 受けたい 2. 受けたくない 3. わからない

働いていない方に伺います。

問26 働く機会があれば働きたいと思いますか。

1. 思う 2. まあ思う 3. あまり思わない 4. 思わない

問27 《問26で「3. あまり思わない」、「4. まったく思わない」と答えた方》

そのように思った理由は何ですか。

1. 高齢 2. 病気やけが 3. 障害 4. 働くことに不安がある
5. 求職中だが条件が合わない 6. その他（ ）

【その他】

問28 福祉事務所（生活支援課）、ケースワーカー、生活保護についてご意見がありましたらご記入
ください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

えどがわく 江戸川区 「くらしごと相談室」 利用者アンケート ちょうさひょう 調査票

令和7年3月

- 調査対象は、世帯主の方（封筒の宛名の方）です。
- ご本人が記入できない場合、ご家族の方、または介護をしている方が手伝ってください。
- 選択式の回答は、当てはまる番号を「○」で囲んでください。「その他」を選んだ場合は、（ ）内に具体的に記入してください。
- 記述式の回答は、枠内に具体的に記入してください。
- * 回答は無記名ですので、個人が特定されることはありません。
- * 回答は任意です。回答の有無やその内容により、皆様が不利益を受けることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

【調査対象（世帯主）の方について】

F 1 性別をお答えください。

1 . 男性 2 . 女性 3 . その他

F 2 年齢をお答えください。（令和7年4月1日時点）

1 . 18歳以下 2 . 19～39歳 3 . 40～64歳 4 . 65～74歳 5 . 75歳以上

F 3 世帯構成をお答えください。

1 . ひとり暮らし 2 . 夫婦（入籍の有無は問わず）のみ 3 . 二世帯（親と子、親と孫）
4 . 三世帯（親と子と孫） 5 . その他（ ）

F 4 一緒に暮らしている人数（世帯主の方を含む）をお答えください。

1 . 1人 2 . 2人 3 . 3人 4 . 4人 5 . 5人以上

F 5 ご職業をお答えください。

1 . 正規職員（社員） 2 . 契約・派遣 3 . アルバイト・パート 4 . 自営業 5 . 学生
6 . 無職（求職活動中） 7 . 無職

せいかつ じょうきょう
【生活の状況について】

とい にちじょうせいかつ じょうきょう こた
問1 日常生活の状況をお答えください。

1. 家事や日常活動は自分だけでできている
2. 家事や日常活動が自分で十分できず、介護、障害などのサービスを利用している
3. 家事や日常活動が自分で十分できないが、介護、障害などのサービスは利用していない

とい けんこうじょうたい こた
問2 健康状態をお答えください。

1. よい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない 5. どちらともいえない

とい いりようき かん つういんじょうきょう こた
問3 医療機関への通院状況をお答えください。

1. 定期的に通院している 2. 必要に応じて通院している
3. 健康面に不安はあるが、通院していない 4. 健康面に不安はなく、通院していない

とい さいいじょう かた か こ ねんかん けんこうしんだん う
問4 《40歳以上の方》過去1年間で健康診断を受けましたか。

40歳未満の方は問6へ進んでください。

1. 受けた 2. 受けなかった

とい とい う こた かた う 受けなかった理由をお答えください。

(○はいくつでも)

1. 健康に不安がない 2. 定期的に通院している 3. 受け方がわからない
4. 生活習慣の見直し(食事・運動など)を指示されたくない 5. 受診費用がかかる
6. その他()

とい こんご えどがわく す つづ おも
問6 今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

1. ずっと住み続けたい 2. 当分の間は住み続けたい 3. 区外に転出したい
4. わからない

とい すま ちいき かつどう さんか
問7 お住いの地域でどのような活動・団体に参加していますか。(○はいくつでも)

1. 町会・自治会 2. PTA 3. 子ども会
4. 高齢者団体(くすのきクラブ等)・障害者団体 5. 防災団体(消防団等)・防犯団体
6. 環境団体 7. スポーツ団体 8. 文化・芸能団体 9. NPO・NGO
10. ボランティア 11. 趣味 12. その他()
13. 参加していない

問8 《問7で「13. 参加していない」と答えた方》その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 健康や体力に不安がある
2. 仕事や家事(育児・介護など)が忙しい
3. 地域の人と関わりたくない
4. 興味が無い
5. 経済的負担がある
6. その他()

問9 《問7で「13. 参加していない」と答えた方》きっかけがあれば参加したいと思いますか。

1. 思う
2. まあ思う
3. あまり思わない
4. 思わない

問10 現在、日常生活の中で困りごとや悩みがありますか。

1. ある
2. ない

問11 《問10で「1. ある」と答えた方》それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 経済的なこと
2. 健康のこと
3. 子育て・介護のこと
4. 仕事に関すること
5. 家族との人間関係
6. 家族以外との人間関係
7. 住まいや生活環境
8. 特にない
9. その他()

問12 《問10で「1. ある」と答えた方》困りごとや悩みは誰に相談していますか。

(○はいくつでも)

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 近隣の住民
4. 職場関係者
5. 行政や民間などの相談機関
6. 病院・診療所の医師
7. 相談したいことはあるが、どこに相談したらよいかわからない
8. 相談する必要はないので誰にも相談してない
9. 相談する人はいない
10. その他()

【くらしごと相談室と相談支援員について】

問13 生活の困りごとが発生したきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1. 一時的な出費が重なった
2. 税金や保険料、家賃の滞納
3. 預貯金がなくなった
4. 失業した
5. 仕事が見つからない
6. 家族との離別があった
7. 病気やケガの治療費の支払い
8. その他()

問14 「くらしごと相談室」をどこで紹介されましたか、またはどこでお知りになりましたか。

(○はいくつでも)

1. 区役所の窓口(税金・保険料など)
2. 熟年相談室(地域包括支援センター)
3. 居宅介護支援事業所
4. 健康サポートセンター
5. 社会福祉協議会
6. なごみの家
7. ハローワーク
8. 医療機関
9. 民生委員
10. 自分で調べた
11. その他()

問15 「くらしごと相談室」でどのような相談をしましたか。(○はいくつでも)

1. 病気や健康、障害
2. 住まい
3. 収入・生活費
4. 家賃や住宅ローンの支払い
5. 税金や公共料金等の支払い
6. 債務(借金)
7. 仕事探し・就職
8. 仕事の不安やトラブル
9. 近隣・地域との関係
10. 家族関係・人間関係
11. DV・虐待
12. ひきこもり
13. 不登校
14. 食料
15. その他()

問16 「くらしごと相談室」ではどのような支援を受けましたか。(○はいくつでも)

1. 相談員との面談
2. 就職に向けたサポート
3. 家賃の支援
4. 住まい探し
5. 家計の見直しについてのアドバイス
6. 借金などの債務整理
7. 食料の提供
8. 区役所の各種手続きの同行
9. 関係機関などの紹介
10. その他()

問17 対応した相談員は、相談しやすい雰囲気でしたか。

1. 相談しやすかった
2. おおむね相談しやすかった
3. 相談しやすくなかった

問18 相談員は希望や気持ち、困りごとなどを理解したうえで、丁寧に対応してくれましたか。

1. 丁寧な対応だった
2. おおむね丁寧な対応だった
3. 丁寧な対応ではなかった

問19 相談して生活などに変化はありましたか。(○はいくつでも)

1. 体調がよくなった
2. 仕事を始めた
3. 仕事による収入が増えた
4. 就職活動を開始した
5. 就職に向けて準備中
6. 住まいが安定した
7. 家計のやりくりが改善した
8. 債務整理をした(債務整理の準備を始めた)
9. 他に関わりのある相談窓口を知ることができた
10. 交流の場や連絡を取りあう知人ができた
11. 何も変わらない
12. その他()

問20 「くらしごと相談室」を利用した後、現在の気持ちはどのような状況ですか。

1. 不安がなくなった 2. 少し不安がなくなった 3. どちらでもない
4. やや不安が残った 5. 不安は解消されなかった

問21 「くらしごと相談室」を利用してよかったですか。

1. とてもよかった 2. まあよかった 3. あまりよくなかった 4. よくなかった
5. どちらともいえない

問22 生活の困りごとがあったとき、どのような支援があればいいと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 相談・支援の総合窓口 2. 緊急の資金貸付 3. 食料の提供 4. 子どもの一時保育
5. 短期の宿泊施設 6. 就労支援・職業紹介 7. 家計の管理(やりくりの助言等)
8. 賃貸住宅等の紹介・保証人のあっせん
9. その他()

【その他】

問23 くらしごと相談室についてご意見がありましたらご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。